KAWAI

ご使用前の準備

演奏ガイド

エディットメニュー

ストアボタン/セットアップ

レコーダー

USBメニュー

システムメニュー

付録

STAGE PIANO MP7

取扱説明書

この度はKAWAIステージピアノMP7をお買い求めいただきまして、
誠にありがとうございます。
本楽器を存分にお楽しみいただき、末永く御愛用いただくためにも、
この取扱説明書をよくお読みいただき、大切に保管くださいますようお願いいたします。

取扱説明書について

初めに、取扱説明書（本書）の「ご使用前の準備」（P.8）からお読みください。
各部の名称と機能や、オーディオ出力機器への接続、電源の入れ方を説明しています。

取扱説明書では、MP7をすぐお使いいただけるよう基本的な演奏ガイドから、様々な機能を使いこなすための操作まで説明しています。また付録には音色一覧などの資料を収録しています。

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。

ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ずお守りください。

製品本体に表示されているマークには次のような意味があります。

注　意
感電の危険あり
本体をあけるな

注意：感電防止のため本体の内部を開けないでください。機器の内部にはお客様が修理／交換出来る部品はありません。点検や修理は必ずお買い求めいただいた販売店または同梱の「アフターサービスと音楽教室のご案内」にある、お近くの弊社フィールドサポート担当までご依頼ください。

このマークは感電の危険があることを警告しています。

このマークは注意喚起シンボルです。取扱説明書等に、一般的な注意、警告の説明が記載されていることを表しています。

警告と注意、記号表示について

警告　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容が記載されています。

注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容が記載されています。

△記号は注意（用心してほしい）を促す内容があることを告げるものです。

⃠記号は禁止（行ってはいけない）の行為であることを告げるものです。

●記号は強制（必ず実行してほしい）したり、指示する内容があることを告げるものです。

警告

100V以外禁止

電源は必ずAC100Vを使う

電圧の異なる電源を使用しないでください。発火の恐れがあります。

付属の電源コードは本機でのみ使用する

付属の電源コード以外を本機で使用しないでください。付属の電源コードを他の機器で使用しないでください。

電源コードを熱器具に近付けたり、無理に曲げたり重い物を載せたりして傷つけたりしない

コードが破損し、火災、感電、ショートの原因になります。

本機を分解、修理、改造しない

この機器の上に花瓶等の液体の物を置いたり、水にぬれるような使い方をしたりしない

故障・感電・発火の原因になります。

水に濡れた手で、電源プラグを抜き差ししない

感電の原因になります。

異常が起こった場合、故障した場合は即座に電源スイッチを切り、コンセントからプラグを抜く

不安定な場所に置かない

怪我や破損の恐れがあります。

異物を入れない

本機の内部に異物を入れない

水、針、ヘアピン等が入ると、故障やショートの原因になります。

落とさない

本機を落としたり、強い衝撃を加えない

怪我および破損の恐れがあります。

照明用のロウソクなどの裸の火を機器の上に置かない。

取扱い注意

設置作業や移動作業は必ず2 人で行い、取り扱いに十分注意する

重量物のため、本機を移動するときは水平に持ち上げるようにし、手をはさんだり、足の上に落とさないよう十分注意してください。

⚠注意

電源プラグを抜くときは、必ずプラグ部分を持って抜く

コードを引っ張るとコードが破損し、火災、感電、ショートの原因になります。

プラグを抜く

落雷の恐れのある時や長時間使用しない時は必ず電源プラグを抜く

感電・火災及び故障の原因になる恐れがあります。

電源を切る

コード類を接続するときは、各機器の電源を切って行う

本機や接続機器の故障の原因になります。

電源プラグは直ぐに抜くことが出来る状態にしておく

この機器は電源スイッチを切った状態でも主電源から完全に遮断されているわけではありません。完全に遮断するためには、電源プラグを抜いてください。プラグは直ぐに抜くことが出来る状態にしておいてください。

上に乗らない

本機の上に乗ったり、重い物を乗せたりしない

変形したり、倒れる恐れがあり、故障やけがの原因になります。

ヘッドホンは大音量で長時間使用しない

聴力低下の原因になる恐れがあります。

使用禁止

本機を次のような所では使用しない

- **窓際など直射日光の当たる場所**
- **暖房器具のそばなど極端に温度の高い場所**
- **戸外など極端に温度の低い場所**
- **極端に湿度の高い場所**
- **砂やホコリの多い場所**
- **振動の多い場所**

故障の原因になります。

通気確保

熱がこもらないような場所に置く

正常な通気が確保できるところに設置してください。

■お手入れについて

本体	乾いた柔らかい布で拭いてください。
ペダル	表面が汚れた場合、乾いた食器洗い用スポンジで拭くと綺麗になります。サビ落し用の磨き剤ややすり等は使用しないでください。
ベンジンやシンナーで本機を拭かない	色落ちや、変形の原因になります。清掃するときは、乾いた柔らかい布で拭いてください。

* お手入れの際は、電源コードを抜くこと。

■保証書について

本製品をお買い求めの際、販売店で必ず保証書の手続きを行って下さい。保証書に販売店の印やお買い上げ日の記入が無い場合は、保証期間中でも修理が有償になることがあります。

保証書は、本取扱説明書と共に大切に保管ください。

■修理について

万一異常がありましたら直ちに電源スイッチを切り、本機の電源プラグを抜いて、購入店または弊社へご連絡ください。弊社連絡先は取扱説明書の裏表紙に記載してあります。

目次

安全上のご注意....................................4
目次..6

ご使用前の準備

MP7の概要..8
1. 本製品の特徴....................................8
2. この取扱説明書の表記について...............9

各部の機能と名称................................10
1. フロントパネル：ノブ、フェーダー、ボタン...10
2. フロントパネル：端子.........................14
3. リアパネル：端子..............................14

他の機器との接続................................16

セクションの内部接続...........................17

演奏ガイド

演奏ガイド...18

音色を選択する...................................19

ZONE機能..20
1. ZONEについて..................................20
2. ZONE MODEについて (INT/EXT/BOTH)............21
3. ZONE Key Range（ZONEの鍵域指定）........22

ディスプレイ/コントロールノブ..............24

エフェクト...25
1. Reverb（リバーブ）............................25
2. EFX（エフェクト）..............................26
3. アンプシミュレータ (MAIN ZONEのみ)...........28

トーンホイールオルガンモード..................30

GLOBALセクション...............................32
1. EQ..32
2. Transpose..34
3. LOCAL OFF（ローカルオフ）...................35

エディットメニュー

エディットメニューの概要 (INTモード)...........36

エディットメニューのパラメータ (INTモード)...38
1. Reverb（リバーブ）............................38
2.1. EFX（エフェクト）............................38
2.2. AMP（アンプシミュレータ）(MAIN ZONE).....39
3. Sound..40
4. Tuning（チューニング）........................42
5. Key Setup（キーボードセットアップ）........43
6. Controllers（コントローラー）..................46
7. Knob Assign（ノブアサイン）..................48
8. Virtual Technician (PIANO音色)...................50
Virtual Technician (E.PIANO, HARPSICHORD, BASS音色)...51
Virtual Technician (DRAWBAR音色)................51

エディットメニューの概要 (EXTモード)............52

エディットメニューのパラメータ (EXTモード)...54
1. Channel/Program...............................54
2. SETUP..54
3. Transmit SYS...................................55
4. MMC SYS..55
5. Key Setup（キーボードセットアップ）........56
6. Controllers（コントローラー）..................58
7. Knob Assign（ノブアサイン）..................59

エディットメニューの概要 (BOTHモード)..........60

ストアボタン/セットアップ

STOREボタンの概要..............................61
1. STORE SOUND（ストアサウンド）.............61
2. STORE SETUP（ストアセットアップ）.........62
3. STORE POWER ON（ストアパワーオン）......63

セットアップメモリ...............................64

レコーダー

レコーダーについて 65

MIDI レコーダー（内部メモリ）........................66

1. 内部メモリに録音する 66
2. MIDI ソングを再生する 68
3. SMF形式で保存する............................70
4. SMF を内部メモリへLOAD（ロード）する 71
5. 内部メモリを消去する 74
6. 曲のトランスポーズ（移調）....................75
7. パネルモード....................................75
8. MIDI to Audio 75
9. SMF ダイレクトプレイ 76
SMF ミキサー 77

オーディオレコーダー（USB メモリ）................78

1. オーディオファイルに録音する 78
2. オーディオファイルを再生する 81
3. オーバーダビングする 84
4. MIDI to AUDIO 87

メトロノーム.......................................90

1. クリックモード 90
2. リズムモード...................................91
3. メトロノームを使って録音する 94

USB メニュー

USB メニューについて 96

USB メモリ機能....................................97

1. Load（ロード / 読込）...........................97
2. Save（セーブ / 保存）...........................98
3. Delete（デリート / 削除）.......................99
4. Rename（リネーム / ファイル名変更）.......100
5. Format（フォーマット / 初期化）..............101

システムメニュー

システムメニューについて 102

システムパラメータと機能について 103

1. Utility（ユーティリティ）.......................103
2. Pedal（ペダル）.................................104
エクスプレッションペダルの調整について ...105
3. MIDI 106
4. Offset（オフセット）...........................107
5. User Edit（ユーザー）...........................107
ユーザータッチカーブを作成する 108
ユーザー音律を作成する.......................109
6. RESET（リセット）..............................110
PANIC ボタン 110

ロック（ ）ボタン 111

付録

USB-MIDI について................................112

ソフトウェア アップデート 113

音色リスト...114

リズムパターンリスト 115

EFX カテゴリ、タイプ、パラメータリスト ...116

仕様...121

MIDI Implementation............................122

1. Recognised Data...............................123
2. Transmitted Data 127
3. Exclusive Data..................................129
4. SOUND/SETUP Program/Bank 135
5. Program Change Number List 136
6. Control Change Number (CC#) Table 139
MIDI Implementation Chart.....................140

MP7の概要

1 本製品の特徴

レスポンシブ・ハンマー・アクション2により、本格的なピアノタッチを実現

弱打から強打まで繊細な表現が可能なグランドピアノに近い弾き心地と優れた連打性能を備えたレスポンシブ・ハンマー・アクション2（RH2）鍵盤を搭載。さらに、優れた吸湿性と象牙の風合いを備えた象牙調仕上げ（アイボリータッチ）により、汗がついても滑りにくく心地よいタッチの感触が得られます。また、弱く弾いたときに感じられるアコースティックピアノ特有のクリック感を再現するレットオフフィールも搭載、細やかなタッチの感触まで余すことなく再現します。

究極のピアノ音色

MP7は、世界最高峰のピアノコンクールであるショパン国際ピアノコンクールで実際に使用した、カワイコンサートグランドピアノEXの音を、88個の鍵盤一つ一つについて丁寧に録音した秀逸なピアノ音を搭載しています。鍵盤を弾く強さによって大きく変化するピアノ音を、様々な強さで録音することにより、従来の電子ピアノを凌駕する表現力を備えました。さらに、複数のマイクポジションで録音された膨大なサンプルは丹念に調整されており、様々なジャンルに最適なピアノ音を網羅しています。

また、チューニング機能やタッチカーブの設定に加え、調律師が行う様々なピアノの細やかな調整を簡単に行う事ができるバーチャルテクニシャン機能を搭載しています。ハンマーの硬さを調整できる「ボイシング」機能、ダンパーペダルを踏んだときの響板やフレームの響きを再現した「ダンパーレゾナンス」、弾いた鍵盤の音程の関係によって発生する弦の共鳴を再現した「ストリングレゾナンス」により、グランドピアノの音の響きをディテールまで再現、「ダンパーノイズ」「フォールバックノイズ」により、ペダルやアクションの動きによって発生する様々な音までをも調整することができます。
これらの設定は、本体やUSBメモリに保存することによりいつでも再現することが可能です。

ビンテージエレピ音色、2系統のエフェクト、アンプシミュレータ

MP7は独特のキャラクターを持った数々のビンテージエレピを用意しています。それぞれの特徴がリアルに再現されたエレピサウンド、バラエティに富んだ129種類のバラエティに富んだエフェクトを2系統と、5種類のビンテージアンプのシミュレータを搭載しています。また、それを集音するマイクタイプの選択やマイク位置までもユーザーの好みに調整可能です。

9本のドローバーとパーカッションコントロールを搭載した伝統的なトーンホイールオルガン音色

MP7では伝統的なトーンホイールオルガンをシミュレートした音色を搭載しています。
9本のドローバーとパーカッションコントロールのスイッチで音色を調整可能です。
オルガン音色調整モードでは9本のドローバーとパーカッションのコントロールをフェーダー/ノブ/スイッチに割り当て、リアルタイムに音色を変更して演奏を楽しむ事ができます。
さらにトーンホイールオルガンの特徴でもあるホイールノイズやクリックノイズなどを加えることもでき、ロータリーエフェクトやアンプシミュレータと一緒に使用することで、伝統的なサウンドが甦ります。

ストリングス、パッド、ブラス、ベース、シンセ音など多彩で高品位な音色

リアルなアコースティックピアノ、ビンテージエレピ、トーンホイールオルガンを補助するため、MP7は高品位なストリングス、パッド、シンセ、管楽器、ベース、ギター等、様々な音色を持っています。これらの音色は音色に深みを持たせるだけでなく、単体でも使用可能で、フィルタやADSRのパラメータにより自分好みの音色を楽しむ事ができます。

4ゾーンのマスターキーボード機能

MPシリーズを引き継いだ4ZONEのコントローラーは4つのZONEにINT（内部音源）、EXT（外部音源）、Both（内部音源＋外部音源）を割り当てることが可能です。4本のスライダーで内部音源＋外部音源のレイヤーミックスができます。また、それぞれのZONEに発音域やベロシティスイッチなどを設定でき、演奏の幅を広げます。

グラフィックLCDと機能割り当て可能なノブを使用しての直感的な操作

MP7のコントロールパネルは直感的に使用できるよう配置されており、中央のディスプレイと4つのノブは様々なパラメータをリアルタイムにコントロールすることを可能にします。4つのノブには好みの機能を割り当てる事ができ、いつでもパラメータの調整が可能です。

ステージミュージシャンのための256個のセットアップメモリ

MP7は、選択された音色、ノブの値、フェーダーのレベル、その他調整されたパラメータを、「SETUP（セットアップ）」として、本体のメモリへ保存することができ、ボタンを押して瞬時に呼び出すことができます。250を超えるセットアップメモリは、演奏前に予めいくつもの設定を決めておきたいステージミュージシャンに最適です。

USBメモリ端子を装備：MP3/WAV/SMFでの録音や再生が可能

MIDIデータをコンピューターとやりとりするためのUSB to HOST端子のほか、USBメモリなどにデータをロード/セーブする為のUSB to DEVICE端子を備えています。内部メモリに保存された、カスタマイズされたサウンド群、セットアップメモリ、レコーダーなどのデータを、USBメモリへ保存することができます。MP3やWAV形式のオーディオファイルの録音・再生にも対応しており、本格的なバッキング・トラックを使って演奏したり、曲のアイデアの為のメロディやコードを気軽に録音することも可能です。もちろん、MP7で保存したMP3、WAV、SMF形式のファイルは、DAW等で活用できます。曲のアイデアをMP3形式で録音し、そのままEメールに添付してメンバーに送付、というような利用も可能です。

2 この取扱説明書の表記について

この取扱説明書は、MP7の様々な機能を説明するために、いくつかのイラストを利用しています。

LEDの表示状態

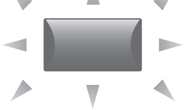
ON / OFF

LED消灯
SOUND/機能が非選択状態

ON / OFF

LED点灯
SOUND/機能が選択状態

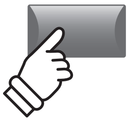
2



LED点滅
SOUND /機能が一時的に選択状態

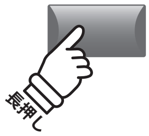
ボタンを押すパターン

EQ



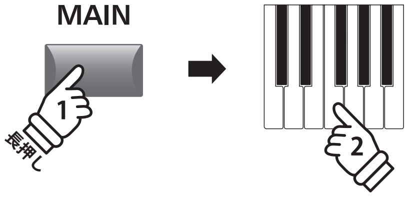
通常
音色または機能選択、
または機能のON/OFF

EQ



長押し
機能のパラメータ表示等

MAIN



押しながら○○する
スプリットポイントやゾーン作成、
トランスポーズ設定等

テキストの表示

通常の説明はこのサイズ

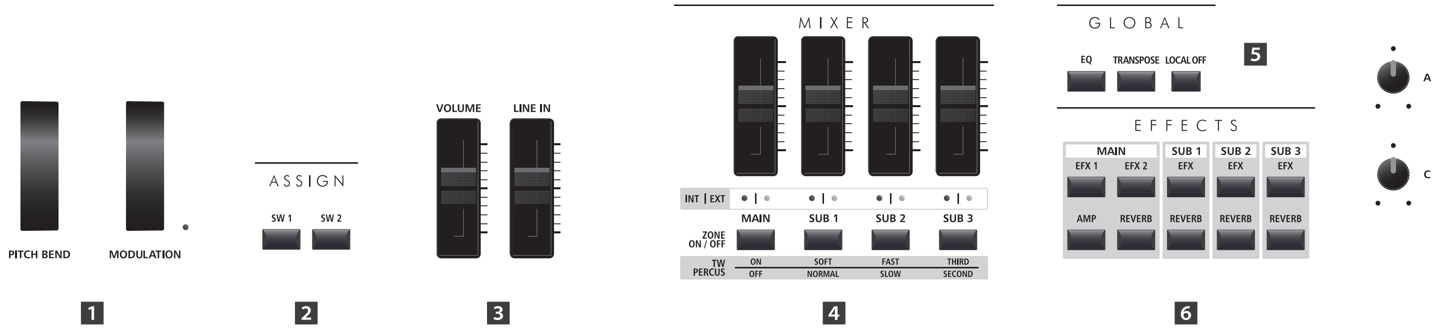
* 注記はこのサイズ

覚書、ヒントや追加説明は
イタリック体でこのサイズ

LCDのキャプション・ボタンの機能については太字でこのサイズ

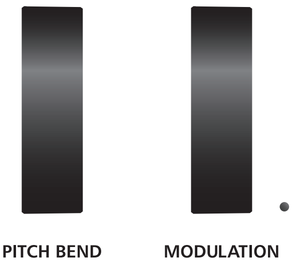
操作例はイタリック体でこのサイズで
灰色の背景で囲む

各部の機能と名称



1 フロントパネル：ノブ、フェーダー、ボタン

1 コントロールホイール



[PITCH BEND] ホイール

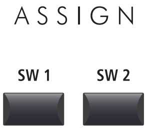
このホイールを上下に動かすと、音程が上下に変わります。

[MODULATION] ホイール

ビブラートのかかり具合を調整することができます。ホイールを上へ動かすとビブラートが深くかかります。ホイールポジションが0でないとき、LEDインジケーターが点灯します。

* モジュレーションホイールには別の機能を割り当てることもできます。P.46をご確認ください。

2 ASSIGN ボタン



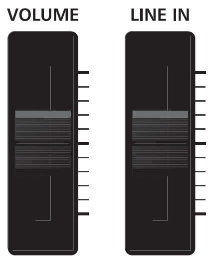
[SW1] [SW2] ボタン

このボタンはユーザーが割り当てた機能をON/OFFします。様々な機能をこれらのボタンに割り当てることができ、演奏中すぐにコントロールすることができます。

* 長押しすることで割り当てられている機能を確認することができます。

* 詳細はP.46をご確認ください。

3 ボリューム フェーダー



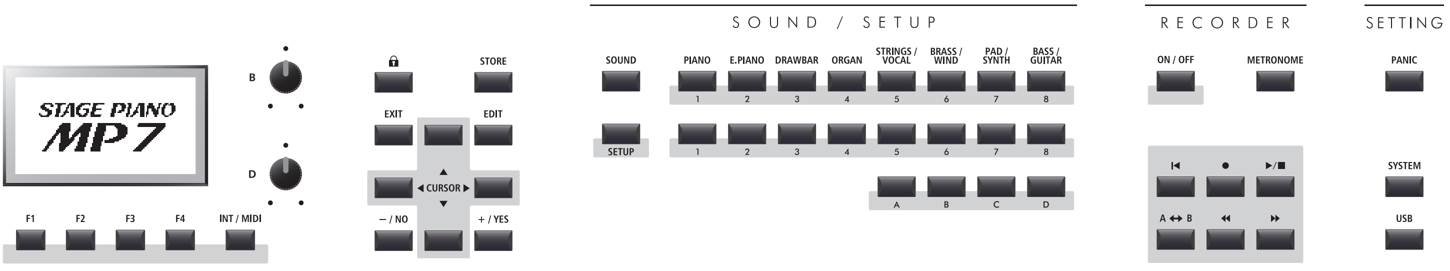
マスターボリュームフェーダー

全体のボリュームを調整します。ラインアウト、ヘッドホン出力に効きます。

ラインインフェーダー

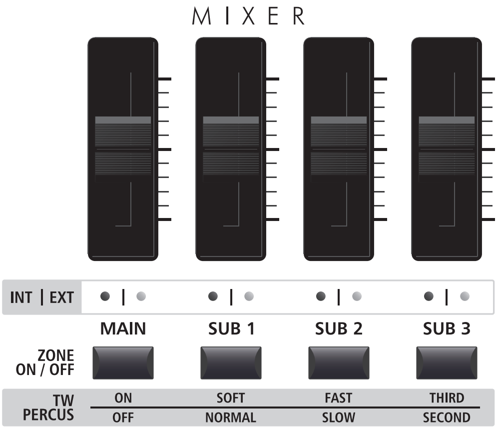
ライン入力の音量を調整します。

* ラインインボリュームレベルはシステムメニューのUtilityでに設定可能です。
詳細はP.103をご確認ください。



7 8 9 10 11

4 MIXER セクション



VOLUME フェーダー

これらのフェーダーはMAIN/SUB1/SUB2/SUB3ゾーンのボリュームレベルを個別に調整できます。
複数のゾーンを使用しているとき、オーディオミキサーの様にこれらのフェーダーを使用します。

また、設定モードでは、これらのフェーダーはドローバーの代わりとして使用します。

INT/EXT LED

このLEDは対応するゾーン（MAIN/SUB1/SUB2/SUB3）がコントロールする対象を示します。
内部音色（INT）、外部MIDIデバイス（EXT）または両方（BOTH）。

［ZONE］ボタン

これらのボタンでMAIN/SUB1/SUB2/SUB3ゾーンをON/OFFします。

また、トーンホイール音色設定モードではこれらのボタンを使ってオルガンのパーカッションの設定を行います。

5 GLOBAL セクション

［LOCAL OFF］ボタン

［LOCAL OFF］ボタンを点灯させると、本体の鍵盤を弾いても本体から発音せず、MIDI入力のみ発音します。

［EQ］ボタン

EQをON/OFFします。

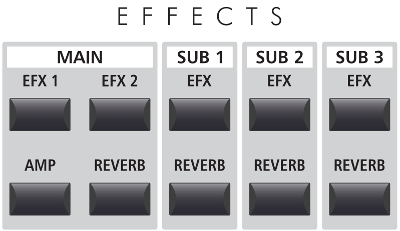
* 長押しすることでEQの調整画面を呼び出します。

［TRANSPOSE］ボタン

トランスポーズ（移調）機能をON/OFFします。

* 長押しすることでトランスポーズの設定画面を呼び出します。

6 EFFECTS セクション



* これらのボタンは長押しすることでLCDディスプレイに調整画面を呼び出すことができます。

［EFX1］［EFX2］［EFX］ボタン

これらのボタンは対応するゾーンのエフェクトをON/OFFします。
MAINゾーンは2個のエフェクトブロック、SUB1/SUB2/SUB3ゾーンはそれぞれ1個のエフェクトブロックを搭載しています。

［AMP］ボタン

このボタンはMAINゾーンのアンプシミュレータをON/OFFします。

［REVERB］ボタン

これらのボタンは対応するゾーンのリバーブをON/OFFします。

7 ディスプレイ部

[INT/MIDI] ボタン

このボタンを長押ししながら［+/YES］［-/NO］ボタンを押すことで、現在選択中のゾーンのモードを切り替えます。(INT/EXT/BOTH)

LCD ディスプレイ

選択しているゾーンの音色、パラメータや操作中の機能の表示をします。

[A] [B] [C] [D] ノブ

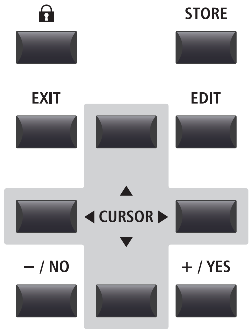
表示中のパラメータをリアルタイムにコントロールします。

* エディットメニューのノブ・アサイン設定ページでパラメータを自由に割り当てることができ、演奏中に好みのパラメータを操作することができます。(詳細はP.48をご確認ください。)

[F1] [F2] [F3] [F4] ボタン

通常はディスプレイに表示されるゾーンを選択します。レコーダーなどのその他のモードでは、その時の機能が画面上に表示されます。

8 エディットセクション



[CURSOR] ボタン

画面中のカーソルを移動させたり、エディットモードのページをスクロールさせます。

[+/YES] [–/NO] ボタン

カーソルで選択した項目の値を設定します。動作確認が必要な画面では、実行するか否かを決定します。

(LOCK) ボタン

パネルスイッチ等をロックして、演奏中の誤操作を防止します。ボタンが点灯している時、ロックされます。

[STORE] ボタン

各音色やパネルの設定状態を、SETUP として本体内部に保存します。
また、各 SOUND それぞれの設定状態や電源オン時の設定を保存できます。

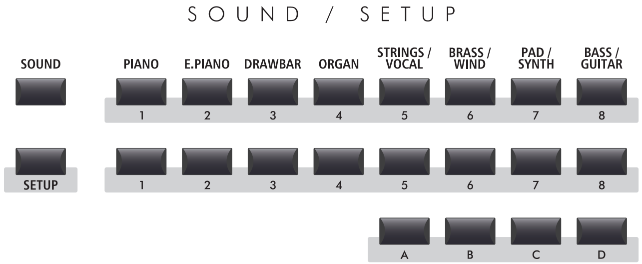
[EXIT] ボタン

エディットモードから抜けたり、前のページへ戻ります。

[EDIT] ボタン

エディットモードへ入ります。エディットメニューが表示されているときは、選択されたそれぞれのパラメータエディットのページへ移行します。

9 SOUND/SETUP セクション



[SOUND] ボタン

SOUND モード(音色選択モード)に入ります。右のボタンに割り当てられた 256 個の音色を選択します。

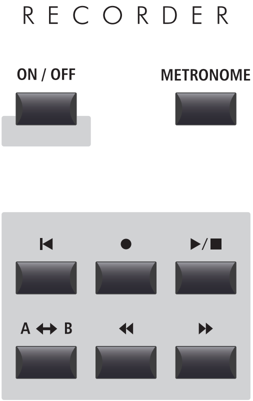
[SETUP] ボタン

SETUP モード(セットアップ選択モード)に入ります。右のボタンに割り当てられた 256 個のセットアップを選択します。

SOUND/SETUP 選択ボタン

SOUND モードでは、これらのボタンで選択中のゾーンの音色(カテゴリ、タイプ、バリエーション)を選びます。
SETUP モードでは、これらのボタンでセットアップのバンク、メモリーを選びます。

10 RECORDERセクション



［ON/OFF］ボタン

［RECORDER］セクションの機能をON/OFFします。

［METRONOME］ボタン

メトロノーム機能をON/OFFします。

⏮（リセット）ボタン

このボタンを押すと、MP7のレコーダをリセットします。（巻き戻し：MP3/WAVファイルの始めに戻る）

●（録音）▶/■（再生/停止）ボタン

これらのボタンは内部メモリに録音したり、再生したりUSBメモリに保存されたMP3/WAVファイルを再生/停止します。

A ↔ B（A-Bループ）ボタン

A-Bループボタンで、録音データの任意の箇所区切り、そこのみを繰り返し再生することができます。

◀◀（早戻し）▶▶（早送り）ボタン

作業中の録音された曲や、MP3/WAVファイルを早戻し/早送りします。

11 SETTINGセクション

［PANIC］ボタン

長押しすると、パネルの設定を電源オン時の状態へ戻し、オールノートオフとリセットオールコントローラーのメッセージをMIDI送信します。

［SYSTEM］ボタン

MP7のシステム全体に関わる基本設定を行います。

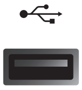
［USB］ボタン

USBデバイス内のファイル操作を行います。

2 フロントパネル：端子

ヘッドホン端子

ヘッドホン端子鍵盤低音側の左下前面にあります。ステレオ標準プラグのヘッドホンを使用してください。

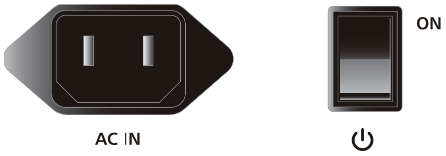


USB to DEVICE 端子

USB to DEVICE 端子は鍵盤高音側右上前面にあります。USB メモリや USB フロッピーディスクドライブを接続する端子です。
保存されている曲を再生したり、MP7で録音した曲をUSB メモリに保存することもできます。

3 リアパネル：端子

1 電源部



AC IN 端子

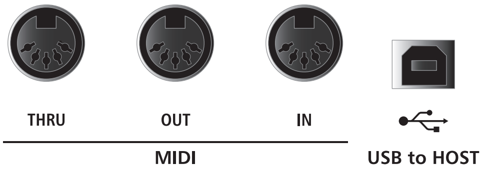
同梱の電源コードでAC100Vのコンセントに接続します。

電源スイッチ

電源のON/OFFを行います。
ご使用後は必ず電源をお切りください。

* オートパワーオフ機能を使用された場合は一定時間操作がないときに自動的に電源OFFします。
詳細はP.103をご確認ください。

2 MIDI セクション



MIDI THRU/OUT/IN 端子

MIDI規格に対応している楽器と接続する端子です。

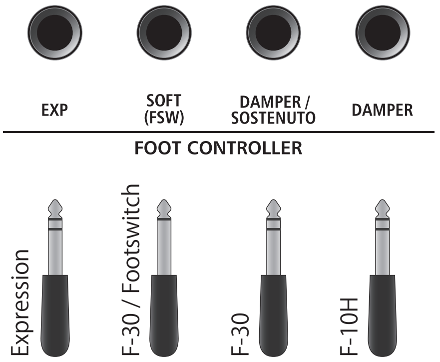
USB to HOST 端子

市販のUSBケーブルでコンピュータと接続すると、MIDI デバイスとして認識され、通常のMIDIインタフェイスと同様にMIDIメッセージを送受信することができます。

* ［USB to HOST］端子を使ってコンピューターと接続するには、ご使用のOSに依ってドライバ・ソフトウェアのインストールが必要になる場合があります。（P.112の「USB MIDI ドライバ」参照）

* MIDI IN/OUT端子とUSB to HOST端子は同時に使用可能です。MIDIの内部接続に関してはシステムメニューのMIDIの項（P.106）をご確認ください。

3 [FOOT CONTROLLER] セクション



* これらのフットコントローラーはエディットメニューでそれぞれ機能を割り当てることができます。
詳細はP.46をご確認ください。

EXP 端子

市販のエクスプレッションペダルと接続します。

SOFT（FSW）端子

KAWAIのF-30ペダル（別売）と接続します。市販のフットスイッチを接続することも可能です。

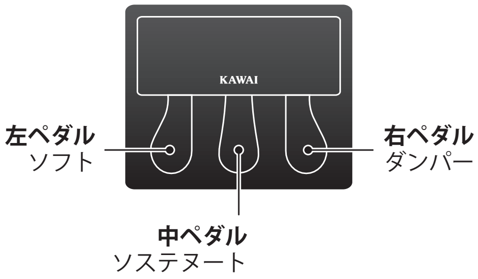
DAMPER/SOSTENUTO 端子

KAWAIのF-30ペダル（別売）を接続します。

DAMPER 端子

同梱のF-10H（ダンパーペダル）を接続します。

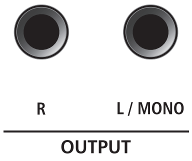
別売のKAWAI F-30ペダル（3本ペダル）について



別売のF-30ペダルを接続したとき、初期設定では左のペダルはソフトペダル、真ん中のペダルはソステヌートペダル、右のペダルはダンパーペダルとして機能します。

* これらの設定はエディットメニューのコントローラーの設定で変更可能です。
詳細はP.46をご確認ください。

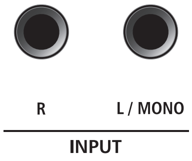
4 OUTPUT セクション



OUTPUT 端子

標準プラグを使って、本機とPA機器やキーボードアンプを接続します。L/MONO端子のみ接続した場合は、モノラル出力されます。

5 INPUT セクション

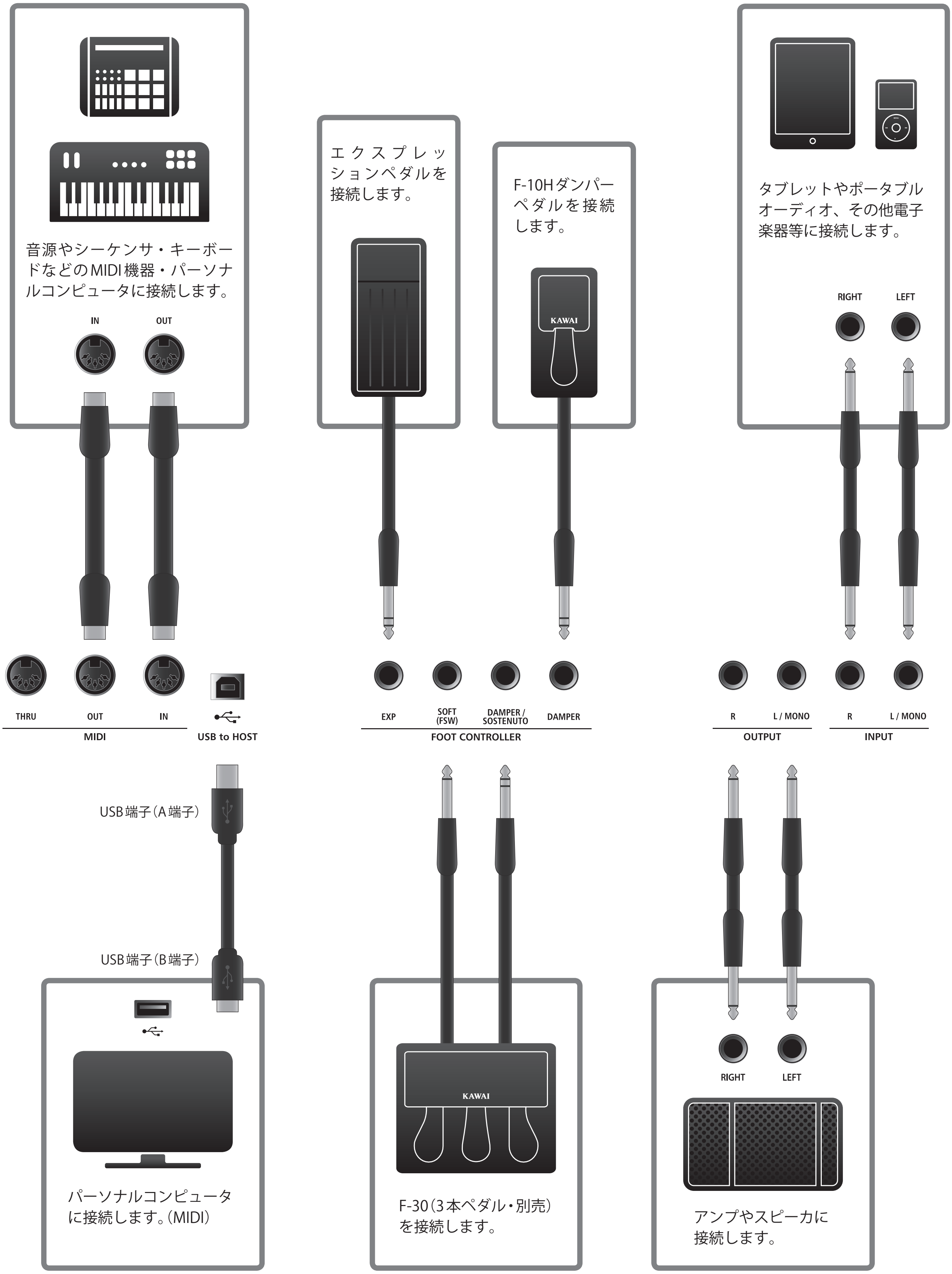


INPUT 端子

標準プラグを使って、本機と他の電子楽器やオーディオ機器を接続します。入力レベルは、LINE INフェーダーで調整します。L/MONO端子のみ接続した場合は、モノラル入力されます。

* ラインインから入力された音もオーディオレコーダーに録音されます。

他の機器との接続


音源やシーケンサ・キーボードなどのMIDI機器・パーソナルコンピュータに接続します。
IN
OUT
エクスプレッションペダルを接続します。
F-10Hダンパーペダルを接続します。
KAWAI
タブレットやポータブルオーディオ、その他電子楽器等に接続します。
RIGHT
LEFT
THRU
OUT
IN
MIDI
USB to HOST
EXP
SOFT (FSW)
DAMPER / SOSTENUTO
DAMPER
FOOT CONTROLLER
R
L / MONO
OUTPUT
R
L / MONO
INPUT
USB端子（A端子）
USB端子（B端子）
パーソナルコンピュータに接続します。（MIDI）
KAWAI
F-30（3本ペダル・別売）を接続します。
RIGHT
LEFT
アンプやスピーカに接続します。

セクションの内部接続

アンプ・スピーカの接続

MP7はスピーカを内蔵していませんので、PA機器やキーボードアンプ、またはヘッドホンと接続して演奏します。

オーディオ出力機器へ接続後、リアパネル右にある電源スイッチをONにしてMP7の電源を入れてください。

MP7のZONEについて

MP7は4つのZONE（MAIN,SUB1,SUB2,SUB3）をコントロールでき、それぞれのZONEは個別にON/OFFスイッチとボリュームがあります。それぞれのZONEは内部音色を制御するINTモード、外部MIDI機器をコントロールするEXTモード、またはその両方を制御するBOTHモードを備えています。

INTモードでは、ZONEに音色を割り当てる手順は各ゾーン共通です。ただし、MAIN ZONEと3つのSUB ZONEの間にはいくつかの相違点があります。MAIN ZONEは2つのEFXモジュールと1つのアンプシミュレータを持っていますが、SUB ZONEは1つのEFXモジュールのみです。
さらに、MAIN ZONEは2つのEFXモジュールにそれぞれ129種類のEFXを使用することが可能ですが、SUB ZONEの1つのEFXモジュールでは22種類のエフェクトのみ使用可能です。
最後に、MP7のトーンホイールオルガンモードはMAINゾーンでのみ使用することが可能です。
全ての音色はエディットメニュー内のパラメータ設定により、好みの音色に調整する事が可能です。

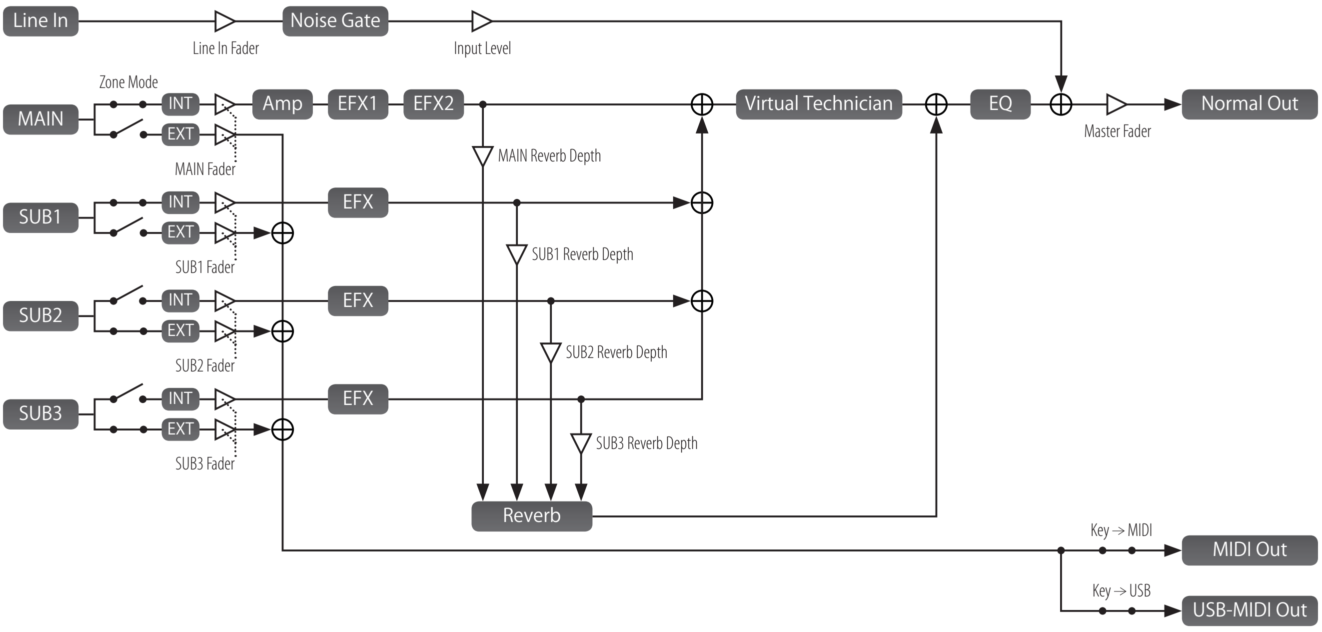
リバーブのセッティングは全てのZONEで共通ですが、Depth（深さ）パラメータはZONEごとに設定可能です。またEQも全てのZONEで共通ですが、エディットメニューのパラメータを調整する事により、個々の音色を個別に調整可能です。

ZONEをEXT（またはBOTH）に設定すると、外部MIDI機器をコントロールする事ができます。MAINとSUB ZONEは同じ機能を備え、4つのMIDIチャンネルを同時にコントロール可能です。INTモードと同様に様々なパラメータを設定でき（送信/受信チャンネル、MMC、鍵域指定、ノブアサイン等）、外部機器と通信します。

個々の音色を調整したら、それを音色のプリセットとして保存する事ができます。また全体の設定を256個のセットアップメモリに保存する事ができます。

MP7のブロック図

下の絵はMP7のブロック図を示します。



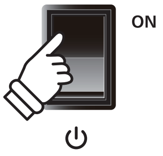
演奏ガイド

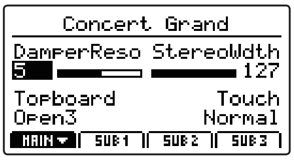
電源ケーブル、外部アンプ/ヘッドホン、ペダルを接続し、演奏の準備をしてください。
このページでは電源を入れ、MAIN ZONEとマスターボリュームの調整方法を説明します。

1. MP7の電源を入れる

電源スイッチを押します。

MP7の電源が入り、起動画面の後、通常演奏画面がディスプレイに表示されます。



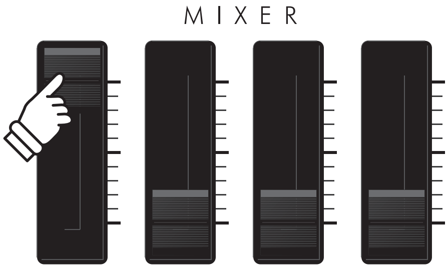


* 通常演奏画面についてはP.24をご確認ください。

* MP7は省エネのための自動電源OFF機能が搭載されています。
  詳細はP.103をご確認ください。

2. MAIN ZONEのボリュームを調整する

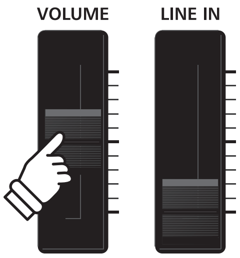
MAIN ZONEのボリュームフェーダーを動かします。



* ZONEボリュームの調整についてはP.20をご確認ください。

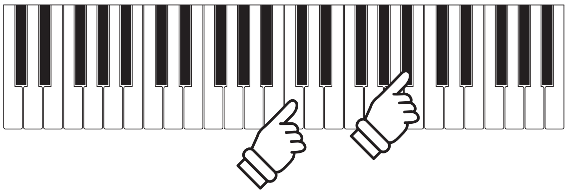
3. MP7のマスターボリュームを調整する

マスターボリュームを動かして全体の音量を調整します。

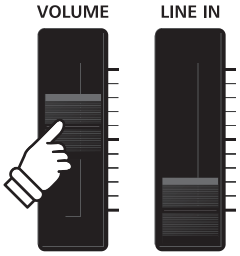


4. 演奏する

鍵盤を弾くと、"ConcertGrand1"の音がなります。



マスターボリュームを操作し、好みの音量に合わせてください。



音色を選択する

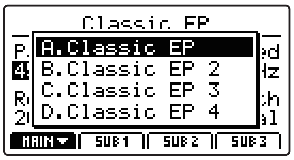
MP7は8つの音色カテゴリ、8つのサブカテゴリ、4つのバリエーションの組み合わせで合計256種類の様々な音楽スタイルに適したリアルで多彩な音色を選択可能です。
内蔵音色リストについてはP.114をご確認ください。

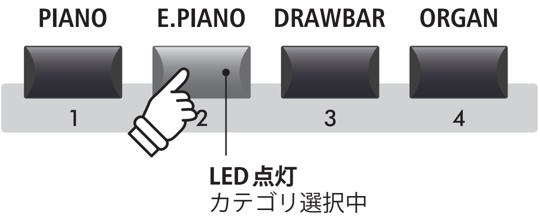
* 下の例は“60's EP 2”を選択する方法を書いています。その他の音色を選択する時も選択手順は同じです。

1. 音色カテゴリを選択する

目的の音色カテゴリボタンを押します。

カテゴリを選択するとLEDが点灯し、ディスプレイに音色リストが表示されます。



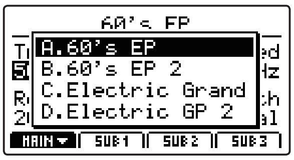


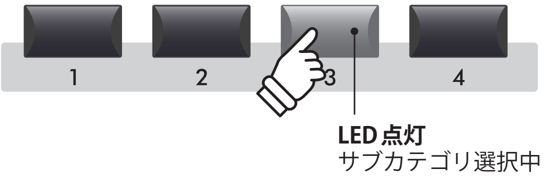
例） *Electric Piano音色カテゴリを選ぶときは[E.PIANO]ボタンを押します。*

2. 音色のサブカテゴリを選択する

目的の音色サブカテゴリボタンを押します。

サブカテゴリを選択するとLEDが点灯し、ディスプレイに音色リストが表示されます。



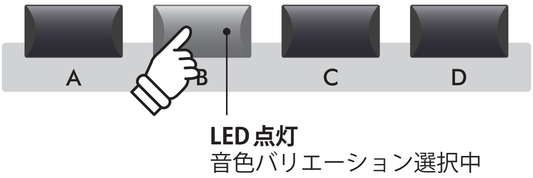


例） *3番目のサブカテゴリを選択する際はサブカテゴリの[3]ボタンを押します。*

3. 音色バリエーションを選択する

目的の音色バリエーションボタンを押します。

バリエーションを選択するとLEDが点灯し、ディスプレイの音色リストが表示されます。



例） *"60' EP 2"音色を選択するには、バリエーションボタンの[B]を押します。*

* 音色はカテゴリ→サブカテゴリ→バリエーションを順に押すことで選択します。
* 異なる音色カテゴリやサブカテゴリを選んだ場合、前回選んだバリエーションが選択されます。

ZONE機能

1 ZONEについて

MP7には4つのZONE（MAIN, SUB1, SUB2, SUB3）があります。この項では各ZONEのON/OFF、ボリューム調整と、2音色のレイヤー（音色を重ねて演奏すること）の操作方法について説明します。

ZONEのON/OFF

関連するZONEのボタンを押すとZONEがON/OFFします。

LEDが点灯しているときはそのZONEが有効、消灯しているときはそのZONEが無効となります。

ZONEのLEDが消灯している時は、ディスプレイ上の音色名の隣に"✱"マークが付きます。

* ZONEがOFFのとき、ディスプレイには自動的に前回選んだZONEの情報が表示されます。

ZONEボリュームの調整

それぞれのZONEボタンの上のボリュームフェーダーでそのZONEの音量を調節します。

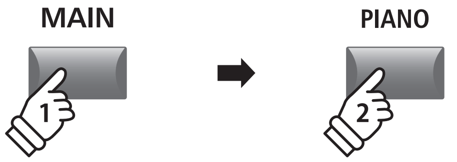
対応するZONEのフェーダーを上下することで音量を調整できます。

全てのZONEの音量を同時に調整したいときはマスターボリュームを操作してください。
（P.10参照）

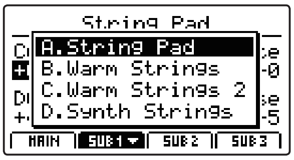
* トーンホイール音色を選択し、音色エディット画面をディスプレイに表示しているときは、これらのボリュームフェーダーをドローバーとして使用します。詳細はP.30をご確認ください。

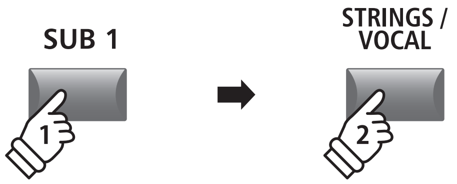
2音色を重ねる（ピアノとストリングスのレイヤー）

最初にMAIN ZONEをONにして、ピアノ音色を選択します。

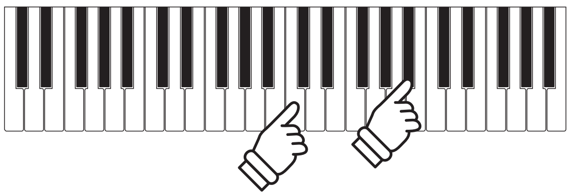


次にSUB1 ZONEをONにして、ストリングス音色を選択します。





鍵盤を弾くとピアノ音とストリングス音が重なってなります。ZONEフェーダーを使って個別に音量を調節します。



2 ZONE MODEについて (INT/EXT/BOTH)

MP7の4つのZONEはそれぞれ内部音色をコントロールするINTモード、外部MIDI機器をコントロールするEXTモード、その両方をコントロールするBOTHモードを備えています。この項では、それぞれのモードの違いの概要と、モードの変更方法について説明します。

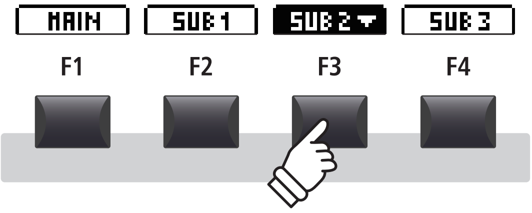
ZONE MODEの種類

Zone mode	説明	パネルの表示
INT	内部音色のみコントロールします。	INT | EXT ● | ○
EXT	外部MIDI機器のみコントロールします。	INT | EXT ○ | ●
BOTH	内部音色と外部MIDI機器を同時にコントロールします。	INT | EXT ● | ●

ZONEの選択

［F1］～［F4］ボタンを押して、目的のZONEを選択します。

選択されたZONEのパラメータがLCDに表示されます。

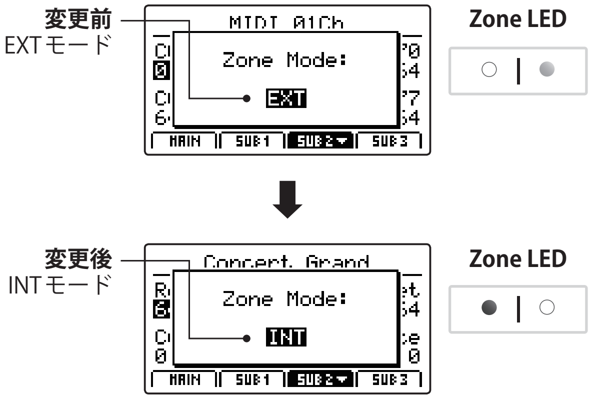


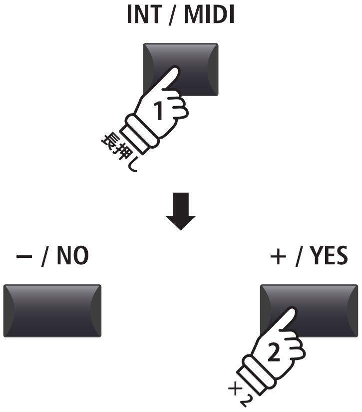
例） SUB2 ZONEを選択するには[F3]ボタンを押します。

ZONE MODEを変更する

[INT/MIDI]ボタンを押しながら、[+/YES] [-/NO]ボタンを押すことでZONE MODEが変わります。

ZONE MODEを表示するLEDとディスプレイに表示されるZONE MODEが変わります。





例） SUB2 ZONEをEXTモードからINTモードに変更するには、[F3]ボタンでSUB2 ZONEを選択し、その後[INT/MIDI]ボタンを押しながら[+/YES]ボタンを2回押します。

* 初期設定では、MAIN ZONEとSUB1 ZONEはINTモード、SUB2 ZONEとSUB3 ZONEはEXTモードに設定されています。

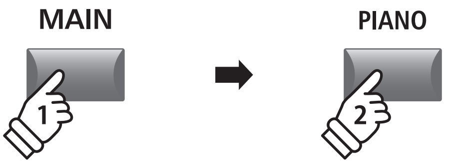
3 ZONE Key Range（ZONE の鍵域指定）

初期状態ではすべての ZONE は 88 鍵全部発音します。この鍵域指定機能を使うと、それぞれの ZONE は指定した鍵盤間のみ発音可能となり、指定した範囲外の鍵盤は発音（または MIDI OUT）しません。

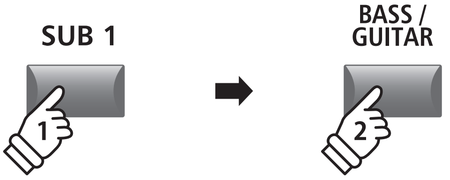
* 下の例は MAIN と SUB1 ZONE にピアノ音とベース音を割り当て、鍵域を指定して演奏する手順を説明しています。

1. MAIN ZONE と SUB1 ZONE に音色を割り当てる

最初に、MAIN ZONEをONにして、ピアノ音色を選択します。

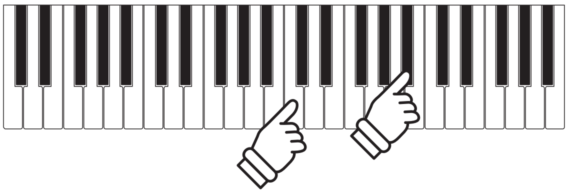


次に、SUB1 ZONE を ON にして、ベース音を選択します。



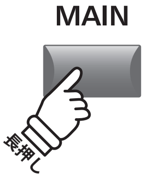
鍵盤を弾くと、88 鍵全ての鍵盤でピアノ音とベース音が重なって演奏されます。

次の手順では、MAINとSUB1の2つのZONEで鍵域を指定し、ピアノとベースを個別に演奏します。

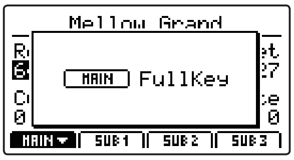


▌ZONE の鍵域を確認する

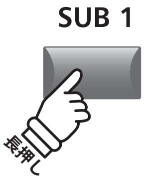
［MAIN］ボタンを長押しします。



現在の MAIN ZONE の鍵域がディスプレイに表示されます。



次に［SUB1］ボタンを長押しします。



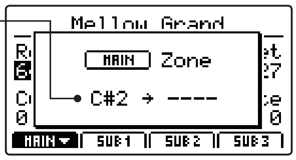
現在の SUB1 ZONE の鍵域がディスプレイに表示されます。

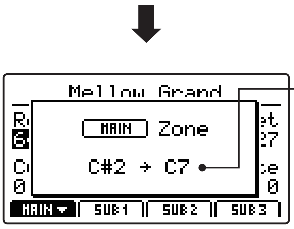
2. MAIN ZONEの鍵域を設定する

［MAIN］ボタンを押しながら、鍵域指定したい範囲の最低音を押し、次に鍵域指定したい範囲の最高音を押します。

押さえた鍵盤名がディスプレイに表示され、新しい鍵域がMAIN ZONEに設定されます。

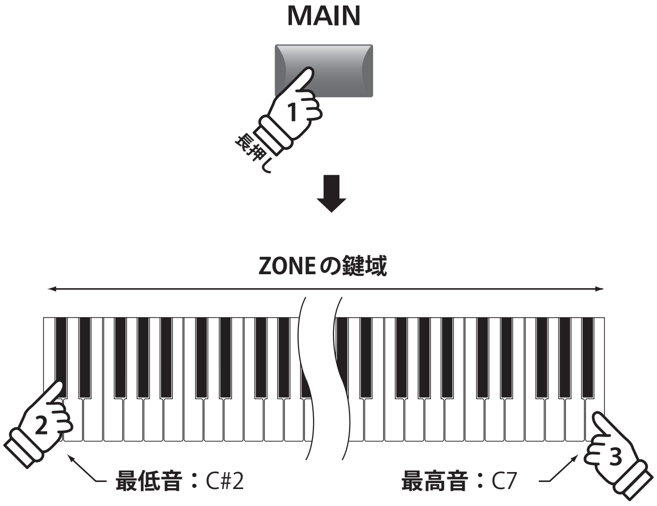
最低音
C#2





最高音
C7

鍵域が指定されると、［MAIN］ボタンのLEDの色が緑に変わります。



例）　MAIN ZONEの鍵域をC#2からC7までに設定するには、［MAIN］ボタンを押したままC#2鍵盤を押し、そのままC7鍵盤を押して［MAIN］ボタンを離します。

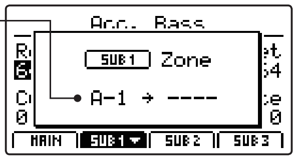
* 鍵域の指定はエディットメニューのKeySetupパラメータでも設定できます。詳細はP.43をご確認ください。

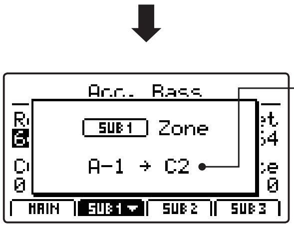
3. SUB1 ZONEの鍵域を設定する

［SUB1］ボタンを押しながら、鍵域指定したい範囲の最低音を押し、次に鍵域指定したい範囲の最高音を押します。

押さえた鍵盤名がディスプレイに表示され、新しい鍵域がMAIN ZONEに設定されます。

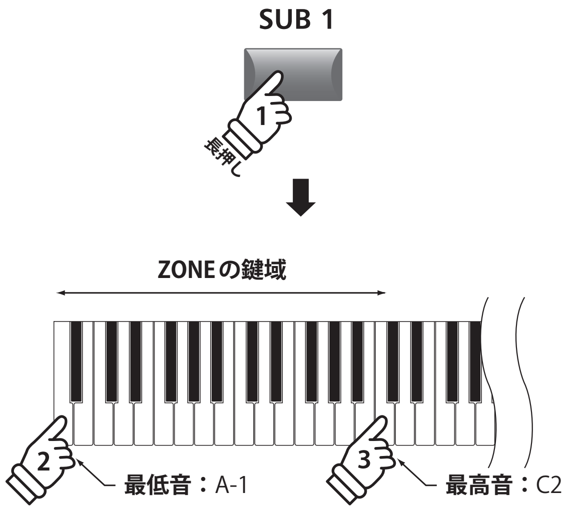
最低音
A-1





最高音
C2

鍵域が指定されると、［SUB1］ボタンのLEDの色が緑に変わります。



例）　SUB1 ZONEの鍵域をA-1からC2までに設定するには、［SUB1］ボタンを押したままA-1鍵盤を押し、そのままC2鍵盤を押して［SUB1］ボタンを離します。

* 鍵域の指定はエディットメニューのKeySetupパラメータでも設定できます。詳細はP.43をご確認ください。

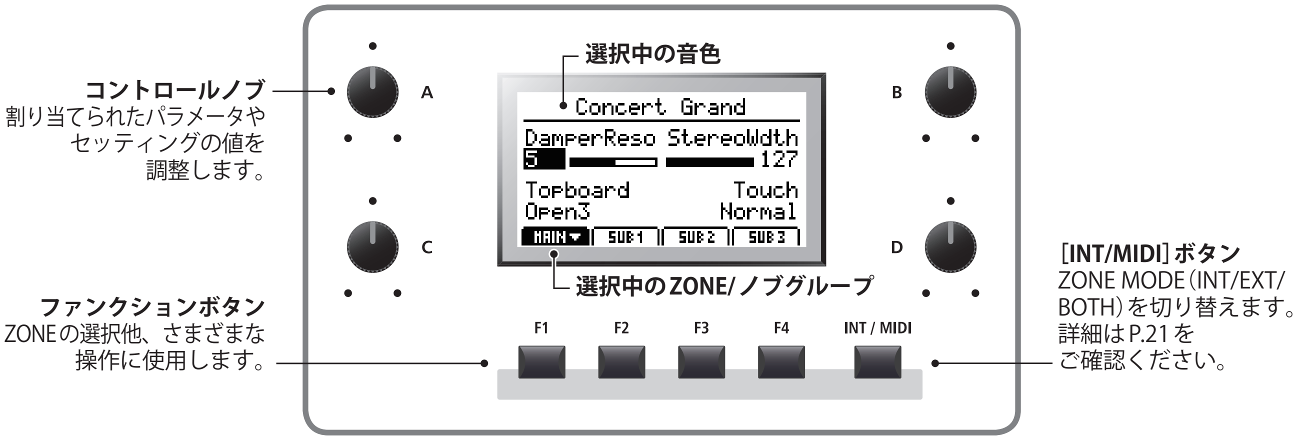
4. MAIN ZONEとSUB1 ZONEを演奏する

上記の設定のまま鍵盤を弾くと、C2鍵盤より低音側はベース音、C#2鍵盤より高音側はピアノ音が鳴ります。左手でベース、右手でピアノを演奏する際などに使用します。

ディスプレイ/コントロールノブ

通常の演奏モードでは、ディスプレイに選択されたセクションの音色名と4つの[A] [B] [C] [D]ノブのパラメータが表示されています。

それぞれのノブの機能はエディットメニューで割り当てることができ、様々なパラメータを、4 つのノブを使って演奏中リアルタイムにコントロールすることができます。さらに、MAIN、SUB1、SUB2、SUB3の4つのZONEのノブパラメータはそれぞれ2つのグループを持ち、幅広いコントロールが可能です。



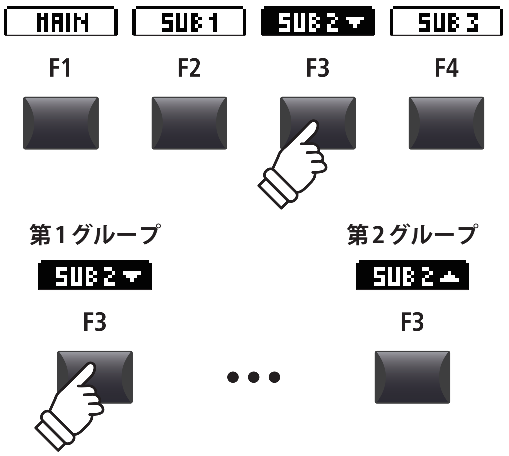
ZONEとノブグループを選ぶ

ディスプレイ下の[F1] [F2] [F3] [F4]ボタンを押して、目的のZONEを選択します。

選んだZONE名が反転し、選択中の音色のノブパラメーターの第1グループが表示されます。

再度同じファンクションボタンを押すと、ノブパラメータの第2グループが表示されます。

* エディットメニュー内で同じファンクションボタンを押すと、次のパラメータページに移動します。



ZONE MODEを変更する（[INT/MIDI]ボタン）

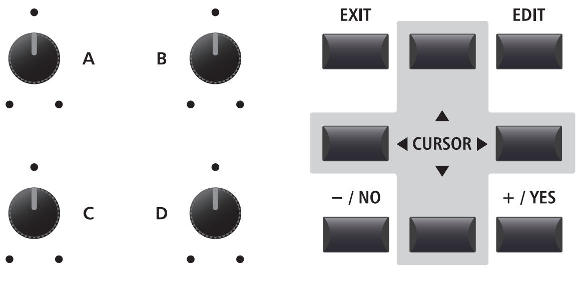
ZONE MODEの変更についての詳細はP.21をご確認ください。

パラメータを調整する

ディスプレイ横の4つのコントロールノブを回して、表示されたノブグループのパラメータを調整します。

* それぞれのノブの機能はエディットメニューで割り当てることができます。
（P.48の「7 Knob Assign（ノブアサイン）」参照）

[CURSOR]ボタンでカーソルを移動し、[+/YES] [-/NO]ボタンで、値を調整することもできます。



エフェクト

1 Reverb（リバーブ）

リバーブは、MP7の音に残響効果を加えます。MP7は6種類の高品位なリバーブを用意しています。リバーブの種類といくつかのパラメータは全ZONEで共通ですが、各ZONE毎に［ON/OFF］ボタンがあり、DEPTH（リバーブの深さ）はZONE毎に調整できます。

* エディットメニューのREVERB Type/Pre Delay/Timeパラメータは全てのZONEで共通です。

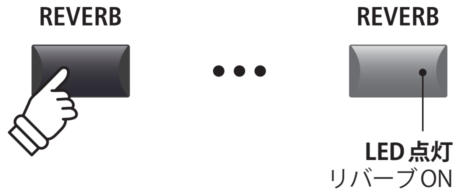
リバーブタイプ

Reverb type	説明
Room	小さな部屋での残響音をシミュレートしています。
Lounge	ラウンジでの残響音をシミュレートしています。
Small Hall	小さなホールでの残響音をシミュレートしています。
Concert Hall	コンサートホールでの残響音をシミュレートしています。
Live Hall	ライブホールでの残響音をシミュレートしています。
Cathedral	大聖堂での残響音をシミュレートしています。

リバーブのON/OFF

目的のZONEの［REVERB］ボタンを押して、そのZONEのリバーブをON/OFFします。

［REVERB］ボタンが点灯/消灯して、リバーブの現在の状態を示します。



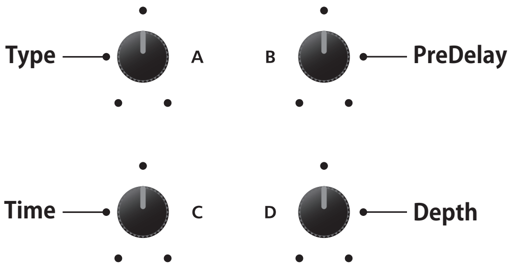
リバーブタイプやパラメータを変更する

変更したいZONEの［REVERB］ボタンを長押しします。

現在選ばれているZONEのエディットメニューのリバーブ設定ページがディスプレイに表示されます。

4つのコントロールノブを回して、リバーブタイプやその他のパラメータを調整します。

再度［REVERB］ボタンを長押しし、設定ページから抜けます。



リバーブパラメータ

ノブ	パラメータ	説明	値
A	Type	リバーブの種類を選びます。	−
B	PreDelay	残響が始まるまでの時間を設定します。	0 〜 200 ms
C	Time	残響の長さを設定します。	300 ms 〜 10.0 s（タイプにより異なる）
D	Depth	残響の深さを設定します。	0 〜 127

2 EFX（エフェクト）

リバーブ以外にもそれぞれのZONEに割り当てた音色にエフェクトを加える事ができます。
MP7は129種類の高品位なエフェクトを用意しており、ユーザーの好みのエフェクトを割り当てる事もできます。
内蔵音色にはあらかじめ推奨のエフェクトが割り当てられており、ボタンによりON/OFFの切り替えができます。

エフェクトはZONEごとに系統が用意されていますので、各ZONEに異なるエフェクトを加える事ができます。
MAIN ZONEとSUB1/SUB2/SUB3 ZONEは同じ操作ですが、これらのZONE間にはいくつかの違いがあります。
MAIN ZONEには129種類（2系統）のエフェクトを加える事ができます。
SUB1/SUB2/SUB3 ZONEには22種類（1系統）のエフェクトを加える事ができます。

■ EFX（エフェクト）の仕様：MAINとSUB1/SUB2/SUB3

	MAIN ZONE	SUB1/SUB2/SUB3 ZONE
エフェクトの系統数	2系統（直列、個別に調整可能）	1系統ずつ（個別に調整可能）
使用可能なエフェクトの種類	129種類	22種類
アンプシミュレータ	有り	無し

■ 使用可能なエフェクトの種類：MAIN ZONEとSUB1/SUB2/SUB3 ZONE

カテゴリ		M	S
1	Chorus	8	2
2	Flanger	5	2
3	Phaser	6	1
4	Wah	6	3
5	Tremolo	6	3
6	AutoPan	4	1

カテゴリ		M	S
7	Delay/Rev	8	2
8	PitchShift	3	1
9	Compressor	2	1
10	OverDrive	3	2
11	EQ/Filter	5	2
12	Rotary	5	1

カテゴリ		M	S
13	Groove	4	1
14	Misc.	2	-
15	Chorus+	6	-
16	Phaser+	6	-
17	Wah+	6	-
18	EQ+	8	-

カテゴリ		M	S
19	Enhancer+	8	-
20	P.Shift+	6	-
21	Comp+	8	-
22	OverDrive+	8	-
23	Parallel	6	-
TOTAL		129	22

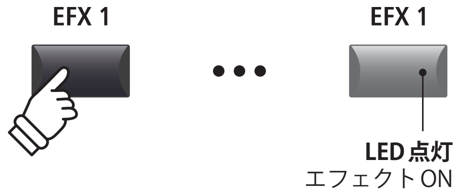
* 15 ～ 23はコンビネーションエフェクトです

* カテゴリ、タイプ、パラメータについての詳細はP.116をご確認ください。

■ エフェクトをON/OFFする

ON/OFFしたいZONEのEFXボタン（MAIN ZONEは[EFX1][EFX2]ボタン）を押すと、そのZONEのエフェクトがON/OFFします。

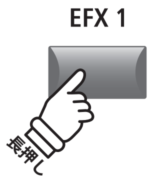
[EFX]ボタンのLEDがON/OFFして、エフェクトの現在の状態を示します。

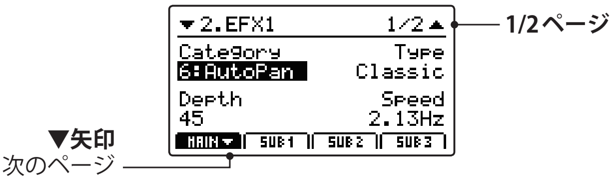


エフェクトのカテゴリ、タイプ、パラメータを変更する

エフェクトを変更したいZONEの[EFX]ボタンを長押しします。

エディットメニュー、EFX調整ページの最初のページがディスプレイに表示されます。



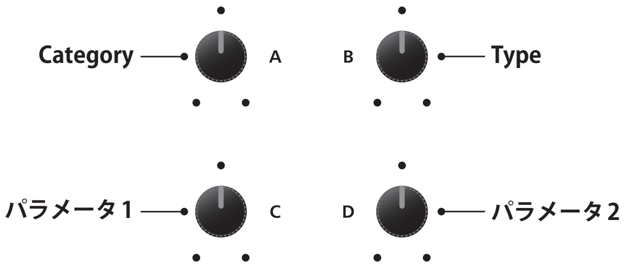


ノブ[A][B][C][D]を操作し、エフェクトカテゴリ、タイプ、パラメータを変更します。

* エフェクトのパラメータ名やパラメータ数はタイプによって異なります。
  詳細はP.116をご確認ください。

* 現在選択中のZONEに対応した[F1] ～ [F4]ボタンを押すことで、次のパラメータのページに移動します。

再び[EFX]ボタンを長押しすると、エフェクトのエディット画面の最初のページに戻り、さらにもう一度長押しすると通常演奏画面に戻ります。



* 上記のノブの機能はエフェクトのページによって変わります。

SUB1/SUB2/SUB3 ZONEの代替エフェクトについて

エフェクトタイプはMAIN ZONEには129種類、SUB ZONEには22種類選択可能です。

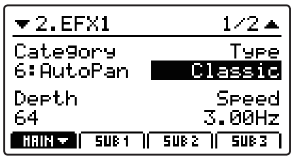
MAIN ZONEでしか使うことのできないエフェクトを音色に割り当てた状態で、その音色をSUB ZONEに割り当てると、SUB ZONEで使用可能なエフェクトに自動的に置き換わります。 FX アイコンは現在代替エフェクトが割り当てられている事を示します。

下の例ではMAIN ZONEでのみ使用可能なAuto Pan (Classic) をMAIN ZONEの音色に割り当て、その後その音色をSUB ZONEに割り当てると、SUB ZONEで使用可能なAuto Pan (Standard) に自動的に置き換えられる例を示しています。

* EFX1のみが置き換えられます。EFX2に割り当てられているエフェクトはSUB ZONEでは無視されます。

MAIN ZONEの
EFX1エディット画面

Auto Pan (Classic) が
MAIN ZONEの音色に
割り当てられています。



SUB1 ZONEの
EFXエディット画面

SUB1に同じ音色が割り当てられた時、
Auto Pan (Standard) が自動的に割り当てられます。

3 アンプシミュレータ（MAIN ZONEのみ）

アンプのスピーカやキャビネットの音色のキャラクターはビンテージエレピやオルガンなどの音色にとって、重要な要素です。
MP7のアンプシミュレータは5つのアンプタイプと様々なパラメータを調整する事ができます。

アンプの種類

Amp type	説明
S. Case	スーツケースタイプのアンプで主にビンテージエレピに使用されます。
M. Stack	ポピュラーなスタックタイプの真空管アンプをシミュレートしています。
J. Combo	代表的なトランジスタアンプをシミュレートしています。
F. Bass	真空管ベース・アンプをシミュレートしています。
L. Cabi	ドローバーオルガン等に好んで使用されるアンプをシミュレートしています。

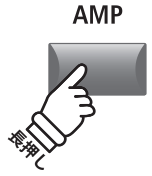
アンプシミュレータのON/OFF

MAIN ZONEの［AMP］ボタンを押して、アンプシミュレータをON/OFFします。

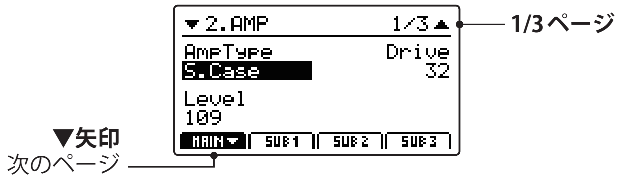
［AMP］ボタンが点灯/消灯して、アンプシミュレータの現在の状態を示します。

アンプの種類の変更とドライブ、レベルの調整

MAIN ZONEの［AMP］ボタンを長押しします。



エディットメニューのアンプのページがディスプレイに表示されます。

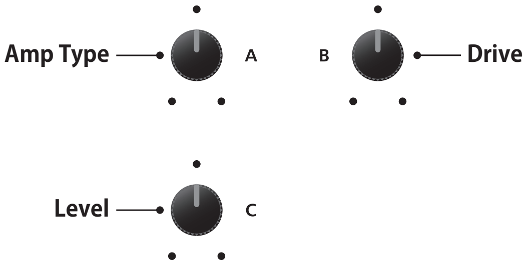


ノブ［A］［B］［C］を操作し、アンプの種類、ドライブ、レベルを調整します。

* アンプシミュレータのパラメータの詳細はP.39をご確認ください。

* ［F1］ボタンを押すと別のパラメータのページに移動します。

［AMP］ボタンを長押しするとアンプのエディット画面の最初のページに戻り、さらにもう一度長押しすると通常演奏画面に戻ります。



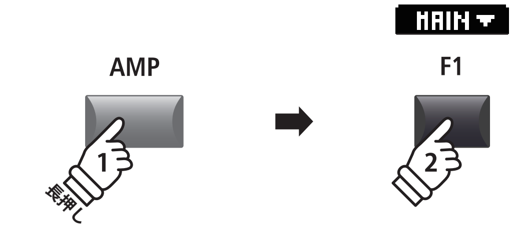
* 上記のノブに割り当てられるパラメータはアンプのページによって変わります。

▌アンプシミュレータのパラメータ

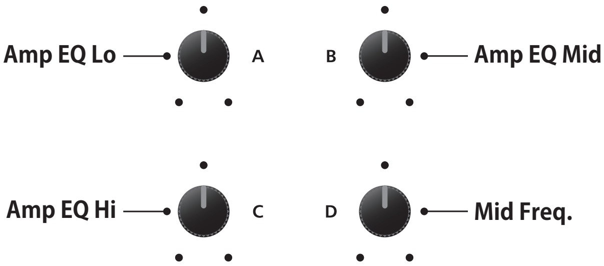
ページ	ノブ	パラメータ	説明	値
1	A	Amp Type	アンプタイプを変更します。	P.28参照
	B	Drive	アンプのドライブレベルを調整します。	0 ～ 127
	C	Level	アンプのボリュームを調整します。	0 ～ 127
2	A	Amp EQ Lo	アンプの低音域のゲインを調整します。	–10 dB ～ +10 dB
	B	Amp EQ Mid	アンプの中音域のゲインを調整します。	–10 dB ～ +10 dB
	C	Amp EQ Hi	アンプの高音域のゲインを調整します。	–10 dB ～ +10 dB
	D	Mid Frequency	アンプの中音域の中心周波数を調節します。	200 Hz ～ 3150 Hz
3	A	Mic Type	アンプの音を集音するマイクの種類を選択します。	Condenser, Dynamic
	B	Mic Position	マイクの配置を調整します。	OnAxis, OffAxis
	C	Ambience	遠くに配置されたステレオマイクのミキシング割合を調整します。	0 ～ 127

▌アンプシミュレータのパラメータ調整

MAIN ZONEの[AMP]ボタンを長押しし、さらに[F1]ボタン(MAIN)を押すと、アンプの調整ページの2ページ目のパラメータがディスプレイに表示されます。

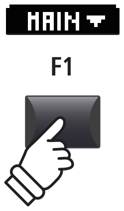


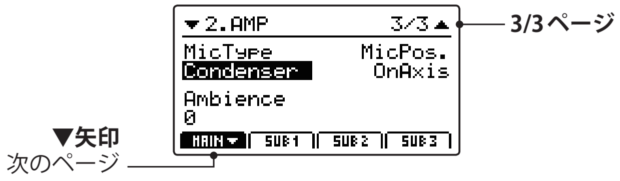
ノブ[A][B][C][D]を回すと表示されているEQ Lo、Mid、Highのゲインと Midの周波数を調整する事ができます。



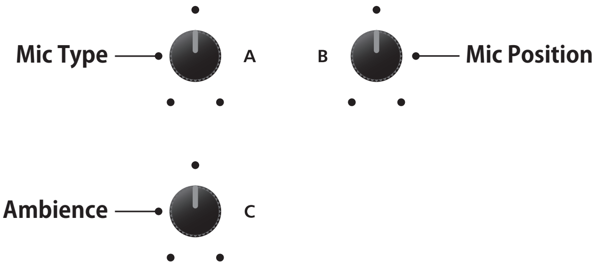
[F1]ボタンを再度押します。

エディットメニュー、アンプ調整ページの3ページ目のパラメータがディスプレイに表示されます。





ノブ[A][B][C]を回すと、マイクタイプ、ポジション、及びアンビエンスのパラメータを調整する事ができます。



トーンホイールオルガンモード

MP7はトーンホイールオルガンをモデリングした音色を持っています。トーンホイール音色は16′, 5 ⅓′, 8′, 4′, 2 ⅔′, 2′, 1 ⅗′, 1 ⅓′, 1′の合計9本のドローバーの引き出し具合、またパーカッションのセッティングでその音色を決定します。

トーンホイール音色はMAIN ZONEでのみ使用可能で、[DRAWBAR]音色カテゴリのサブカテゴリ[1][2][3]がトーンホイール音色です（バリエーション[A]～[D]）。

トーンホイールオルガンモードでドローバー、パーカッション、ロータリースピーカーのコントロールなどの調整を行います。ディスプレイにトーンホイール音色エディット画面が表示されているときは、ZONEフェーダーとノブ、[+/YES][-/NO]ボタンをドローバーのコントローラーとして使用し、ZONE ON/OFFスイッチ（[MAIN][SUB1][SUB2][SUB3]）をパーカッションのコントローラーとして使用します。

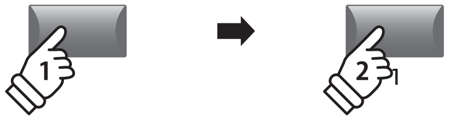
1. トーンホイール音色を選択する

MAIN ZONEを選択した状態で：

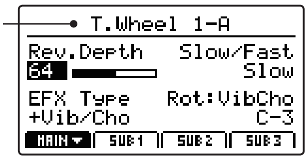
音色カテゴリから[DRAWBAR]を選択し、サブカテゴリの[1][2][3]のいずれかを選択します。

選択したボタンが点灯し、選択されたドローバー音色がディスプレイに表示されます。

DRAWBAR



選択した
トーンホイール
音色



* トーンホイール音色はMAIN ZONEでのみ使用可能です。

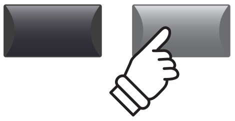
2. トーンホイール音色エディット画面を表示する

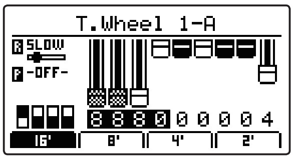
[SW2]ボタンを押します。

[SW2]ボタンが点灯し、トーンホイール音色のエディット画面がディスプレイに表示されます。

* トーンホイール音色エディット画面は、トーンホイール音色を選択した状態でエディットメニューの"3.SOUND"のページに入ることでも表示されます。

SW 1　SW 2





* 初期設定では[SW2]ボタンに"TW Control"が割り当てられておりますが、設定を変更した場合はトーンホイール音色エディット画面は表示されません。

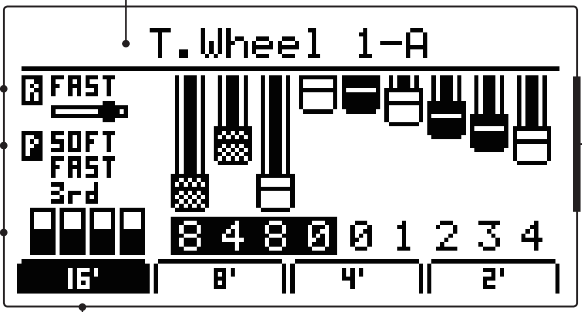
* [SW1][SW2]ボタンへ割り当てられる機能の詳細についてはP.46をご確認ください。

▌トーンホイール音色エディット画面

選択中のトーンホイール音色
この例ではDRAWBAR-1-A

ロータリースピード
ロータリーエフェクトのスピードを表示します。
[SW1]/FSWを押す度に'Fast'⇔'Slow'が切り替わります。

パーカッション設定
オルガン音色の音の立ち上がりにアタック音を加えます。
ZONE ON/OFFボタンで切りかえます。
左から（ON/OFF, Soft/Normal, Fast/Slow, 3rd/2nd）



ドローバーレジストレーション
オルガンのドローバーセッティングを表示します。
フェーダー、ノブ、ボタンで調整します。

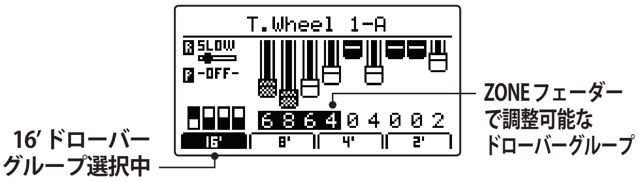
* トーンホイール音色のドローバーレジストレーションは外部MIDIコントローラーでも調整可能です。詳細はP.42をご確認ください。

選択中のドローバーグループ
現在どのドローバーがフェーダー/ノブ/ボタンに割り当てられているかを表示します。

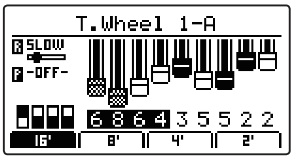
ドローバーレジストレーションの調整

トーンホイール音色エディット画面で16′グループが選択された状態で：

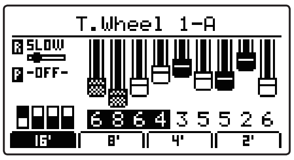
ZONEフェーダー（MIXERフェーダー）を操作すると、16′から最初の4本を操作できます。

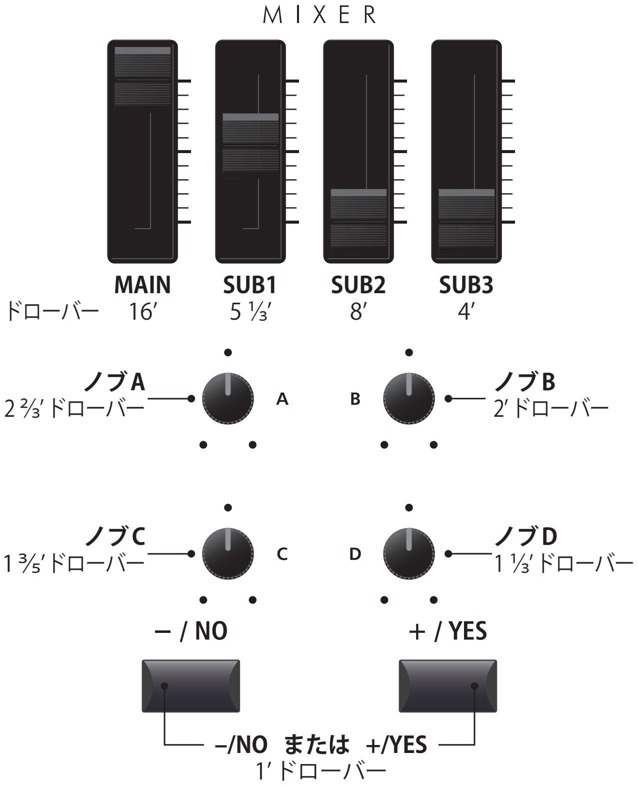


[A] [B] [C] [D]ノブを回すと次の4本のドローバーを操作できます。



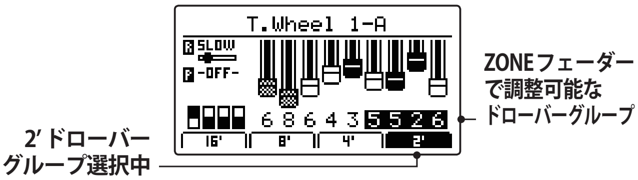
最後に[+/YES]［-/NO］ボタンを押すことで最後のドローバーを操作できます。

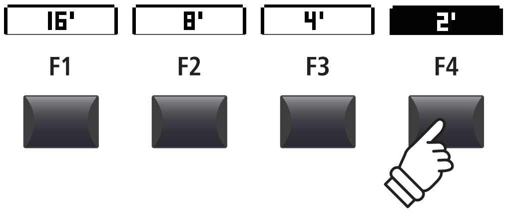




ドローバーグループを変更する

［F1］～［F4］ボタンを押すことで、どのドローバーをZONEフェーダーで操作するか（ドローバーグループ）を選択します。



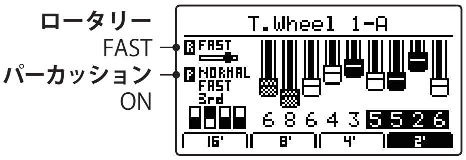


* ノブと[+/YES]［-/NO］ボタンへのドローバー割り当ては選択されているドローバーグループによって変わります。

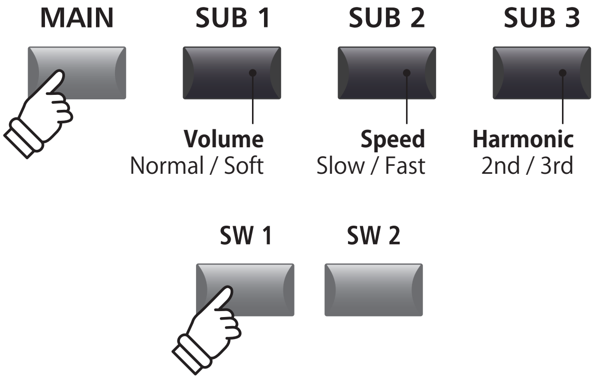
パーカッションセッティングとロータリーエフェクトのスピード

トーンホイール音色エディット画面で：

［MAIN］ボタンを押すとパーカッションがON/OFFできます。［SUB1］［SUB2］［SUB3］ボタンでパーカッションの音色を調整できます。



［SW1］ボタンを押す（またはFSWをONする）と、ロータリースピードが変化します。（SLOW ⇔ FAST）



* ［SW1］［SW2］ボタンへ割り当てられる機能の詳細についてはP.46をご確認ください。

GLOBAL セクション

1 EQ

EQは4バンドのグラフィックイコライザで、MID1とMID2の周波数と帯域は調整可能です。
内部音色全体に効きます。

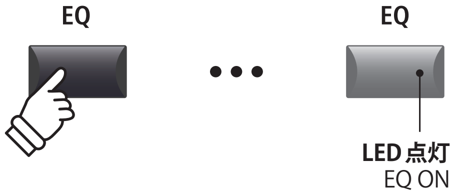
イコライザのセッティングは全ZONEで共通です。

* コモンパラメータの詳細については P.36をご確認ください。

EQをON/OFFする

[EQ]ボタンを押すとEQがON/OFFします。

[EQ]ボタンのLEDがON/OFFの状態を示しています。



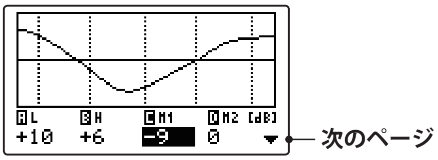
EQのパラメータ

ページ	ノブ	パラメータ	説明	値
1	A	Low Gain	低音域(20 〜 100Hz)のゲインを調整します。	–10 dB 〜 +10 dB
	B	High Gain	高音域(5k 〜 20kHz)のゲインを調整します。	–10 dB 〜 +10 dB
	C	Mid1 Gain	中音域1(200 〜 3150Hz・可変)のゲインを調整します。	–10 dB 〜 +10 dB
	D	Mid2 Gain	中音域2(200 〜 3150Hz・可変)のゲインを調整します。	–10 dB 〜 +10 dB
2	A	Mid1 Q	中音域1のQ値(帯域幅)を設定します。	0.5 〜 4.0
	B	Mid2 Q	中音域2のQ値(帯域幅)を設定します。	0.5 〜 4.0
	C	Mid1 Freq.	中音域1の中心周波数を調整します。	200 Hz 〜 3150 Hz
	D	Mid2 Freq.	中音域2の中心周波数を調整します。	200 Hz 〜 3150 Hz

EQのパラメータの調整

[EQ]ボタンを長押しします。

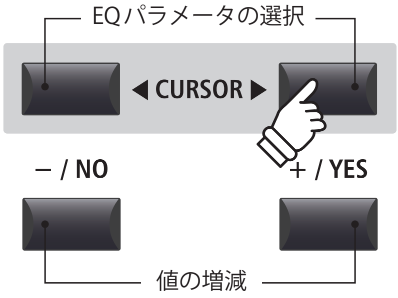
周波数特性を表すページがディスプレイに表示されます。
(ゲイン調整のページ)



カーソルの左右ボタンを押して調整したいEQパラメータを選択し、[+/YES]ボタンまたは[-/NO]ボタンを押して値を調整します。

また、ノブ[A][B][C][D]を回すことでも画面上で対応する値を調整する事ができます。

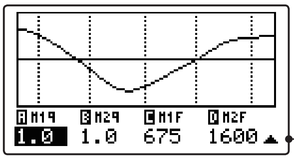
* [F1] 〜 [F4]ボタンはパラメータ選択にも使用できます。また、選択されているパラメータに対応する[F1] 〜 [F4]ボタンを再度押すと、帯域・周波数設定ページに移動します。

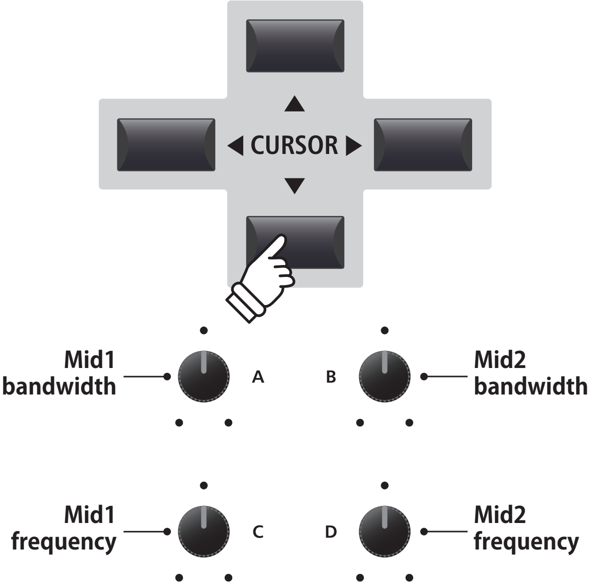


▌EQのパラメータの調整（続き）

EQのゲイン調整ページが表示されている状態でカーソルボタンの[▼]ボタンを押します。

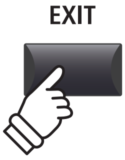
帯域・周波数設定ページがディスプレイに表示されます。





カーソルの左右ボタンを押して調整したいEQパラメータを選択し、[+/YES]ボタンまたは[-/NO]ボタンを押して値を調整します。

また、ノブ[A] [B] [C] [D]を回すことでも画面上で対応する値を調整する事ができます。



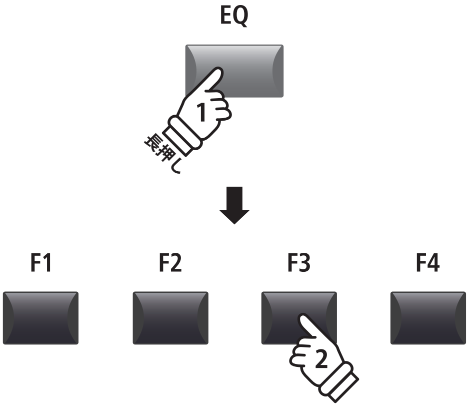
[EXIT]ボタンを押すと、メイン画面に戻ります。

▌EQ Offsetへのショートカット

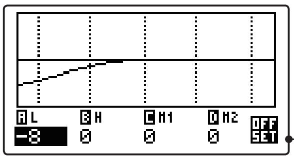
EQ Offsetはシステムメニューのパラメータで、EQで設定された値を補正（オフセット）する機能です。設定されたEQを変更することなく、システム全体のEQを補正することで、演奏環境に合わせてEQ設定を調整する事ができます。このショートカット機能により、EQオフセット機能の調整ページに移動する事ができます。EQ OffsetのON/OFFはシステムメニュー内にあります。

ショートカットの方法：

[EQ]ボタンを長押しし、そのまま[F1] ～ [F4]ボタンを押します。

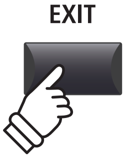


EQ Offsetの画面がディスプレイに表示されます。



EQ OffsetパラメータはEQパラメータの調整方法と同じです。

* EQ Offsetで調整された値はGlobalセクションのEQで設定された値に加算されます。(-10dB ～ +10dBを最大とする)



[EXIT]ボタンを押すとEQ画面に戻ります。
再度[EXIT]ボタンを押すと、メイン画面に戻ります。

2 Transpose

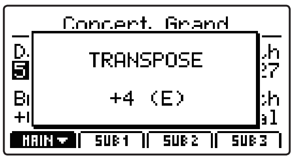
トランスポーズ(移調)機能を使って、本機全体の音程を半音単位で変更することができます。

キー（調)の異なる楽器とのアンサンブル演奏や歌の伴奏をする時にとても便利です。弾く鍵盤を変えずに簡単に移調できます。

トランスポーズ値の設定：方法1

[TRANSPOSE]ボタンを押さえたまま、[-/NO][+/YES]ボタンを押して、半音単位でトランスポーズ値を増減します。

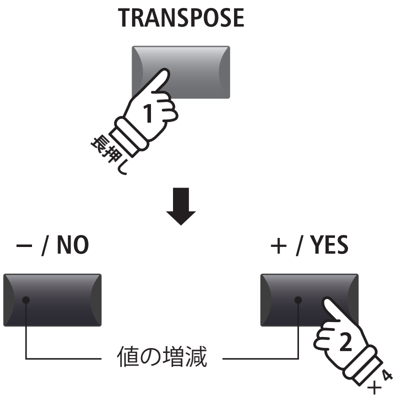
* トランスポーズ値は、-24 〜 +24(4オクターブ)の範囲で設定できます。



[TRANSPOSE]ボタンが点灯/消灯して、トランスポーズの現在の状態を示します。

* トランスポーズ設定画面で[-/NO][+/YES]ボタンを同時押しすると、トランスポーズ値は0へ戻ります。この時、[TRANSPOSE]ボタンは自動的に消灯します。

* トランスポーズの値はシステムに自動的に保存されますが、ON/OFFの状態は保存されません。



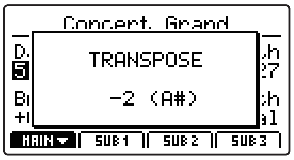
例） 4半音分、移調(上げる)したい場合
[TRANSPOSE]ボタンを長押しし、押したまま[+/YES]ボタンを4回押し、[TRANSPOSE]ボタンを離します。

トランスポーズ値の設定：方法2

[TRANSPOSE]ボタンを押さえたまま、中央のC(ド)の左右の鍵盤を押さえます。

押さえた鍵が、新たなトランスポーズ値となります。

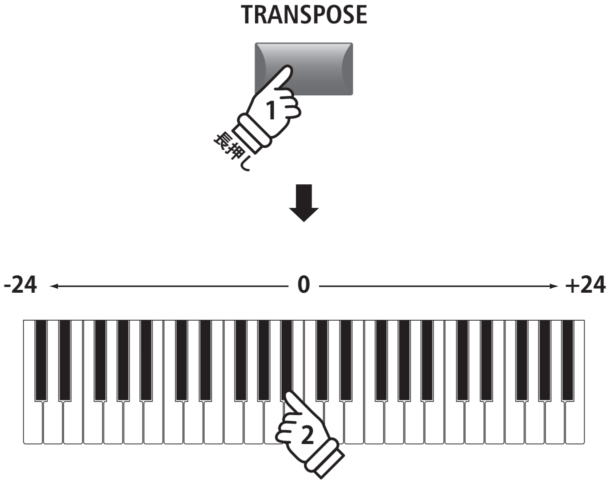
* トランスポーズ値は、-24 〜 +24(4オクターブ)の範囲で設定できます。



[TRANSPOSE]ボタンが点灯/消灯して、トランスポーズの現在の状態を示します。

* トランスポーズ設定画面で[-/NO][+/YES]ボタンを同時押しすると、トランスポーズ値は0へ戻ります。この時、[TRANSPOSE]ボタンは自動的に消灯します。

* トランスポーズの値はシステムに自動的に保存されますが、ON/OFFの状態は保存されません。



例） 2半音分、移調(下げる)したい場合
[TRANSPOSE]ボタンを長押しし、押したまま中央のCの下のB♭鍵を押し、[TRANSPOSE]ボタンを離します。

▌トランスポーズのON/OFF

［TRANSPOSE］ボタンを押して、トランスポーズをON/OFFします。

［TRANSPOSE］ボタンが点灯/消灯して、トランスポーズの現在の状態を示します。

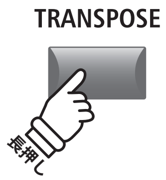
* トランスポーズがOFFされた後もトランスポーズ値を覚えていますので、［TRANSPOSE］ボタンのON/OFFで簡単に設定した調に切り換えることができます。

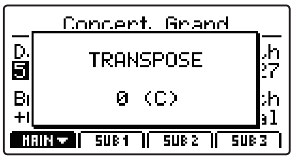
▌トランスポーズの値を表示させる

［TRANSPOSE］ボタンを長押します。

現在のトランスポーズの値がディスプレイに表示されます。

* 値が0（初期値）の時は、トランスポーズはかかりません。





3 LOCAL OFF（ローカルオフ）

ローカルオフボタンでMP7の鍵盤と内部音源の接続をコントロールします。
内部音色のON/OFF設定を変えずに、外部のMIDI機器をコントロールするときなどに便利です。

▌LOCAL OFF機能

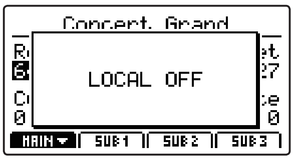
［LOCAL OFF］ボタンのLED	説明
OFF（初期状態）	外部機器と内部音源の両方に鍵盤演奏情報を送ります。
ON	外部機器にのみ鍵盤演奏情報を送り、内部音源は発音しません。

▌ローカルオフ機能のON/OFF

［LOCAL OFF］ボタンを押します。

LEDがローカルオフの状態を表示します。

LOCAL OFFの状態がLCDに表示されます。



エディットメニューの概要（INTモード）

エディットメニューには、MP7のMAIN/SUB ZONEのINTモード時の設定を変更することができる様々なパラメータがあります。パラメータはカテゴリごとにまとめられており、容易に目的のパラメータにアクセスできます。

* エディットメニューはEXTモードのZONEでも使用する事が可能です。（P.52をご確認ください）

このパラメータ群は、他の調整可能な設定とともにセットアップメモリに保存できます。（P.62の「ストアセットアップ」参照）
MP7は、8×8×4=256個のセットアップメモリを用意しています。

コモンパラメータ（Cアイコン）について

基本的にMAIN、SUB1、SUB2、SUB3 ZONEのパラメータ設定はそれぞれのZONEに独立して設定可能ですが、Cアイコンで印のつけられたパラメータは全ZONE共通のパラメータです。 例えば、C Reverb TypeをMAIN ZONEで変更すると、自動的にSUB1、SUB2、SUB3 ZONEのC Reverb Typeパラメータも変更されます。

INTモードのZONEパラメータ

No.	カテゴリ	パラメータ
1	REVERB	C Type, C Pre Delay, C Time, Depth
2	EFX	Category, Type, Parameters (prm1~prm10, depending on EFX type)
	AMP	Amp Type, Drive, Level, Amp EQ Lo, Amp EQ Mid, Amp EQ Hi, Mid Freq., Mic Type, Mic Position, Ambience
3	Sound	Volume, Panpot, Filter Cut-off, Filter Resonance, DCA Attack Time, DCA Decay Time, DCA Sustain Level, DCA Release Time, DCF Attack Time, DCF Attack Level, DCF Decay Time, DCF Sustain Level, DCF Release Time, DCF Touch Depth, DCA Touch Depth, Vibrate Depth, Vibrate Rate, Vibrate Delay, Octave Layer Switch, Octave Layer Level, Octave Layer Range, Octave Layer Detune, Portamento, Porta. Time, Porta. Mode TONEWHEEL: Drawbar Position, Percussion, Perc. Level, Perc. Decay, Perc. Harmonic, Volume, SYS Ext. Control
4	Tuning	Fine Tune, Stretch Tuning, Temperament, Key of Temperament
5	Key Setup	C Touch Mode, Touch Curve, Octave Shift, Zone Transpose, Key Range Zone Lo, Key Range Zone Hi, Velocity Switch, Velocity Switch Value, Key Scaling Damping, Key Scaling Key, Dynamics, Solo, Solo Mode
6	Controllers	Damper Pedal, C Damper Pedal Assign, Damper Pedal Mode, Pitch Bend, P. Bend Range, Soft Pedal Depth, Modulation Wheel, Modulation Wheel Assign, Modulation Depth Range, SW1 Button, C SW1 Button Assign, SW2 Button, C SW2 Button Assign, Right Pedal, C Right Pedal Assign, Center Pedal, C Center Pedal Assign, Left Pedal, C Left Pedal Assign, Expression Pedal, C Expression Pedal Assign
7	Knob Assign	Knob A Assign, Knob B Assign, Knob C Assign, Knob D Assign, Knob2 A Assign, Knob2 B Assign, Knob2 C Assign, Knob2 D Assign
8	Virtual Technician	PIANO: Voicing, Stereo Width, String Resonance, Damper Resonance, Key-off Effect, Damper Noise, Hammer Delay, Fall-back Noise, Topboard E.PIANO/HARPSI/BASS: Key-off Noise, Key-off Delay DRAWBAR: Key Click Level, Wheel Noise Level

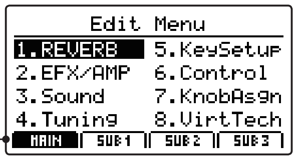
エディットメニューに入る

選択中のZONEがINTモードの状態で：

［EDIT］ボタンを押します。

［EDIT］ボタンのLEDが点灯し、選ばれているZONEのエディットメニューがディスプレイに表示されます。

* ZONEを変更するには［F1］～［F4］ボタンを押します。

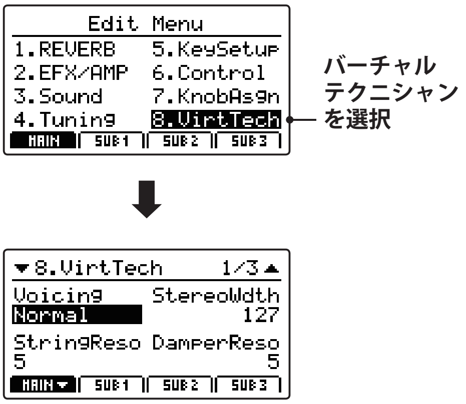


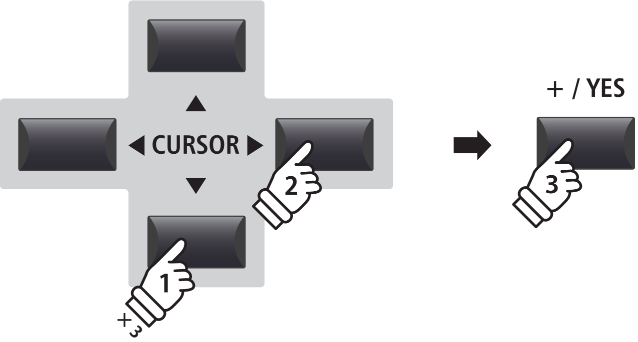
MAIN ZONEが選ばれた状態

パラメータのカテゴリを選択する

エディットメニュー画面を表示した状態で：

十字カーソルボタンを押して設定したいカテゴリに移動し、[+/YES]ボタンを押してそのカテゴリを選択します。





例）　バーチャルテクニシャンカテゴリを選択するには、カーソル[▼]ボタンを3回押し、その後カーソル(▶)を一度押し、[+/YES]ボタンを押します。

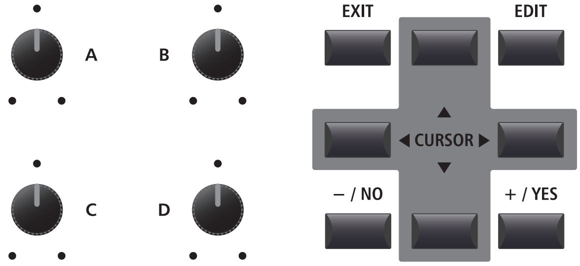
パラメータの調整

パラメータのカテゴリを選択した状態で：

各ノブ[A][B][C][D]を回すことで、それぞれに設定されたパラメータを調整する事ができます。

また、パラメータは十字カーソルと[+/YES][-/NO]ボタンでも調整する事が可能です。

[EXIT]ボタンを押すとカテゴリ選択画面に戻り、もう一度押すとメイン画面に戻ります。



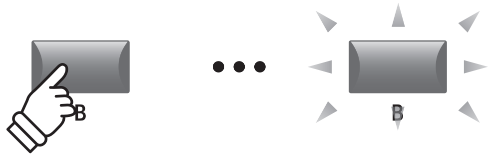
他の音色を選ぶと、パラメータの設定内容は失われてしまいますのでご注意ください。
＊設定した内容は、[STORE]ボタンを使って本体のメモリに保存します。(P.61の「STOREボタン」参照)

クイックコンペア

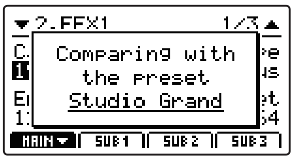
選択中のバリエーションボタンを押すと、“クイックコンペア”機能により、エディット中の音色と保存されている元の音色と、即座に比較することができます。

エディットモード中に：

現在調整している音色ボタンを押します。

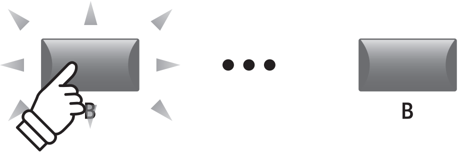


バリエーションボタンのLEDが点滅し、調整前の音色で発音します。



例えば、Studio Grand(PIANOセクション、CONCERTカテゴリ、バリエーション2)の調整中に比較する場合は、PIANOセクションのバリエーション[2]ボタンを押します。[2]ボタンが点滅し、鍵盤を弾くと、保存されている調整前の音色が発音します。再度、[2]ボタンを押すと、点滅が点灯に戻り、調整中の音色に戻ります。

再度バリエーションボタンを押すと点滅が点灯に戻り、調整中の音色で発音します。



1 Reverb（リバーブ）

1. Type（タイプ）　6タイプ

リバーブタイプを選びます。

* 詳細はP.25をご確認ください。

* このパラメータは4つのZONE全てに共通です。
* このパラメータはSOUNDには保存されません。（SETUPには保存可能です）

2. Pre Delay（プリディレイ）　VALUE：0 ～ 200ms

リバーブの残響効果が開始するまでの遅延時間を調整します。

* 詳細はP.25をご確認ください。

* このパラメータは4つのZONE全てに共通です。
* このパラメータはセットアップ（SETUP）にのみ保存され、各音色のプリセット（SOUND）には保存されません。

3. Time（タイム）　VALUE：300ms ～ 10.0s

リバーブの残響時間を調整します。

* 詳細はP.25をご確認ください。

* このパラメータは4つのZONE全てに共通です。
* このパラメータはセットアップ（SETUP）にのみ保存され、各音色のプリセット（SOUND）には保存されません。

4. Depth（デプス）　VALUE：0 ～ 127

リバーブの残響効果の深さを調整します。

* 詳細はP.25をご確認ください。

2.1 EFX（エフェクト）

1. Category（カテゴリ）　MAIN ZONE：23カテゴリ　SUB ZONE：13カテゴリ

エフェクトのカテゴリを選びます。

* 詳細はP.26をご確認ください。

* MAIN ZONEは［EFX1］と［EFX2］の2ページがあります。

2. Type（タイプ）　MAIN ZONE：129タイプ　SUB ZONE：22タイプ

エフェクト・タイプを選びます。

* 詳細はP.26をご確認ください。

* MAIN ZONEは［EFX1］と［EFX2］の2ページがあります。

3. Parameters（パラメータ）　N/A

これらのパラメータは、選択されたエフェクト・タイプによって異なります。
エフェクトのかかり具合（Dry/Wet）や、デプス（Depth）、スピード（Speed）、フィードバック（Feedback）などを調整します。

* 詳細はP.26をご確認ください。

2.2 AMP（アンプシミュレータ）（MAIN ZONE）

1. Amp Type（アンプ・タイプ） 5タイプ

アンプシミュレータのタイプを選択します。

* 詳細はP.28をご確認ください。

2. Drive（ドライブ） VALUE：0 ～ 127

アンプシミュレータの歪みの量を調整します。

* 詳細はP.28をご確認ください。

3. Level（レベル） VALUE：0 ～ 127

アンプシミュレータの音量を調整します。

* 詳細はP.28をご確認ください。

4. Amp EQ Lo（アンプEQ低音域） VALUE：–10 dB ～ +10 dB

アンプシミュレータの低音域の周波数帯域をブースト/カットします。

* アンプEQはGLOABL EQとは独立して機能します。

* 詳細はP.28をご確認ください。

5. Amp EQ Mid（アンプEQ中音域） VALUE：–10 dB ～ +10 dB

アンプシミュレータの中音域の周波数帯域をブースト/カットします。

* アンプEQはGLOABL EQとは独立して機能します。

* 詳細はP.28をご確認ください。

6. Amp EQ Hi（アンプEQ高音域） VALUE：–10 dB ～ +10 dB

アンプシミュレータの高音域の周波数帯域をブースト/カットします。

* アンプEQはGLOABL EQとは独立して機能します。

* 詳細はP.28をご確認ください。

7. Mid Frequency（中音域の周波数） VALUE：200Hz ～ 3150Hz

AMP EQ Midパラメータの中心周波数を設定します。

* アンプEQはGLOBAL EQとは独立して機能します。

* 詳細はP.28をご確認ください。

8. Mic Type（マイクの種類） Condenser/Dynamic

アンプの音を集音するマイクの種類を選択します。

Mic Type	説明
Condenser	周波数レンジが広く、繊細なサウンドが特長で、スタジオレコーディングなどによく使用されます。
Dynamic	中音域の強調されたパワフルなサウンドが特長で、ライブなどでよく使用されます。

* 詳細はP.28をご確認ください。

9.Mic Position（マイクの配置） OnAxis/OffAxis

マイクの配置の違いをシミュレートします。

Mic Position	説明
On Axis	スピーカの中心軸を狙った配置です。中高域が強く出るのが特徴です。
Off Axis	スピーカの中心軸からずらした配置です。滑らかで拡がりがあるのが特徴です。

* 詳細はP.28をご確認ください。

10. Ambience VALUE：0 ～ 127

少し離れた場所に置かれたステレオマイクの音をミックスします。音の拡がりや空気感が再現されます。

* 詳細はP.28をご確認ください。

3 Sound

1. Volume（ボリューム）
VALUE：0～127

目的の音色の音量を設定します。このパラメータは、ボリュームフェーダーと独立して効きます。

2. Panpot（パンポット）
VALUE：L64～R63

ステレオの音像の中での左右の定位を調整します。

3. Filter Cut-off（カットオフ）
VALUE：–64～+63

カットオフ周波数を調整します。値を大きくすると、サウンドが明るくなり、値を小さくすると、こもったサウンドになります。

4. Filter Resonance（レゾナンス）
VALUE：–64～+63

カットオフ周波数周辺の倍音の量を調整します。

5. DCA Attack Time
VALUE：–64～+63

音の立ち上がりの時間を調整します。値を大きくすると立ち上がりの時間が長くなり、音色のアタックが遅くなります。

6. DCA Decay Time
VALUE：–64～+63

アタック後のサステインのレベルまで音量が下がる時間を調整します。

7. DCA Sustain Level
VALUE：–64～+63

鍵盤を押さえている間に到達する音量レベルを調整します。

8. DCARelease Time
VALUE：–64～+63

鍵盤を離してから音が消えるまでの時間を調整します。

9. DCF Attack Time
VALUE：–64～+63

フィルタの立ち上がりの時間を調整します。値を大きくするとフィルタの立ち上がりの時間が長くなります。

10. DCF Attack Level
VALUE：–64～+63

フィルタの立ち上がりの目標レベルを調整します。

11. DCF Decay Time
VALUE：–64～+63

アタックレベルからサステインレベルまでフィルタが到達する時間を調整します。

12. DCF Sustain Level
VALUE：–64～+63

鍵盤を押さえている間に到達するフィルタのレベルを調整します。

13. DCF Release Time
VALUE：–64～+63

鍵盤を離してからカットオフ周波数までの到達時間を調整します。

14. DCF Touch Depth
VALUE：–64～+63

タッチによるフィルタ変化の効きを調整します。

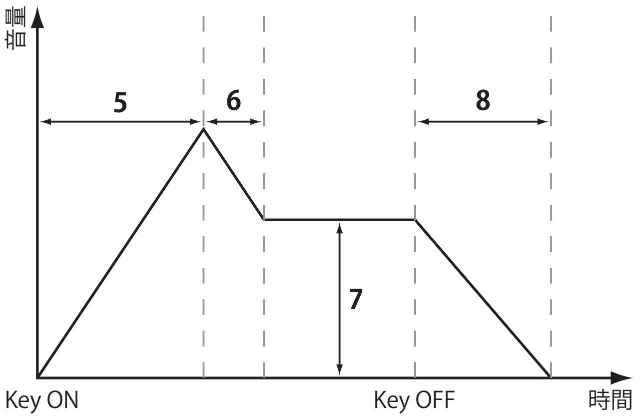
15. DCA Touch Depth
VALUE：–64～+63

タッチによる音量変化の効きを調整します。

* トーンホイール音色のエディットメニューではボリューム以外の3.SOUNDのパラメータはありません。

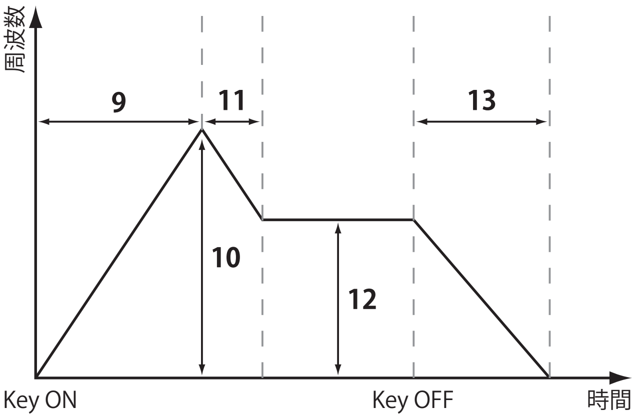
DCAパラメータについて

DCA (Digitally Controlled Amplifier) パラメータはエンベロープのボリューム調整に使用します。
下の図はMP7のDCAパラメータを示しています。



DCFパラメータについて

DCF (Digitally Controlled Filter) パラメータは音色に付加されるローパスフィルタの調整に使用します。
下の図はMP7のDCFパラメータを示しています。



16. Vibrate Depth

VALUE：–64 ～ +63

ビブラートの深さを調整します。

17. Vibrate Rate

VALUE：–64 ～ +63

ビブラートのスピードを調整します。

18. Vibrate Delay

VALUE：–64 ～ +63

ビブラートが始まるまでの時間を調整します。

19. Octave Layer Switch

OFF, ON

SUBセクションの音色に追加するオクターブ音をON/OFFします。

20. Octave Layer Level

VALUE：0 ～ 127

追加されるオクターブ音の音量を調整します。

21. Octave Layer Range

VALUE：–2 ～ +2

オクターブレイヤーに使用するオクターブ音のシフト量を設定します。

22. Octave Layer Detune

VALUE：–64 ～ +63

オクターブレイヤーのチューニングを調整します。

23. Portamento

OFF, ON

ポルタメント機能をON/OFFします。

ポルタメント：ある音からある音まで滑らかにピッチを変更します。

24. Portamento Time

VALUE：0 ～ 127

ポルタメントの時間を設定します。
(ある音からある音へピッチが変わっていく時間を設定します。)

25. Portamento Mode

Rate, Equal

ポルタメントモードを変更します。

Portamento Mode	説明
Rate	Portament Timeの設定によって音から音へピッチが移動するスピードが変化します。
Equal	Portament Timeの設定にかかわらず、一定のスピードで変化します。

エディットメニュー

3 Sound（MAIN ZONE，トーンホイールモード）

1. External Control

OFF, MIDI CC# MIDI ch

トーンホイールオルガンのドローバー設定を外部MIDIコントロールするかどうかを指定します。"MIDI CC#"または"MIDI CH"に設定した時は、追加のパラメータページが現れ、それぞれのドローバーにCC#またはMIDI CHを割り当てる事ができます。

* このパラメータはシステムパラメータですので、本体に自動的に保存されます。
  システムパラメータについての詳細はP.103をご確認ください。

2. MIDI CC#

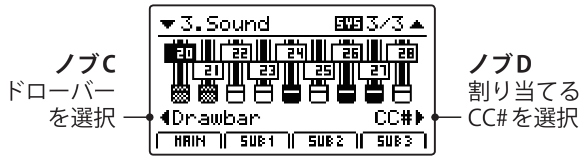
VALUE：CC#0 ～ CC#119

トーンホイールオルガンのドローバーの設定をCC#を使ってコントロールします。

* このパラメータはシステムパラメータですので、本体に自動的に保存されます。
  システムパラメータについての詳細はP.103をご確認ください。

▌MIDI CC# Drawbar Assign

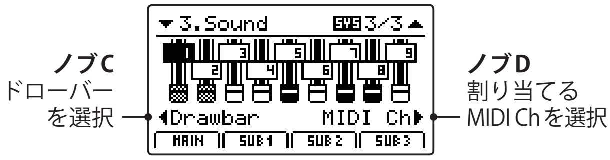
VALUE：CC#0 ～ CC#119



ノブCを調整してドローバーを選択し、ノブDを調整してそのドローバーに割り当てるCC#を指定します。

▌MIDI Ch Drawbar Assign

VALUE：01ch ～ 16ch



ノブCを調整してドローバーを選択し、ノブDを調整してそのドローバーに割り当てるMIDI Chを指定します。

4 Tuning（チューニング）

1. Fine Tune

VALUE：–64 ～ +63

セクション間での音程調整を約±1/2半音の間で設定します。

2. Stretch Tuning（ストレッチチューニング）

9タイプ

ストレッチチューニングに関する設定を行います。OFF，Narrow1/2，Normal，Wide1/2/3/4/5の9種類から、選択できます。

ピアノは、より自然な響きを得る為、通常、基本となる音律に対して低音をより低く、高音はより高く調律されます。このような調律方法をストレッチチューニングといいます。
"Normal"は標準的なチューニング、"Wide"はピアノの独奏に適したチューニングです。

3. Temperament（音律）

7タイプ＋2USER

音律を選択します。

* USER音律を設定する方法についてはP.109をご確認ください。

4. Key of Temperament（音律の主音）

RANGE：C ～ B

平均律以外の音律は調号に合わせた音律ですので、音律の主音を設定します。
演奏する曲の調号に合わせます。

* Fine Tuneを除いて、トーンホイール音色を選択しているときはこれらのTuningパラメータは無効です。

■音律の種類

種類	内容
Equal Temperament (Equal)	平均律。オクターブを等分割した現在では標準的な調律法です。どの調でも同じ響きが得られるという特徴があります。
Pure Temperament (Pure Maj./Pure Min.)	純正律(長調)。3度と5度のうなりをなくした調律法で、合唱音楽では、現在でも随所にこの音律に基づいた演奏が行われています。 純正律(短調)。純正律は長調と短調で異なります。長調と同様の効果を短調でも得られます。
Pythagorean Temperament (Pythagorean)	Pytagorean(ピタゴラス音律)。5度のうなりをなくした調律法で、和音よりもメロディーを演奏すると非常に美しいのが特徴です。
Meantone Temperament (Meantone)	Meantone(中全音律)。3度のうなりをなくした調律法で純正律の特徴の5度が著しく不協和であることを改良したので、平均律よりも和音が美しく響きます。
Werkmeister III Temperament (Werkmeis) Kirnberger III Temperament (Kirnberg)	Werkmeister(ヴェルクマイスター第III法)。ピタゴラスと中全音律を組み合わせた音律で、純正3度は存在せず、平均律的な平坦な調律法です。 Kirnberger(キルンベルガー第III法)。ピタゴラスと中全音律を組み合わせた音律で、3度が純正に響く調と5度が純正に響く調を併せ持つことで調性の性格を反映できる調律法です。
User Temperament (Sys.User1/2)	音律を自由に設定することができます。

* User1/2を調整するにはP.109をご確認ください。

5 Key Setup(キーボードセットアップ)

1. Touch Mode

Normal, Off-Fast, Off-Fast2

鍵盤のどの位置で発音開始するかを設定します。

シンセやオルガンなどはFASTの設定が向いています。

Touch Mode	説明
Normal	通常のポイントで発音します。
Off-Fast	NORMAL設定より早い時点で発音開始します。
Off-Fast2	Off-Fast設定よりさらに早い時点で発音開始します。

* Off-Fast1/2を選択しているときはタッチレスポンス(ベロシティ)が一定になります。
* このパラメータは全ゾーン共通です。

2. Touch Curve

6タイプ + 5 USER

選択したZONEのタッチカーブを選択します。

* タッチカーブについての詳細はP.44をご確認ください。
* ユーザータッチカーブの作成についてはP.108をご確認ください。
* このパラメータはトーンホイールオルガン音色を選択しているときは無効です。

3. Octave Shift

VALUE:–3 ～ +3オクターブ

選択したZONEのオクターブシフト量を設定します。

4. Zone Transpose

VALUE:–12 ～ +12

選択したZONEの移調量を設定します。

5. Key Range Zone Lo

RANGE:A-1 ～ C7

ZONE(鍵域)の低音側の鍵盤を指定します。

* Key Rangeについての詳細はP.22をご確認ください。

6. Key Range Zone Hi

RANGE:A-1 ～ C7

ZONE(鍵域)の高音側の鍵盤を指定します。

* Key Rangeについての詳細はP.22をご確認ください。

5 Key Setup（キーボードセットアップ）（続き）

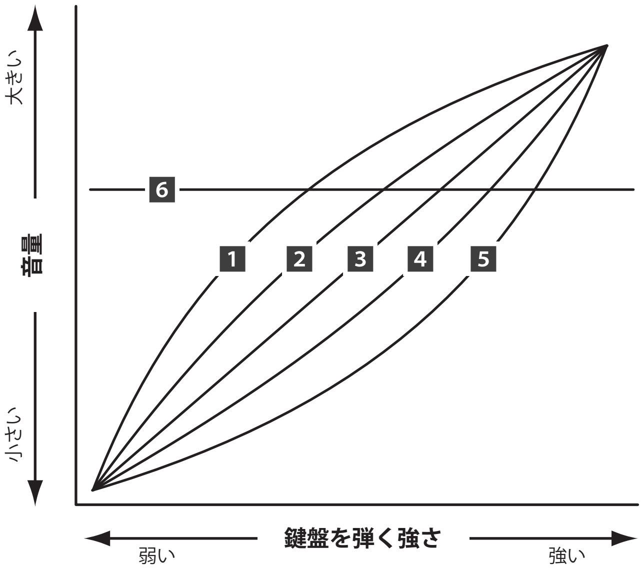
タッチカーブの種類

タッチカーブ	No	説明
Light +	1	弱いタッチで弾いても大きな音がでます。
Light	2	オルガンプレーヤー向きのタッチカーブです。
Normal	3	アコースティックピアノと同程度のタッチで音量が変化します。
Heavy	4	強いタッチでの演奏に向いています。
Heavy +	5	指の力の強い人向きのタッチカーブです。
Off (constant)	6	タッチの強弱に関わらず一定の音量で発音します。
User* (User 1~User 5)	–	ユーザーが入力したタッチによりタッチカーブが作成されます。

* ユーザータッチカーブの作成方法はP.108をご確認ください。

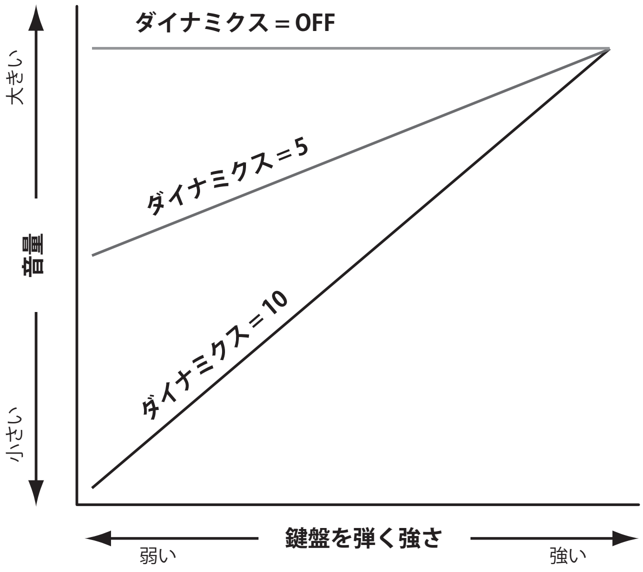
タッチカーブのグラフ

このグラフは異なるタッチカーブの違いによる鍵盤を弾く強さと発音する音量の関係を示したものです。



ダイナミクスのグラフ

このグラフはダイナミクスの違いによる鍵盤を弾く強さと発音する音量の関係を示したものです。



5 Key Setup（キーボードセットアップ）(続き)

7/8. Velocity Switch

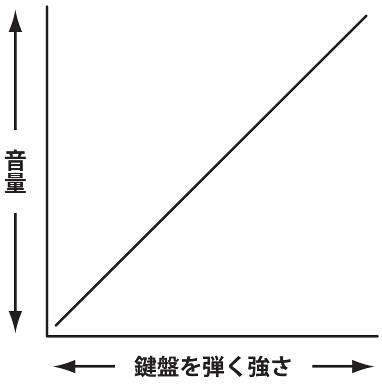
MODE：Off, Soft, Loud / VALUE：0 ～ 127

ベロシティスイッチのON/OFFとタイプを選択します。

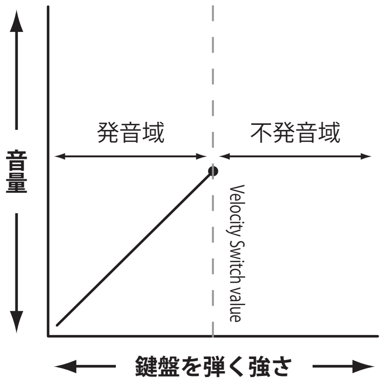
ベロシティスイッチは複数のZONEで音色を重ねるときに有効で、ベロシティ（鍵盤を弾く強さ）による発音域を設定します。

モード	説明
Off	通常（ベロシティスイッチ無し）
Soft	Vel SW Valで設定した値より強く弾いた時発音します。
Loud	Vel SW Valで設定した値より弱く弾いた時発音します。

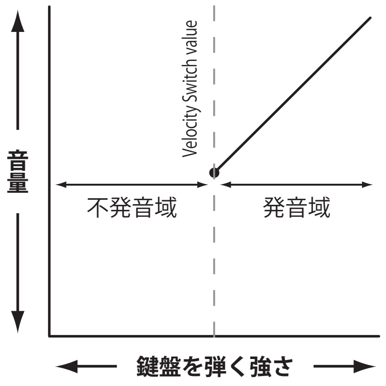
Velocity Switch Off



Velocity Switch Soft



Velocity Switch Loud



9. Key Scaling Damping

ON, OFF

キースケーリング機能をOn/Offします。

キースケーリングとは：
高音域に行くにしたがって、ベロシティを次第に減少させます。ピアノとストリングスを重ねて演奏する際、高音域でストリングスのレベルを下げたい場合等に便利です。

10. Key Scaling Key

RANGE：A-1 ～ C7

キースケーリングを開始する鍵盤を指定します。
この鍵盤より上の音域に行くにしたがって、ベロシティが次第に減少します。

11. Dynamics

VALUE：OFF, 1 ～ 10

タッチレスポンスを調整します。

バリューが10（初期値）の時、タッチレスポンスは通常のタッチカーブのままです。
値を減少させていくと、徐々にベロシティの変化幅が小さくなります。
値をOffにすると、タッチカーブは完全にフラットになり、ベロシティは固定されます。

* 詳細はP.44をご確認ください。

12. Solo

ON, OFF

ソロ（単音発音）モードのON/OFFの設定をします。

ソロモードはモノシンセ音色の演奏を行う時などに効果的です。

13. Solo Mode

Last, High, Low

ソロ（単音発音）の優先順位のモードを指定します。

モード	説明
Last	押さえた鍵の中で、最後に押さえた鍵の音程を発音します。
High	押さえた鍵の中で、一番高い音程を発音します。
Low	押さえた鍵の中で、一番低い音程を発音します。

* トーンホイール音色を選択しているときはKey Setupパラメータは表示されません。

6 Controllers(コントローラー)

1. Damper Pedal

ON, OFF

選択しているZONEの音色に対して、F-10Hペダルの動作の有効/無効を設定するパラメータです。

* 接続するペダルについてはP.15をご確認ください。

2. Damper Pedal Assign

28 functions (MAIN)
18 functions (SUB)

F-10Hペダルに割り当てる機能を選択します。

* このパラメータは全ZONE共通です。

3. Damper Pedal Mode

Normal, Hold

ダンパーペダルの効果を選択します。"HOLD"に設定すると、ストリングス等の持続音は減衰せずに発音を保持し続けることができます。

4. Pitch Bend

ON, OFF

選択しているZONEの音色に対して、ピッチベンドホイール動作の有効/無効を設定するパラメータです。

5. Pitch Bend Range

VALUE:0～7

ベンダーを動かしたときの音程の変化範囲を半音単位で指定します。

* 変化範囲の最大値は、INTモード(0～7)とEXTモード(0～12)で異なります。

6. Soft Pedal Depth

VALUE:1～10

ソフトペダルの効果のかかる強さを調整します。

7. Modulation Wheel

ON, OFF

選択しているZONEの音色に対して、モジュレーションホイール動作の有効/無効を設定するパラメータです。

8. Modulation Wheel Assign

28 functions (MAIN)
18 functions (SUB)

モジュレーションホイールに割り当てる機能を選択します。

9. Modulation Depth Range

VALUE:0～127

ピッチモジュレーション効果のピッチ変化幅を設定します。
600/127centステップで変化幅を設定します。

10. SW1 Button

ON, OFF

アサイナブルスイッチの[SW1]の動作を許可/禁止の設定をします。

11. SW1 Button Assign

10 functions

[SW1]ボタンに割り当てる機能を設定します。

* このパラメータは全ZONEで共通です。

12. SW2 Button

ON, OFF

アサイナブルスイッチの[SW2]の動作を許可/禁止の設定をします。

13. SW2 Button Assign

10 functions

[SW2]ボタンに割り当てる機能を設定します。

* このパラメータは全ZONEで共通です。

6 Controllers（コントローラー）（続き）

14. Right Pedal

ON, OFF

選択しているZONEの音色に対して、F-30ペダルの右ペダルの動作の有効/無効を設定するパラメータです。

* 接続するペダルについてはP.15をご確認ください。

15. Right Pedal Assign

28 functions (MAIN)
18 functions (SUB)

F-30の右ペダルに割り当てる機能を選択します。

* このパラメータは全てのZONE共通です。

16. Center Pedal

ON, OFF

選択しているZONEの音色に対して、F-30の中ペダルの動作の有効/無効を設定するパラメータです。

* 接続するペダルについてはP.15をご確認ください。

17. Center Pedal Assign

28 functions (MAIN)
18 functions (SUB)

F-30の中ペダルに割り当てる機能を選択します。

* このパラメータは全ZONE共通です。

18. Left Pedal

ON, OFF

選択しているZONEの音色に対して、F-30 の左ペダルの動作の有効/無効を設定するパラメータです。

* 接続するペダルについてはP.15をご確認ください。

19. Left Pedal Assign

28 functions (MAIN)
18 functions (SUB)

F-30の左ペダルに割り当てる機能を選択します。

* このパラメータは全ZONE共通です。

20. Expression Pedal

ON, OFF

選択しているZONEの音色に対して、エクスプレッションペダル動作の有効/無効を設定するパラメータです。

* 接続するペダルについてはP.15をご確認ください。

21. Expression Pedal Assign

28 functions (MAIN)
18 functions (SUB)

エクスプレッションペダルに割り当てる機能を選択します。

* このパラメータは全ZONE共通です。

■ ペダル・ホイールに割り当て可能な機能

機能
Modulation
Panpot
Expression
Damper
Sostenuto
Soft
Resonance
Cut-off
EFX1 Parameter 1 ～ 10, EFX2 Parameter 1 ～ 10 (MAIN) EFX Parameter 1 ～ 10 (SUB)

■ [SW1] [SW2] ボタンに割り当て可能な機能

機能
Octave Layer
Rotary Slow/Fast
Solo
Portamento
Pitch Bend Lock
Modulation Wheel Lock
Center Pedal Lock
Left Pedal Lock
Expression Pedal Lock
Tonewheel Control

7 Knob Assign（ノブアサイン）

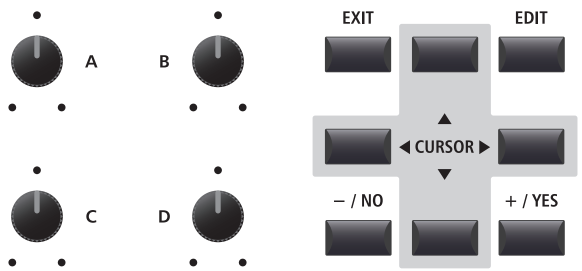
通常の演奏モードでの［A］［B］［C］［D］の4つのコントロールノブに、エディットメニューのパラメータを割り当てることができ、必要なパラメータを演奏中リアルタイムにコントロールすることができます。ノブアサインは、各ZONE毎に2つのパラメータグループを持っており、演奏中4×2＝8パラメータまでのコントロールを可能にします。

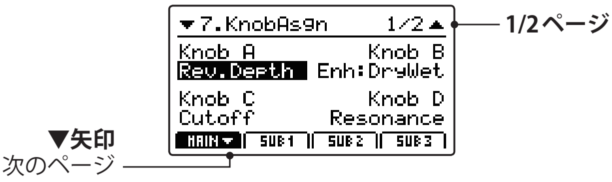
それぞれのノブにパラメータを割り当てる

目的のZONEのノブアサイン画面を表示します。

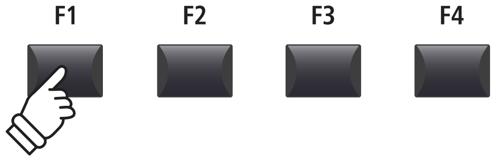
4つのコントロールノブを回して、演奏モードでコントロールしたいエディットモードのパラメータを割り当てます。（P.36の「INTモードのZONEパラメータ」参照）

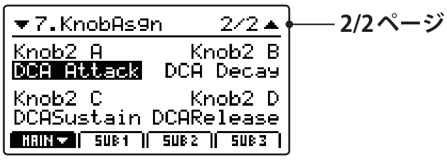
パラメータは十字カーソルボタンと［+/YES］［-/NO］ボタンで変更することもできます。





［F1］（［F2］［F3］［F4］）ボタンまたは［CURSOR▲］［CURSOR▼］ボタンを押して、第1、第2のノブグループを切り替えるができます。





* 割り当て可能な機能はZONEによって若干異なります。詳細はP.49をご確認ください。

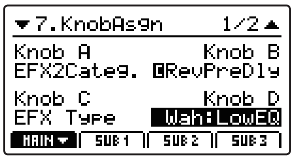
* 演奏モードでのパラメータ調整方法についてはP.24をご確認ください。

EFX（エフェクト）パラメータ名の代用語

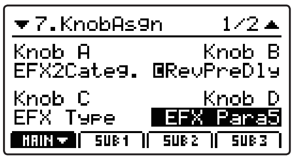
調整可能なパラメータ名や数はエフェクトごとに異なります。
EFXパラメータを4つのノブに割り当てるとき、選択しているエフェクトに有効なパラメータ名が表示されます。
（下の例ではWah：LowEQが割り当てられています）

この設定の状態で異なるエフェクトに変更した場合、（下の例ではPhaserを選択）ノブに割り当てられたパラメータ番号がない場合があります。（調整可能なパラメータが少なくなった場合）
その場合、代替名がディスプレイに表示され、そのノブを使用しても何も起こりません。

ノブアサイン画面
ClassicTchWahが選ばれています。ノブDにはLowEQパラメータが割り当てられています。



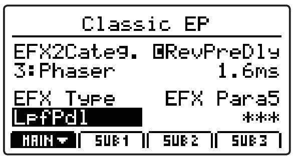
➡



ノブアサイン画面
エフェクトを変更しLpfPdlWahを選ぶとノブDの割り当て名がEFX Para5に変更されます。（無効なパラメータ）

演奏画面
ClassicTchWahが選ばれています。ノブDにはLowEQが表示され、値を調整できます。

➡



演奏画面
エフェクトを変更しLpfPdlWahが選ばれておりノブDの割り当て名がEFX Para5に変更されています。（無効なパラメータ）

割り当て可能なパラメーター一覧

	パラメータ名	音色			
		Piano	E.Piano	T.Wheel	Others
1. REVERB	[C] Rev.Type	●			
	[C] RevPreDly	●			
	[C] Rev.Time	●			
	Rev.Depth	●	●	●	●
2. EFX/AMP	EFX Categ.	●	●	●	●
	EFX Type	●	●	●	●
	EFX Para1	●	●	●	●
	EFX Para2	●	●	●	●
	EFX Para3	●	●	●	●
	EFX Para4	●	●	●	●
	EFX Para5	●	●	●	●
	EFX Para6	●	●	●	●
	EFX Para7	●	●	●	●
	EFX Para8	●	●	●	●
	EFX Para9	●	●	●	●
	EFX Para10	●	●	●	●
	EFX2 Categ.	●	●	●	●
	EFX2 Type	●	●	●	●
	EFX2 Para1	●	●	●	●
	EFX2 Para2	●	●	●	●
	EFX2 Para3	●	●	●	●
	EFX2 Para4	●	●	●	●
	EFX2 Para5	●	●	●	●
	EFX2 Para6	●	●	●	●
	EFX2 Para7	●	●	●	●
	EFX2 Para8	●	●	●	●
	EFX2 Para9	●	●	●	●
	EFX2Para10	●	●	●	●
	Amp Type	●	●	●	●
	Amp Level	●	●	●	●
	Amp Drive	●	●	●	●
	AmpEQ-Lo	●	●	●	●
	AmpEQ-Mid	●	●	●	●
	AmpEQ-High	●	●	●	●
	MidFreq.	●	●	●	●
	AmpMicType	●	●	●	●
	AmpMicPos.	●	●	●	●
	AmpAmbien.	●	●	●	●
3. Sound	Volume	●	●	●	●
	Panpot	●	●	-	●
	Cutoff	●	●	-	●
	Resonance	●	●	-	●
	DCA Attack	●	●	-	●
	DCA Decay	●	●	-	●
	DCASustain	●	●	-	●
	DCARelease	●	●	-	●
	DCF ATK Tm	●	●	-	●
	DCF ATK Lv	●	●	-	●
	DCF Decay	●	●	-	●
	DCFSustain	●	●	-	●
	DCFRelease	●	●	-	●
	DCF TchDpt	●	●	-	●
	DCA TchDpt	●	●	-	●
	Vib.Depth	●	●	-	●
	Vib.Rate	●	●	-	●
	Vib.Delay	●	●	-	●
	Octave	●	●	-	●
	Oct.Level	●	●	-	●
	Oct.Range	●	●	-	●
	Oct.Detune	●	●	-	●
	Portament	●	●	-	●
	Porta.Time	●	●	-	●
	Porta.Mode	●	●	-	●

	パラメータ名	音色			
		Piano	E.Piano	T.Wheel	Others
4. Tuning	Fine Tune	●	●	●	●
	Stretch	●	●	-	●
	Temperment	●	●	-	●
	Temper.Key	●	●	-	●
5. Key Setup	[C] Touch Mode	●			
	Touch	●	●	-	●
	OctavShift	●	●	●	●
	ZoneTrans.	●	●	●	●
	Zone Lo	●	●	●	●
	Zone Hi	●	●	●	●
	VeloSW	●	●	-	●
	VeloSW Val	●	●	-	●
	KS-Damping	●	●	-	●
	KS-Key	●	●	-	●
	Dynamics	●	●	-	●
	Solo	●	●	-	●
	SoloMode	●	●	-	●
6. Control	DamperPed.	●	●	●	●
	[C] D.Assign	●			
	SoftPdlDpt	●	●	-	●
	Damp.Mode	●	●	●	●
	Pitch Bend	●	●	-	●
	Bend Range	●	●	-	●
	Mod.Wheel	●	●	●	●
	Mod.Assign	●	●	●	●
	SW1	●	●	●	●
	[C] SW1Assign	●			
	SW2	●	●	●	●
	[C] SW2Assign	●			
	Right Ped.	●	●	●	●
	[C] R.Assign	●			
	CenterPed.	●	●	●	●
	[C] C.Assign	●			
	Left Pedal	●	●	●	●
	[C] L.Assign	●			
	EXP Pedal	●	●	●	●
	[C] EXPAssign	●			
8. Virtual Technician	Voicing	●	-	-	-
	StereoWdth	●	-	-	-
	StringReso	●	-	-	-
	DamperReso	●	-	-	-
	KeyOffEff.	●	-	-	-
	DamperNois	●	-	-	-
	HammerDly	●	-	-	-
	FallbackNs	●	-	-	-
	Topboard	●	-	-	-
	KeyOffNois	-	●	-	-
	KeyOffDly	-	●	-	-
	Key Click	-	-	●	-
	Wheel Noise	-	-	●	-

* EFX2とアンプシミュレータのパラメータはMAIN ZONEでのみ割り当て可能です。

* E.PIANO音色で使用可能な"Key Off Noise"と"Key Off Delay"のパラメータはHarpsichordとBass音色でも使用可能です。

8 Virtual Technician（PIANO音色）

1. Voicing

6タイプ

アコースティックピアノのハンマーフェルト調整をシミュレートした効果で、次の6種類の中より選べます。

Voicing types

Voicing Type	説明
Normal	通常の設定です。
Mellow 1	やわらかめのハンマーをシミュレートしたソフトな音色になります。
Mellow 2	Mellow 1よりやわらかなハンマーをシミュレートした音色になります。
Dynamic	タッチの強弱に応じてソフトな音色からブライトな音色までダイナミックに変化します。
Bright 1	硬めのハンマーをシミュレートしたブライトな音色になります。
Bright 2	Bright 1より硬めのハンマーをシミュレートした音色になります。

2. Stereo Width

VALUE：0～127

ステレオ音の拡がり具合を調整します。

0にするとモノラルになります。

3. String Resonance

VALUE：OFF, 1～10

ストリングレゾナンスの音量を調整します。

ピアノは各鍵盤毎に弦が張られていますが、ある鍵盤を押さえた状態で他の鍵盤を弾くと、2つの鍵盤の音程の関係によって弦の共鳴が発生し、ピアノ特有の響きが生まれます。これを「ストリングレゾナンス」と呼んでいます。

4. Damper Resonance

VALUE：OFF, 1～10

ダンパーレゾナンスの音量を調整します。

ダンパーペダルを踏んだとき、全てのダンパーが持ち上げられて全ての弦が自由に振動できるようになります。ダンパーペダルを踏んだ状態で演奏すると、弾いた音だけでなく、他の弦全体の共鳴が発生します。これを「ダンパーレゾナンス」と呼んでいます。

5. Key-off Effect

VALUE：OFF, 1～10

キーオフエフェクトの音量を調整します。

特に鍵盤の低音域で、鍵盤を強く弾いて急に離したときに、弦の振動が止まる直前にダンパーが弦に触れる音が発生します。このキーオフ時の効果音の音量を調整できます。

6. Damper Noise

VALUE：OFF, 1～10

ダンパーノイズの音量を調整します。

ダンパーペダルを踏んだときと、離したとき、ダンパーヘッドが弦に触れたり、離れたりする際のノイズ音が発生します。このノイズの音量を調整します。

7. Hammer Delay

VALUE：OFF, 1～10

ピアニシモで弾いた時は、ハンマーが弦を叩くタイミングがわずかに遅くなります。
このハンマーの遅れを演奏しやすいタイミングに調整します。

8. Fall-back Noise

VALUE：OFF, 1～10

鍵盤を離した後、鍵盤アクションが戻った時に発生するノイズ音の音量を調整します。

9. Topboard

Close, Open1, Open2, Open3

グランドピアノの大屋根の開き具合による音の違いをシミュレートします。

Virtual Technician（E.PIANO, HARPSICHORD, BASS音色）

1. Key-off Noise

VALUE：OFF, 1 〜 127

エレクトリックピアノ音色選択時、離鍵時にハンマーが戻る時のシミュレート音の大きさを調整します。

ハープシコード、ベース音選択時、リリース時の音をシミュレートしています。

2. Key-off Delay

VALUE：0 〜 127

離鍵時のKey-off Noiseが聞こえるまでの遅延時間を調整します。

Virtual Technician（DRAWBAR音色）

1. Key Click Level

VALUE：OFF, 1 〜 127

DRAWBAR音色を演奏時に付与するキークリック音の音量を調整します。

2. Wheel Noise Level

VALUE：0 〜 127

DRAWBAR音色を演奏時に付与するトーンホイールのノイズの音量を調整します。

実際のトーンホイールオルガンで発生するノイズをシミュレートしたもので、ノイズを加えることでオルガン音色にビンテージの雰囲気がでます。
0に設定することで、ノイズを無くすこともできます。

エディットメニューの概要（EXTモード）

エディットメニューはEXTモードのZONEでも使用する事ができます。INTモードと同様に、パラメータはグループごとに分類されており、外部MIDI機器を直接コントロールできるように設計されています。

INTモードと同様に、このパラメータ群は、他の調整可能な設定とともにセットアップメモリに保存できます。（P.62の「ストアセットアップ」参照）MP7は256個のセットアップメモリを用意しています。

コモンパラメータについて（Cアイコン）

基本的にMAIN、SUB1、SUB2、SUB3 ZONEのパラメータ設定はそれぞれのZONEに独立して設定可能ですが、Cアイコンで印のつけられたパラメータは全ZONE共通のパラメータです。 例えば、C Right Pedal AssignパラメータをMAIN ZONEで変更すると、自動的にSUB1、SUB2、SUB3 ZONEのC Right Pedal Assignパラメータも変更されます。

システムパラメータについて（SYSアイコン）

SYSアイコンマークのあるEXTモードのZONEのパラメータはシステムパラメータで、変更すると自動的に保存されます。（[STORE]ボタンを使う必要がありません）

EXTモードのZONEのパラメータ

No.	カテゴリ	パラメータ
1	Channel/Program	MIDI Transmitting Channel, Program, Bank MSB, Bank LSB
2	SETUP	Send Program, Send Bank, Send Volume, Send Knobs
3	Transmit SYS	Transmit System Exclusive, Transmit Recorder
4	MMC SYS	Transmit MMC, MMC Device ID, MMC Commands
5	Key Setup	C Touch Mode, Touch Curve, Octave Shift, Zone Transpose, Key Range Zone Lo, Key Range Zone Hi, Velocity Switch, Velocity Switch Value, Key Scaling Damping, Key Scaling Key, Dynamics, Solo, Solo Mode, Transmit Keyboard
6	Controllers	Damper Pedal, C Damper Pedal Assign, Half Pedal Values, Modulation Depth Range, Pitch Bend, Pitch Bend Range, Modulation Wheel, Modulation Wheel Assign, Right Pedal, C Right Pedal Assign, Center Pedal, C Center Pedal Assign, Left Pedal, C Left Pedal Assign, Expression Pedal, C Expression Pedal Assign
7	Knob Assign	Knob A Assign, Knob B Assign, Knob C Assign, Knob D Assign, Knob2 A Assign, Knob2 B Assign, Knob2 C Assign, Knob2 D Assign

エディットメニューに入る

ZONEをEXTモードに設定した状態で：

[EDIT]ボタンを押します。

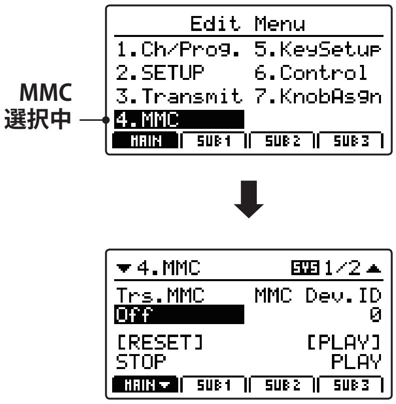
モードに入ると[EDIT]ボタンのLEDが点灯し、選択されたZONEのエディットメニューがディスプレイに表示されます。

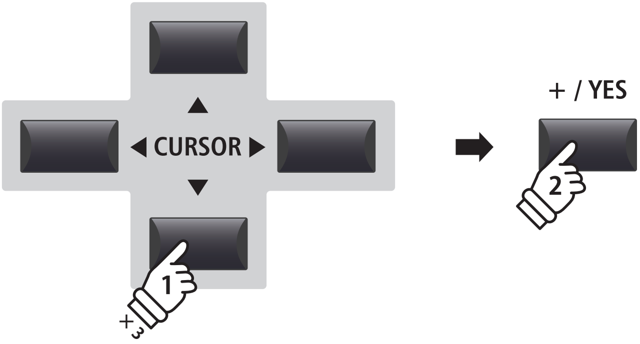
* ZONEを変更するには[F1] ～ [F4]ボタンを押してください。

パラメータのカテゴリを選択する

エディットメニューが表示された状態で：

カーソルボタンで所望のカテゴリを選択し［+/YES］ボタンを押してカテゴリを選択します。





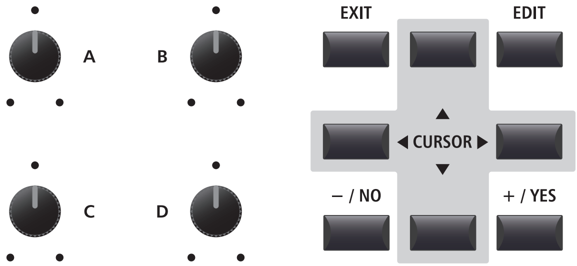
例）　MMCカテゴリに入るには、カーソル［▼］ボタンを3度押し、その後［+/YES］ボタンを押します。

パラメータの調整

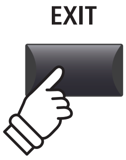
パラメータが表示された状態で：

各ノブ［A］［B］［C］［D］を回すことで、それぞれに設定されたパラメータを調整する事ができます。

また、パラメータは十字カーソルと［+/YES］［-/NO］ボタンでも調整する事が可能です。



［EXIT］ボタンを押すとカテゴリ選択画面に戻り、もう一度押すと通常演奏画面に戻ります。



エディットメニューのパラメータ（EXTモード）

1 Channel/Program

1. MIDI Transmitting Channel　VALUE：01Ch ～ 16Ch

選択されているゾーンのMIDI送信チャンネルを指定します。

* 初期設定ではSUB2がCh01、SUB3はCh02に設定されています。
  MAINはCh03、SUB1はCh04に設定されています。

* 指定されているMIDIチャンネルと接続されているMIDI機器の受信チャンネルを合わせてください。

2. Program　VALUE：1 ～ 128

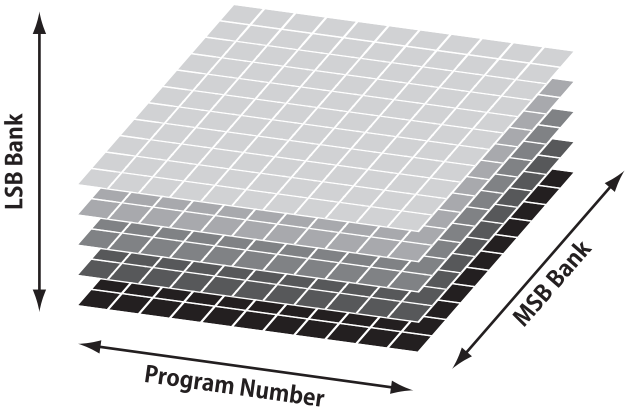
セットアップが呼び出されたとき、送信されるプログラムナンバー値を設定します。外部MIDI機器で選択したい音色に対応したプログラム番号を選択してください。

3/4. Bank MSB/Bank LSB　VALUE：0 ～ 127

セットアップが呼び出されたとき、送信されるプログラムバンクナンバー値の上位（MSB）と下位（LSB）を設定します。

MIDI規格は128のプログラム番号を用意していますが、バンク番号により、そのスペースを拡張することができます。

*バンク、プログラム番号の詳細については、接続されたMIDI機器の取扱説明書を参照してください。



2 SETUP

1. Send Program　ON, OFF

セットアップを選択したとき、プログラム・チェンジを送信するか（On）、送信しないか（Off）を設定します。

セットアップを選択して外部MIDI機器の音色を変更したい場合は、このパラメータをOnにしてください。

2. Send Bank　ON, OFF

セットアップを選択したとき、バンク番号（MSB，LSB）を送信するか（On）、送信しないか（Off）を設定します。

プログラム・チェンジ送信する際、外部MIDI機器のバンクを変更したい場合は、このパラメータをOnにしてください。

3. Send Volume　ON, OFF

セットアップを選択したとき、ボリューム・メッセージを送信するか（On）、送信しないか（Off）を設定します。
セットアップを選択して外部MIDI機器のボリュームを変更したい場合は、このパラメータをOnにしてください。

* このパラメータをOffに設定していても、MIDIセクションのボリューム・フェーダーを動かしたときはボリュームメッセージが送信されます。

4. Send Knobs　ON, OFF

セットアップを選択したとき、コントロールノブの設定を送信するか（On）、送信しないか（Off）を設定します。

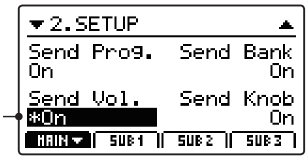
* このパラメータをOffに設定していても、MIDIセクションのコントロールノブを動かしたときは各メッセージが送信されます。

▍システムメニュー内のセットアップパラメータについて

上記の送信パラメータはシステムメニュー内MIDIカテゴリのSETUP PROGRAM，BANK，Volume，Knobパラメータが ONになっていないと効きません。

システムメニュー内のSETUPパラメータがOFFにセットされるとき、関係しているパラメータの横にアスタリスク（*）が表示され、無効となります。

アスタリスク
パラメータはシステムメニューでOFFになっているため無効です。



3 Transmit SYS

Transmitカテゴリのパラメータはすべてシステムパラメータです。これらのパラメータは自動的にシステムに保存さるため、それぞれのSETUPにSTORE（保存）する必要はありません。

1. Transmit System Exclusive

ON, OFF

外部のMIDI機器にシステムエクスクルーシブ（SYSEX）データを送信するかどうかを設定します。

* System Exclusiveデータについての詳細はP.128をご確認ください。

2. Transmit Recorder

ON, OFF

内部に録音された曲を外部MIDI機器に送信するかどうかを設定します。

4 MMC SYS

MMCカテゴリのパラメータはすべてシステムパラメータです。これらのパラメータは自動的にシステムに保存さるため、それぞれのSETUPにSTORE（保存）する必要はありません。

1. Transmit MMC

ON, OFF

外部のMIDI機器にMP7のレコーダーコントロールボタンでMMC（MIDI Machine Control）を送信するかどうかを設定します。

2. MMC Dev. ID

VALUE：0 ～ 127

MMC（MIDIMachineControl）のデバイスIDを決定します。

3. MMC Commands

13 MMC COMMANDS, 3 REALTIME COMMANDS

MMCやリアルタイムコマンドを6つのレコーダーコントロールボタンに割り当てます。

* 初期値では、主要なMMCコマンドはレコーダーセクションのボタンに割り当てられています。

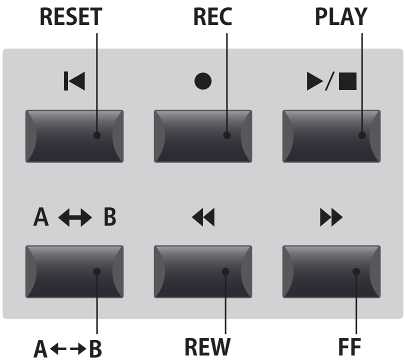
■割り当て可能なレコーダー制御コマンド

MMC Commands			
01	STOP	08	RECORD PAUSE
02	PLAY	09	PAUSE
03	DEFERRED PLAY	0A	EJECT
04	FAST FORWARD	0B	CHASE
05	REWIND	0C	COMMAND ERROR RESET
06	RECORD STROBE	0D	MMC RESET
07	RECORD EXIT		

Realtime Commands	
FA	Realtime START
FB	Realtime CONTINUE
FC	Realtime STOP

■レコーダ制御ボタン

下の絵は6つのレコーダー制御ボタン名を示しています。：



エディットメニュー

5 Key Setup(キーボードセットアップ)

1. Touch Mode

Normal, Off-Fast, Off-Fast2

鍵盤のどの位置で発音開始するかを設定します。

シンセやオルガンなどはFASTの設定が向いています。

Touch Mode	説明
Normal	通常のポイントで発音します。
Off-Fast	NORMAL設定より早い時点で発音開始します。
Off-Fast2	Off-Fast設定よりさらに早い時点で発音開始します。

* Off-Fast1/2を選択しているときはタッチレスポンス(ベロシティ)が一定になります。
* このパラメータは全ゾーン共通です。

2. Touch Curve

6タイプ + 5 user

選択したZONEのタッチカーブを選択します。

* タッチカーブについての詳細はP.44をご確認ください。
* ユーザータッチカーブの作成についてはP.108をご確認ください。
* このパラメータはトーンホイールオルガン音色を選択しているときは無効です。

3. Octave Shift

VALUE：–3 ～ +3オクターブ

選択したZONEのオクターブシフト量を設定します。

4. Zone Transpose

VALUE：–12 ～ +12

選択したZONEの移調量を設定します。

5. Key Range Zone Lo

RANGE：A-1 ～ C7

ZONE(鍵域)の低音側の鍵盤を指定します。

* Key Rangeについての詳細はP.22をご確認ください。

6. Key Range Zone Hi

RANGE：A-1 ～ C7

ZONE(鍵域)の高音側の鍵盤を指定します。

* Key Rangeについての詳細はP.22をご確認ください。

7/8. Velocity Switch

MODE：Off, Soft, Loud / VALUE：0 ～ 127

ベロシティスイッチのON/OFFとタイプを選択します。

ベロシティスイッチは複数のZONEで音色を重ねるときに有効で、ベロシティ (鍵盤を弾く強さ)による発音域を設定します。

モード	説明
Off	通常(ベロシティスイッチ無し)
Soft	Vel SW Valで設定した値より強く弾いた時発音します。
Loud	Vel SW Valで設定した値より弱く弾いた時発音します。

* Velocity Switchについての詳細はP.45をご確認ください。

9. Key Scaling Damping

ON, OFF

キースケーリング機能をOn/Offします。

キースケーリングとは：
高音域に行くにしたがって、ベロシティを次第に減少させます。ピアノとストリングスを重ねて演奏する際、高音域でストリングスのレベルを下げたい場合等に便利です。

10. Key Scaling Key

RANGE：A-1 ～ C7

キースケーリングを開始する鍵盤を指定します。
この鍵盤より上の音域に行くにしたがって、ベロシティが次第に減少します。

5 Key Setup（キーボードセットアップ）（続き）

11. Dynamics

VALUE：OFF, 1 ～ 10

タッチレスポンスを調整します。

バリューが10（初期値）の時、タッチレスポンスは通常のタッチカーブのままです。
値を減少させていくと、徐々にベロシティの変化幅が小さくなります。
値をOffにすると、タッチカーブは完全にフラットになり、ベロシティは固定されます。

* 詳細はP.44をご確認ください。

12. Solo

ON, OFF

ソロ（単音発音）モードのON/OFFの設定をします。

ソロモードはモノシンセ音色の演奏を行う時などに効果的です。

13. Solo Mode

Last, High, Low

ソロ（単音発音）の優先順位のモードを指定します。

モード	説明
Last	押さえた鍵の中で、最後に押さえた鍵の音程を発音します。
High	押さえた鍵の中で、一番高い音程を発音します。
Low	押さえた鍵の中で、一番低い音程を発音します。

14. Transmit Keyboard

ON, OFF

鍵盤のON/OFFイベントをMIDI送信するかどうかを設定します。

6 Controllers(コントローラー)

1. Damper Pedal

ON, OFF

選択しているZONEの音色に対して、F-10Hペダルの動作の有効/無効を設定するパラメータです。

* 接続するペダルについてはP.15をご確認ください。

2. Damper Pedal Assign

CC#0 ～ CC#119, Aftertouch

F-10Hペダルに割り当てる機能を選択します。

* このパラメータは全ZONE共通です。

3. Half Pedal Values

Normal, High, Low

選択しているZONEでのハーフペダルを送信するレンジを決定します。

外部音源を制御する際、ダンパーペダルの効きはじめのポイントが機器によって異なる場合に便利です。

タイプ	値	説明
Normal(初期状態)	0 ～ 127	ダンパーペダル効果が効き始めるポイントから踏み込むにしたがって0 ～ 127の値を出力します。
High	0, 64 ～ 127	ダンパーペダル効果が効き始めるポイントまでは0、踏み込むにしたがって64 ～ 127までの値を出力します。
Low	0 ～ 63, 127	ダンパーペダル効果が効き始めるポイントから踏み込むにしたがって0 ～ 63までの値を出力し、いっぱいに踏み込むと127を出力します。

4. Modulation Depth Range

VALUE：0 ～ 127

ピッチモジュレーション効果のピッチ変化幅を設定します。
600/127centステップで変化幅を設定します。

5. Pitch Bend

ON, OFF

選択しているZONEの音色に対して、ピッチベンドホイール動作の有効/無効を設定するパラメータです。

6. Pitch Bend Range

VALUE：0 ～ 12

ベンダーを動かしたときの音程の変化範囲を半音単位で指定します。

* 変化範囲の最大値は、INTモード(0 ～ 7)とEXTモード(0 ～ 12)で異なります。

7. Modulation Wheel

ON, OFF

選択しているZONEに対して、モジュレーションホイール動作の有効/無効を設定するパラメータです。

8. Modulation Wheel Assign

CC#0 ～ CC#119, Aftertouch

モジュレーションホイールに割り当てる機能を選択します。

9. Right Pedal

ON, OFF

選択しているZONEの音色に対して、F-30ペダルの右ペダルの動作の有効/無効を設定するパラメータです。

* 接続するペダルについてはP.15をご確認ください。

10. Right Pedal Assign

CC#0 ～ CC#119, Aftertouch

F-30の右ペダルに割り当てる機能を選択します。

* このパラメータは全てのZONE共通です。

11. Center Pedal

ON, OFF

選択しているZONEの音色に対して、F-30の中ペダルの動作の有効/無効を設定するパラメータです。

* 接続するペダルについてはP.15をご確認ください。

12. Center Pedal Assign

CC#0 ～ CC#119, Aftertouch

F-30の中ペダルに割り当てる機能を選択します。

* このパラメータは全ZONE共通です。

6 Controllers（コントローラー）（続き）

13. Left Pedal
ON, OFF

選択しているZONEの音色に対して、F-30 の左ペダルの動作の有効/無効を設定するパラメータです。

* 接続するペダルについてはP.15をご確認ください。

14. Left Pedal Assign
CC#0 ～ CC#119, Aftertouch

F-30の左ペダルに割り当てる機能を選択します。

* このパラメータは全ZONE共通です。

15. Expression Pedal
ON, OFF

選択しているZONEの音色に対して、エクスプレッションペダル動作の有効/無効を設定するパラメータです。

* 接続するペダルについてはP.15をご確認ください。

16. Expression Pedal Assign
CC#0 ～ CC#119, Aftertouch

エクスプレッションペダルに割り当てる機能を選択します。

* このパラメータは全ZONE共通です。

7 Knob Assign（ノブアサイン）

通常の演奏モードでの［A］［B］［C］［D］の4つのコントロールノブに、エディットメニューのパラメータを割り当てることができ、必要なパラメータを演奏中リアルタイムにコントロールすることができます。

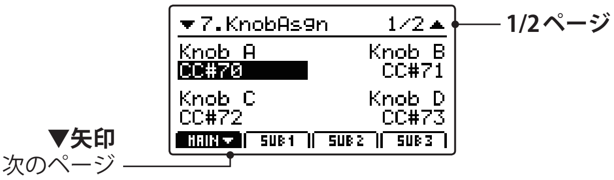
ノブアサインは、各ZONE毎に2つのパラメータグループを持っており、演奏中4×2（ページ）＝8パラメータのコントロールが可能です。

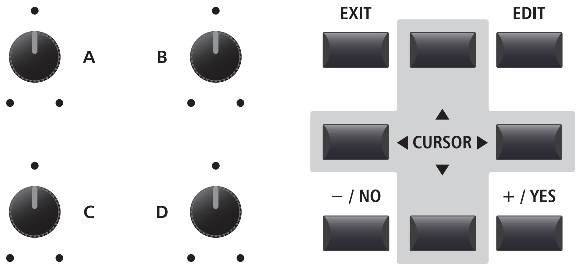
■ ノブにパラメータを割り当てる

目的のZONEのKnob Assigng画面で：

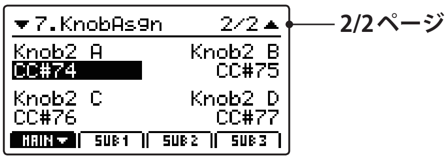
4つのコントロールノブを操作して、希望するCC#をそれぞれのノブに割り当てます。

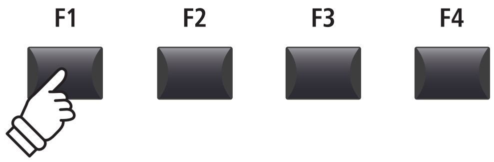
割り当てるMIDI CCメッセージはカーソルボタンと［+/YES］［-/NO］ボタンでも変更できます。





［F1］～［F4］ボタンを押すと該当するZONEが選択され、もう一度押すとページが切り替わります。





* 詳細はP.24をご確認ください。

エディットメニューの概要（BOTHモード）

ZONEがBOTHモードに設定されているとき、エディットメニューはINTモードとEXTモードのパラメータが混在した状態で表示されます。
最初の8個のカテゴリはINTモードのパラメータ、後ろの4個のカテゴリはEXTモードのパラメータです。

* INTモードとEXTモードのパラメータの詳細についてはP.36とP.52をご確認ください。

INT/EXTモードで設定した方法と同様に、セットアップメモリに保存できます。（P.62の「ストアセットアップ」参照）MP7は256個のセットアップメモリを用意しています。

コモンパラメータについて（Cアイコン）

基本的にMAIN、SUB1、SUB2、SUB3 ZONEのパラメータ設定はそれぞれのZONEに独立して設定可能ですが、Cアイコンで印のつけられたパラメータは全ZONE共通のパラメータです。 例えば、C Right Pedal AssignパラメータをMAIN ZONEで変更すると、自動的にSUB1、SUB2、SUB3 ZONEのC Right Pedal Assignパラメータも変更されます。

システムパラメータについて（SYSアイコン）

SYSアイコンマークのあるEXTモードのZONEのパラメータはシステムパラメータで、変更すると自動的に保存されます。（[STORE]ボタンを使う必要がありません）

BOTHモードのZONEのパラメータ

	No.	カテゴリ	パラメータ
INTモード	1	REVERB	C Type, C Pre Delay, C Time, Depth
	2	EFX	Category, Type, Parameters (prm1~prm10, depending on EFX type)
		AMP	Amp Type, Drive, Level, Amp EQ Lo, Amp EQ Mid, Amp EQ Hi, Mid Freq., Mic Type, Mic Position, Ambience
	3	Sound	Volume, Panpot, Filter Cut-off, Filter Resonance, DCA Attack Time, DCA Decay Time, DCA Sustain Level, DCA Release Time, DCF Attack Time, DCF Attack Level, DCF Decay Time, DCF Sustain Level, DCF Release Time, DCF Touch Depth, DCA Touch Depth, Vibrate Depth, Vibrate Rate, Vibrate Delay, Octave Layer Switch, Octave Layer Level, Octave Layer Range, Octave Layer Detune, Portamento, Porta. Time, Porta. Mode TONEWHEEL: Drawbar Position, Percussion, Perc. Level, Perc. Decay, Perc. Harmonic, Volume, C External Control
	4	Tuning	Fine Tune, Stretch Tuning, Temperament, Key of Temperament
	5	Key Setup	C Touch Mode, Touch Curve, Octave Shift, Zone Transpose, Key Range Zone Lo, Key Range Zone Hi, Velocity Switch, Velocity Switch Value, Key Scaling Damping, Key Scaling Key, Dynamics, Solo, Solo Mode
	6	Controllers	Damper Pedal, C Damper Pedal Assign, Damper Pedal Mode, Pitch Bend, P. Bend Range, Soft Pedal Depth, Modulation Wheel, Modulation Wheel Assign, Modulation Depth Range, SW1 Button, C SW1 Button Assign, SW2 Button, C SW2 Button Assign, Right Pedal, C Right Pedal Assign, Center Pedal, C Center Pedal Assign, Left Pedal, C Left Pedal Assign, Expression Pedal, C Expression Pedal Assign
	7	Knob Assign	Knob A Assign, Knob B Assign, Knob C Assign, Knob D Assign, Knob2 A Assign, Knob2 B Assign, Knob2 C Assign, Knob2 D Assign
	8	Virtual Technician	PIANO: Voicing, Stereo Width, String Resonance, Damper Resonance, Key-off Effect, Damper Noise, Hammer Delay, Fall-back Noise, Topboard E.PIANO/HARPSI/BASS: Key-off Noise, Key-off Delay DRAWBAR*: Key Click Level, Wheel Noise Level
EXTモード	9	Ch/Program	MIDI Transmitting Channel, Program*, Bank MSB*, Bank LSB*
	10	SETUP	Send Program, Send Bank, Send Volume, Send Knobs
	11	Transmit SYS	Transmit System Exclusive, Transmit Recorder
	12	MMC SYS	Transmit MMC, MMC Device ID, MMC Commands

* ZONEがBOTHモードに設定されている状態ではProgram、Bank MSB、Bank LSBパラメータは調整できません。

STORE ボタンの概要

エディットメニューとコントロールノブを使って調整した音色の設定は、[STORE（ストア）]ボタンで内部メモリに保存できます。
他の音色を選択したり、電源OFFを行うと、調整した音色の設定は失われてしまいますので、必要な設定は[STORE]ボタンを使って保存してください。

[STORE]ボタンには、各音色毎の設定（SOUND）、パネル全体の設定（SETUP）、電源オン時のパネルの設定（POWERON）のそれぞれを保存する3つの機能があります。

■ STORE ボタンの機能

機能	説明
SOUND	各セクションのバリエーションボタンへ、選択している音色のエディットメニューの設定*を保存します。
SETUP	選択したセットアップメモリへ、システムパラメータを除く全てのエディットメニューの設定と、音色セクションのボタン・ノブ状態、EQの設定を保存します。
POWERON	電源オン時の設定として、システムパラメータを除く全てのエディットメニューの設定と、音色セクションのボタン・ノブ状態、EQの設定を保存します。

* コモンパラメータは除きます。コモンパラメータについての詳細はP.36をご確認ください。

1 STORE SOUND（ストアサウンド）

各セクションのバリエーションボタンへ、選択している音色の（コモンパラメータを除く）エディットメニューの設定を保存します。

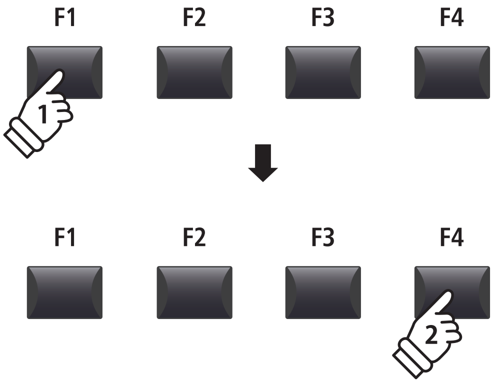
1. STORE（ストア）画面へ入る

[STORE]ボタンを押してボタンを点灯させせます。
LEDが点灯し、ディスプレイにSTORE（ストア）画面が表示されます。

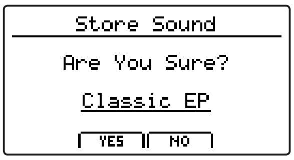
2. STORE SOUND（ストアサウンド）機能を選ぶ

[F1]ボタン（SOUND）を押してSTORE SOUND（ストアサウンド）機能を選びます。

* MIDIセクションが選ばれている場合は、[F1]（SOUND）ボタンは表示されません。



[F4]（EXEC）ボタンを押すと、ディスプレイに確認画面が表示されます。

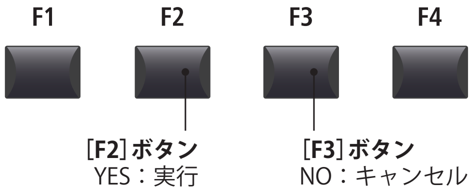


3. STORE SOUND（ストアサウンド）を実行する

[+/YES]または[F2]を押すと、選択したセクションのサウンドに保存されます。
[-/NO]ボタンまたは[F3]ボタンを押すと、STORE（ストア）画面に戻ります。

* 保存を実行すると、それまでの音色の設定は上書きされますのでご注意ください。

* 内部メモリへの書き込み時は絶対に電源を切らないでください。保存したデータが消えてしまいます。



2 STORE SETUP（ストアセットアップ）

ストアセットアップはそれぞれのZONEのエディットメニューのパラメータ設定、各ZONEのボタン、ノブの状態、EQの設定を256個のセットアップメモリに保存します。

1. STORE（ストア）画面へ入る

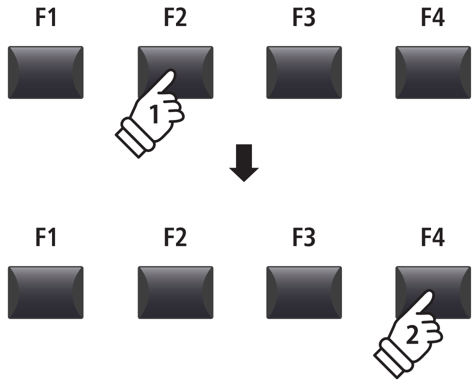
［STORE］ボタンを押してボタンを点灯させせます。

ディスプレイにSTORE（ストア）画面が表示されます。

2. STORE SETUP（ストアセットアップ）機能を選ぶ

［F2］（SETUP）ボタンを押してSTORE SETUP（ストアセットアップ）機能を選びます。

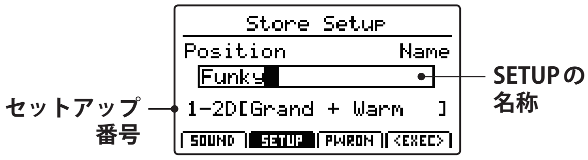
［F4］（EXEC）ボタンを押すと、ディスプレイにセットアップ名編集画面が表示されます。



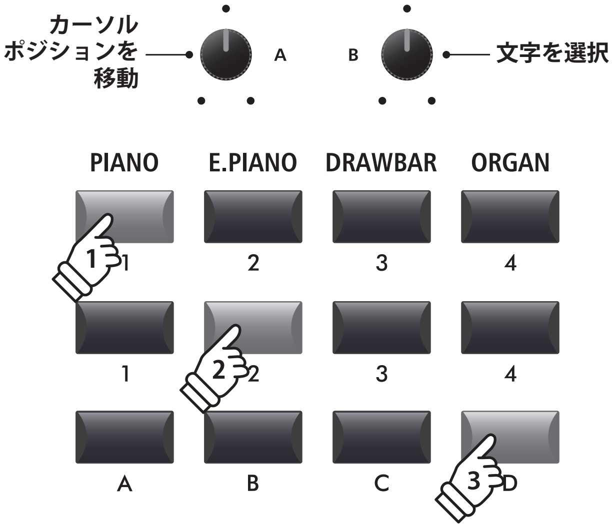
3. セットアップ名を編集し、保存先を指定する

ノブ［A］［B］を使って、セットアップ名を編集します。

音色ボタンを押して、保存先を指定します。



［F4］ボタン（EXEC）を押すと、ディスプレイに確認画面が表示されます。

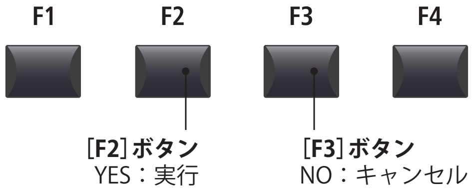


例）　セットアップメモリ1-2Dを選択するには、音色カテゴリの［PIANO］ボタンを押し、サブカテゴリの［2］ボタンを押し、最後にバリエーションの［D］ボタンを押します。

4. STORE SETUP（ストアセットアップ）を実行する

［+/YES］または［F2］ボタンを押すと、保存が実行されます。

［-/NO］ボタンまたは［F3］ボタンを押すと、STORE（ストア）画面に戻ります。



* 保存を実行すると、それまでのセットアップの設定は上書きされますのでご注意ください。

* 内部メモリへの書き込み時は絶対に電源を切らないでください。保存したデータが消えてしまいます。注意ください。

3 STORE POWER ON（ストアパワーオン）

電源オン時の設定として、システムパラメータを除く全てのZONEのエディットメニューの設定と、ボタン、ノブの状態、EQの設定を保存します。

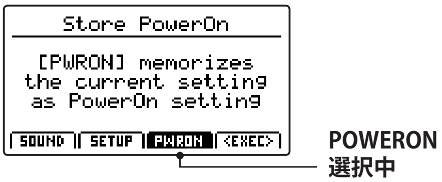
1. STORE（ストア）画面へ入る

［STORE］ボタンを押して、ボタンを点灯させます。

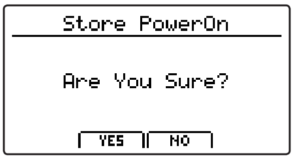
ディスプレイにSTORE（ストア）画面が表示されます。

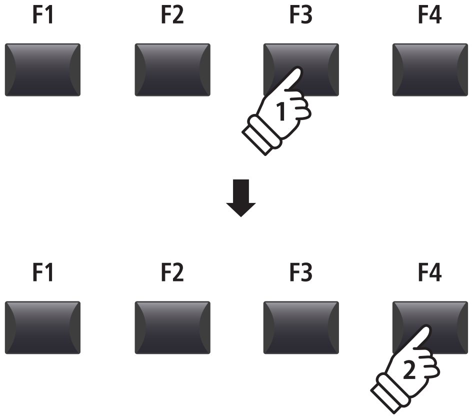
2. STORE POWERON（ストアパワーオン）機能を選ぶ

［F3］（POWERON）ボタンを押してSTORE POWERON（ストアパワーオン）機能を選びます。



［F4］（EXEC）ボタンを押すと、ディスプレイに確認画面が表示されます。





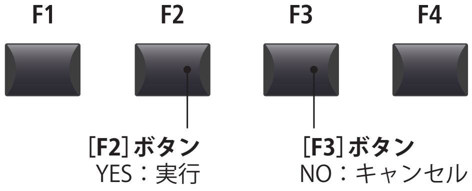
3. STORE POWERON（ストアパワーオン）を実行する

［+/YES］または［F2］ボタンを押すと、保存が実行されます。

［-/NO］ボタンまたは［F3］ボタンを押すと、STORE（ストア）画面に戻ります。

* 保存を実行すると、それまでのパワーオン設定は上書きされますのでご注意ください。

* 内部メモリへの書き込み時は絶対に電源を切らないでください。保存したデータが消えてしまいます。注意ください。



セットアップメモリ

MP7ではZONEに割り当てた音色やその設定、各種パラメータの設定やEQ設定等をセットアップに保存しておき、いつでもすぐに呼び出す事ができます。

セットアップは8 x 8 x 4の構造に配置され、合計256個のセットアップを保存可能です。

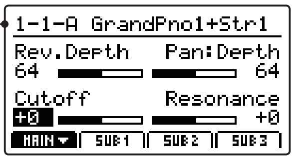
このページではセットアップモードを選択しセットアップメモリを呼び出す方法について説明します。

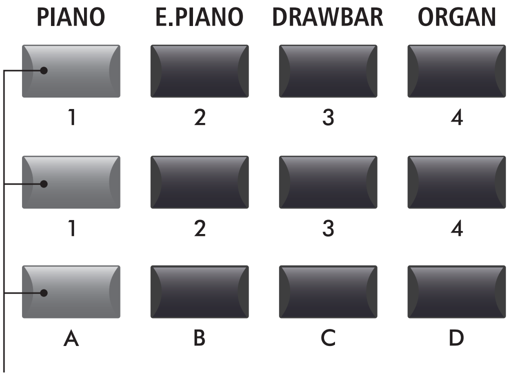
■ セットアップモードをONにする

［SETUP］ボタンを押します。

LEDが点灯し、選択中のセットアップメモリを示します。また、ディスプレイにも選択中のセットアップ名が表示されます。

選択中のセットアップ名





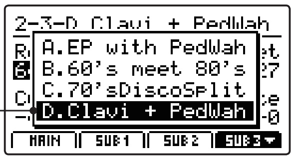
* セットアップセクションをONにすると、前回選択したセットアップメモリが自動的に呼び出されます。

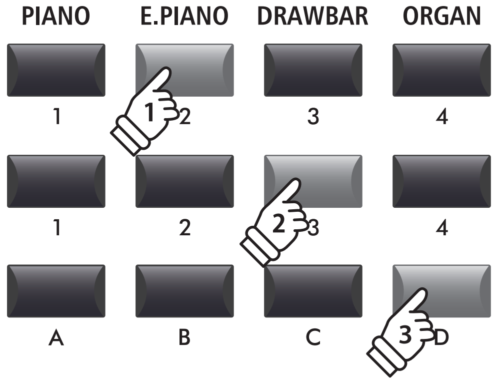
■ セットアップを選ぶ

セットアップモードがONの状態で：

セットアップメモリボタンを押して目的のセットアップを選択します。

選択中のセットアップ名





例）　セットアップメモリ2-3Dを選択するには、音色カテゴリの［E.PIANO］ボタンを選択し、次にサブカテゴリの［3］ボタンを選択し、最後にバリエーションの［D］ボタンを押します。

レコーダーについて

MP7は自分の演奏を本体に録音したり、USBメモリに直接録音（保存）する事ができます。

MP7 レコーダー仕様

	MIDI レコーダー（内部メモリ）	オーディオレコーダー（USBメモリ）
保存フォーマット	SMF（MIDI）	MP3/WAV（オーディオ）
最大曲サイズ	約90,000音	（USBメモリの容量による）
最大曲数	10ソング	（USBメモリの容量による）
使用例	アイディアスケッチ、パフォーマンスの録音、コンピュータでの編集等	
	ー	友人へのe-mail送信、オーディオCD作成等
再生方法	MP7本体で再生/外部MIDI機器で再生	MP7本体で再生/オーディオプレイヤー等で再生
テンポ調整	有り	無し
オーバーダビング	無し	有り
データ変換	MP3/WAVに変換録音可	ー

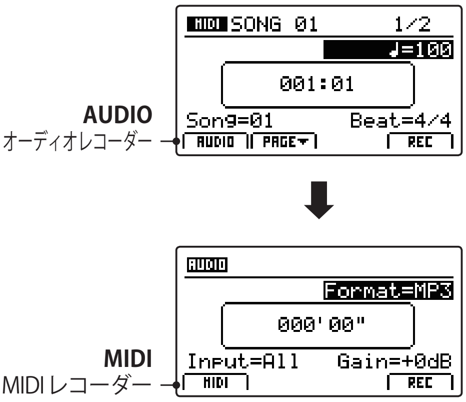
レコーダー画面へ入る

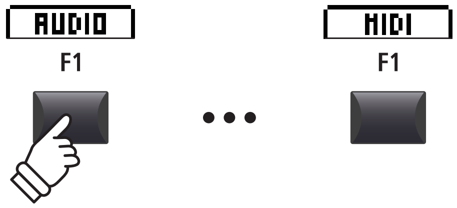
［RECORDER］ボタンを押して、ボタンを点灯させせます。

レコーダー機能がONになり、ディスプレイにレコーダー画面が表示されます。

レコーダーモードを選ぶ

［F1］ボタンを押して、MIDIレコーダーと、オーディオレコーダーを切り替えます。





＊ レコーダーモードに入っているとき、USBメモリが接続されていれば、自動的にUSBオーディオレコーダーが選択されます。

＊ レコーダーモードに入っているとき、USBメモリが接続されていなければ、自動的に内部MIDIレコーダー選択されます。

USB機能

USBメモリに保存されたファイルの消去（Delete）やファイル名変更（Rename）は、USBメニューで行うことができます。（P.96「USBメニューについて」参照）

MIDI レコーダー（内部メモリ）

MP7のMIDIレコーダーは内部メモリに10曲まで録音する事ができます。録音した曲はSMF（Standard MIDI File）として、またはMP3/WAV形式に変換してUSBメモリに保存する事ができます。

1 内部メモリに録音する

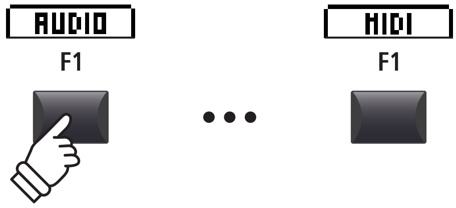
1. レコーダーモードに入る

RECORDERセクションの[ON/OFF]ボタンを押して、ボタンを点灯させせます。

レコーダ-機能がONになり、ディスプレイにはMIDIレコーダー画面が表示されます。

MIDIレコーダー 選択中

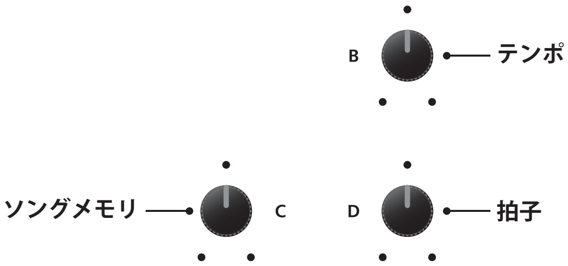
USBメモリが接続されている場合、[F1]ボタン（MIDI）を押して、MIDIレコーダ機能を選びます。



2. ソングメモリを選び、テンポ、ビートを選択する

ノブ[C]を回して新しく録音するソングメモリを選びます。

* 10曲の内部メモリが用意されています。
* すでに選択したソングメモリに何か録音されていた場合は自動的に消去され、新たなデータが録音されます。
* リズムパターン/メトロノームを使っての録音に関してはP.94をご確認ください。

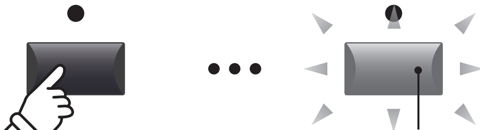


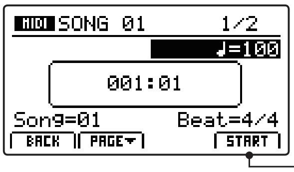
3. 録音の準備

[●]ボタン（REC）を押します。

[●]ボタン（REC）が点滅し、録音スタンバイ状態を示します。

* レコーダー画面で[F4]ボタンを押すことでも録音スタンバイ状態に入れます。



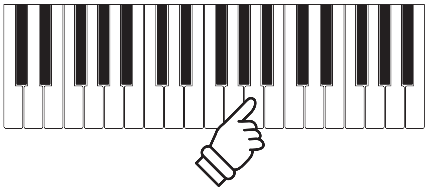


スタンバイ状態

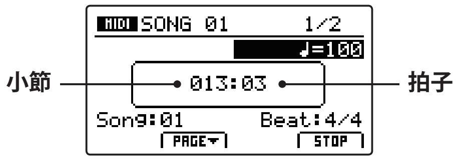
レコーダー

4. 録音を開始する

演奏を始めると自動的に録音がスタートします。このとき[●]（REC）ボタンと[▶/■]ボタン（PLAY/STOP）が点灯します。



録音が始まると録音時間の表示が進みます。



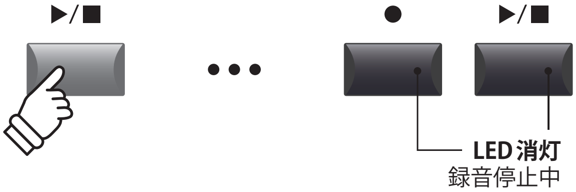
* 録音待機状態から、[▶/■]ボタン（PLAY/STOP）を押すことでも、録音が開始できます。
* [METRONOME]ボタンを点灯させている場合、1小節分のカウントイン後に録音が開始されます。
  詳細はP.94をご確認ください。

5. 録音を停止する

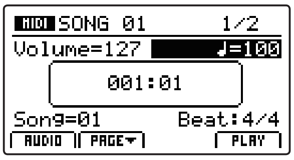
[▶/■]ボタン（PLAY/STOP）を押します。

[●]ボタン（REC）と[▶/■]ボタン（PLAY/STOP）が消灯し録音が終了します。

* [F4]ボタンを押すことでも録音をとめる事ができます。



録音を停止するとMIDI再生画面が表示されます。



録音されたデータの再生に関してはP.68をご確認ください。

* 最大録音容量は約90000音です。
* 録音中に記憶容量がいっぱいになったときは[●]ボタン（REC）と[▶/■]ボタン（PLAY/STOP）が消灯し、録音が中止されます。中止される直前までの演奏は録音されます。
* 内部メモリへの書き込み中は、絶対に電源を切らないでください。保存したデータが消えてしまいます。
* レコーダーに録音した内容は本体の電源を切っても消えません。

2 MIDI ソングを再生する

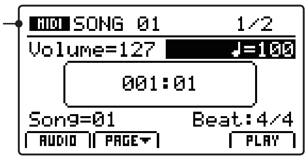
内部メモリに保存されたMIDIソングを再生します。録音直後に再生する場合はステップ3から始めてください。

1. MIDI レコーダ画面に入る

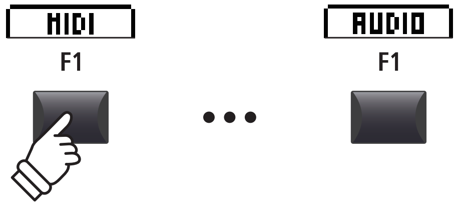
RECORDER セクションの[ON/OFF] ボタンを押して、ボタンを点灯させせます。

レコーダー機能がONになり、ディスプレイにレコーダー画面が表示されます。

MIDIレコーダー画面



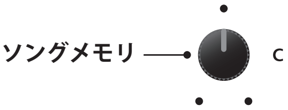
USBメモリが接続されている場合、[F1] ボタン（MIDI）を押して、MIDI レコーダ機能を選びます。



2. 再生するソング（曲）を選択する

ノブ[C]を回し、再生するソングメモリを選ぶ。

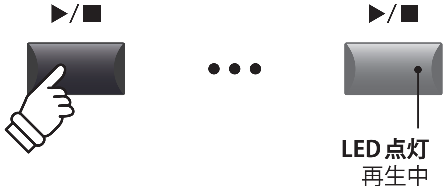
* 再生中はソングの選択はできません。

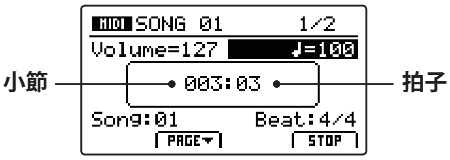


3. 曲を再生する

[▶/■]ボタン（PLAY/STOP）を押すと、[▶/■]ボタンが点灯し、再生がスタートします。

* [F4] ボタンを押すことでも再生を開始できます。





▌再生音量とテンポの調整

ノブ[A]及び[B]を回して再生の音量と曲のテンポを変更できます。

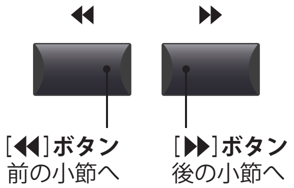
* 音量とテンポは再生中にも変更可能です。

レコーダー

再生箇所の移動

［◀◀］［▶▶］ボタンで、早送り、早戻しができます。

* 再生箇所は再生中にも移動可能です。



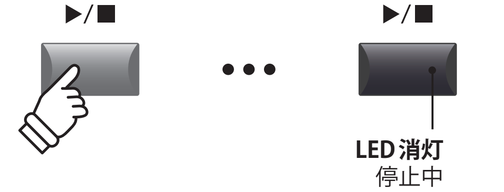
4. 曲を停止する

曲を再生している状態で：

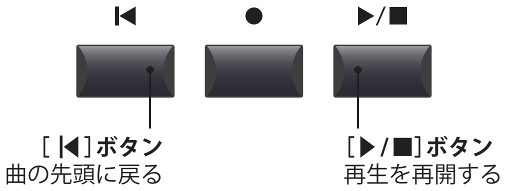
［▶/■］ボタン（PLAY/STOP）を押します。

LEDが消灯し、再生が停止します。

* ［F4］ボタンを押すことでも再生を停止できます。



再び［▶/■］ボタン（PLAY/STOP）を押すと、停止した位置から再生を開始します。［ |◀ ］ボタンを押すと曲の先頭に戻ります。

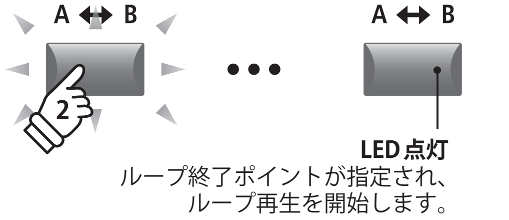


A-B リピート

A-B リピート機能を使うと、曲の一部を繰り返しループ再生することができます。

ソング再生中に［A↔B］ボタンを押すと、ループ開始ポイントが指定され、［A↔B］ボタンが点滅します。

再度［A↔B］ボタンを押すと、ループ終了ポイントが指定され、［A↔B］ボタンが点灯して指定された区間が繰り返し再生されます。

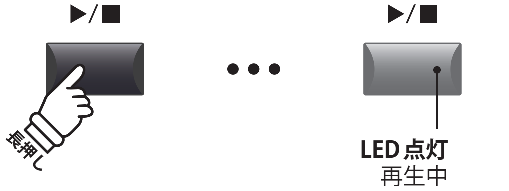


A-B リピートで繰り返し再生されているとき、再度、［A↔B］ボタンを押すと、［A↔B］ボタンが消灯して繰り返し再生が解除されます。

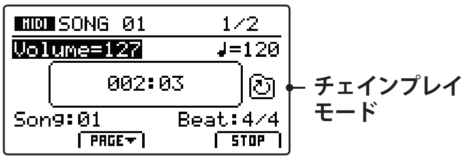
連続再生（チェインプレイ）モード

レコーダーに保存された曲を連続して順番に再生するモードです。

［▶/■］ボタン（PLAY/STOP）を長押しします。



チェインプレイアイコンがディスプレイに表示され、曲が連続して順番に再生されます。



3 SMF形式で保存する

録音したMIDIソングを、SMF（Standard MIDI File）形式でUSBメモリに保存します。

1. 曲を選択する

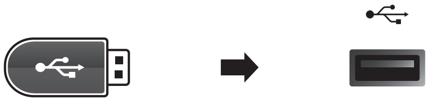
レコーダーモードをONにして、曲を録音した後：

ノブ[C]を回してUSBメモリに保存したいソングを選びます。

2. USBメモリを接続する

USBポートにUSBメモリを接続してください。

* USBメモリは、FAT又は、FAT32でフォーマットされているものを使用してください。



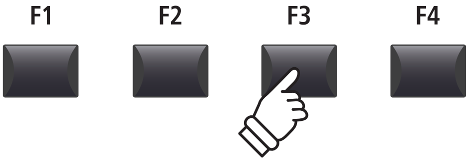
メモリが認識されると、[F3]ボタン（SAVE）がディスプレイに表示されます。

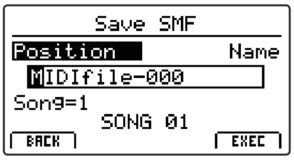
* このSAVEボタンは、すでに曲がメモリに録音されているときのみ表示されます。

3. 保存する

[F3]ボタン（SAVE）を押します。

ディスプレイにSave SMF画面が表示されます。



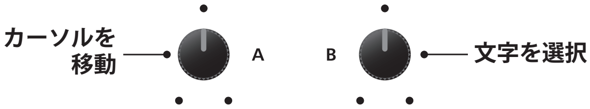


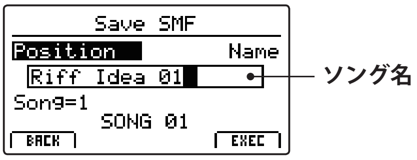
4. ファイル名を入力する

ノブ[A][B]を回してファイル名を入力する。

* ファイル名は18文字が最大です。

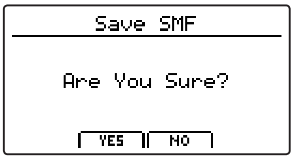
* ファイルはUSBメモリのルートフォルダに保存されます。異なるフォルダへは保存できません。

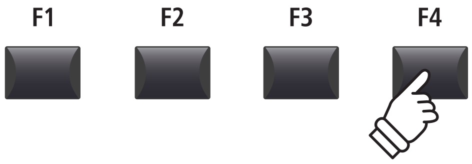




5. 保存を実行する

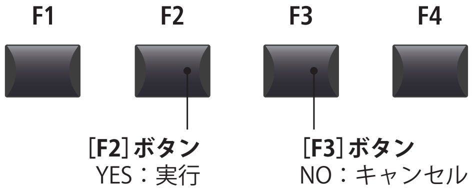
［F4］ボタン（EXEC）を押すと、ディスプレイに確認画面が表示されます。





［+/YES］または［F2］ボタンを押すと、保存が実行されます。

［-/NO］ボタンまたは［F3］ボタンを押すと、STORE（ストア）画面に戻ります。



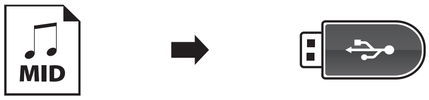
* 内部メモリへの書き込み中は、絶対に電源を切らないでください。保存したデータが消えてしまいます。

4 SMFを内部メモリへLOAD（ロード）する

USBメモリのSMFを内部メモリへLOAD（ロード）します。

▌USBメモリの準備

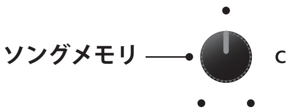
まず、用意したSMFをUSBメモリへコピーします。



1. 空いている内部メモリを選択する

レコーダーモードをONにした状態で：

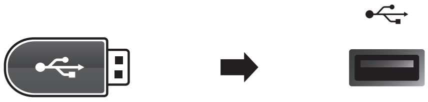
ノブ［C］を回して空きソングを選択します。



* すでに録音済みのソングを選択し、上書きする事も可能です。

2. USBメモリを接続します

USBポートにUSBメモリを接続します。



* USBメモリは、FAT又は、FAT32でフォーマットされているものを使用してください。

USBメモリを認識し、LOADボタンがディスプレイに表示されます。

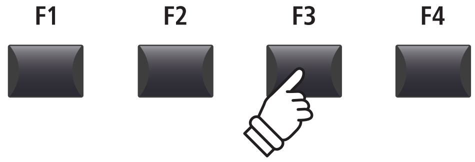
* LOADボタンは選択されている内部ソングが空のときのみ表示されます。内部ソングを消去したい場合はP.74をご確認ください。

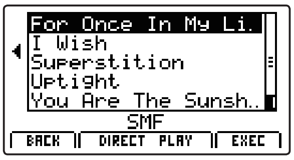
4 SMFを内部メモリへLOAD（ロード）する（続き）

3. LOAD（ロード）SMF機能を選ぶ

［F3］ボタンを押します。（LOAD）

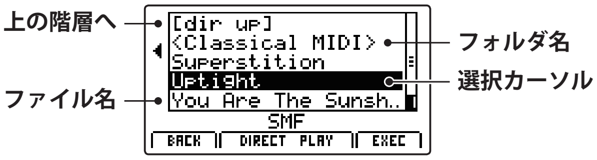
USBファイルのルート階層にあるSMFファイルがディスプレイに表示されます。

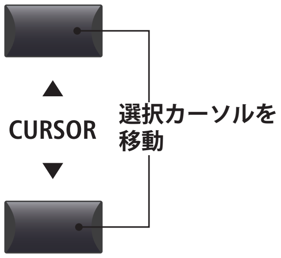




■ USBのファイル/フォルダリスト画面について

MP7のファイルリスト画面はルート階層の関係するファイルとフォルダを表示します。

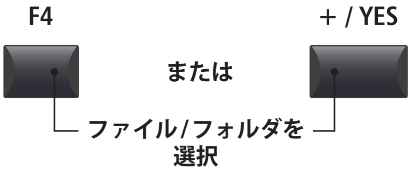




カーソル上下ボタンで選択カーソルを移動します。

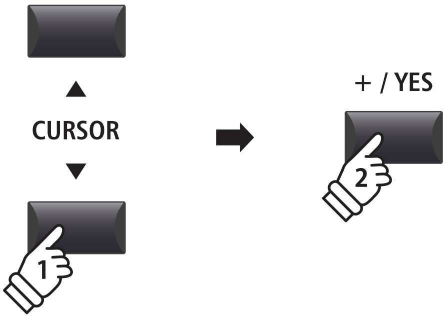
* ノブ［A］でもカーソルを移動することができます。

ファイル/フォルダを選択した状態で［F4］ボタン（EXEC）または「+/YES」ボタンを押してファイルを選択またはフォルダ内に移動します。



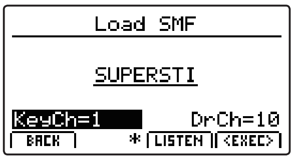
4. SMFファイルをロードする

カーソル上下ボタンを押して、MIDIファイルを選択します。



［F4］ボタンまたは［+/YES］ボタンを押します。

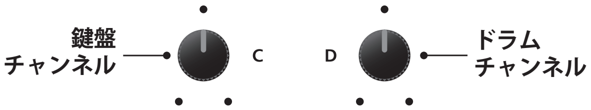
LOAD SMF画面がディスプレイに表示されます。



レコーダー

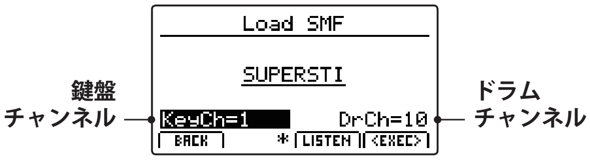
5. 鍵盤チャンネルとドラムチャンネルを選択する

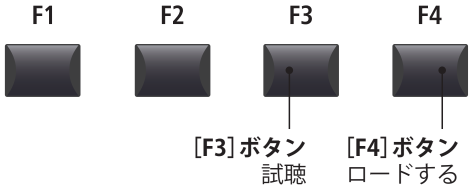
MP7のMIDIレコーダーの鍵盤チャンネルとドラムチャンネルに、SMFのどのチャンネルを使用するかをノブ［C］［D］を使って指定します。



* MP7は、SMFファイルの内容に基づいて自動的に適切なキーボードとドラムトラックを検出します。

* MP7で作られたSMFファイルでは、ドラムトラックはOFFになります。





［F3］ボタン（LISTEN）を押すと、現在のチャンネル設定を試聴することができます。

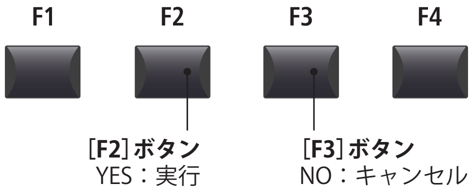
［F4］ボタン（EXEC）を押すと、選択したSMFファイルを内部メモリにロードします。

LOAD SMF確認画面がLCDに表示されます。

6. SMFをLOAD（ロード）する

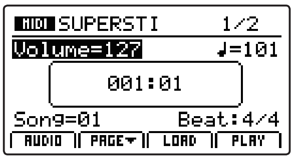
［F2］ボタンまたは［+/YES］ボタンを押すとSMFが内部メモリへロードされます。

［F3］ボタンまたは［-/NO］ボタンを押すと前の画面に戻ります。



7. LOAD（ロード）したSMFファイルを再生する

SMFファイルをLOAD（ロード）すると、レコーダー画面がディスプレイに表示されます。



再生方法についてはP.68をご確認ください。

レコーダー

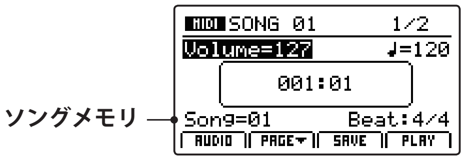
5 内部メモリを消去する

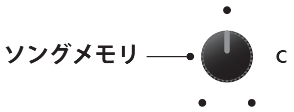
不要なソング（曲）を消去して、メモリを空き状態にします。

1. 消去するソングメモリを選ぶ

MIDI レコーダー画面に入った状態で：

ノブ［C］を回して消去したい内部ソングメモリを選択します。



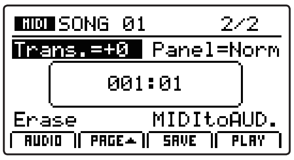


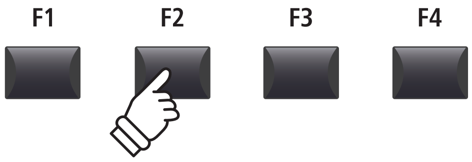
* 全ての曲を一度に消去したい場合は、システムメニューのリセットレコーダー機能を使用してください。（P.110をご確認ください）

2. レコーダー機能の2ページ目を表示する

［F2］ボタンを押します。

レコーダー機能の2ページ目が表示されます。

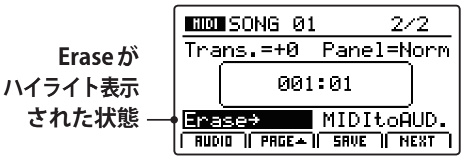


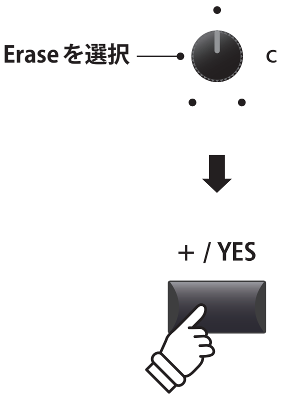


* カーソル上下ボタンでもページを行き来できます。

3. Erase（消去）を選択する

ノブ［C］を回して、カーソルを「Erase」に合わせます。（ハイライト表示）





* 十字カーソルボタンでもカーソル移動可能です。

［+/YES］ボタンを押して、Eraseを選択します。

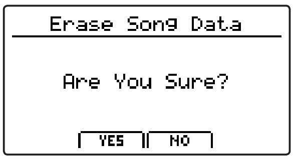
確認画面がディスプレイに表示されます。

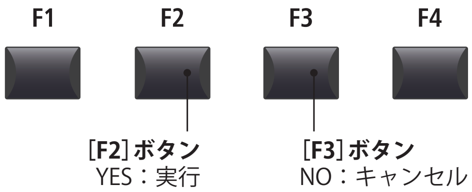
* ［●］ボタン（REC）と［［▶/■］ボタン（PLAY/STOP）ボタンを同時に押すことでもソングを消去する事ができます。

4. 削除する

［F2］ボタンまたは［+/YES］ボタンを押して、削除します。

［F3］ボタンまたは［-/NO］ボタンを押すと前の画面に戻ります。



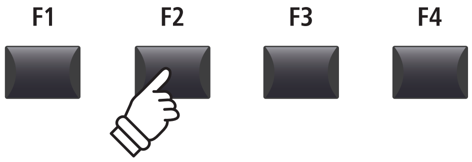


6 曲のトランスポーズ(移調)

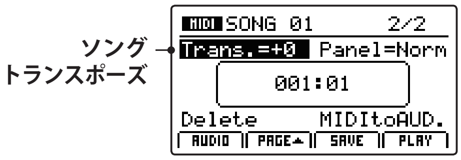
MP7ではLOAD(ロード)したSMFファイルを移調(半音単位)して再生する事ができます。

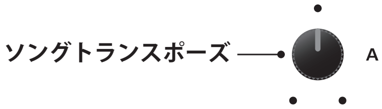
■ソング(曲)のトランスポーズ量を変更する

[F2]ボタンを押して、レコーダー機能の2ページ目を表示します。



ノブ[A]を回してトランスポーズ(移調)量を調整します。





* トランスポーズの範囲は-12 ～ +12(半音)です。

7 パネルモード

内部に録音されたデータを再生する際に、パネルセッティングも再現(現在のパネルセッティングに展開)するかどうかを選択します。

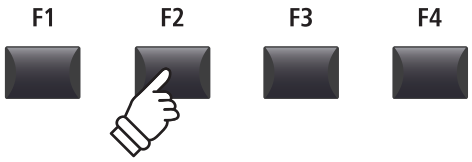
■パネルモードの種類

パネルモード	説明
Normal(初期状態)	内部レコーダー再生時、パネルセッティングを再現しない。
Play	内部レコーダー再生時、パネルセッティングを再現(展開)する。(パネルスイッチが切り替わる)

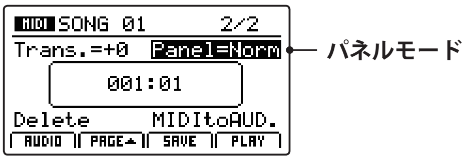
	Normalパネルモード	Playパネルモード
メリット	再生しても現在のパネルセッティングに影響なし。	全ての機能は完全に再現される。
デメリット	データとパネルが独立しているため、エフェクトなどは現在のパネルセッティングで再生される。エフェクト等は録音状態とは異なる場合がある。	録音データの再生によって、現在のパネルセッティングが変更される。

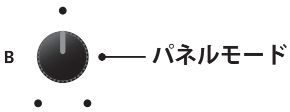
■パネルモードを変更する

[F2]ボタン(PAGE▼)を押してレコーダー機能の2ページ目を表示します。



ノブ[B]を回してパネルモードタイプを選びます。





8 MIDI to Audio

MIDIをオーディオに変換する機能です。詳細はP.87をご確認ください。

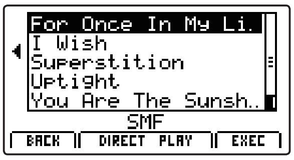
9 SMF ダイレクトプレイ

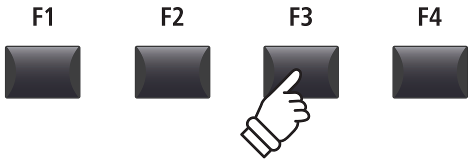
この機能はUSBメモリから直接16トラックのSMFファイルを再生する事ができます。

1. LOAD（ロード）SMF機能を選ぶ

［F3］ボタンを押します。（LOAD）

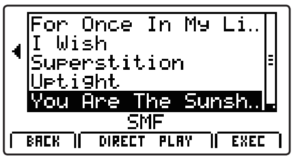
USBメモリのルート階層にあるSMFファイルがディスプレイに表示されます。



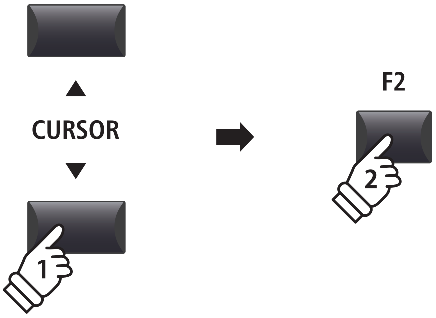


2. 再生するSMFファイルを選択する

カーソル上下ボタンでファイルを選択します。

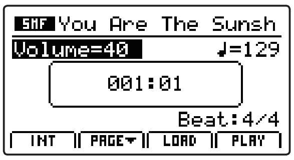


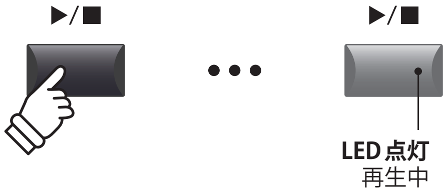
［F2］または［F3］ボタン（DIRECT PLAY）を押します。



3. 選択したSMFファイルを再生する

DIRECT PLAY機能を選択すると、ディスプレイに再生画面が表示されます。





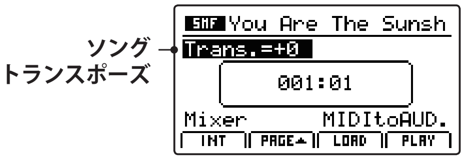
MIDIファイルの再生とチェインプレイ機能の詳細についてはP.68をご確認ください。

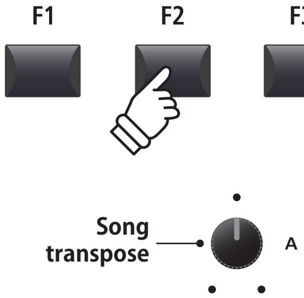
* ［F1］ボタン（INT）を押すと、SMF DIRECT PLAY機能を抜け、内部ソングプレイヤー画面に戻ります。

■ ソング（曲）のトランスポーズ量を変更する

［F2］ボタン（ページ▼）を押してレコーダー機能の2ページ目を表示します。

ノブ［A］を操作してトランスポーズ（移調）量を調整します。





* トランスポーズの範囲は-12～+12（半音）です。

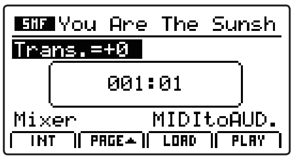
SMFミキサー

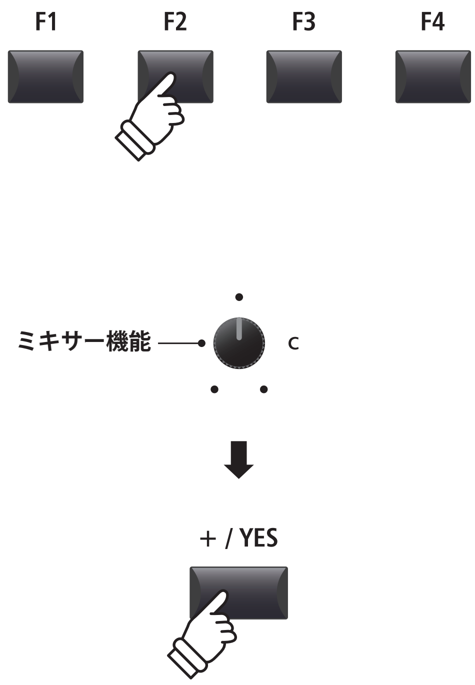
SMFミキサー画面を使って16トラックのSMFファイルのボリューム及びミュートON/OFFを調整します。

1. SMFミキサーを選択する

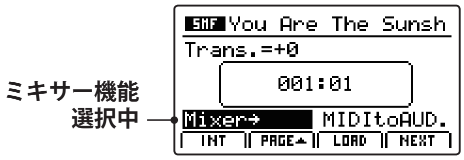
SMFファイルをロードした状態で：

[F2]ボタン（ページ▼）を押して、再生画面の2ページ目を表示させます。





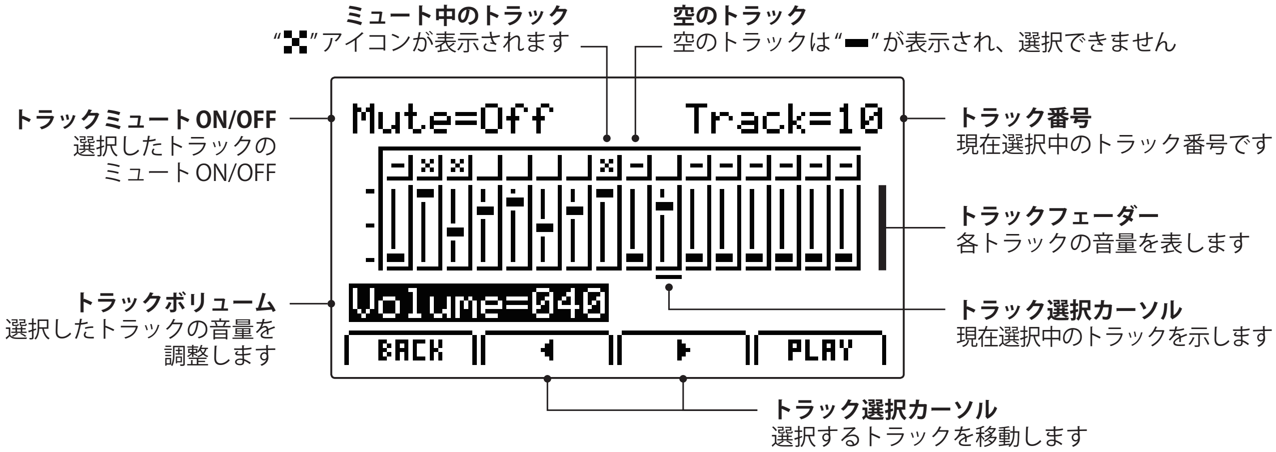
ノブ[C]を操作してミキサー機能を選択（ハイライト表示）します。



* カーソルボタンでも選択可能です。

[+/YES]ボタン（NEXT）を押して、ミキサー機能を選択するとディスプレイにSMFミキサー画面が表示されます。

▌SMFミキサー画面について

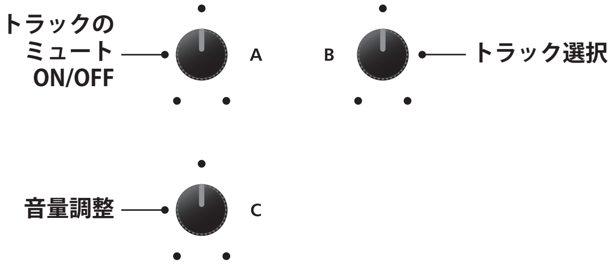


2. トラックを選択し、ミュート・音量を調整する

ミキサー画面を表示した状態で：

ノブ[B]を操作して調整するトラックを選択し、ノブ[C]をで音量を調整します。

ノブ[A]を調整することでトラックのミュートON/OFFを設定できます。



* [F2][F3]ボタン（◀と▶）でトラックを選択することもできます。

1 オーディオファイルに録音する

MP7はラインインも含めたパフォーマンスをMP3やWAV形式で、USBメモリにデジタルオーディオデータとして録音することができます。他の録音機器を用意することなく楽器上でダイレクトに高品質のオーディオ録音ができ、バンドメンバーにメールで送ったり、オーディオプレイヤーで再生したり、ワークステーションで、リミックスしたりと、様々な使い方ができます。

オーディオ録音フォーマット仕様

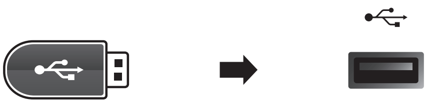
ファイル形式	仕様	ビットレート
MP3	44.1 kHz, 16 bit, Stereo	192 kbit/s（fixed）
WAV	44.1 kHz, 16 bit, Stereo	1,411 kbit/s（uncompressed）

* MPEG Layer-3 audio coding technology licensed from Fraunhofer IIS and Thomson.
MP3 codec is Copyright (c) 1995-2007, SPIRIT

1. USBメモリを接続する

USBデバイスポートにUSBメモリを接続します。

* USBメモリは、FAT又は、FAT32でフォーマットされているものを使用してください。

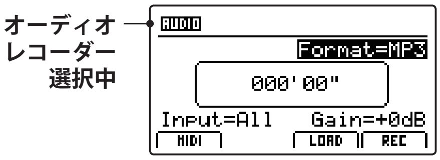


USBメモリが認識されます。

2. レコーダーモードに入る

RECORDERセクションの[ON/OFF]ボタンを押してレコーダーモードに入ります。

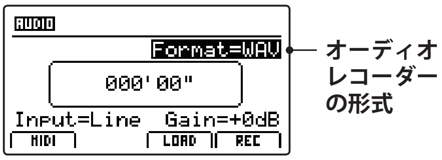
RECORDERセクションの[ON/OFF]ボタンが点灯し、オーディオレコーダー画面がディスプレイに表示されます。

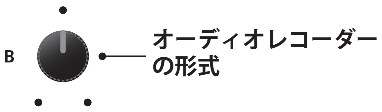


* MIDIレコーダー画面が表示されている場合は、[F1]ボタン（AUDIO）を押して、オーディオレコーダーを選択してください。

ファイル形式を選択する

ノブ[B]を回して、目的のオーディオ形式を選択します。





* MP3形式は、WAV形式に比べ、メモリの容量を必要としません。

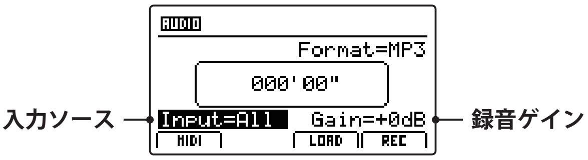
* 1Gバイトのメモリの場合、MP3形式で12時間を越える録音ができます。

■ 入力ソースの選択とゲインの設定

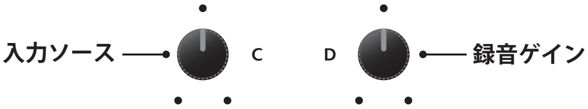
ノブ[C]を回して入力ソースを選択します。

ノブ[D]を回して録音ゲインを設定します。

静かな曲の録音の時はゲインをあげて録音してください。



入力	説明
All	MP7の音とラインインの音の両方。
Line	ラインインの音のみを録音。



* ゲインレベルは-18dB ～ +18dBの間で設定可能です。

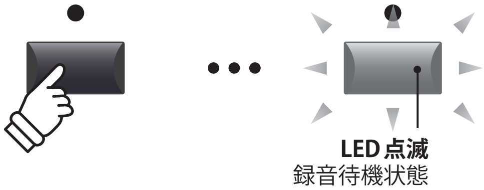
3. 録音待機状態に入る

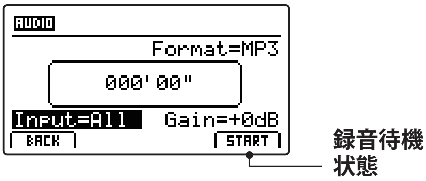
RECORDERセクションの[●]（REC）ボタンを押します。

このとき[●]（REC）ボタンが点滅し、録音待機状態を示します。

* レコーダーモードから、[F4]ボタンを押すことでも、録音待機状態に移行します。

* USBメモリを挿すと認識に時間がかかる事があります。



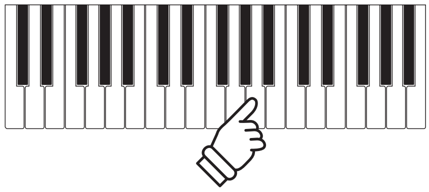


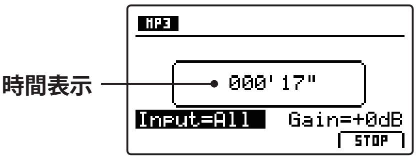
4. 録音をスタートする

演奏を始めると自動的に録音がスタートします。

このとき[●]（REC）ボタンと[▶/■]（PLAY/STOP）ボタンが点灯します。

ディスプレイ中央に時間が表示され、録音が始まります。





* 録音待機状態から、[PLAY/STOP ▶/■]ボタンを押すことでも、録音が開始できます。

* [METRONOME]ボタンを点灯させると、1小節分のカウントイン後に録音が開始されます。

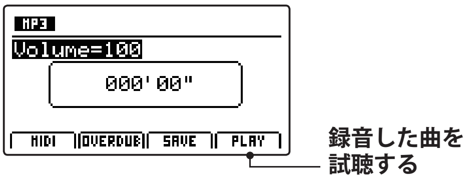
5. 録音をストップし、録音結果を試聴する

[▶/■]（PLAY/STOP）ボタンを押します。

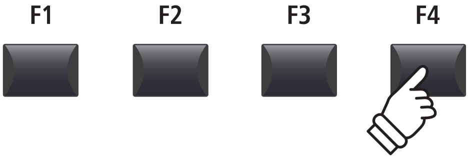
[●]（REC）ボタンと[▶/■]（PLAY/STOP）ボタンが消灯し録音が終了します。

* [F4]ボタンでも録音を停止する事ができます。

録音を停止するとオーディオプレイヤー画面がディスプレイに表示されます。



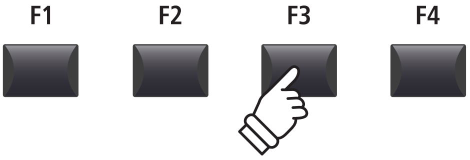
* [●]ボタン（REC）と[▶/■]ボタン（PLAY/STOP）を同時に押すと、録音されたファイルが消去されます。



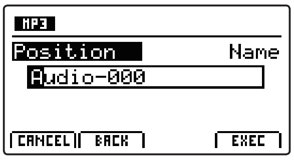
[F4]ボタン（PLAY）または[▶/■]ボタン（PLAY/STOP）を押すと録音データを保存する前に視聴する事ができます。

6. ファイル名をつける

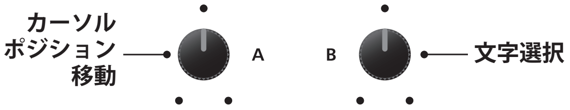
[F3]ボタンを押します。（SAVE）

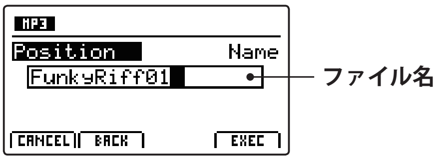


ディスプレイにオーディオファイルのSAVE（セーブ）画面が表示されます。



ノブ[A][B]を使って、ファイル名を編集します。



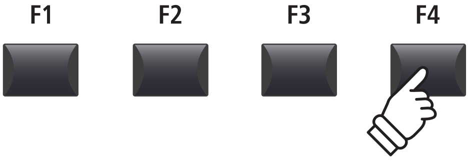


* ファイル名は最大18文字です。

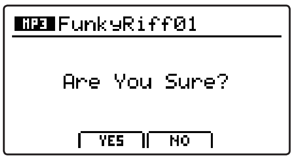
* ファイルはUSBメモリのルートフォルダに保存されます。異なるフォルダへは保存できません。

7. オーディオファイルを保存する

[F4]ボタンを押します。（EXEC）

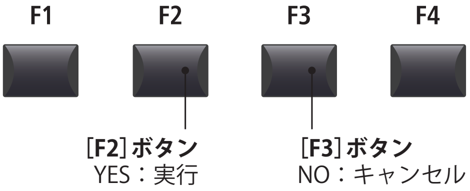


確認画面がディスプレイに表示されます。



[F2]ボタンまたは[+/YES]ボタンを押すと保存されます。

[F3]ボタンまたは[-/NO]ボタンを押すと前の画面に戻ります。



* 書き込み中は、絶対に電源を切らないでください。保存したデータが消えてしまいます。

2 オーディオファイルを再生する

MP7はUSBメモリに保存されたMP3やWAV形式のオーディオファイルを再生できます。本格的なバッキングトラックを鳴らしながら1人でパフォーマンスしたり、曲を聞いてコードやメロディを聞き取る作業を行うときなどに便利です。

オーディオ再生ファイルフォーマット仕様

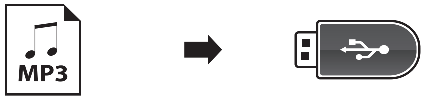
ファイル形式	仕様	ビットレート
MP3	32 kHz/44.1 kHz/48 kHz, Mono/Stereo	8 〜 320 kbit/s（fixed & variable）
WAV	32 kHz/44.1 kHz/48 kHz, Mono/Stereo, 8 bit/16 bit	—

* MPEG Layer-3 audio coding technology licensed from Fraunhofer IIS and Thomson.
MP3 codec is Copyright (c) 1995-2007, SPIRIT

USBメモリの準備

まず、用意したMP3またはWAVファイルをUSBメモリへコピーします。

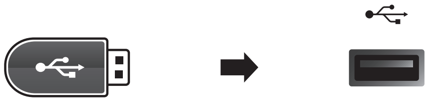
* USBメモリは、FAT又は、FAT32でフォーマットされているものを使用してください。



1. USBメモリを接続する

USBデバイスポートにUSBメモリを接続します。

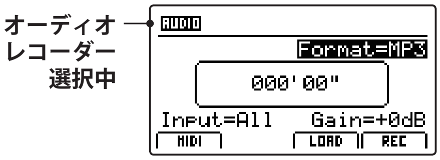
USBメモリが認識されます。



2. レコーダーモードに入る

RECORDERセクションの[ON/OFF]ボタンを押してレコーダーモードに入ります。

RECORDERセクションの[ON/OFF]ボタンが点灯し、オーディオレコーダー画面がディスプレイに表示されます。

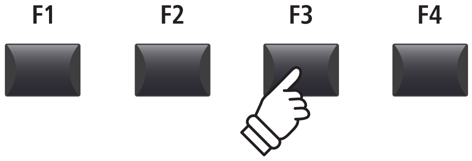


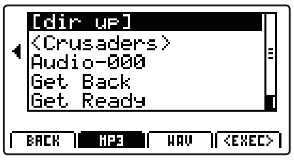
* MIDIレコーダー画面が表示されている場合は、[F1]ボタン（AUDIO）を押して、オーディオレコーダーを選択してください。

3. LOAD（ロード）するファイルを選択する

[F3]ボタンを押します。（LOAD）

USBメモリのルート階層にあるフォルダとMP3のファイルリストがディスプレイに表示されます。

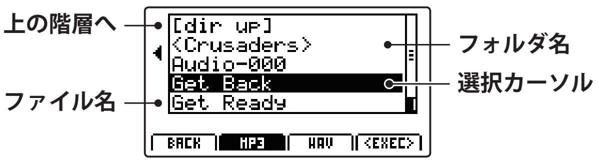


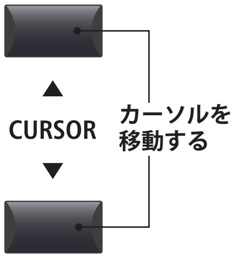


2 オーディオファイルを再生する（続き）

USBメモリのファイル/フォルダリストの画面

MP7のファイル/フォルダリスト画面はUSBメモリに保存されているファイルとフォルダをリスト表示します。



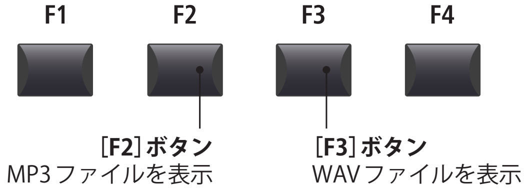


［CURSOR▲］［CURSOR▼］ボタンを使ってカーソルを動かして、ファイルを選択します。

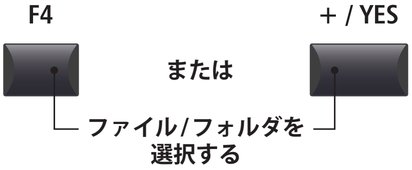
* ノブ[A]を回してもファイルを選択できます。

［F2］［F3］ボタンで、MP3とWAVフォーマットを切り換えることができます。

* 初期値ではMP3が選択されています。

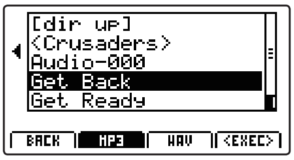


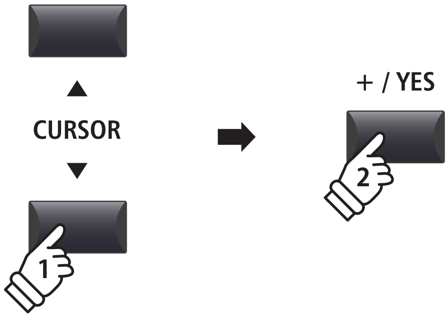
[F4]ボタンまたは[+/YES]ボタンを押して、ファイルまたはフォルダを選択します。



4. LOAD（ロード）するオーディオファイルを選ぶ

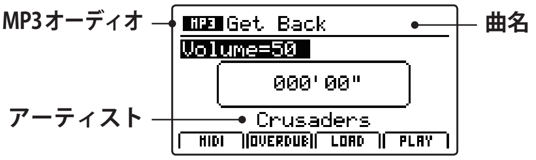
[CURSOR▲][CURSOR▼]ボタンで目的のファイルを選びます。





[F4]ボタンまたは[+/YES]ボタンを押します。

オーディオプレイヤー画面がディスプレイに表示されます。



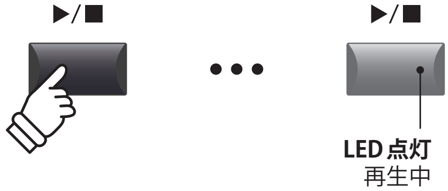
* ID3タグなどのメタデータを持っている場合は、その曲名/アーティスト名が表示されます。

5. 再生する

[▶/■]（PLAY/STOP）ボタンを押します。

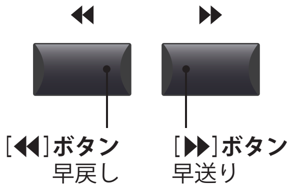
［▶/■］（PLAY/STOP）ボタンが点灯し、再生がスタートします。

* ［F4］ボタン（PLAY）を押す事でも再生する事ができます。



再生箇所の移動

[◀◀][▶▶]ボタンで、早送り、早戻しができます。

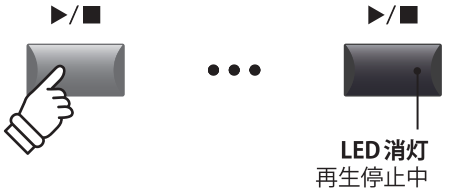


6. 曲を停止する

曲を再生している状態で：

[▶/■]ボタン(PLAY/STOP)を押します。

LEDが消灯し、再生が停止します。



再び[▶/■]ボタン(PLAY/STOP)を押すと、停止した位置から再生を開始します。また[|◀]ボタンでデータの先頭に戻ります。

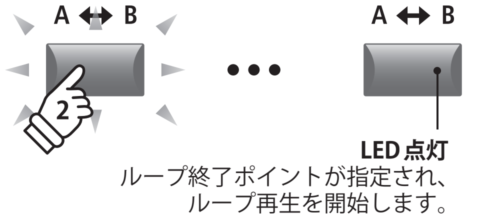
* [F4]ボタン(STOP)を押すことでも再生を停止できます。

A-B リピート

A-Bリピート機能を使うと、曲の一部を繰り返しループ再生することができます。

ソング再生中に[**A↔B**]ボタンを押すと、ループ開始ポイントが指定され、[**A↔B**]ボタンが点滅します。

再度[**A↔B**]ボタンを押すと、ループ終了ポイントが指定され、[**A↔B**]ボタンが点灯して指定された区間が繰り返し再生されます。



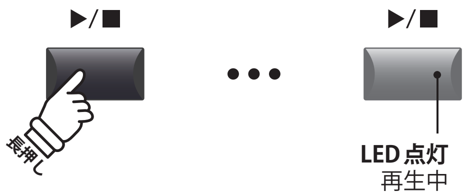
A-Bリピートで繰り返し再生されているとき、再度、[**A↔B**]ボタンを押すと、[**A↔B**]ボタンが消灯して繰り返し再生が解除されます。

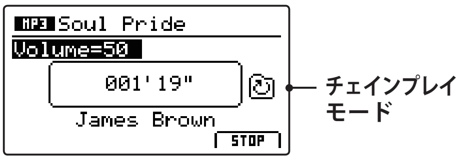
連続再生(チェインプレイ)モード

フォルダ内に保存されたオーディオファイルを連続して順番に再生するモードです。

[▶/■]ボタン(PLAY/STOP)を長押しします。

チェインプレイアイコンがディスプレイに表示され、曲が連続して順番に再生されます。





3 オーバーダビングする

MP7上で直接既存のオーディオのファイルに追加録音し、簡単なマルチトラック録音を行うことができます。

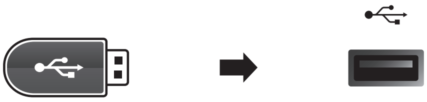
またオーバーダビング録音では、毎回一時的にファイルが作成されますので、一度保存したファイル、既存のオーディオファイルが修正されることはありません。

* 最終的に保存作業を行っていないと、そのときの録音結果は次のオーバーダビング録音で失われますのでご注意ください。

1. USBメモリを接続する

USBデバイスポートにUSBメモリを接続します。

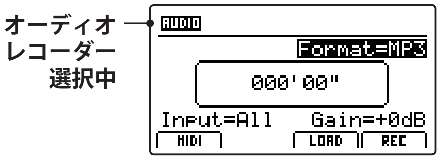
USBメモリが認識されます。



2. レコーダーモードに入る

RECORDERセクションの[ON/OFF]ボタンを押してレコーダーモードに入ります。

RECORDERセクションの[ON/OFF]ボタンが点灯し、オーディオレコーダー画面がディスプレイに表示されます。

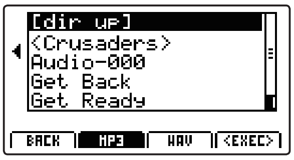


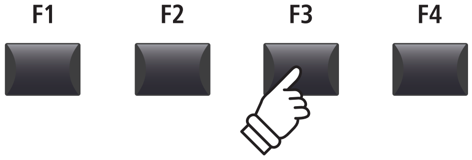
* MIDIレコーダー画面が表示されている場合は、[F1]ボタン（AUDIO）を押して、オーディオレコーダーを選択してください。

3. オーバーダビングしたいファイルを選択する

[F3]ボタンを押します。（LOAD）

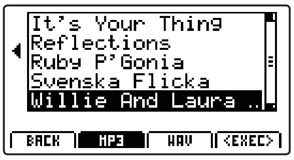
USBメモリのルート階層にあるフォルダとMP3のファイルリストがディスプレイに表示されます。

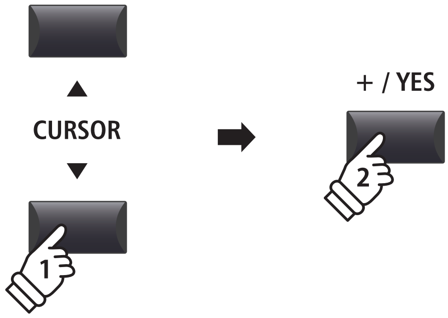




4. LOAD（ロード）するオーディオファイルを選ぶ

[CURSOR▲] [CURSOR▼]ボタンで目的のファイルを選びます。



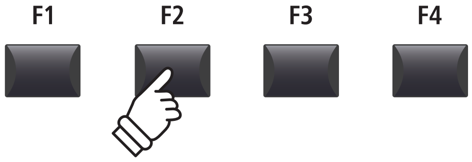


[F4]ボタンまたは[+/YES]ボタンを押します。

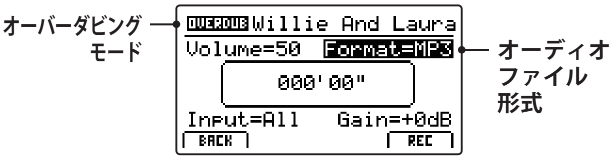
オーディオプレイヤー画面がディスプレイに表示されます。

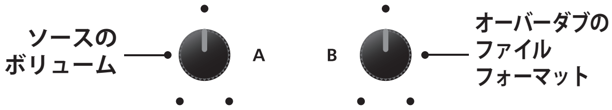
5. オーバーダビングモードへ入る

［F2］（OVERDUB）ボタンを押します。



オーバーダビング画面が表示されますので、ノブ［B］を使って、目的のオーディオファイル形式を選びます。





* MP3形式は、WAV形式に比べ、メモリの容量を必要としません。

* 1Gバイトのメモリの場合、MP3形式で12時間を越える録音ができます。

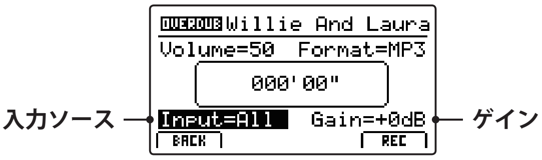
■ 入力ソースの選択とゲインの設定

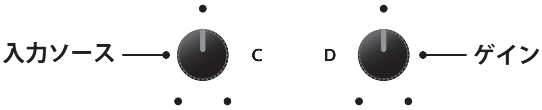
ノブ［C］を回して入力ソースを選択します。

ノブ［D］を回して録音ゲインを設定します。

静かな曲の録音の時はゲインをあげて録音してください。

入力	説明
All	MP7の音とラインインの音の両方。
Line	ラインインの音のみを録音。





* ゲインレベルは-18dB ～ +18dBの間で設定可能です。

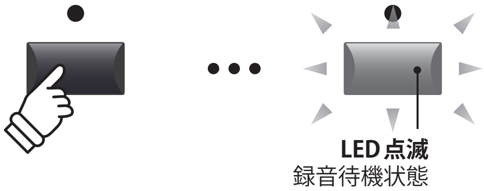
6. オーバーダビングの待機状態に入る

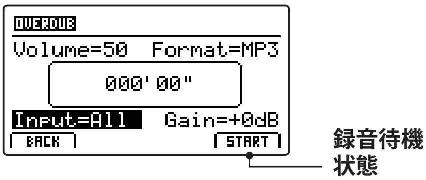
RECORDERセクションの［●］ボタン（REC）を押します。

このとき［●］ボタン（REC）が点滅し、録音待機状態を示します。

* レコーダーモードから、［F4］ボタンを押すことでも、録音待機状態に移行します。

* USBメモリを挿すと認識に時間がかかる事があります。

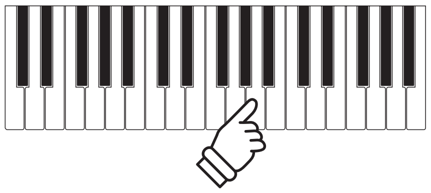


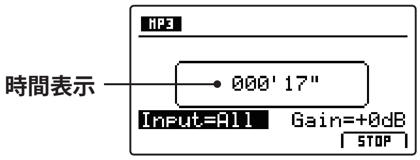


7. オーバーダビング録音をスタートする

演奏を始めると自動的に録音がスタートします。

このとき[●]（REC）ボタンと[▶/■]（PLAY/STOP）ボタンが点灯します。
ディスプレイ中央に時間が表示され、録音が始まります。





* 録音待機状態から、[▶/■]（PLAY/STOP）ボタンを押すことでも、録音が開始できます。

* [METRONOME]ボタンを点灯させると、1小節分のカウントイン後に録音が開始されます。

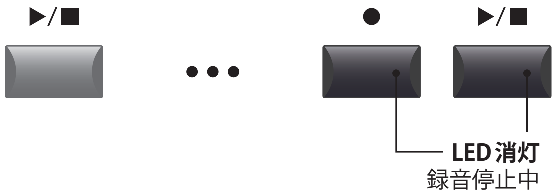
8. オーバーダビング録音を停止する

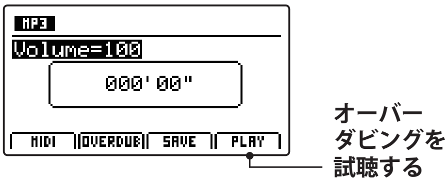
[▶/■]ボタン（PLAY/STOP）を押します。

[●]ボタン（REC）と[▶/■]ボタン（PLAY/STOP）が消灯し録音が終了します。

* [F4]ボタンでも録音を停止する事ができます。

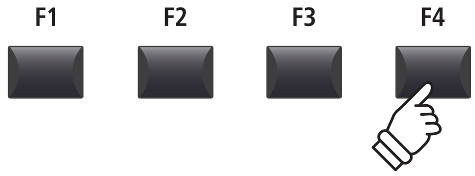
録音を停止するとオーディオプレイヤー画面がディスプレイに表示されます。





* [●]ボタン（REC）と[▶/■]ボタン（PLAY/STOP）を同時に押すと、録音されたファイルが消去されます。

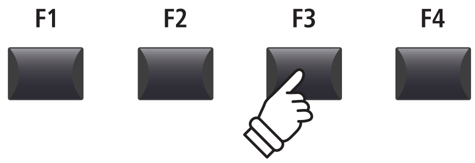
[F4]ボタンを押すと保存する前に録音を試聴する事ができます。

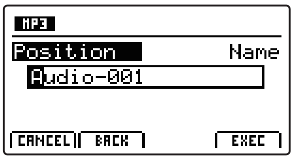


9. ファイル名をつける

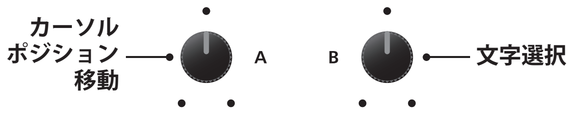
[F3]ボタン（SAVE）を押します。

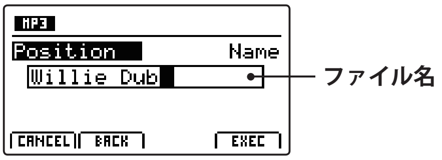
ディスプレイにオーディオファイルのSAVE（セーブ）画面が表示されます。





ノブ[A][B]を使って、ファイル名を編集します。



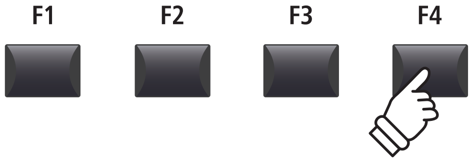


* ファイル名は最大18文字です。

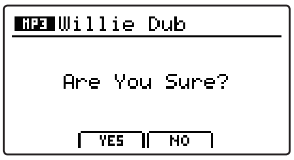
* ファイルはUSBメモリのルートフォルダに保存されます。異なるフォルダへは保存できません。

10. オーディオファイルを保存する

[F4]ボタンを押します。（EXEC）

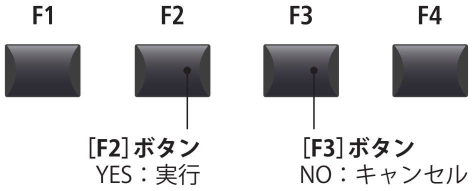


確認画面がディスプレイに表示されます。



[F2]ボタンまたは[+/YES]ボタンを押すと保存されます。

[F3]ボタンまたは[-/NO]ボタンを押すと前の画面に戻ります。



* 書き込み中は、絶対に電源を切らないでください。保存したデータが消えてしまいます。

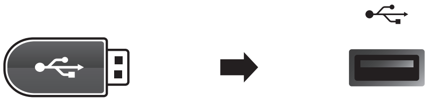
4 MIDI to AUDIO

内部メモリに録音されたMIDIソングをMP3/WAV形式に変換しながら、USBメモリへ録音することができます。

1. USBメモリを接続する

USBデバイスポートにUSBメモリを接続します。

* USBメモリは、FAT又は、FAT32でフォーマットされているものを使用してください。

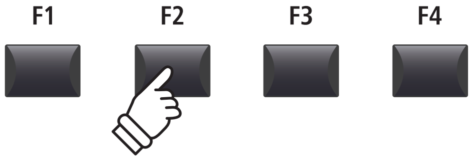


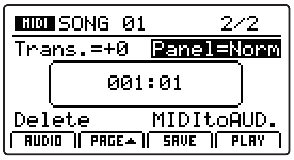
USBメモリが認識されます。

2. MIDIレコーダー画面に入り、MIDI to Audio機能を選択します

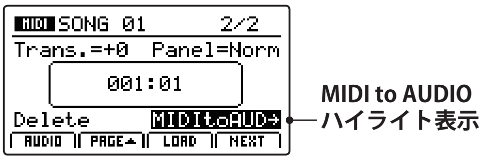
MIDIレコーダーを選択した状態で：

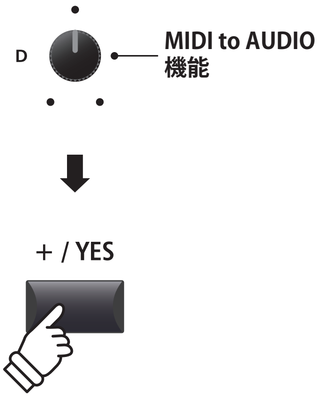
[F2]ボタンを押してMIDIレコーダーの2ページ目を表示します。





ノブ[D]を回してMIDI to AUDIO機能をにカーソルを合わせます。





* カーソルボタンでも選択可能です。

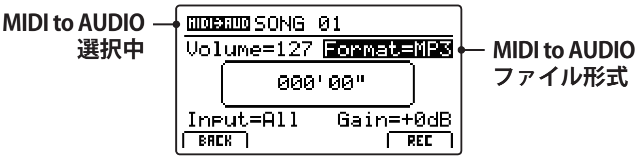
[+/YES]ボタンを押して、MIDI to AUDIO機能を選択します。

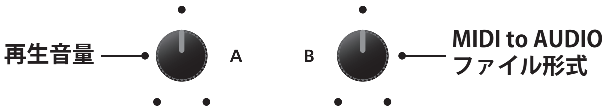
MIDI to AUDIO機能がディスプレイに表示されます。

4 MIDI to AUDIO（続き）

3. オーディオフォーマットを選ぶ

ノブ[B]を使って目的のオーディオフォーマットを選び、ノブ[A]で再生音量を調整します。





* MP3形式は、WAV形式に比べ、メモリの容量を必要としません。

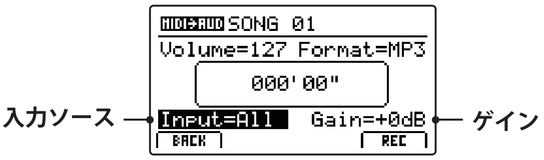
* 1Gバイトのメモリの場合、MP3形式で12時間を越える録音ができます。

■ 入力ソースの選択とゲインの設定

ノブ[C]を回して入力ソースを選択します。

ノブ[D]を回して録音ゲインを設定します。

静かな曲の録音の時はゲインをあげて録音してください。



* ゲインレベルは-18dB ～ +18dBの間で設定可能です。

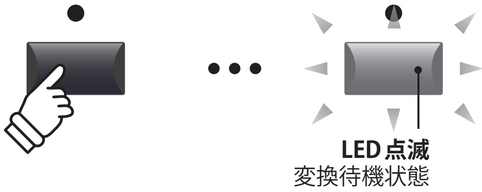
入力	説明
All	MP7の音とラインインの音の両方。
Line	ラインインの音のみを録音。

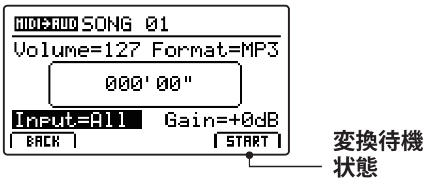
4. 変換の待機状態に入る

RECORDERセクションの[●]（REC）ボタンを押します。

このとき[●]（REC）ボタンが点滅し、録音待機状態を示します。

* レコーダーモードから、[F4]ボタンを押すことでも、録音待機状態に移行します。

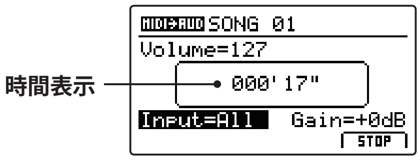




5. 変換を開始する（録音）

［▶/■］（PLAY/STOP）ボタンを押します。

このとき［●］（REC）ボタンと［▶/■］（PLAY/STOP）ボタンが点灯します。
ディスプレイ中央に時間が表示され、録音が始まります。



* 変換は［F4］ボタンを押すことでも開始されます。

* このとき鍵盤を弾くと、鍵盤の演奏音も同時にオーディオ録音されます。

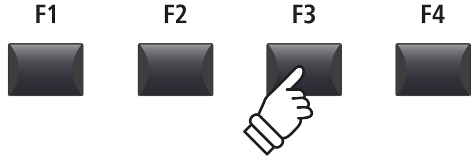
録音された曲の最後まで再生されると、変換は自動的に終了します。

* ［▶/■］（PLAY/STOP）ボタンまたは［F4］ボタンを変換中に押すと、変換は途中で終了します。

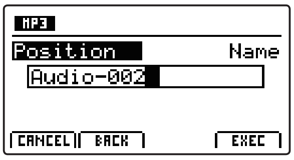
［●］（REC）ボタンと［▶/■］（PLAY/STOP）ボタンが消灯し、変換が終了します。

6. 変換を保存し、ファイル名をつける

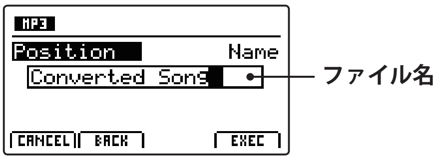
［F3］ボタンを押します。（保存）



ディスプレイにオーディオファイルのSAVE（セーブ）画面が表示されます。



ノブ［A］［B］を使って、ファイル名を編集します。

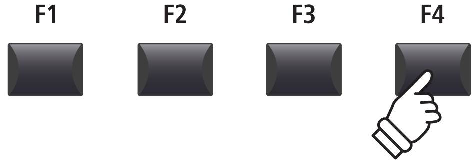


* ファイル名は最大18文字です。

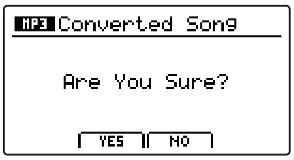
* ファイルはUSBメモリのルートフォルダに保存されます。異なるフォルダへは保存できません。

7. 変換したオーディオファイルを保存する

［F4］ボタンを押します。（EXEC）

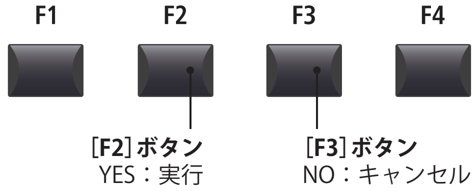


確認画面がディスプレイに表示されます。



［F2］ボタンまたは［+/YES］ボタンを押すと保存されます。

［F3］ボタンまたは［-/NO］ボタンを押すと前の画面に戻ります。



* 書き込み中は、絶対に電源を切らないでください。保存したデータが消えてしまいます。

レコーダー

メトロノーム

メトロノームを鳴らしてテンポを確認したり、リズムパターンを加えて演奏することができます。

通常のメトロノーム音による拍子の他、ドラム音色によるポップス/ロック/バラード/ジャズなど多彩なリズムを内蔵しています。

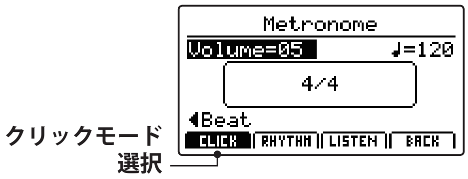
1 クリックモード

クリックモードでは、数種類の異なる拍子で単純なクリック音のメトロノームを鳴らす事ができます。

メトロノーム機能を使う

[METRONOME]ボタンを押します。

[METRONOME]ボタンが点灯し、ディスプレイにメトロノーム機能が表示されます。



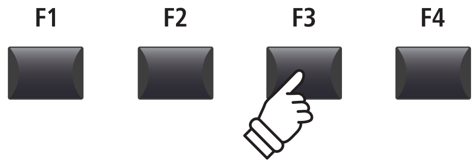
* メトロノームはまだ発音しません。

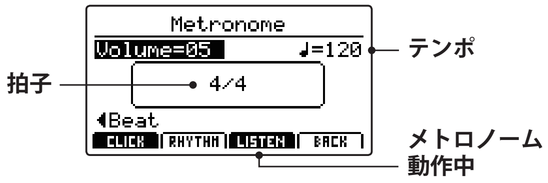
* メトロノームは初期値はClick modeに設定されています。

メトロノームの発音開始、停止

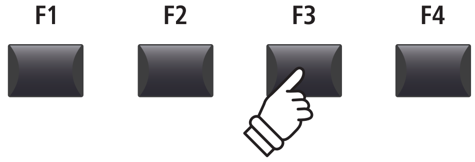
[F3]ボタン(LISTEN)を押します。

画面下の[LISTEN]アイコンが反転し、メトロノームが発音します。



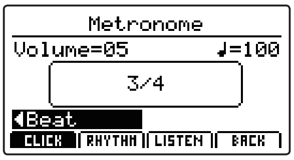


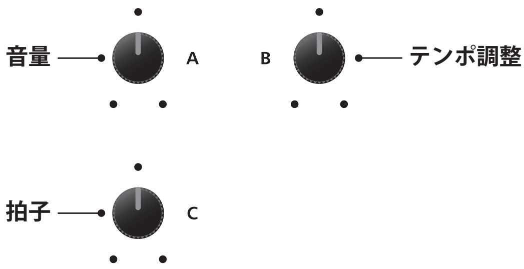
再び[F3]ボタン(LISTEN)を押すと、メトロノームのカウントが止まり、[LISTEN]アイコンの反転が戻ります。



メトロノームの音量、テンポ、拍子の設定

ノブ[A][B][C]を回してメトロノームの音量、テンポ、拍子を調整します。





* メトロノームのテンポは、30～300(8分の拍子のときは、60～600)の範囲で設定できます。

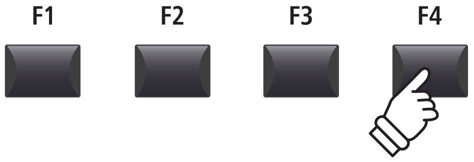
* 拍子は1/4, 2/4, 3/4, 4/4, 5/4, 3/8, 6/8, 7/8, 9/8, 12/8より選択できます。

* 好みのメトロノームのセッティングはSETUPまたはPOWERONメモリに保存すればすぐに呼び出すことができます。

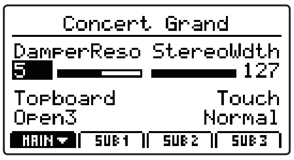
レコーダー

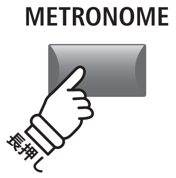
通常演奏画面に戻る

メトロノームが鳴っている状態で：



［F4］ボタン（バック）を押すと、メトロノームを鳴らした状態のまま通常演奏画面に戻る事ができます。





［METRONOME］ボタンを長押しすると再びメトロノームの調整画面が表示されます。

2 リズムモード

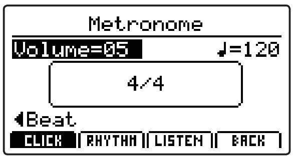
リズムモードではメトロノーム機能としてリズムパターンを鳴らす事ができます。13のカテゴリに分かれた100種類の異なるドラムパターンがあります。

* ドラムパターンのリストはP.93をご確認ください。

メトロノーム機能を使う

［METRONOME］ボタンを押します。

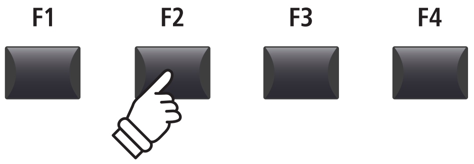
［METRONOME］ボタンが点灯し、ディスプレイにメトロノーム機能が表示されます。



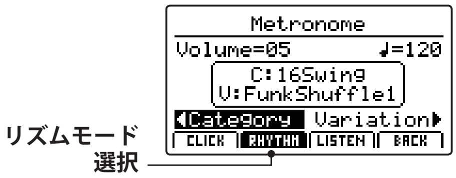
* メトロノームはまだ発音しません。
* メトロノームは初期値はClick modeに設定されています。

リズムモードを選択する

［F2］ボタン（RHYTHM）を押します。



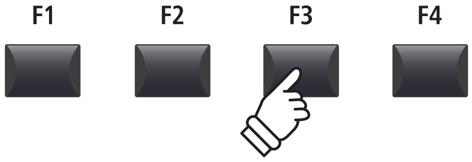
画面下の［RHYTHM］アイコンが反転し、リズムモードが選択されます。
現在のリズムパターンのカテゴリとバリエーションがディスプレイに表示されます。



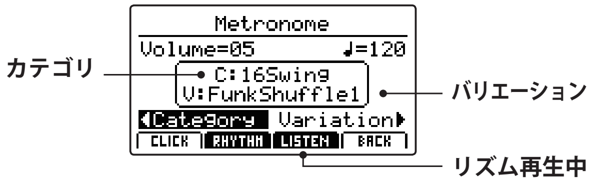
2 リズムモード（続き）

ドラムパターンの発音開始、停止

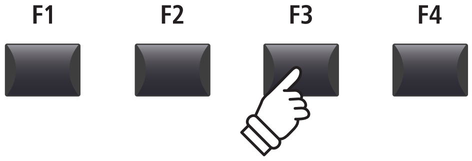
［F3］ボタン（LISTEN）を押します。



画面下の［LISTEN］アイコンが反転し、選択したリズムカテゴリ・バリエーションのドラムパターンが発音開始します



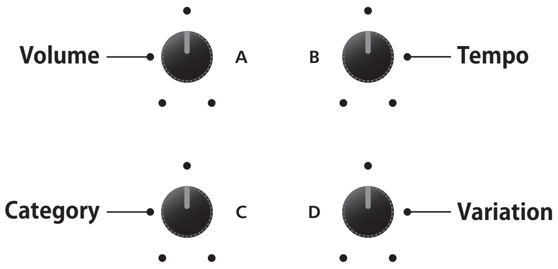
ドラムパターンを停止するには［F3］ボタン（LISTEN）をもう一度押してください。



ドラムパターンの音量、テンポ、カテゴリ、バリエーションの選択

ノブ［A］［B］を回してドラムパターンの音量とテンポを調整します。

ノブ［C］［D］を回してドラムパターンのカテゴリとバリエーションを選択します。



* メトロノームのテンポは、30 ～ 300の範囲で設定できます。

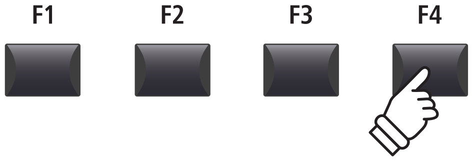
* ドラムパターンのリストはP.93をご確認ください。

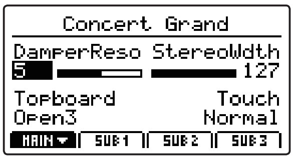
* 好みのメトロノームのセッティングはSETUPまたはPOWERONメモリに保存すればすぐに呼び出すことができます。

通常演奏画面に戻る

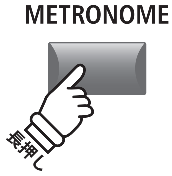
ドラムパターンが鳴っている状態で：

［F4］ボタン（バック）を押すと、ドラムパターンを鳴らした状態のまま通常演奏画面に戻る事ができます。





［METRONOME］ボタンを長押しすると再びメトロノームの調整画面が表示されます。



ドラムパターン一覧

16 Swing	
1	Funk Shuffle 1
2	Funk Shuffle 2
3	Hip Hop 1
4	Hip Hop 2
5	Hip Hop 3
6	Hip Hop 4
7	16 Shuffle 1
8	16 Shuffle 2
9	16 Shuffle 3

16 Funk	
10	Funky Beat 1
11	Funky Beat 2
12	Funky Beat 3
13	Funk 1
14	Funk 2
15	Funk 3

16 Straight	
16	Jazz Funk
17	16 Beat 1
18	16 Beat 2
19	16 Beat 3
20	16 Beat 4
21	Ride Beat 4
22	Rim Beat
23	Roll Beat
24	Light Ride 1
25	Dixie Rock

16 Latin	
26	Surdo Samba
27	Latin Groove
28	Light Samba
29	Songo
30	Samba
31	Merenge

16 Dance	
32	Funky Beat 4
33	16 Beat 5
34	Disco 1
35	Disco 2
36	Techno 1
37	Techno 2
38	Techno 3
39	Heavy Techno

16 Ballad	
40	Ballad 1
41	Ballad 2
42	Ballad 3
43	Ballad 4
44	Ballad 5
45	Light Ride 2
46	Electro Pop 1
47	Electro Pop 2
48	16 Shuffle 4

8 Ballad	
49	Slow Jam
50	50's Triplet
51	R&B Triplet

8 Straight	
52	8 Beat 1
53	8 Beat 2
54	Smooth Beat
55	Pop 1
56	Pop 2
57	Ride Beat 1
58	Ride Beat 2
59	Ride Beat 3
60	Slip Beat

8 Rock	
61	Jazz Rock
62	8 Beat 3
63	Rock Beat 1
64	Rock Beat 2
65	Rock Beat 3
66	Rock Beat 4
67	Blues/Rock
68	Heavy Beat
69	Hard Rock
70	Surf Rock
71	R&B

8 Swing	
72	Motown 1
73	Fast Shuffle
74	Motown 2
75	Country 2 Beat

Triplet	
76	Triplet Rock 1
77	Triplet Rock 2
78	Bembe
79	Rock Shuffle 1
80	Rock Shuffle 2
81	Boogie
82	Triplet 1
83	Triplet 2
84	Reggae
85	Gospel Ballad
86	Waltz

Jazz	
87	H.H. Swing
88	Ride Swing
89	Fast 4 Beat
90	Afro Cuban
91	Jazz Waltz 1
92	Jazz Waltz 2
93	5/4 Swing

8 Latin	
94	H.H. Bossa
95	Ride Bossa
96	Beguine
97	Mambo
98	Cha Cha
99	Tango
100	Habanera

3 メトロノームを使って録音する

メトロノームを鳴らしながら録音する事は、録音される曲のテンポを一定に保つのに有効です。

以下の説明は例として内部レコーダーへ録音する手段を記載します。

USBファイルへのMP3/WAV録音も可能です。

1. レコーダーモードに入る

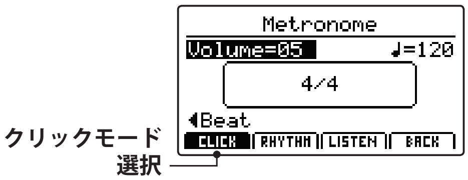
RECORDERセクションの[ON/OFF]ボタンを押してレコーダーモードに入ります。

RECORDERセクションの[ON/OFF]ボタンが点灯し、オーディオレコーダー画面がディスプレイに表示されます。

2. メトロノーム機能をONにする

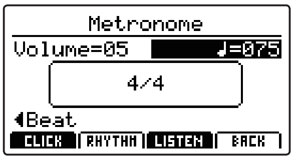
[METRONOME]ボタンを押します。

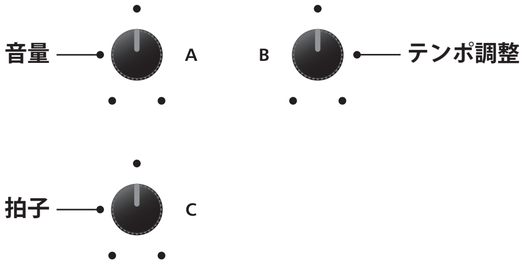
[METRONOME]ボタンが点灯し、ディスプレイにメトロノーム機能が表示されます。



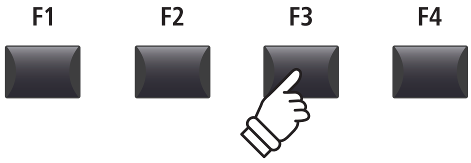
3. メトロノームの音量、テンポ、拍子の設定をし、メトロノームを鳴らす

ノブ[A][B][C]を回してメトロノームの音量、テンポ、拍子を調整します。





[F3]ボタン(LISTEN)を押すと、現在のメトロノームセッティングで発音します。



* メトロノームのテンポは、30～300(8分の拍子のときは、60～600)の範囲で設定できます。

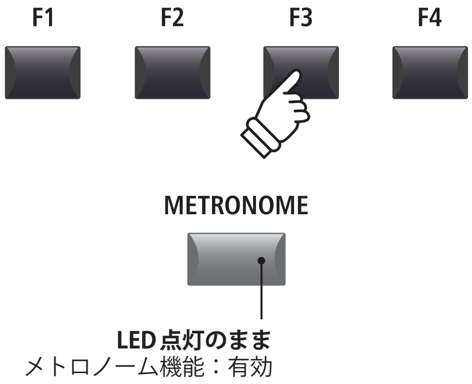
* 拍子は1/4, 2/4, 3/4, 4/4, 5/4, 3/8, 6/8, 7/8, 9/8, 12/8より選択できます。

* 好みのメトロノームのセッティングはSETUPまたはPOWERONメモリに保存すればすぐに呼び出すことができます。

4. レコーダー画面に戻る

[F4]ボタン(BACK)を押すと、レコーダー画面に戻ります。

[METRONOME]ボタンは点灯したままで、メトロノーム機能が有効である事を示します。

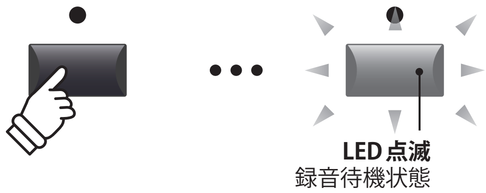


5. 録音待機状態

[●](REC)ボタンを押します。

[●](REC)ボタンが点滅を開始し、待機状態を表します。

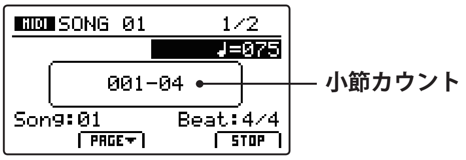
* [F4]ボタン(REC)でも録音待機状態に移行します。



6. 録音を開始する

[▶/■]ボタン(PLAY/STOP)または[F4]ボタン(REC)を押します。

1小節分のカウントインの後、録音が開始されます。



* 録音待機状態で鍵盤を弾きはじめると自動的に録音が開始されますが、その場合はカウントインはありません。

* クリックモードで録音した場合、クリック音は録音されません。リズムモードで録音した場合、ドラムパターンも録音されます。

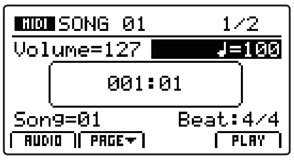
7. 録音を停止する

[▶/■]ボタン(PLAY/STOP)を押します。

[●]ボタン(REC)と[▶/■]ボタン(PLAY/STOP)が消灯し録音が終了します。

* [F4]ボタンを押すことでも録音をとめる事ができます。

録音を停止するとMIDI再生画面が表示されます。



* 最大録音容量は約90000音です。

* 録音中に記憶容量がいっぱいになったときは[●]ボタン(REC)と[▶/■]ボタン(PLAY/STOP)が消灯し、録音が中止されます。中止される直前までの演奏は録音されます。

* 内部メモリへの書き込み中は、絶対に電源を切らないでください。保存したデータが消えてしまいます。

* レコーダーに録音した内容は本体の電源を切っても消えません。

USB メニューについて

USB メモリに、音色、セットアップ、システム設定、ソングの読み込み／保存を行うことができます。また、ファイル名の変更やファイルの削除、USB メモリのフォーマットを行うことができます。

ファイルの種類

ファイルの種類	説明	拡張子
SOUND	サウンド設定のバックアップ。	.km5
SETUP	セットアップ設定のバックアップ。	.km6
SMF	SMF 形式の MIDI ソングファイル。	.mid
Song	MP3/WAV 形式のオーディオソングファイルまたは SMF ソングファイル。	.mp3, .wav, .mid
All Sound	全音色のサウンドパラメータのバックアップ。	.km2
All Setup	全セットアップメモリのバックアップ。	.km3
All Backup	全セットアップメモリ、全音色のサウンドパラメータ、システム設定のバックアップ。	.km4

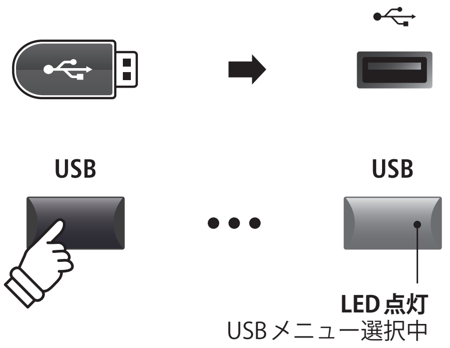
USB メニューへ入る

USB メモリを接続してください。

* USB メモリは、FAT 又は、FAT32 でフォーマットされているものを使用してください。

［USB］ボタンを押します。

［USB］ボタンが点灯し、ディスプレイに USB メニューリストが表示されます。

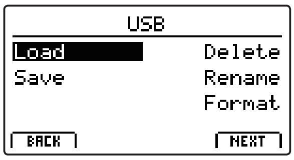


USB メニュー選択画面

カーソルボタンを押して、目的のファイル操作のカテゴリを選び、［+/YES］ボタンまたは［F4］ボタン（NEXT）ボタンを押します。

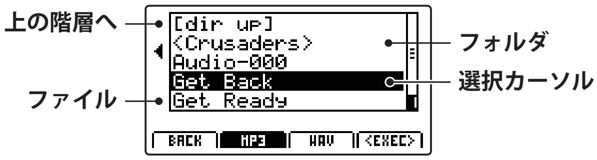
次にカーソルボタンで目的のファイルの種類を選び、［+/YES］ボタンまたは［F4］ボタン（NEXT）ボタンを押します。

［-/NO］または［F1］（BACK）ボタンを押すと、前の画面に戻ります。



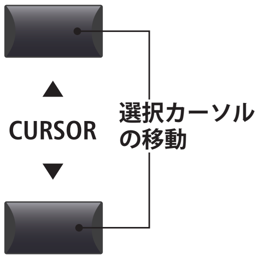
ファイル / フォルダリスト画面

MP7 のファイル / フォルダリスト画面は、USB メモリに保存されているファイルとフォルダをリスト表示します。

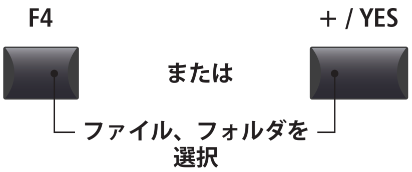


カーソル上下ボタンでカーソルを動かします。

* ノブ［A］を回すことでもカーソルを移動できます。



［F4］ボタン（EXEC）または［+/YES］ボタンを押すとファイル選択、または選択したフォルダ内に移動します。



USB メモリ機能

1 Load（ロード/読込）

USB メモリに保存された、音色、セットアップ、システム設定、ソングを読み込みます。LoadSMF（ロードSMF）機能を除いて、各操作方法は同じです。

⚠ **ロード機能は現在保存されているデータを上書きします。**
必要なデータを消してしまわないようご注意ください。

1. Load One Sound

USB メモリに保存されたサウンドファイルを読み出して、内部メモリの音色のプリセット設定を書き換えます。

この機能を選択後、ファイル/フォルダリストから、目的のサウンドファイルを選択してください。

最後に[F2] [F3]ボタンで確定またはキャンセルを選択します。

* 読み出し後、サウンドは自動的に選ばれます。その他のセクションはキャンセルされます。セットアップもキャンセルされます。

2. Load One Setup

USB メモリに保存されたセットアップメモリを読み出して、内部メモリのセットアップ設定を書き換えます。

この機能を選択後、ファイル/フォルダリストから、目的のセットアップファイルを選択してください。

転送先のセットアップメモリを指定するために、[BANK]ボタンと[SETUP]ボタンを押してください。

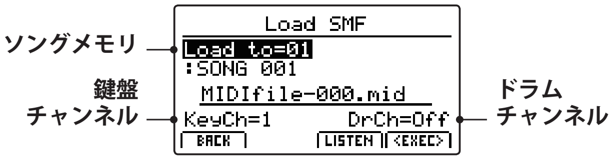
最後に[F2] [F3]ボタンで確定またはキャンセルを選択します。

* 読み出し後、セットアップは自動的に選ばれます。

3. Load SMF

USBメモリに保存されたSMF形式のソングファイルを読み出して、MIDI レコーダーのソングメモリを書き換えます。
この機能を選択後、ファイル/フォルダリストから、目的のSMF を選択してください。

選択後、MP7 の MIDI レコーダーの鍵盤チャンネルとドラムチャンネルに SMF のどのチャンネルを使用するかをノブ[C] [D]を使って指定します。またノブ[A]を使って書き込み先の内部ソングメモリを選びます。



[F3]（LISTEN）ボタンを押すと、現在のチャンネル設定を試聴することができます。

[F4] （EXEC）ボタンを押すと、選んだ SMF が内部メモリへLoad（ロード）され、MIDI レコーダー画面が表示されます。

[F2]または[F3]ボタンを押して、操作を実行/キャンセルしてください。

* MIDI レコーダーの詳細は、P.66 を参照してください。

4. Load All Sound

USB メモリに保存されたオールサウンドファイルを読み出して、全音色のサウンド設定を書き換えます。

この機能を選択後、ファイル/フォルダリストから、目的のオールサウンドファイルを選択してください。

[F2]または[F3]ボタンを押して、操作を実行/キャンセルしてください。

5. Load All Setup

USB メモリに保存されたオールセットアップファイルを読み出して、全てのセットアップメモリを書き換えます。

この機能を選択後、ファイル/フォルダリストから、目的のオールセットアップファイルを選択してください。

[F2]または[F3]ボタンを押して、操作を実行/キャンセルしてください。

6. Load All Backup

USB メモリに保存されたオールバックアップファイルを読み出して、全音色のサウンド設定、全てのセットアップメモリ、システム設定を書き換えます。

この機能を選択後、ファイル/フォルダリストから、目的のオールバックアップファイルを選択してください。

[F2]または[F3]ボタンを押して、操作を実行/キャンセルしてください。

2 Save（セーブ/保存）

内部メモリに保存された、音色、セットアップ、システム設定、ソングをUSBメモリに書き込みます。

SaveSMF（セーブSMF）機能を除いて、各操作方法は同じです。

1. Save One Sound

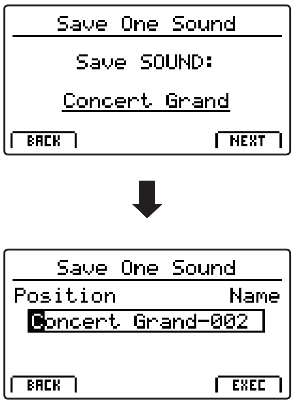
内部メモリに保存されている音色設定をUSBメモリに保存します。
（調整中のサウンドは保存されません。STORE SOUNDの詳細についてはP.61をご確認ください。）

* 選択中のZONEがEXTモードに設定されているときは自動的に現在のMAIN ZONEのサウンド設定が保存されます。

この機能を選択後、保存するサウンドの確認画面が表示されます。

さらにノブ[A]［B]を使ってサウンドファイルに名前をつけ、[F4]（EXEC）ボタンを押します。

[F2]または[F3]ボタンを押して、操作を実行/キャンセルしてください。



2. Save One Setup

MP7のセットアップ設定をUSBメモリに保存します。

この機能を選択後、保存するセットアップの確認画面が表示されます。

保存したいセットアップメモリを指定するために、[BANK]ボタンと[SETUP]ボタンを押してください。

さらにノブ[A]［B]を使ってセットアップファイルに名前をつけ、[F4]（EXEC）ボタンを押します。

[F2]または[F3]ボタンを押して、操作を実行/キャンセルしてください。

3. Save SMF

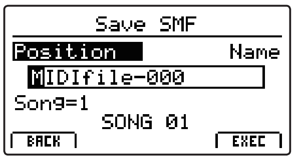
MIDIレコーダーのソングメモリの内容を、SMF形式でUSBメモリに保存します。

この機能選択後、ノブ[C]を使って、保存したいソングメモリを選択します。

さらに、ノブ[A]［B]を使ってシステムファイルに名前をつけ、[F4]（EXEC）ボタンを押します。

[F2]または[F3]ボタンを押して、操作を実行/キャンセルしてください。

* MIDIレコーダーの詳細は、P.66を参照してください。



4. Save All Sound

MP7の全音色のサウンド設定をUSBメモリに保存します。

この機能を選択後、ノブ[A]［B]を使ってオールサウンドファイルに名前をつけ、[F4]（EXEC）ボタンを押します

5. Save All Setup

MP7の全てのセットアップメモリの内容をUSBメモリに保存します。

この機能を選択後、ノブ[A]［B]を使ってオールセットアップファイルに名前をつけ、[F4]（EXEC）ボタンを押します。

6. Save All Backup

全音色のサウンド設定、全てのセットアップメモリ、システム設定を、USBメモリに保存します。

この機能を選択後、ノブを使ってオールバックアップファイルに名前をつけ、[F4]（EXEC）ボタンを押します。

3 Delete（デリート/削除）

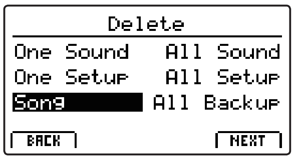
USBメモリに格納されているファイルを削除します。

接続されたUSBメモリからデータを消してしまいますので、必要なデータを消してしまわないように十分注意してください。

1. 削除したいファイルの種類を選ぶ

［CURSOR］ボタンを押して、削除したいファイルの種類を選び、[F4]（NEXT）ボタンを押します。

[-/NO]または[F1]（BACK）ボタンを押すと、前の画面に戻ります。

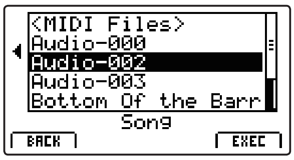


2. 削除したいファイルを選ぶ

ノブ[A]または、[CURSOR ▲]［CURSOR ▼］ボタンを使ってカーソルを動かして、ファイルを選択します。

[+/YES]または[F4]（EXEC）ボタンを押すと、ディスプレイに確認画面が表示されます。

[-/NO]または[F1]（BACK）ボタンを押すと、前の画面に戻ります。



3. ファイルを削除する

[+/YES]ボタンを押すと、ファイルが削除されます。

[-/NO]ボタンを押すと、削除はキャンセルされます。

ファイル削除が終了すると、USBメニュー画面へ戻ります。

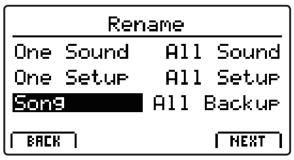
4 Rename（リネーム/ファイル名変更）

USB メモリに格納されているファイル名を変更します。

1. 変更したいファイルの種類を選ぶ

[CURSOR] ボタンを押して、削除したいファイルの種類を選び、[F4] (NEXT) ボタンを押します。

[-/NO] または [F1] (BACK) ボタンを押すと、前の画面に戻ります。



2. 変更したいファイルを選ぶ

ノブ [A] または、[CURSOR ▲] [CURSOR ▼] ボタンを使ってカーソルを動かして、ファイルを選択します。

[+/YES] または [F4] (EXEC) ボタンを押します。

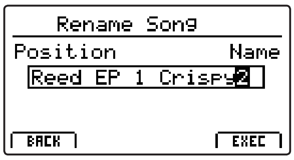
[-/NO] または [F1] (BACK) ボタンを押すと、前の画面に戻ります。

3. ファイル名を編集する

ノブ [A] [B] を使って、ファイル名を編集します。

[F4] (EXEC) ボタンを押すと、ディスプレイに確認画面が表示されます。

[F1] (BACK) ボタンを押すと、前の画面に戻ります。

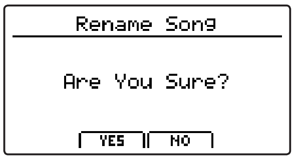


4. ファイル名変更を実行する

[+/YES] ボタンを押すと、ファイル名変更が実行されます。

[-/NO] ボタンを押すと、ファイル名変更はキャンセルされます。

ファイル名変更が終了すると、USB メニュー画面へ戻ります。



5 Format（フォーマット/初期化）

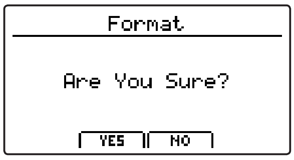
USBメモリを初期化して、格納されているデータをすべて消去します。

接続されたUSBメモリに格納されている全てのデータを消してしまいますので、必要なデータを消してしまわないように十分注意してください。

1. フォーマット機能を選択する

[CURSOR]ボタンを押して、フォーマット機能を選択し、[F4]（NEXT）ボタンを押します。

[-/NO]または[F1]（BACK）ボタンを押すと、前の画面に戻ります。

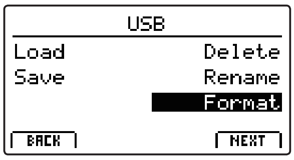


2. メッセージを確認する

最初の確認画面がディスプレイに表示されます。

メッセージを確認し、[+/YES]または[F4]（EXEC）ボタンをすと、次の確認画面に進みます。

[-/NO]または[F1]（BACK）ボタンを押すと、前の画面に戻ります。



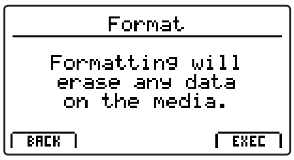
3. フォーマットを実行する

最終確認の画面がディスプレイに表示されます。

[+/YES]ボタンを押すと、フォーマットが実行されます。

[-/NO]ボタンを押すと、フォーマットはキャンセルされます。

フォーマットが終了すると、USBメニュー画面へ戻ります。



システムメニューについて

[SYSTEM]ボタンでは、MP7の全体にかかわる基本設定を行います。

パラメータは6つのカテゴリ(Utility，Pedal，MIDI，Offset，User Edit，Reset)に分類されております。

変更した値は自動的に内部に保存されますので、電源を入れる度に設定する必要はありません。

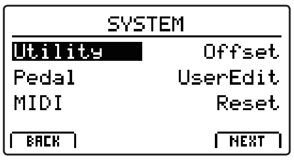
▌システムメニュー・パラメータ

カテゴリ	パラメータ
Utility SYS	System Tuning, Eff. SW Mode, Knob Action, Volume Fader Action, LCD Contrast, LCD Reverse, Input Level, Audio Output Mode, Lock SW Mode, Auto Power Off
Pedal SYS	Right Pedal Mode, Center Pedal Mode, Left Pedal Mode, Half Pedal Adjust, Right Pedal Polarity, Center Pedal Polarity, Left Pedal Polarity, EXP Pedal Curve, EXP Pedal Polarity, EXP Pedal Calibrate
MIDI SYS	System Channel, Key to MIDI, Key to USB, MIDI to MIDI, MIDI to USB, USB to MIDI, SETUP Program, SETUP Bank, SETUP Volume, SETUP Knobs, Receive Mode, Receive Channel, Program Mode,
Offset SYS	EQ Offset On/Off, Reverb Offset, EQ Offset Low, EQ Offset High, EQ Offset Mid1, EQ Offset Mid2
User Edit SYS	User Touch Curve, User Temperament
Reset	One Sound, All Sound, One Setup, All Setup, System, Power On, Recorder, Factory

▌システムメニューに入る

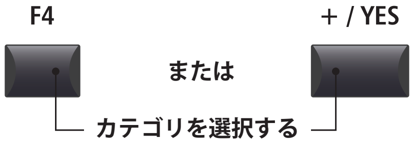
[SYSTEM]ボタンを押します。

[SYSTEM]ボタンが点灯し、システム設定画面が表示されます。



▌システムパラメータのカテゴリを選ぶ

カーソルボタンでカテゴリを選択し、[F4]ボタン(NEXT)または[+/YES]ボタンをを押して目的のカテゴリのパラメータ調整画面に入ります。



▌パラメータを調整する

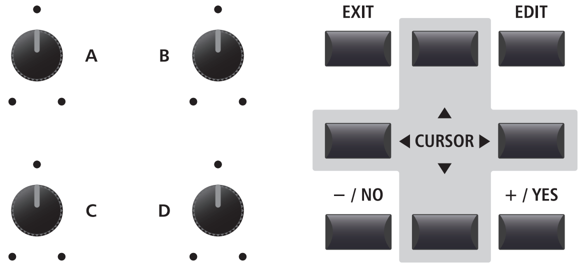
ノブ[A][B][C][D]を回して表示されたパラメータを調整します。

パラメータはカーソルボタンで移動、[-/NO][+/YES]ボタンで値を調整する事もできます。

[F2][F3]ボタンでシステムメニューのページを移動する事ができます。

* カーソル上下でもページ移動が可能です。

* 調整したシステムパラメータは、演奏モードの画面に戻る時、自動的に保存されます。



システムパラメータと機能について

1 Utility（ユーティリティ）

1. System Tuning（システムチューニング） VALUE：427.0 ～ 453.0 Hz

内部音源の全体のチューニングを0.5Hz単位で調整します。

* 初期値はA=440Hzです。

2. Eff. SW Mode Preset, Temp.

音色を切り替えたとき、［EFX］［REVERB］［AMP］ボタンのON/OFF状態を変更するかどうかを設定します。

モード	説明
Preset	音色を切り換えたときON/OFF状態を変更します。
Temp.	音色を切り替えたときON/OFF状態を切り換えません。

* 初期値はPresetです。

3. Knob Action（ノブアクション） Normal, Catch

ノブ[A] [B] [C] [D]がどのように動作するかを設定します。

モード	説明
Normal	ノブを動かすと、すぐに値が変わります。
Catch	保存されたボリューム値とノブの位置が一致するまで値が変わりません。“Catch（キャッチ）”を選ぶと、予期しない値の不連続な変化を防ぐことができます。

* 初期値はNormalです。

4. Volume Fader Action （ボリュームフェーダーアクション） Normal, Catch

PIANO/E.PIANO/SUBセクションのフェーダがどのように動作するかを設定します。

モード	説明
Normal	フェーダーを動かすと、すぐに値が変わります。
Catch	保存されたボリューム値とフェーダーの位置が一致するまでボリュームが変わりません。“Catch（キャッチ）”を選ぶと、予期しない値の不連続な変化を防ぐことができます。

* 初期値はNormalです。

5. LCD Contrast（コントラスト） VALUE：1 ～ 10

ディスプレイのコントラストを調整します。
値を大きくすると、表示の明暗がはっきりします。

* 初期値は5です。

6. LCD Reverse（LCDリバース） ON, OFF

ディスプレイ表示を白黒反転させます。状況に応じてディスプレイの見え方を変えることができます。

* 初期値はOFFです。

7. Input Level（インプットレベル） VALUE：–18 dB ～ +18 dB

［LINE IN］端子の入力レベルを調整します。

外部機器の出力レベルが高すぎる場合は、このパラメータを下げます。また低すぎる場合は、このパラメータを上げます。

* 初期値は+0dBです。

8. Audio Out Mode Stereo, 2xMono

MP7のL、R端子のラインアウト出力をステレオ出力にするか、2系統のモノラル出力にするかを設定できます。

モニターとミキサーに同時に接続する場合などに便利です。

モード	説明
Stereo	通常のステレオ出力
2xMono	両方のジャックからモノラル出力

* 初期値はStereoです。
* 2xMonoを選択している場合、Auto Panなどのステレオエフェクトは効きません。

9. Lock SW Mode 6タイプ

🔒ボタン（LOCK）を押したとき、どの操作をロックするかを設定します。

モード	説明
Panel	鍵盤、ホイール、ペダルと🔒ボタン（LOCK）以外をロックします。
Bend	ピッチベンドホイールをロックします。
Mod.	モジュレーションホイールをロックします。
Center	F-30の中ペダルをロックします。
Left	F-30の左ペダルをロックします。
EXP	エクスプレッションペダルをロックします。

* 初期値はPanelです。

10. Auto Power Off Off, 30 mins., 60 mins., 120 mins.

非操作状態が続いた場合に自動で電源OFFするまでの時間を設定します。

値	説明
Off	自動電源OFFしません。
30 mins.	30分で自動的に電源が切れます。
60 mins.	60分で自動的に電源が切れます。
120 mins.	120分で自動的に電源が切れます。

* 初期値はOffです。

2 Pedal（ペダル）

1. Right Pedal Mode

5 functions

別売のF-30ペダルの右ペダルの動作モードを設定します。

* 初期値はNormalです。

Pedal Modeについて

モード	説明
Normal	エディットメニューで指定した動作をします。
Setup+	次のセットアップメモリに切り替えます。
Setup-	前のセットアップメモリに戻ります。
Playback	曲の再生・停止に使用します。
Metro.	メトロノームを再生・停止します。

2. Center Pedal Mode

5 functions

別売のF-30ペダルの中ペダルの動作モードを設定します。

* 初期値はNormalです。

3. Left Pedal Mode

5 functions

別売のF-30ペダルの左ペダル（またはFSW端子に接続したフットスイッチ）の動作モードを設定します。

* 初期値はNormalです。

4. Half Pedal Adjust（ハーフペダル調整）

VALUE：1 ～ 10

ダンパーペダル効果がかかり始める位置を調整します。

* 初期値は5です。

5. Right Pedal Polarity（右ペダルの極性）

Normal, Reverse

右ペダルの極性を変えられます。

別売のF-30を使用する際はNORMALのまま使用してください。
F-30と極性が逆のペダルを接続する場合はREVERSEを選択してください。

* 初期値はNormalです。

6. Center Pedal Polarity（中ペダルの極性）

Normal, Reverse

中ペダルの極性を変えられます。

* 初期値はNormalです。

7. Left Pedal Polarity（左ペダルの極性）

Normal, Reverse

別売のF-30の左ペダル（またはFSW端子に接続したフットスイッチ）の極性を設定します。

* 初期値はNormalです。

8. EXP Pedal Curve （エクスプレッションペダルカーブ）

Normal, Slow, Fast

エクスプレッションペダルのペダルカーブを選択します。

* 初期値はNormalです。

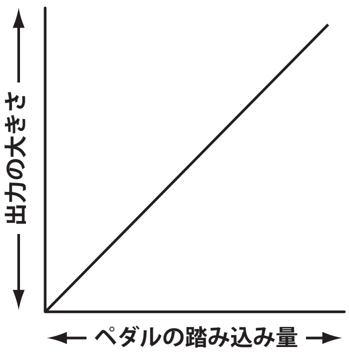
9. EXP Pedal Polarity

Normal, Reverse

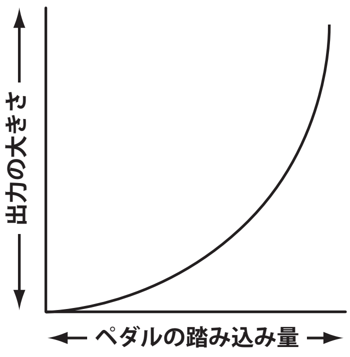
エクスプレッションペダルの極性を変えられます。

* 初期値はNormalです。

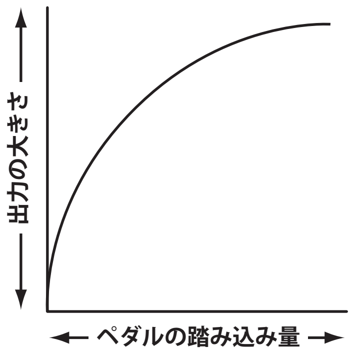
NORMAL



SLOW



FAST



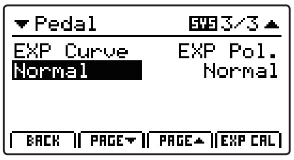
エクスプレッションペダルの調整について

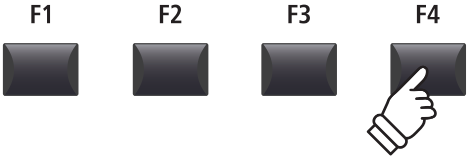
接続するエクスプレッションペダルはメーカーやモデルによって調整範囲に差があります。

このキャリブレーション（再調整）機能は、実際に使用されるエクスプレッションペダルに合わせて動作を調整します。

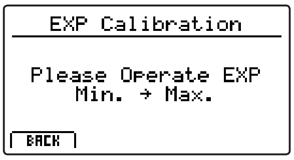
▌EXPペダルを再調整する

システムメニューのPedalの3ページ目を表示します。

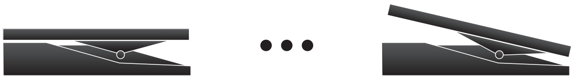


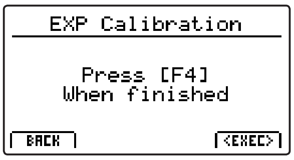


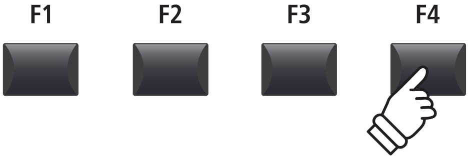
［F4］ボタン（EXP CAL）を押して、再調整画面をディスプレイに表示します。



エクスプレッションペダルを最小位置に移動し、その後最大位置に踏み込みます。







［F4］ボタン（EXEC）を押して、再調整を実行します。

自動的に計算され、調整を終了します。

3 MIDI

1. System Channel
VALUE：01Ch ～ 16Ch

受信モードがPANELに設定されているときに使用する、MIDI受信チャンネルを設定します。

* 初期値は01Chです。

2. Key to MIDI
ON, OFF

操作をMIDI OUT端子からMIDI出力するかどうかを設定します。

* 初期値はONです。

3. Key to USB
ON, OFF

操作をUSB端子からMIDI出力するかどうかを設定します。

* 初期値はONです。

4. MIDI to MIDI
ON, OFF

MIDI INからの情報をMIDI OUTに出力するかどうかを設定します。

* 初期値はOFFです。

5. MIDI to USB
ON, OFF

MIDI INからの情報をUSB-MIDIに出力するかどうかを設定します。

* 初期値はOFFです。

6. USB to MIDI
ON, OFF

USB-MIDIからの情報をMIDI OUTに出力するかどうかを設定します。

* 初期値はOFFです。

7. SETUP Program
ON, OFF

セットアップ変更時にプログラムチェンジをMIDI送信するかどうかの設定をします。

* 詳細はP.54をご確認ください。

* 初期値はOFFです。

8. SETUP Bank
ON, OFF

セットアップ変更時にバンクチェンジをMIDI送信するかどうかの設定をします。

* 詳細はP.54をご確認ください。

* 初期値はOFFです。

9. SETUP Volume
ON, OFF

セットアップ変更時にボリュームの値を送信するかどうかを設定します。

* 詳細はP.54をご確認ください。

* 初期値はOFFです。

10. SETUP Knobs
ON, OFF

セットアップ変更時にノブに割り当てられているパラメータをMIDI送信するかどうかの設定をします。

* 詳細はP.54をご確認ください。

* 初期値はOFFです。

11. Receive Mode
Panel, Multi, Omni ON

受信したMIDIデータをどのように扱うかを設定します。

モード	説明
Panel	MIDI情報はシステムチャンネルで設定されたMIDIチャンネルで受信し、パネル全体を制御します。
Multi	MIDI情報は、MIDI受信チャンネルでOff以外に設定された全てのMIDIチャンネル（1 ～ 16）で受信され、それぞれのMIDIチャンネル又は、それぞれのZONEにMIDI情報が送られます。
Omni On	MIDIチャンネルにかかわらず、パネル全体を制御します。

* 初期値はPanelです。

12. Program Change Mode
Panel, GM

プログラムチェンジモードを切り替えます。

モード	説明
Panel	パネルのボタン配列でバンク/プログラムチェンジ番号が送受信されます。
GM	GM規格を基本にした配列でバンク/プログラムチェンジ番号が送受信されます。 * GM機器と接続している場合はこちらを選択します。

* 初期値はPanelです。

* 本機はGM対応ではありませんので、GMに設定した場合でも、対応しないプログラムチェンジ番号があります。対応していない番号を受信すると、その番号の音色と近似の音色が選択されます。

13. Receive Channel
ON, OFF,
Main, Sub1, Sub2, Sub3

Receive Modeが“Multi”を設定されている場合の、MIDI受信チャンネルのON/OFF/各ZONEへ転送の設定をします。

4 Offset（オフセット）

1. EQ Offset ON/OFF
ON, OFF

EQオフセット機能のON/OFFを設定します。

EQオフセットは設定したEQセッティングを変更することなく、使用する環境の違い（例えば自宅とライブハウス等）に対応するため、EQにオフセットをかける機能です。

* 初期値はOFFです。

* EQオフセットはそれぞれのSETUPに保存されたEQに加算されます。加算後のEQは± 10dBに制限されます。

2. Reverb Offset
VALUE：0%～ 100%

システム全体のリバーブの補正値を設定します。

リバーブオフセットは設定したリバーブセッティングを変更することなく、使用する環境の違い（例えば自宅とライブハウス等）の残響の違いに対応するため、オフセットをかける機能です。

* 初期値は100%です。

3. EQ Offset Low
VALUE：–10 dB ～ +10 dB

低音域（Lo）の補正値を設定します。

* 初期値は0dBです。

4. EQ Offset High
VALUE：–10 dB ～ +10 dB

高音域の補正値を設定します。

* 初期値は0dBです。

5. EQ Offset Mid1
VALUE：–10 dB ～ +10 dB

中音域（Mid1）の補正値を設定します。

* 初期値は0dBです。

6. EQ Offset Mid2
VALUE：–10 dB ～ +10 dB

中音域（Mid2）の補正値を設定します。

* 初期値は0dBです。

5 User Edit（ユーザー）

ユーザータッチカーブやユーザー音律を作成します。

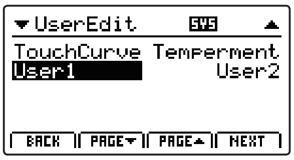
■ユーザータッチカーブや、ユーザー音律を選択する

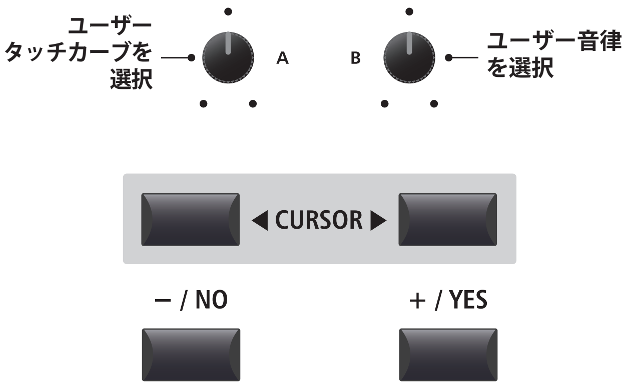
ユーザータッチカーブ/ユーザー音律を作成するシステムメニューのUser Editを選択した状態で：

ノブ[A]を回して設定したいタッチカーブを選択します。

ノブ[B]を回して設定したい音律を選択します。

ユーザータッチカーブと音律はカーソルボタンまたは[+/YES] [-/NO]ボタンで選択することもできます。



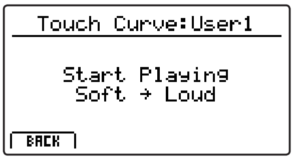


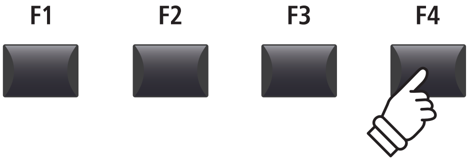
ユーザータッチカーブを作成する

1. タッチカーブの解析の準備をする

ユーザータッチカーブを選んだ状態で：

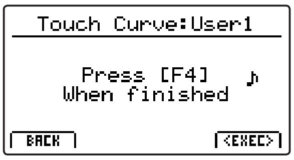
[F4]ボタン(NEXT)を押し、タッチカーブの解析画面を表示します。

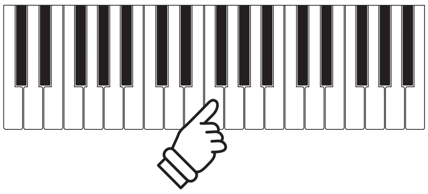




2. 鍵盤を弾いてカーブを作成する

適当な鍵盤を最弱打から最強打まで弾いてください。
鍵盤を弾いた指の力に合わせて、タッチカーブが作成されます。

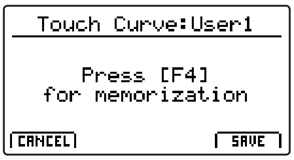


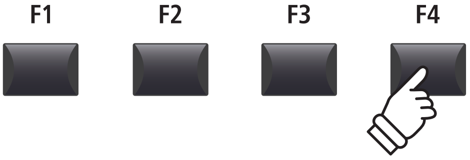


3. 解析を終了する

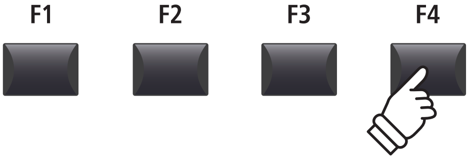
[F4]ボタン(EXEC)を押すと、解析が終了します。

確認画面がディスプレイに表示されます。



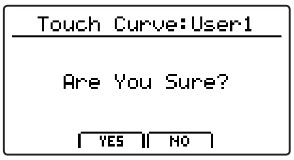


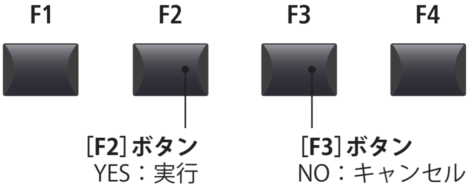
この状態で演奏し、新しいカーブを確認してください。
保存したい場合は[F4]ボタン(SAVE)を、破棄したい場合は[F1]ボタン(CANCEL)を押してください。



4. ユーザータッチカーブを保存する

[F2]ボタン(YES)を押すと、保存されます。
[F3]ボタン(NO)を押すと、前の画面に戻ります。





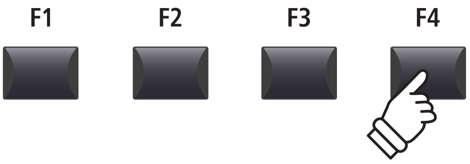
* [+/YES][-/NO]ボタンでも保存/キャンセルできます。

新しく作成されたユーザータッチカーブは現在選択中のセクションに自動的に使用されます。

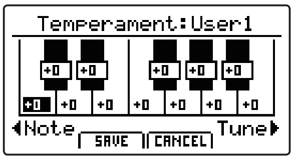
ユーザー音律を作成する

1. ユーザー音律エディタ画面を表示する

ユーザー音律を選んだ状態で：



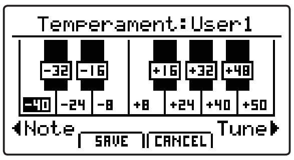
[F4]ボタン(NEXT)を押し、ユーザー音律エディタの画面を表示します。



2. ユーザー音律を調整する

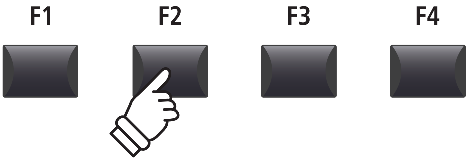
ノブ[C]を回して調整したい音を選択します。
ノブ[D]を回して選択した音のピッチを調整します。

* それぞれの鍵盤のピッチは-50 〜 +50centの範囲で調整できます。(半音=100cent)



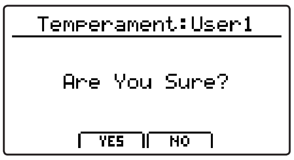
3. ユーザー音律を保存する

ピッチを調整した後で：



保存したい場合は[F2]ボタン(SAVE)を、破棄したい場合は[F3]ボタン(CANCEL)を押してください。

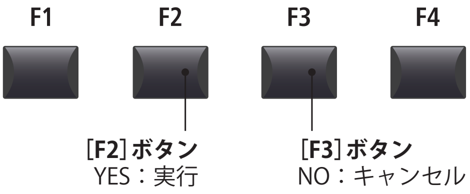
保存する場合は確認画面が表示されます。



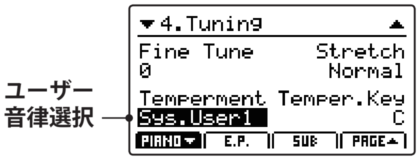
4. 保存の確認画面

[F2]ボタン(YES)を押すと保存されます。
[F3]ボタン(NO)を押すと、前の画面に戻ります。

* [+/YES][-/NO]ボタンでも保存/キャンセルできます。



新しく作成されたユーザー音律は現在選択中のセクションに自動的に使用されます。



6 RESET（リセット）

各音色、セットアップなどの設定を工場出荷時の設定へ戻します。[CURSOR]ボタンを使って目的の機能を選び、[+/YES]ボタンで実行してください。

⚠ **リセット操作を行うと、データを元に戻す事はできません。**
リセット機能を使用するときは大切なデータを失くさないようご注意願います。

1. Reset One Sound

現在選択中の音色の設定を工場出荷時の状態に戻します。

この機能を実行するためにシステムメニューに入る前に、目的の音色を選択しておいてください。

2. Reset One Setup

1つのセットアップメモリを工場出荷時の状態に戻します。

現在選択中のセットアップが画面に表示されます。

* SETUP（セットアップ）セクションの[BANK]ボタンと[1]～[8]ボタンを使ってリセットするセットアップメモリを選択してください。

3. Reset All Sound

全ての音色の設定を工場出荷時の状態に戻します。

4. Reset All Setup

全てのセットアップメモリを工場出荷時の状態に戻します。

5. Reset System

Utility，Pedal，Offset，MIDI（MIDIのエディットメニューのシステムパラメータ含む）などの全てのシステムパラメータを工場出荷時の状態に戻します。

6. Reset PowerOn

電源ON時の設定を工場出荷時の状態に戻します。

7. Reset Recorder

MIDIレコーダーの内部ソングメモリを全て消去します。

8. Factory Reset

全ての音色、セットアップ、システム、MIDIレコーダーの内部メモリを工場出荷時の状態に戻します。

PANICボタン

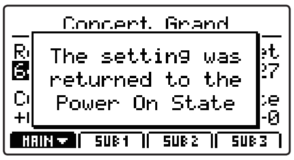
[PANIC]ボタンを1秒以上長押しすると、内部音色セクションを全て電源オン状態へ戻し、オールノートオフとリセットオール・コントローラーのMIDIメッセージを、接続された機器へ送信し、外部機器の発音を止めます。

外部MIDI機器の鳴りっ放しや、本体の設定を電源オン状態へ戻したい場合など、緊急事態の際に使用します。

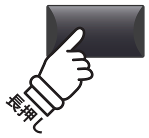
▌PANICボタン機能を使用する

[PANIC]ボタンを長押しします。

1秒後、電源ON状態に戻ります。



PANIC



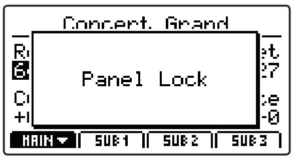
ロックボタン

ロックボタンは演奏中の誤操作を防止する為に、様々な操作子の機能を一時的にロックすることができます。

ロック機能を使用する

ボタン（LOCK）ボタンを押します。

ボタン（LOCK）が点灯し、ディスプレイに状態が表示されます。



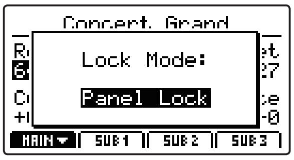
初期値ではパネルボタンとノブがロックされ、誤操作を防止します。

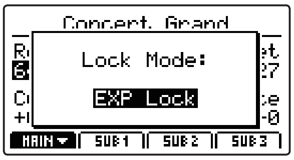
* ボリューム、ラインインボリューム、ZONE ボリュームフェーダーはロックされません。

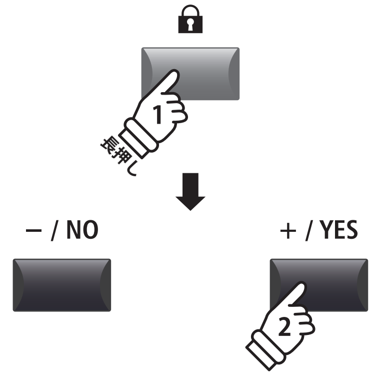
再び ボタン（LOCK）を押すと、ロックが解除されます。

ロックする対象を変更する

ボタンを長押ししたまま［+/YES］［-/NO］ボタンを押し、機能を選択します。







* ロックモードはシステムメニュー内でも変更できます。P.103 をご確認ください。

ロックモード

ロックモード	説明
Panel Lock	鍵盤、ホイール、ペダルと ボタン（LOCK）以外をロックします。
Bend Lock	ピッチベンドホイールをロックします。
Mod. Lock	モジュレーションホイールをロックします。
Center Lock	F-30 の中ペダルをロックします。
Left Lock	F-30 の左ペダルをロックします。
EXP Lock	エクスプレッションペダルをロックします。

USB-MIDIについて

コンピュータとデジタルピアノをUSB接続してデータをやりとりするためには、デジタルピアノを正しく動作させるためのソフトウェア（USB-MIDIドライバ）がコンピュータに組み込まれている必要があります。

お使いのコンピュータのOSによって使用するUSB-MIDIドライバが異なりますので、下記の説明をよく読んでお使いください。

USB MIDIドライバ

OS	USB MIDI Driver Support
Windows ME Windows XP (no SP, SP1, SP2, SP3) Windows XP 64-bit Windows Vista (SP1, SP2) Windows Vista 64-bit (SP1, SP2) Windows 7 (no SP, SP1) Windows 7 64-bit Windows 8 Windows 8 64-bit	**Windowsに搭載されている標準USB-MIDIドライバを使用しますので、パソコンと接続すると自動的にこのUSB-MIDIドライバがインストールされます。** * アプリケーションソフトで本機とMIDI通信する場合は、MIDIデバイスとしてWindows ME/XPの場合は「USBオーディオデバイス」を、Windows Vista/7/8の場合は「USB-MIDI」を指定してください。
Windows 98 se Windows 2000 Windows Vista (no SP)	**指定の専用USB-MIDIドライバをコンピュータに追加する必要があります。** 下記のカワイホームページより専用USBドライバをダウンロードしコンピュータにインストールしてください。 ➡ http://www.kawai.co.jp/ep/guide/midi_drv.html * パソコンと接続する前に説明書をよく読んで、必ずインストール作業を行ってください。この作業を行わずに接続すると、USB-MIDIドライバが動作しない場合があります。万一動作しなくなった場合は、OSの「ドライバの更新」機能によって正しいUSB-MIDIドライバをインストールするか、「ドライバの削除」で削除してからインストール作業をやり直してください。
Windows Vista 64-bit (no SP)	**USB-MIDIをサポートしておりません。** SP1、またはSP2にアップグレードをしてください。
Mac OS X	**Macintosh OS Xでは自動的にUSB-MIDIデバイスとして認識されますので、特別なドライバは必要ありません。** * アプリケーションソフトで本機とMIDI通信する場合は「USB-MIDI」を指定してください。
Mac OS 9	**OS9以前のMacintoshはサポートしておりません。** 市販のMIDIインターフェイスを使用して、MIDI接続してください。

USBについての注意事項

■ USB-MIDIとMIDI IN/OUTは同時に使用する事が可能です。MIDIの内部接続に関してはシステムメニューのMIDIの項（P.106）をご確認ください。

■ デジタルピアノとコンピュータをUSBケーブルで接続する場合は、まずUSBケーブルを接続してからデジタルピアノの電源を入れてください。

■ デジタルピアノとコンピュータをUSB接続した場合、通信を開始するまでしばらく時間がかかることがあります。

■ デジタルピアノとコンピュータをハブ経由で接続し動作が不安定な場合は、コンピュータのUSBポートに直接接続してください。

■ 下記の動作中、デジタルピアノの電源オン/オフ、USBケーブルの抜き差しを行うと、コンピュータやデジタルピアノの動作が不安定になる場合があります。

「ドライバのインストール中」
「コンピュータの起動中」
「MIDIアプリケーションが動作中」
「コンピュータと通信中」
「省電力モードで待機中」

■ お使いのコンピュータの設定によっては、USBが正常に動作しない場合があります。ご使になるコンピュータの取扱説明書をよくお読みの上、適切な設定を行ってください。

* “MIDI”は、社団法人音楽電子事業協会（AMEI）の登録商標です。
* Windowsは、Microsoft Corporationの登録商標です。
* Macintoshは、Apple Computer.Inc.の登録商標です。
* その他、本取扱説明書に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

ソフトウェア アップデート

この項ではプログラムのアップデートがKAWAIから発行された際のMP7のソフトウェアのアップデートの方法を記載しています。

ソフトウェア アップデートのときにはこのページの内容をご確認ください。

▌ソフトウェアのバージョンを確認する

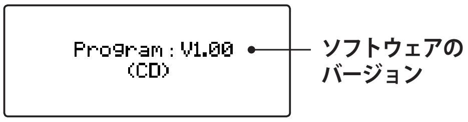
［STORE］ボタンを押しながら電源を立ち上げます。

ディスプレイに現在インストールされているプログラムのバージョンが表示されます。

もしバージョンがこれからインストールするバージョンよりも新しければ、インストールする必要はありません。

* 電源を切って再び入れると通常モードで立ち上がります。

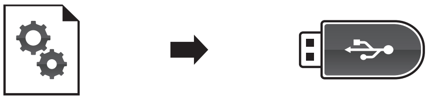
もしバージョンが古ければ、下記の作業を行ってください。



1. USBメモリを準備する

USBメモリのルートフォルダ（一番上の階層）に“MP7_040.SYS”をコピーしてください。

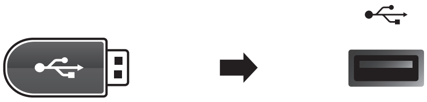
* USBメモリは、FAT又は、FAT32でフォーマットされているものを使用してください。



2. USBメモリを接続する

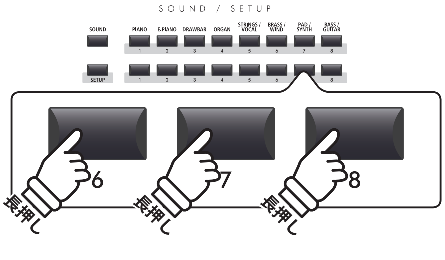
電源を切った状態で：

USBメモリをUSB端子に挿してください。



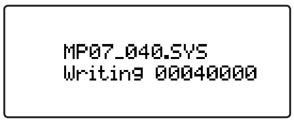
3. アップデートを始める

SOUND/SETUPセクションの中段の［6］［7］［8］ボタンを同時におしながら電源を投入します。



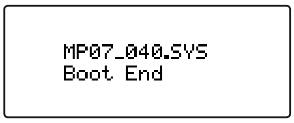
数秒後、アップデートは自動的に始まり、進捗がディスプレイに表示されます。

* アップデート中はUSBメモリを抜かないでください。



4. アップデートが終わったら、USBメモリを抜く

アップデートが終わったら、右の図のような画面がディスプレイに表示されます。



USBメモリを抜いて、一度電源を切ります。
再び電源を投入すると、バージョンアップされたMP7が起動します。

* ソフトウェアのアップデートが失敗した場合、再び手順1からお試しください。

音色リスト

		PIANO	E.PIANO	DRAWBAR	ORGAN
1	A	Concert Grand	Classic EP	T.Wheel A-1	Church Organ
	B	Studio Grand	Classic EP 2	T.Wheel A-2	Full Pipes
	C	Mellow Grand	Classic EP 3	T.Wheel A-3	Full Ensemble
	D	Jazz Grand	Classic EP 4	T.Wheel A-4	Church Organ 2
2	A	Concert Grand2	Modern EP	T.Wheel B-1	PrincipleChoir
	B	Studio Grand 2	Modern EP 2	T.Wheel B-2	Small Ensemble
	C	Mellow Grand 2	Modern EP 3	T.Wheel B-3	Small Ens. 2
	D	Jazz Grand 2	Modern EP 4	T.Wheel B-4	Baroque
3	A	Pop Piano	60's EP	T.Wheel C-1	Chiffy Tibia
	B	BrightPopPiano	60's EP 2	T.Wheel C-2	8'&4'Principle
	C	Pop Piano 2	Electric Grand	T.Wheel C-3	Stopped Pipe
	D	Pop Piano 3	Electric GP 2	T.Wheel C-4	Principle Pipe
4	A	Upright Piano	Dolce EP	Blues Organ	8' Celeste
	B	Mono Piano	Legend EP	Drawbar Organ	Diapason
	C	Mono Piano 2	Phase EP	Drawbar Organ2	Voice Celeste
	D	Mono Piano 3	Classic EP 5	Gospel Organ	Baroque Mix
5	A	Piano Vari.	Crystal EP	Ballad Organ	Reeds
	B	Piano Vari. 2	New Age EP	Soft Solo	8' Reed
	C	Piano Vari. 3	New Age EP2	Odd Man	Reed Pipes
	D	Piano Vari. 4	New Age EP3	Be Nice	Posaune
6	A	Piano Oct.	Clavinet	Jazz Organ	Theater Organ
	B	Piano Oct. 2	Synth Clavinet	Drawbar Organ3	Theater Organ2
	C	Piano & EP	Clavi & Marim	Perc. Organ	Theater Organ3
	D	Piano & EP 2	Clavi Phaser	Perc. Organ 2	Theater Tibia
7	A	New Age Piano	Vibraphone	Drawbar Organ4	Elec. Organ
	B	New Age Piano2	Celesta	Full Organ	Elec. Organ 2
	C	New Age Piano3	Music Box	Jazzer	60's Organ
	D	New Age Piano4	Toy Piano	Jazz Organ 2	Pump Organ
8	A	Harpsichord	Marimba	Rock Organ 2	Fr. Accordion
	B	Harpsichord2	Xylophone	Rock Organ	TangoAccordion
	C	Harpsi. Octave	Steel Drums	Drawbar Organ5	Harmonica
	D	Harpsi & Clavi	Bells	Screamin'	Kenban Harmo.

		STRINGS / VOCAL	BRASS / WIND	PAD / SYNTH	BASS / GUITAR
1	A	String Pad	Exp Brass	Pad 1	Acc. Bass
	B	Warm Strings	Exp Saxes	Pad 2	Acc. Bass&Ride
	C	Warm Strings 2	Tp&Bone&Tenor	Pad 3	Electric Bass
	D	Synth Strings	Flugel & Tenor	Saw Pad	Electric Bass2
2	A	Beautiful Str.	Brass Section	Pad 4	Finger Bass
	B	String Ens.	Synth Brass	Bowed Pad	FingerSlapBass
	C	String Ens. 2	Synth Brass 2	NoisyPad	Pick Bass
	D	Full Orchestra	Jump Brass	Sweep Pad	Fretless Bass
3	A	Small Str. Ens	Exp Trumpet	Saw Lead LP24	Synth Bass
	B	Quartet	PlungerTrumpet	Saw Lead LP12	Synth Bass 2
	C	Str. Bass Ens.	Trumpet Shake	Saw Lead HP	Rubber Bass
	D	Str. Sustain	Harmon Mute Tp	Saw Lead BP	Warm SynthBass
4	A	Pizzicato	Exp Trombone	Square Lead LP24	Exp. Nylon Gtr
	B	TremoloStrings	Lead Trombone	Square Lead LP12	Pick Nylon Gtr
	C	Str. Sforzando	PlungerTrombon	Square Lead HP	Exp Guitar
	D	Orchestra Hit	ClosedMuteBone	Square Lead BP	Exp Guitar 2
5	A	Passionate Vln	Exp Alto	Pulse Lead LP24	Rhythm Guitar
	B	Classic Violin	Lead Alto	Pulse Lead LP12	Overdrive
	C	Passionate Vc	Soft Alto	Pulse Lead HP	Distortion
	D	Classic Cello	Lead Soprano	Pulse Lead BP	Muted Electric
6	A	Choir	Exp Tenor	Polysynth	Pedal Steel
	B	Breathy Choir	Ballad Tenor	PolysynthOct	HawaiianGuitar
	C	Pop Aahs	Growl Tenor	SqrPoly	Jazz Guitar
	D	Slow Choir	Baritone Sax	Warm Lead	Jazz Guitar 2
7	A	Jazz Ensemble	Exp Flute	Oct Saw	Banjo
	B	Female Scat	Ballad Flute	Oct Pulse	Mandolin
	C	Pop Ensemble	Flute Overblow	Saw HPF	Sitar
	D	Contemp Ens.	Flute Flutter	Sqr QTc	Harp
8	A	Itopia	Oboe	Noise UpDown	Ambience Set
	B	Halo Pad	Bassoon	Noise Open	Plutinum Set
	C	Halo Pad 2	Jazz Clarinet	Resonance Voice	Room Set
	D	Synth Vocals	Pan Flute	Resonance Rise	Analog Set

リズムパターンリスト

16 Swing	
1	Funk Shuffle 1
2	Funk Shuffle 2
3	Hip Hop 1
4	Hip Hop 2
5	Hip Hop 3
6	Hip Hop 4
7	16 Shuffle 1
8	16 Shuffle 2
9	16 Shuffle 3

16 Funk	
10	Funky Beat 1
11	Funky Beat 2
12	Funky Beat 3
13	Funk 1
14	Funk 2
15	Funk 3

16 Straight	
16	Jazz Funk
17	16 Beat 1
18	16 Beat 2
19	16 Beat 3
20	16 Beat 4
21	Ride Beat 4
22	Rim Beat
23	Roll Beat
24	Light Ride 1
25	Dixie Rock

16 Latin	
26	Surdo Samba
27	Latin Groove
28	Light Samba
29	Songo
30	Samba
31	Merenge

16 Dance	
32	Funky Beat 4
33	16 Beat 5
34	Disco 1
35	Disco 2
36	Techno 1
37	Techno 2
38	Techno 3
39	Heavy Techno

16 Ballad	
40	Ballad 1
41	Ballad 2
42	Ballad 3
43	Ballad 4
44	Ballad 5
45	Light Ride 2
46	Electro Pop 1
47	Electro Pop 2
48	16 Shuffle 4

8 Ballad	
49	Slow Jam
50	50’s Triplet
51	R&B Triplet

8 Straight	
52	8 Beat 1
53	8 Beat 2
54	Smooth Beat
55	Pop 1
56	Pop 2
57	Ride Beat 1
58	Ride Beat 2
59	Ride Beat 3
60	Slip Beat

8 Rock	
61	Jazz Rock
62	8 Beat 3
63	Rock Beat 1
64	Rock Beat 2
65	Rock Beat 3
66	Rock Beat 4
67	Blues/Rock
68	Heavy Beat
69	Hard Rock
70	Surf Rock
71	R&B

8 Swing	
72	Motown 1
73	Fast Shuffle
74	Motown 2
75	Country 2 Beat

Triplet	
76	Triplet Rock 1
77	Triplet Rock 2
78	Bembe
79	Rock Shuffle 1
80	Rock Shuffle 2
81	Boogie
82	Triplet 1
83	Triplet 2
84	Reggae
85	Gospel Ballad
86	Waltz

Jazz	
87	H.H. Swing
88	Ride Swing
89	Fast 4 Beat
90	Afro Cuban
91	Jazz Waltz 1
92	Jazz Waltz 2
93	5/4 Swing

8 Latin	
94	H.H. Bossa
95	Ride Bossa
96	Beguine
97	Mambo
98	Cha Cha
99	Tango
100	Habanera

EFXカテゴリ、タイプ、パラメータリスト

1. Chorus

Variation	SUB	Parameter 1	Parameter 2	Parameter 3	Parameter 4	Parameter 5	Parameter 6	Parameter 7	Parameter 8	Parameter 9	Parameter 10
Stereo		DryWet	Speed	Depth	PreDelay	Phase	-	LowEQ	HighEQ	-	-
Classic		Spread	Intensity	LowEQ	HighEQ	-	-	-	-	-	-
2-Band		DryWet	Balance	LowerSpeed	LowerDepth	UpperSpeed	UpperDepth	PreDelay	SplitFreq	-	-
3-Phase		DryWet	Speed	Depth	PreDelay	-	-	-	-	-	-
Wide		DryWet	Speed	Depth	PreDelay	-	-	-	-	-	-
Envelope		Depth	Speed	Sens.	PreDelay	Phase	-	-	-	-	-
Triangle	●	DryWet	Speed	Depth	PreDelay	Phase	-	-	-	-	-
Sine	●	DryWet	Speed	Depth	PreDelay	-	-	-	-	-	-

2. Flanger

Variation	SUB	Parameter 1	Parameter 2	Parameter 3	Parameter 4	Parameter 5	Parameter 6	Parameter 7	Parameter 8	Parameter 9	Parameter 10
Stereo		DryWet	Speed	Depth	Feedback	PreDelay	Phase	LowEQ	HighEQ	-	-
2-Band		DryWet	Balance	LowerSpeed	LowerDepth	UpperSpeed	UpperDepth	Feedback	PreDelay	SplitFreq	-
Touch		DryWet	-	Sens.	Feedback	PreDelay	-	LowEQ	HighEQ	-	-
Sine	●	DryWet	Speed	Depth	Feedback	PreDelay	-	-	-	-	-
Triangle	●	DryWet	Speed	Depth	Feedback	PreDelay	Phase	-	-	-	-

3. Phaser

Variation	SUB	Parameter 1	Parameter 2	Parameter 3	Parameter 4	Parameter 5	Parameter 6	Parameter 7	Parameter 8	Parameter 9	Parameter 10
Warm		DryWet	Speed	Depth	Resonance	LowEQ	HighEQ	-	-	-	-
Classic		DryWet	Speed	Depth	Resonance	Manual	-	LowEQ	HighEQ	-	-
8-Stage		DryWet	Speed	Depth	Resonance	Manual	-	-	-	-	-
2-Band		DryWet	Balance	LwrSpeed	LwrDepth	LwrManual	-	UprSpeed	UprDepth	UprManual	SplitFreq
Touch		DryWet	-	Sens.	Resonance	Manual	-	LowEQ	HighEQ	-	-
St.2-Stage	●	DryWet	Speed	Depth	-	Manual	Phase	-	-	-	-

4. Wah

Variation	SUB	Parameter 1	Parameter 2	Parameter 3	Parameter 4	Parameter 5	Parameter 6	Parameter 7	Parameter 8	Parameter 9	Parameter 10
ClassicTch		DryWet	-	Sens.	Resonance	Manual	-	LowEQ	HighEQ	-	-
ClassicLfo		DryWet	Speed	Depth	Resonance	Manual	-	LowEQ	HighEQ	-	-
ClassicPdl		DryWet	-	Sens.	Resonance	Manual	-	LowEQ	HighEQ	*PDL	-
LpfTch	●	DryWet	-	Sens.	Manual	-	-	-	-	-	-
LpfLfo	●	DryWet	Speed	Depth	Manual	-	-	-	-	-	-
LpfPdl	●	DryWet	-	Sens.	Manual	*PDL	-	-	-	-	-

5. Tremolo

Variation	SUB	Parameter 1	Parameter 2	Parameter 3	Parameter 4	Parameter 5	Parameter 6	Parameter 7	Parameter 8	Parameter 9	Parameter 10
Classic		Depth	Speed	LowEQ	HighEQ	-	-	-	-	-	-
2-Band		Depth	Balance	LowerSpeed	UpperSpeed	SplitFreq	-	-	-	-	-
VibratoTrm		Depth	Speed	Vibrato	-	LowEQ	HighEQ	-	-	-	-
Sine	●	Depth	Speed	-	-	-	-	-	-	-	-
Square	●	Depth	Speed	-	-	-	-	-	-	-	-
Saw	●	Depth	Speed	-	-	-	-	-	-	-	-

6. Auto Pan

Variation	SUB	Parameter 1	Parameter 2	Parameter 3	Parameter 4	Parameter 5	Parameter 6	Parameter 7	Parameter 8	Parameter 9	Parameter 10
Classic		Depth	Speed	LowEQ	HighEQ	-	-	-	-	-	-
2-Band		Depth	Balance	LowerSpeed	UpperSpeed	SplitFreq	-	-	-	-	-
Envelope		Depth	Speed	Sens.	-	-	-	-	-	-	-
Standard	●	Depth	Speed	-	-	-	-	-	-	-	-

7. Delay / Reverb

Variation	SUB	Parameter 1	Parameter 2	Parameter 3	Parameter 4	Parameter 5	Parameter 6	Parameter 7	Parameter 8	Parameter 9	Parameter 10
Standard		DryWet	Time	Feedback	HighDamp	-	-	-	-	-	-
PingPong		DryWet	Time	Feedback	HighDamp	-	-	-	-	-	-
LCR		DryWet	Time	Feedback	HighDamp	-	-	-	-	-	-
3-Tap		DryWet	-	CenterTime	CenterGain	Feedback	HighDamp	LeftTime	LeftGain	RightTime	RightGain
Classic	●	DryWet	Time	Feedback	-	-	-	-	-	-	-
Short	●	DryWet	Time	Feedback	-	-	-	-	-	-	-
Ambience		DryWet	Size	HighDamp	-	LowEQ	HighEQ	-	-	-	-
EarlyRef		DryWet	Size	PreDelay	LPF	LowEQ	HighEQ	-	-	-	-

8. Pitch Shift

Variation	SUB	Parameter 1	Parameter 2	Parameter 3	Parameter 4	Parameter 5	Parameter 6	Parameter 7	Parameter 8	Parameter 9	Parameter 10
Detune		DryWet	Fine	-	-	-	-	-	-	-	-
FeedBack		DryWet	Fine	Coarse	DelayTime	Feedback	HighDamp	-	-	-	-
Standard	●	DryWet	Fine	Coarse	-	-	-	-	-	-	-

9. Compressor

Variation	SUB	Parameter 1	Parameter 2	Parameter 3	Parameter 4	Parameter 5	Parameter 6	Parameter 7	Parameter 8	Parameter 9	Parameter 10
2-Band		Gain	Balance	LwrRatio	LwrThresh	LwrAttack	Release	UprRatio	UprThresh	UprAttack	SplitFreq
Standard	●	Gain	-	Ratio	Threshold	Attack	Release	-	-	-	-

10. Overdrive

Variation	SUB	Parameter 1	Parameter 2	Parameter 3	Parameter 4	Parameter 5	Parameter 6	Parameter 7	Parameter 8	Parameter 9	Parameter 10
Stereo		DryWet	-	Drive	Gain	LowEQ	HighEQ	-	-	-	-
Classic	●	DryWet	-	Drive	Gain	-	-	-	-	-	-
Distortion	●	DryWet	-	Drive	Gain	-	-	-	-	-	-

11. EQ / Filter

Variation	SUB	Parameter 1	Parameter 2	Parameter 3	Parameter 4	Parameter 5	Parameter 6	Parameter 7	Parameter 8	Parameter 9	Parameter 10
4-BandEQ		Gain	-	LowGain	Mid1Gain	Mid1Q	Mid1Freq.	HighGain	Mid2Gain	Mid2Q	Mid2Freq.
7-BandEQ		Gain	-	100Hz	200Hz	400Hz	800Hz	1.6kHz	3.2kHz	6.4kHz	-
Standerd	●	Gain	-	Low	Mid	High	MidFreq.	-	-	-	-
Enhancer	●	DryWet	Depth	-	-	-	-	-	-	-	-
10-PoleFlt		DryWet	Freq.	TouchSens.	Gain	Lpf/Hpf	-	-	-	-	-

12. Rotary

Variation	SUB	Parameter 1	Parameter 2	Parameter 3	Parameter 4	Parameter 5	Parameter 6	Parameter 7	Parameter 8	Parameter 9	Parameter 10
Classic		Slow/Fast	-	LwrFastSpd	LwrSlowSpd	LwrAcc.Spd	Spread	UprFastSpd	UprSlowSpd	UprAcc.Spd	-
Warm		Slow/Fast	-	LwrFastSpd	LwrSlowSpd	LwrAcc.Spd	Spread	UprFastSpd	UprSlowSpd	UprAcc.Spd	-
Dirty		Drive	Gain	Slow/Fast	Depth	Acc.Speed	Spread	FastSpeed	SlowSpeed	LowEQ	HighEQ
+Vib/Cho		V/C type	Mode	Slow/Fast	Depth	Acc.Speed	Spread	FastSpeed	SlowSpeed	-	-
Single	●	Slow/Fast	Depth	FastSpeed	SlowSpeed	Acc.Speed	Spread	-	-	-	-

13. Groove

Variation	SUB	Parameter 1	Parameter 2	Parameter 3	Parameter 4	Parameter 5	Parameter 6	Parameter 7	Parameter 8	Parameter 9	Parameter 10
S/H Flg		DryWet	Speed	Depth	Feedback	Manual	Attack	PanDepth	-	-	-
S/H Pha		DryWet	Speed	Depth	Feedback	Manual	Attack	PanDepth	-	-	-
S/H Wah		DryWet	Speed	Depth	Feedback	Manual	Attack	PanDepth	-	-	-
S/H Pan	●	DryWet	Speed	PanDepth	Attack	-	-	-	-	-	-

14. Misc

main zone only

Variation	Parameter 1	Parameter 2	Parameter 3	Parameter 4	Parameter 5	Parameter 6	Parameter 7	Parameter 8	Parameter 9	Parameter 10
RingMod	DryWet	Freq.	LowEQ	HighEQ	-	-	-	-	-	-
Lo-Fi	DryWet	ModSpeed	ModDepth	SampleRate	Resolution	Filter	-	-	-	-

15. Chorus+

main zone only

Variation	Parameter 1	Parameter 2	Parameter 3	Parameter 4	Parameter 5	Parameter 6	Parameter 7	Parameter 8	Parameter 9	Parameter 10
Flanger	Cho:DryWet	Flg:DryWet	Cho:Speed	Cho:Depth	Cho:PreDly	Cho:Phase	Flg:Speed	Flg:Depth	Flg:F.Back	Flg:PreDly
Phaser	Cho:DryWet	Pha:DryWet	Cho:Speed	Cho:Depth	Cho:PreDly	Cho:Phase	Pha:Speed	Pha:Depth	Pha:Manual	Pha:Phase
Wah	Cho:DryWet	Wah:DryWet	Cho:Speed	Cho:Depth	Cho:PreDly	Cho:Phase	Wah:Sens.	Wah:Manual	-	-
Tremolo	Cho:DryWet	Trm:Depth	Cho:Speed	Cho:Depth	Cho:PreDly	Cho:Phase	Trm:Speed	-	-	-
AutoPan	Cho:DryWet	Pan:Depth	Cho:Speed	Cho:Depth	Cho:PreDly	Cho:Phase	Pan:Speed	-	-	-
Delay	Cho:DryWet	Dly:DryWet	Cho:Speed	Cho:Depth	Cho:PreDly	Cho:Phase	Dly:Time	Dly:F.Back	-	-

16. Phaser+

main zone only

Variation	Parameter 1	Parameter 2	Parameter 3	Parameter 4	Parameter 5	Parameter 6	Parameter 7	Parameter 8	Parameter 9	Parameter 10
Chorus	Pha:DryWet	Cho:DryWet	Pha:Speed	Pha:Depth	Pha:Manual	Pha:Phase	Cho:Speed	Cho:Depth	Cho:PreDly	Cho:Phase
Flanger	Pha:DryWet	Flg:DryWet	Pha:Speed	Pha:Depth	Pha:Manual	Pha:Phase	Flg:Speed	Flg:Depth	Flg:F.Back	Flg:PreDly
Wah	Pha:DryWet	Wah:DryWet	Pha:Speed	Pha:Depth	Pha:Manual	Pha:Phase	Wah:Sens.	Wah:Manual	-	-
Tremolo	Pha:DryWet	Trm:Depth	Pha:Speed	Pha:Depth	Pha:Manual	Pha:Phase	Trm:Speed	-	-	-
AutoPan	Pha:DryWet	Pan:Depth	Pha:Speed	Pha:Depth	Pha:Manual	Pha:Phase	Pan:Speed	-	-	-
Delay	Pha:DryWet	Dly:DryWet	Pha:Speed	Pha:Depth	Pha:Manual	Pha:Phase	Dly:Time	Dly:F.Back	-	-

17. Wah+

main zone only

Variation	Parameter 1	Parameter 2	Parameter 3	Parameter 4	Parameter 5	Parameter 6	Parameter 7	Parameter 8	Parameter 9	Parameter 10
Chorus	Wah:DryWet	Cho:DryWet	Wah:Sens.	Wah:Manual	-	-	Cho:Speed	Cho:Depth	Cho:PreDly	Cho:Phase
Flanger	Wah:DryWet	Flg:DryWet	Wah:Sens.	Wah:Manual	-	-	Flg:Speed	Flg:Depth	Flg:F.Back	Flg:PreDly
Phaser	Wah:DryWet	Pha:DryWet	Wah:Sens.	Wah:Manual	-	-	Pha:Speed	Pha:Depth	Pha:Manual	Pha:Phase
Tremolo	Wah:DryWet	Trm:Depth	Wah:Sens.	Wah:Manual	-	-	Trm:Speed	-	-	-
AutoPan	Wah:DryWet	Pan:Depth	Wah:Sens.	Wah:Manual	-	-	Pan:Speed	-	-	-
Delay	Wah:DryWet	Dly:DryWet	Wah:Sens.	Wah:Manual	-	-	Dly:Time	Dly:F.Back	-	-

18. EQ+

main zone only

Variation	Parameter 1	Parameter 2	Parameter 3	Parameter 4	Parameter 5	Parameter 6	Parameter 7	Parameter 8	Parameter 9	Parameter 10
Chorus	EQ :Gain	Cho:DryWet	EQ :Low	EQ :Mid	EQ :High	EQ :MidFrq	Cho:Speed	Cho:Depth	Cho:PreDly	Cho:Phase
Flanger	EQ :Gain	Flg:DryWet	EQ :Low	EQ :Mid	EQ :High	EQ :MidFrq	Flg:Speed	Flg:Depth	Flg:F.Back	Flg:PreDly
Phaser	EQ :Gain	Pha:DryWet	EQ :Low	EQ :Mid	EQ :High	EQ :MidFrq	Pha:Speed	Pha:Depth	Pha:Manual	Pha:Phase
Wah	EQ :Gain	Wah:DryWet	EQ :Low	EQ :Mid	EQ :High	EQ :MidFrq	Wah:Sens.	Wah:Manual	-	-
Tremolo	EQ :Gain	Trm:Depth	EQ :Low	EQ :Mid	EQ :High	EQ :MidFrq	Trm:Speed	-	-	-
AutoPan	EQ :Gain	Pan:Depth	EQ :Low	EQ :Mid	EQ :High	EQ :MidFrq	Pan:Speed	-	-	-
Delay	EQ :Gain	Dly:DryWet	EQ :Low	EQ :Mid	EQ :High	EQ :MidFrq	Dly:Time	Dly:F.Back	-	-
Compressor	EQ :Gain	Cmp:Gain	EQ :Low	EQ :Mid	EQ :High	EQ :MidFrq	Cmp:Ratio	Cmp:Thresh	Cmp:Attack	Cmp:Rls

19. Enhancer+

main zone only

Variation	Parameter 1	Parameter 2	Parameter 3	Parameter 4	Parameter 5	Parameter 6	Parameter 7	Parameter 8	Parameter 9	Parameter 10
Chorus	Enh:DryWet	Cho:DryWet	Enh:Depth	-	-	-	Cho:Speed	Cho:Depth	Cho:PreDly	Cho:Phase
Flanger	Enh:DryWet	Flg:DryWet	Enh:Depth	-	-	-	Flg:Speed	Flg:Depth	Flg:F.Back	Flg:PreDly
Phaser	Enh:DryWet	Pha:DryWet	Enh:Depth	-	-	-	Pha:Speed	Pha:Depth	Pha:Manual	Pha:Phase
Wah	Enh:DryWet	Wah:DryWet	Enh:Depth	-	-	-	Wah:Sens.	Wah:Manual	-	-
Tremolo	Enh:DryWet	Trm:Depth	Enh:Depth	-	-	-	Trm:Speed	-	-	-
AutoPan	Enh:DryWet	Pan:Depth	Enh:Depth	-	-	-	Pan:Speed	-	-	-
Delay	Enh:DryWet	Dly:DryWet	Enh:Depth	-	-	-	Dly:Time	Dly:F.Back	-	-
Compressor	Enh:DryWet	Cmp:Gain	Enh:Depth	-	-	-	Cmp:Ratio	Cmp:Thresh	Cmp:Attack	Cmp:Rls

20. Pitch Shift+

main zone only

Variation	Parameter 1	Parameter 2	Parameter 3	Parameter 4	Parameter 5	Parameter 6	Parameter 7	Parameter 8	Parameter 9	Parameter 10
Flanger	Psh:DryWet	Flg:DryWet	Psh:Fine	Psh:Coarse	-	-	Flg:Speed	Flg:Depth	Flg:F.Back	Flg:PreDly
Phaser	Psh:DryWet	Pha:DryWet	Psh:Fine	Psh:Coarse	-	-	Pha:Speed	Pha:Depth	Pha:Manual	Pha:Phase
Wah	Psh:DryWet	Wah:DryWet	Psh:Fine	Psh:Coarse	-	-	Wah:Sens.	Wah:Manual	-	-
Tremolo	Psh:DryWet	Trm:Depth	Psh:Fine	Psh:Coarse	-	-	Trm:Speed	-	-	-
AutoPan	Psh:DryWet	Pan:Depth	Psh:Fine	Psh:Coarse	-	-	Pan:Speed	-	-	-
Delay	Psh:DryWet	Dly:DryWet	Psh:Fine	Psh:Coarse	-	-	Dly:Time	Dly:F.Back	-	-

21. Compressor+

main zone only

Variation	Parameter 1	Parameter 2	Parameter 3	Parameter 4	Parameter 5	Parameter 6	Parameter 7	Parameter 8	Parameter 9	Parameter 10
Chorus	Cmp:Gain	Cho:DryWet	Cmp:Ratio	Cmp:Thresh	Cmp:Attack	Cmp:Rls	Cho:Speed	Cho:Depth	Cho:PreDly	Cho:Phase
Flanger	Cmp:Gain	Flg:DryWet	Cmp:Ratio	Cmp:Thresh	Cmp:Attack	Cmp:Rls	Flg:Speed	Flg:Depth	Flg:F.Back	Flg:PreDly
Phaser	Cmp:Gain	Pha:DryWet	Cmp:Ratio	Cmp:Thresh	Cmp:Attack	Cmp:Rls	Pha:Speed	Pha:Depth	Pha:Manual	Pha:Phase
Wah	Cmp:Gain	Wah:DryWet	Cmp:Ratio	Cmp:Thresh	Cmp:Attack	Cmp:Rls	Wah:Sens.	Wah:Manual	-	-
Tremolo	Cmp:Gain	Trm:Depth	Cmp:Ratio	Cmp:Thresh	Cmp:Attack	Cmp:Rls	Trm:Speed	-	-	-
AutoPan	Cmp:Gain	Pan:Depth	Cmp:Ratio	Cmp:Thresh	Cmp:Attack	Cmp:Rls	Pan:Speed	-	-	-
Delay	Cmp:Gain	Dly:DryWet	Cmp:Ratio	Cmp:Thresh	Cmp:Attack	Cmp:Rls	Dly:Time	Dly:F.Back	-	-
OverDrive	Cmp:Gain	Ovd:DryWet	Cmp:Ratio	Cmp:Thresh	Cmp:Attack	Cmp:Rls	Ovd:Drive	Ovd:Gain	-	-

22. Overdrive+

main zone only

Variation	Parameter 1	Parameter 2	Parameter 3	Parameter 4	Parameter 5	Parameter 6	Parameter 7	Parameter 8	Parameter 9	Parameter 10
Chorus	Ovd:DryWet	Cho:DryWet	Ovd:Drive	Ovd:Gain	-	-	Cho:Speed	Cho:Depth	Cho:PreDly	Cho:Phase
Flanger	Ovd:DryWet	Flg:DryWet	Ovd:Drive	Ovd:Gain	-	-	Flg:Speed	Flg:Depth	Flg:F.Back	Flg:PreDly
Phaser	Ovd:DryWet	Pha:DryWet	Ovd:Drive	Ovd:Gain	-	-	Pha:Speed	Pha:Depth	Pha:Manual	Pha:Phase
Wah	Ovd:DryWet	Wah:DryWet	Ovd:Drive	Ovd:Gain	-	-	Wah:Sens.	Wah:Manual	-	-
Tremolo	Ovd:DryWet	Trm:Depth	Ovd:Drive	Ovd:Gain	-	-	Trm:Speed	-	-	-
AutoPan	Ovd:DryWet	Pan:Depth	Ovd:Drive	Ovd:Gain	-	-	Pan:Speed	-	-	-
Delay	Ovd:DryWet	Dly:DryWet	Ovd:Drive	Ovd:Gain	-	-	Dly:Time	Dly:F.Back	-	-
EQ	Ovd:DryWet	EQ :Gain	Ovd:Drive	Ovd:Gain	-	-	EQ :Low	EQ :Mid	EQ :High	EQ :MidFrq

23. Parallel

main zone only

Variation	Parameter 1	Parameter 2	Parameter 3	Parameter 4	Parameter 5	Parameter 6	Parameter 7	Parameter 8	Parameter 9	Parameter 10
Cho || Flg	Cho:DryWet	Flg:DryWet	Cho:Speed	Cho:Depth	Cho:PreDly	Cho:Phase	Flg:Speed	Flg:Depth	Flg:F.Back	Flg:PreDly
Cho || Pha	Cho:DryWet	Pha:DryWet	Cho:Speed	Cho:Depth	Cho:PreDly	Cho:Phase	Pha:Speed	Pha:Depth	Pha:Manual	Pha:Phase
Cho || Wah	Cho:DryWet	Wah:DryWet	Cho:Speed	Cho:Depth	Cho:PreDly	Cho:Phase	Wah:Sens.	Wah:Manual	-	-
Cho || Trm	Cho:DryWet	Trm:Depth	Cho:Speed	Cho:Depth	Cho:PreDly	Cho:Phase	Trm:Speed	-	-	-
Cho || Pan	Cho:DryWet	Pan:Depth	Cho:Speed	Cho:Depth	Cho:PreDly	Cho:Phase	Pan:Speed	-	-	-
Cho || Dly	Cho:DryWet	Dly:DryWet	Cho:Speed	Cho:Depth	Cho:PreDly	Cho:Phase	Dly:Time	Dly:F.Back	-	-

仕様

Kawai MP7 Stage Piano

鍵盤	88鍵レスポンシブ・ハンマー・アクションIIアイボリータッチ（象牙調仕上げ）レットオフフィール	
音源	HI-XL88鍵ステレオサンプリング	
音色	256音色 （8カテゴリ）	PIANO x 32，E.PIANO x 32，DRAWBAR x 32，ORGAN x 32，STRINGS/VOCAL x 32， BRASS/WIND x32，PAD/SYNTH x 32，BASS/GUITAR x 32
同時発音数	最大256音	
ゾーン	タイプ	MAIN，SUB1，SUB2，SUB3
	モード	INT，EXT，BOTH
リバーブ	タイプ	6タイプ（Room，Lounge，Small Hall，Concert Hall，Live Hall，Cathedral）
	パラメータ	PreDelay，Reverb Time，Reverb Depth
エフェクト	タイプ	129タイプ（MAIN ZONE），23タイプ（SUB ZONE）
	パラメータ	エフェクトタイプにより異なる（最大10パラメータ）
	モジュール	MAIN ZONE：EFX1，EFX2　　SUB ZONE：EFX
アンプシミュレータ MAIN ZONEのみ	タイプ	5タイプ（S. Case，M. Stack，J. Combo，F. Bass，L. Cabi）
	パラメータ	Drive，Level，Amp EQ Lo，Amp EQ Mid，Amp EQ Hi，Mid Frequency， Mic Type，Mic Position，Ambience
Tonewheel Organ MAIN ZONEのみ	ドローバー	16′，5 1/3′，8′，4′，2 2/3′，2′，1 3/5′，1 1/3′，1′ （パネルフェーダー・ノブ・MIDIによりリアルタイムに調整可能）
	パーカッション	Off/On，Normal/Soft，Slow/Fast，2nd/3rd
バーチャル テクニシャン	タッチカーブ	6タイプ（Light+，Light，Normal，Heavy，Heavy+，Off），User1~5
	パラメータ	**PIANO:** Voicing，Stereo Width，String Resonance，Damper Resonance，Key-off Effect， Damper Noise，Hammer Delay，Fall-back Noise，Topboard **E.PIANO/HARPSI/BASS:** Key-off Noise，Key-off Delay **DRAWBAR:** Key Click Level，Wheel Noise Level
	音律＆ チューニング	7種類（Equal（平均律），Pure Major/Minor（純正律 長調/短調），Pythagorean（ピタゴラス音律），Meantone（中全音律），Werkmeister（ヴェルクマイスター第III法），Kirnberger（キルンベルガー第III法）），User1 〜 2 Fine Tune，Stretch Tuning，Key of Temperament
EQ（イコライザ）	4バンドEQ（Low Gain，Mid1 Gain，Mid1 Q，Mid1 Freq.，Mid2 Gain，Mid2 Q，Mid2 Freq.，High Gain）	
レコーダー	内部	10ソング、総記憶音数約90,000音 移調、オーディオ変換、SMF読み出し、SMF保存
	オーディオ	MP3/WAV再生、MP3/WAV録音、オーバーダビング、録音ゲイン調整
メトロノーム	クリック	1/4，2/4，3/4，4/4，5/4，3/8，6/8，7/8，9/8，12/8
	リズム	100種類
内部メモリ	SOUND	256種類（8 x 8 x 4）
	SETUP	256種類（8 x 8 x 4）
	POWERON	1種類
USB機能	Load/Save	One Sound，One Setup，SMF，All Sound，All Setup，All Backup
	その他	Delete，Rename，Format
エディットメニュー	INTモード	116パラメータ（Reverb，EFX/AMP，Sound，Tuning，Key Setup，Controllers，Knob Assign，Virtual Tech.）
	EXTモード	64パラメータ（Channel/Program，SETUP，Transmit，MMC，Key Setup，Controllers，Knob Assign）
システムメニュー	52パラメータ（Utility，Pedal，MIDI，Offset，User Edit，Reset）	
ディスプレイ	128×64ドットマトリクスLCD	
パネルコントロール	ボリューム、ラインインボリューム、ZONEミキサー、アサイナブルノブA〜D、ピッチベンド、モジュレーション、SW1、SW2	
ジャック	出力	ラインアウト（L/MONO）：標準、ヘッドホン
	入力	ラインイン（L/MONO）：標準
	MIDI/USB	MIDI IN，MIDI OUT，MIDI THRU，USB to Host，USB to Device
	ペダル	ダンパー（F-10H）、ダンパー/ソステヌート、ソフト（F-30）、エクスプレッション
	電源	AC IN
消費電力	20 W	
寸法	1352（W）x339（D）x171（H）mm	
重量	21.0 kg	
同梱物	ダンパーペダル（F-10H）、譜面台、電源コード、取扱説明書	

※ 仕様は告知なしに変更される場合があります。

MIDI Implementation

Contents

Version 1.0 (November 2013)

1. Recognised data
   - 1.1 Channel Voice Message
   - 1.2 Channel Mode Message
   - 1.3 System Realtime Message

2. Transmitted data
   - 2.1 Channel Voice Message
   - 2.2 Channel Mode Message
   - 2.3 System Realtime Message

3. Exclusive data
   - 3.1 MMC Commands
   - 3.2 Parameter Send
   - 3.3 Setup Address: Global Section
   - 3.4 Setup Address: Internal Section
   - 3.5 Setup Address: MIDI Section
   - 3.6. Internal Section's Assignable Knob Data

4. SOUND/SETUP Program/Bank
   - 4.1 SETUP Program Number Table

5. Program Change Number List

6. Control Change Number (CC#) Table

MIDI Implementation Chart

1 Recognised Data

1.1 Channel Voice Message

Note off

Status	2nd Byte	3rd Byte
8nH	kkH	vvH
9nH	kkH	00H

n=MIDI channel number :0H-fH(ch.1 ~ ch.16)
kk=Note Number :00H - 7fH(0 ~ 127)
vv=Velocity :00H - 7fH(0 ~ 127)

Note on

Status	2nd Byte	3rd Byte
9nH	kkH	vvH

n=MIDI channel number :0H-fH(ch.1 ~ ch.16)
kk=Note Number :00H - 7fH(0 ~ 127)
vv=Velocity :00H - 7fH(0 ~ 127)

Control Change Bank Select (MSB)

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	00H	mmH
BnH	20H	llH

n=MIDI channel number :0H-fH(ch.1 ~ ch.16)
mm = Bank Number MSB :00H-7fH (0 ~ 127)
ll = BankNumber LSB :00H-7fH (0 ~ 127)

Modulation

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	01H	vvH

n=MIDI channel number :0H-fH(ch.1 ~ ch.16)
vv = Modulation depth :00H - 7fH(0 ~ 127) Default = 00H

Data Entry

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	06H	mmH
BnH	26H	llH

n=MIDI channel number :0H-fH(ch.1 ~ ch.16)
mm,ll=Value indicated in RPN/NRPN :00H - 7fH(0 ~ 127)
*see RPN/NRPN chapter

Volume

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	07H	vvH

n=MIDI channel number :0H-fH(ch.1 ~ ch.16)
vv=Volume :00H - 7fH(0 ~ 127) Default = 7fH

Panpot

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	0aH	vvH

n=MIDI channel number :0H-fH(ch.1 - ch.16)
vv=Panpot :00H - 40H - 7fH(left ~centre~right) Default = 40H(centre)

1.1 Channel Voice Message (cont.)

Expression

Status	2nd Byte	3rd Byte	
BnH	0bH	vvH	
n=MIDI channel number		:0H-fH(ch.1 - ch.16)	
vv=Expression		:00H - 7fH(0 - 127)	Default = 7fH

Damper Pedal

Status	2nd Byte	3rd Byte	
BnH	40H	vvH	
n=MIDI channel number		:0H-fH(ch.1 ~ ch.16)	
vv=Control Value		:00H - 7fH(0 ~ 127)	Default = 00H
0 - 63=OFF, 64 - 127=ON			

Sostenuto Pedal

Status	2nd Byte	3rd Byte	
BnH	42H	vvH	
n=MIDI channel number		:0H-fH(ch.1 ~ ch.16)	
vv=Control Value		:00H - 7fH(0 ~ 127)	Default = 00H
0 - 63 =OFF, 64 - 127=ON			

Soft Pedal

Status	2nd Byte	3rd Byte	
BnH	43H	vvH	
n=MIDI channel number		:0H-fH(ch.1 ~ ch.16)	
vv=Control Value		:00H - 7fH(0 ~ 127)	Default = 00H
0 - 63 =OFF, 64 - 127=ON			

Sound controllers #1-9

Status	2nd Byte	3rd Byte		
BnH	46H	vvH	Sustain Level	
BnH	47H	vvH	Resonance	
BnH	48H	vvH	Release time	
BnH	49H	vvH	Attack time	
BnH	4aH	vvH	Cutoff	
BnH	4bH	vvH	Decay time	
BnH	4cH	vvH	Vibrato Rate	
BnH	4dH	vvH	Vibrato Depth	
BnH	4eH	vvH	Vibrato Delay	
n=MIDI channel number		:0H-fH(ch.1 ~ ch.16)		
vv=Control Value		:00H - 7fH(-64 ~ 0 ~ +63)		Default = 40H

Effect Control

Status	2nd Byte	3rd Byte	
BnH	5bH	vvH	Reverb depth
n=MIDI channel number		:0H-fH(ch.1 ~ ch.16)	
vv = Control Value		:00H - 7fH(0 ~ 127)	

付録

1.1 Channel Voice Message (cont.)

RPN MSB/LSB

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	63H	mmH
BnH	62H	llH

n=MIDI channel number :0H-fH(ch.1 ~ ch.16)
mm=MSB of the NRPN parameter number
ll=LSB of the NRPN parameter number

NRPN numbers implemented in MP7 are as follows
NRPN # Data

MSB	LSB	MSB	Function & Range		
01H	08H	mmH	Vibrato Rate mm	:00H - 7FH(-64 ~ 0 ~ +63)	Default = 40H
01H	09H	mmH	Vibrato Depth mm	:00H - 7FH(-64 ~ 0 ~ +63)	Default = 40H
01H	0aH	mmH	Vibrato Delay mm	:00H - 7FH(-64 ~ 0 ~ +63)	Default = 40H
01H	20H	mmH	Cutoff mm	:00H - 7FH(-64 ~ 0 ~ +63)	Default = 40H
01H	21H	mmH	Resonance mm	:00H - 7FH(-64 ~ 0 ~ +63)	Default = 40H
01H	63H	mmH	Attack time mm	:00H - 7FH(-64 ~ 0 ~ +63)	Default = 40H
01H	64H	mmH	Decay time mm	:00H - 7FH(-64 ~ 0 ~ +63)	Default = 40H
01H	66H	mmH	Release time mm	:00H - 7FH(-64 ~ 0 ~ +63)	Default = 40H

* Ignoring the LSB of data Entry
* It is not affected in case of modifying cutoff if tone does not use the DCF.

RPN MSB/LSB

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	65H	mmH
BnH	64H	llH

n=MIDI channel number :0H-fH(ch.1 ~ ch.16)

mm=MSB of the RPN parameter number
ll=LSB of the RPN parameter number

RPN number implemented in MP7 are the followings
RPN # Data

MSB	LSB	MSB	LSB	Function & Range	
00H	00H	mmH	llH	Pitch bend sensitivity	
		mm :00H-0cH (0~12 [half tone]),ll:00H			Default = 02H
00H	01H	mmH	llH	Master fine tuning	
		mm,ll :20 00H - 40 00H - 60 00H (-8192x50/8192 ~ 0 ~ +8192x50/8192 [cents])			
00H	05H	mmH	llH	Modulation Depth Range	Default = 00H/40H (+/-50 cents)
		mm,ll :00 00H - 06 00H (0~600[cents])			
7fH	7fH	--	--	RPN NULL	

Program Change

Status	2nd Byte
CnH	ppH

n=MIDI channel number :0H-fH(ch.1 ~ ch.16)
pp=Program number :00H - 7fH(0 ~- 127) Default = 00H

Pitch Bend Change

Status	2nd Byte	3rd Byte
EnH	llH	mmH

n=MIDI channel number :0H-fH(ch.1 ~ ch.16)
mm,ll=Pitch bend value :00 00-7f 7fH(-8192~0~+8192) Default = 40 00H

付録

1.2 Channel Mode Message

All Sound OFF

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	78H	00H

n=MIDI channel number :0H-fH(ch.1 ~ ch.16)

Reset All Controller

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	79H	00H

n=MIDI channel number :0H-fH(ch.1 ~ ch.16)

All Note Off

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	7bH	00H

n=MIDI channel number :0H-fH(ch.1 ~ ch.16)

1.3 System Realtime Message

Status

FEH Active sensing

2 Transmitted Data

2.1 Channel Voice Message

Note off

Status	2nd Byte	3rd Byte
8nH	kkH	vvH

n=MIDI channel number	:0H-fH(ch.1 ~ ch.16)	
kk=Note Number	:00H - 7fH(0 ~ 127)	
vv=Velocity	:00H - 7fH(0 ~ 127)	

Note on

Status	2nd Byte	3rd Byte
9nH	kkH	vvH

n=MIDI channel number	:0H-fH(ch.1 ~ ch.16)	
kk=Note Number	:00H - 7fH(0 ~ 127)	
vv=Velocity	:00H - 7fH(0 ~ 127)	

Control Change

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	ccH	vvH

* Sending by Assignable Control Knobs

Program Change

Status	2nd Byte
CnH	ppH

n=MIDI channel number	:0H-fH(ch.1 ~ ch.16)	
pp=Program number	:00H - 7fH(0 ~- 127)	Default = 00H

After Touch

Status	2nd Byte
DnH	ppH

n=MIDI channel number	:0H-fH(ch.1 ~ ch.16)
pp=Value	

*Sending only when Controller or Knob=AfterTouch

Pitch Bend Change

Status	2nd Byte	3rd Byte
EnH	llH	mmH

n=MIDI channel number	:0H-fH(ch.1 ~ ch.16)	
mm,ll=Pitch bend value	:00 00-7f 7fH(-8192~0~+8192)	Default = 40 00H

2.2 Channel Mode Message

Reset All Controller

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	79H	00H

n = MIDI channel number :0H-fH(ch.1 ~ ch.16)
*Sending by [PANIC] function

All Note Off

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	7bH	00H

n = MIDI channel number :0H-fH(ch.1 ~ ch.16)
*Sending by [PANIC] function

MONO

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	7eH	mmH

n=MIDI channel number :0H-fH(ch.1 ~ ch.16)
mm=mono number :01H(M=1)

POLY

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	7fH	00H

n=MIDI channel number :0H-fH(ch.1 ~ ch.16)

2.3 System Realtime Message

Status

FAH	Start
FBH	Continue
FCH	Stop

*Sending by [RECORDER CONTROL] buttons

3 Exclusive Data

3.1 MMC Commands

No.	Description	Value	Notes
1	Exclusive	F0H	
2	Universal Real Time	7FH	
3	Device ID	0-7FH	
4	MMC command	06H	
5	Command Number	01-0DH	* see table right
6	EOX	F7H	

* Sending by [RECORDER CONTROL] buttons
* Transmit only

MMC Commands			
01	STOP	08	RECORD PAUSE
02	PLAY	09	PAUSE
03	DEFERRED PLAY	0A	EJECT
04	FAST FORWARD	0B	CHASE
05	REWIND	0C	COMMAND ERROR RESET
06	RECORD STROBE	0D	MMC RESET
07	RECORD EXIT		

3.2 Parameter Send

No.	Description	Value	Notes
1	Exclusive	F0H	
2	KAWAI ID	40H	
3	Channel no.	0nH n=0-FH	
4	Function no.	10H	Parameter Send
5	Group no.	00H	MI Group ID
6	Machine no.	11H	MP7 Machine ID
7	data1	40H	Setup Parameter
8	data2	0-7fH	Address MSB
9	data3	0-7fH	Address LSB
10	data4	0-7fH	data size (byte) max=128 byte
11	data5~	data max 128byte	
12	EOX	F7H	

3.3 Setup Address: Global Section

Category	Parameter	Address MSB/LSB (HEX)	Byte	Value (HEX)
SETUP	Setup Mode On/Off	00/49	1	00,01 (Off, On)
	SETUP Bank / Variation	00/19	2	Bank=00-19 (A~Z), Vari=00~07 (1~8)
GLOBAL	Global EQ Switch	00/1B	1	00,01(Off, On)
	Global EQ Low Gain	00/1C	1	36-40-4A (-10~+0~+10 dB)
	Global EQ High Gain	00/1D	1	36-40-4A (-10~+0~+10 dB)
	Global EQ Mid1 Gain	00/1E	1	36-40-4A (-10~+0~+10 dB)
	Global EQ Mid2 Gain	00/1F	1	36-40-4A (-10~+0~+10 dB)
	Global EQ Mid1 Q	00/20	1	00-06 (0.5~4.0)
	Global EQ Mid2 Q	00/22	1	00-06 (0.5~4.0)
	Global EQ Mid1 Frequency	00/21	1	00-7F (200~3150Hz)
	Global EQ Mid2 Frequency	00/23	1	00-7F (200~3150Hz)
	Transpose Switch	00/3D	1	00,01 (Off,On)
	Transpose Value	00/3E	1	28-40-58 (-24~0~+24)

3.4 Setup Address: Internal Section

Category	Parameter	Address MSB/LSB (HEX)				Byte	Value (HEX)
		MAIN	SUB1	SUB2	SUB3		
Buttons	Part Switch	00/5E	02/02	03/26	04/4A	1	00,01 (Off, On)
	Volume Fader	01/70	02/14	04/38	05/5C	1	00-7F
	Tone Number	00/60	02/04	03/28	04/4C	2	00/00-00/1F (PIANO), 00/20-00/3F (E.PIANO), 00/40-00/5F (DRAWBAR), 00/60-00/7F (ORGAN), 01/00-01/1F (STRINGS/VOCAL), 01/20-01/3F (BRASS/WIND), 01/40-01/5F (PAD/SYNTH), 01/60-01/7B (BASS/GUITAR), 03/33-03/37 (DRUM SET)
1. REVERB	REVERB Switch	01/27	02/4B	03/6F	05/13	1	00,01 (Off, On)
	Reverb Type	00/24				1	00-05 (Room, Lounge, Small Hall, Concert Hall, Live Hall, Cathedral)
	Reverb Pre Delay	00/26				1	00-7F
	Reverb Time	00/25				1	00-7F
	Reverb Depth	01/28	02/4C	03/70	05/14	1	00-7F
2. EFX/AMP	EFX Switch	01/0D	02/31	03/55	04/79	1	00,01 (Off, On)
	EFX Category	01/0E	02/32	03/56	04/7A	1	00-16
	EFX Type	01/0F	02/33	03/57	04/7B	1	*depend on EFX Category
	EFX Parameter 1	01/10	02/34	03/58	04/7C	1	*depend on EFX Type
	EFX Parameter 2	01/11	02/35	03/59	04/7D	1	*depend on EFX Type
	EFX Parameter 3	01/12	02/36	03/5A	04/7E	1	*depend on EFX Type
	EFX Parameter 4	01/13	02/37	03/5B	04/7F	1	*depend on EFX Type
	EFX Parameter 5	01/14	02/38	03/5C	05/00	1	*depend on EFX Type
	EFX Parameter 6	01/15	02/39	03/5D	05/01	1	*depend on EFX Type
	EFX Parameter 7	01/16	02/3A	03/5E	05/02	1	*depend on EFX Type
	EFX Parameter 8	01/17	02/3B	03/5F	05/03	1	*depend on EFX Type
	EFX Parameter 9	01/18	02/3C	03/60	05/04	1	*depend on EFX Type
	EFX Parameter 10	01/19	02/3D	03/61	05/05	1	*depend on EFX Type
	EFX2 Switch	01/1A	02/3E	-	-	1	0,1 (Off, On)
	EFX2 Category	01/1B	02/3F	-	-	1	00-16
	EFX2 Type	01/1C	02/40	-	-	1	*depend on EFX2 Category
	EFX2 Parameter 1	01/1D	02/41	-	-	1	*depend on EFX2 Type
	EFX2 Parameter 2	01/1E	02/42	-	-	1	*depend on EFX2 Type
	EFX2 Parameter 3	01/1F	02/43	-	-	1	*depend on EFX2 Type
	EFX2 Parameter 4	01/20	02/44	-	-	1	*depend on EFX2 Type
	EFX2 Parameter 5	01/21	02/45	-	-	1	*depend on EFX2 Type
	EFX2 Parameter 6	01/22	02/46	-	-	1	*depend on EFX2 Type
	EFX2 Parameter 7	01/23	02/47	-	-	1	*depend on EFX2 Type
	EFX2 Parameter 8	01/24	02/48	-	-	1	*depend on EFX2 Type
	EFX2 Parameter 9	01/25	02/49	-	-	1	*depend on EFX2 Type
	EFX2 Parameter 10	01/26	02/4A	-	-	1	*depend on EFX2 Type
	AMP Simulator Switch	00/72	02/16	-	-	1	0,1 (Off, On)
	AMP Simulator Type	00/73	02/17	-	-	1	0-4 (S.Case, M.Stack, J.Combo, F.Bass, L.Cabi)
	AMP Simulator Drive	00/75	02/19	-	-	1	0-7F
	AMP Simulator Level	00/74	02/18	-	-	1	0-7F
	AMP Simulator EQ Low	00/77	02/1B	-	-	1	00-0A-14 (-10~+0~+10dB)
	AMP Simulator EQ Mid	00/71	03/15	-	-	1	00-0A-14 (-10~+0~+10dB)
	AMP Simulator EQ Mid Freq.	00/72	03/16	-	-	1	0-7F (200~3150Hz)
	AMP Simulator EQ High	00/78	02/1C	-	-	1	00-0A-14 (-10~+0~+10dB)
	AMP Simulator Mic Type	00/79	02/1D	-	-	1	00,01 (Condenser, Dynamic)
	AMP Simulator Mic Position	00/7A	02/1E	-	-	1	00,01 (OnAxis, OffAxis)
	AMP Simulator Ambiance Level	00/76	02/1A	-	-	1	0-7F

3.4 Setup Address: Internal Section (cont.)

Category	Parameter	Address MSB/LSB (HEX)				Byte	Value (HEX)
		MAIN	SUB1	SUB2	SUB3		
3. Sound	Volume	01/37	02/5B	02/7F	05/23	1	0-7F
	Panpot	01/38	02/5C	04/00	05/24	1	0-40-7F (L64~0~R63)
	Cutoff	01/39	02/5D	04/01	05/25	1	0-40-7F (-64~0~+63)
	Resonance	01/3A	02/5E	04/02	05/26	1	0-40-7F (-64~0~+63)
	DCA Attack Time	01/3B	02/5F	04/03	05/27	1	0-40-7F (-64~0~+63)
	DCA Decay Time	01/3C	02/60	04/04	05/28	1	0-40-7F (-64~0~+63)
	DCA Sustain Level	01/3D	02/61	04/05	05/29	1	0-40-7F (-64~0~+63)
	DCA Release Time	01/3E	02/62	04/06	05/2A	1	0-40-7F (-64~0~+63)
	DCF Attack Time	01/3F	02/63	04/07	05/2B	1	0-40-7F (-64~0~+63)
	DCF Attack Level	01/40	02/64	04/08	05/2C	1	0-40-7F (-64~0~+63)
	DCF Decay Time	01/41	02/65	04/09	05/2D	1	0-40-7F (-64~0~+63)
	DCF Sustain Level	01/43	02/67	04/0B	05/2F	1	0-40-7F (-64~0~+63)
	DCF Release Time	01/42	02/66	04/0A	05/2E	1	0-40-7F (-64~0~+63)
	DCF Touch Depth	01/44	02/68	04/0C	05/30	1	0-40-7F (-64~0~+63)
	DCA Touch Depth	01/45	02/69	04/0D	05/31	1	0-40-7F (-64~0~+63)
	Vibrato Depth	01/46	02/6A	04/0E	05/32	1	0-40-7F (-64~0~+63)
	Vibrato Rate	01/47	02/6B	04/0F	05/33	1	0-40-7F (-64~0~+63)
	Vibrato Delay	01/48	02/6C	04/10	05/34	1	0-40-7F (-64~0~+63)
	Octave Layer On/Off	01/49	02/6D	04/11	05/35	1	00,01 (Off, On)
	Octave Layer Level	01/4A	02/6E	04/12	05/36	1	0-7F
	Octave Layer Range	01/4B	02/6F	04/13	05/37	1	3D-40-43 (-3~+0~+3)
	Octave Layer Detune	01/4C	02/70	04/14	05/38	1	0-40-7F (-64~0~+63)
	Portament SW	01/4D	02/71	04/15	05/39	1	00,01 (Off,On)
	Portament Time	01/4E	02/72	04/16	05/3A	1	0-7F
	Portament Mode	01/4F	02/73	04/17	05/3B	1	00,01 (Rate, Equal)
	Drawbar 16' Level	01/50	-	-	-	1	0-7F
	Drawbar 5 1/3' Level	01/51	-	-	-	1	0-7F
	Drawbar 8' Level	01/52	-	-	-	1	0-7F
	Drawbar 4' Level	01/53	-	-	-	1	0-7F
	Drawbar 2 2/3' Level	01/54	-	-	-	1	0-7F
	Drawbar 2' Level	01/55	-	-	-	1	0-7F
	Drawbar 1 3/5' Level	01/56	-	-	-	1	0-7F
	Drawbar 1 1/3' Level	01/57	-	-	-	1	0-7F
	Drawbar 1' Level	01/58	-	-	-	1	0-7F
	Percuss On/Off	01/59	-	-	-	1	00,01 (Off,On)
	Percuss Level	01/5A	-	-	-	1	00,01 (Normal,Soft)
	Percuss Decay	01/5B	-	-	-	1	00,01 (Slow,Fast)
	Percuss Harmonic	01/5C	-	-	-	1	00,01 (2nd,3rd)
4. Tuning	Fine Tune	00/7B	02/1F	03/43	04/67	1	0-40-7F (-64~0~+63)
	Stretch Tuning	00/7C	02/20	03/44	04/68	1	00-08 (Off, Narrow2, Narrow1, Normal, Wide1, Wide2~5)
	Temperament	00/7D	02/21	03/45	04/69	1	00-08 (Equal, PureMaj, PureMin, Pythagor, Meantone, Werkmeis, Kirnberg, Sys. User1~2)
	Temperament Key	00/7E	02/22	03/46	04/6A	1	00-0B (C~B)
5. KeySetup	Touch Mode	00/47				1	0-2 (Normal, Off-Fast, Off-Fast2)
	Touch Curve	01/04	02/28	03/4C	04/70	1	00-0A (Heavy+,Heavy,Normal,Light,Light+,Off,Sys.User1~5)
	Octave Shift	01/09	02/2D	03/51	04/75	1	3D-40-43 (-3~0~+3)
	Zone Transpose	01/0A	02/2E	03/52	04/76	1	34-40-4C (-12~0~+12)
	Key Range - Zone Low	01/00	02/24	03/48	04/6C	1	15-6C (A-1 ~ C7)
	Key Range - Zone High	01/01	02/25	03/49	04/6D	1	15-6C (A-1 ~ C7)
	Velocity Switch	01/02	02/26	03/4A	04/6E	1	0-2 (Off, Loud, Soft)
	Velocity Switch Value	01/03	02/27	03/4B	04/6F	1	0-7F
	KS-Damping	01/0C	02/30	03/54	04/78	1	00,01(Off,On)
	KS-Key	01/0B	02/2F	03/53	04/77	1	15-6C (A-1 ~ C7)
	Dynamics	01/05	02/29	03/4D	04/71	1	00,01-0A (Off,1-10)
	Solo	01/07	02/2B	03/4F	04/73	1	00,01 (Off,On)
	Solo Mode	01/08	02/2C	03/50	04/74	1	0-2 (High, Low, Last)

3.4 Setup Address: Internal Section (cont.)

Category	Parameter	Address MSB/LSB (HEX)				Byte	Value(HEX)
		MAIN	SUB1	SUB2	SUB3		
6. Control	Damper Pedal On/Off	01/2C	02/50	03/74	05/18	1	00,01 (Off, On)
	Damper Pedal Assign	00/2E				1	00-11*
	Soft Pedal Adjust	00/70	02/14	03/38	04/5C	1	01-0A
	Damper Mode	01/2B	02/4F	03/73	05/17	1	00,01 (Normal, Hold)
	PitchBend Wheel On/Off	01/33	02/57	03/7B	05/1F	1	00,01 (Off, On)
	PitchBend Range	01/34	02/58	03/7C	05/20	1	00-11
	Modulation Wheel On/Off	01/31	02/55	03/79	05/1D	1	00,01 (Off, On)
	Modulation Wheel Assign	01/32	02/56	03/7A	05/1E	1	00-11*
	SW1 On/Off	01/35	02/59	03/7D	05/21	1	00,01 (Off, On)
	SW1 Assign	00/3A				1	0-9*
	SW2 On/Off	01/36	02/5A	03/7E	05/22	1	00,01 (Off, On)
	SW2 Assign	00/3B				1	0-9*
	Right Pedal On/Off	01/2D	02/51	03/75	05/19	1	00,01 (Off, On)
	Right Pedal Assign	00/2F				1	00-11*
	Center Pedal On/Off	01/2E	02/52	03/76	05/1A	1	00,01(Off,On)
	Center Pedal Assign	00/30				1	00-11*
	Left Pedal On/Off	01/2F	02/53	03/77	05/1B	1	00,01 (Off, On)
	Left Pedal Assign	00/31				1	00-11*
	EXP Pedal On/Off	01/30	02/54	03/78	05/1C	1	00,01 (Off, On)
	EXP Pedal Assign	00/32				1	00-11*
7. KnobAsgn	KnobA Assign (1/2)	01/60	02/04	04/28	05/4C	2	see 3.6: Internal Section's Assignable Knob Data
	KnobB Assign (1/2)	01/61	02/05	04/29	05/4D	2	see 3.6: Internal Section's Assignable Knob Data
	KnobC Assign (1/2)	01/62	02/06	04/2A	05/4E	2	see 3.6: Internal Section's Assignable Knob Data
	KnobD Assign (1/2)	01/63	02/07	04/2B	05/4F	2	see 3.6: Internal Section's Assignable Knob Data
	KnobA Assign (2/2)	01/64	02/08	04/2C	05/50	2	see 3.6: Internal Section's Assignable Knob Data
	KnobB Assign (2/2)	01/65	02/09	04/2D	05/51	2	see 3.6: Internal Section's Assignable Knob Data
	KnobC Assign (2/2)	01/66	02/0A	04/2E	05/52	2	see 3.6: Internal Section's Assignable Knob Data
	KnobD Assign (2/2)	01/67	02/0B	04/2F	05/53	2	see 3.6: Internal Section's Assignable Knob Data
8. VirtTech	Voicing	00/65	02/09	03/2D	04/51	1	00-05 (Normal, Mellow1, Mellow2, Dynamic, Bright1, Bright2)
	Stereo Width	00/66	02/0A	03/2E	04/52	1	00-7F
	String Resonance	00/67	02/0B	03/2F	04/53	1	00,01-0A (Off, 1-10)
	Damper Resonance	00/68	02/0C	03/30	04/54	1	00,01-0A (Off, 1-10)
	KeyOff Effect	00/69	02/0D	03/31	04/55	1	00,01-0A (Off, 1-10)
	Damper Noise	00/6A	02/0E	03/32	04/56	1	00,01-0A (Off, 1-10)
	Hammer Delay	00/6B	02/0F	03/33	04/57	1	00,01-0A (Off, 1-10)
	Fallback Noise	00/6C	02/10	03/34	04/58	1	00,01-0A (Off, 1-10)
	Topboard	00/6E	02/12	03/36	04/5A	1	00-03 (Close, Open1~3)
	KeyOff Noise	00/6C	02/10	02/34	04/58	1	00,01-0A (Off, 1-10)
	KeyOff Noise Delay	00/6D	02/11	02/35	04/59	1	00-7F
	Key Click	01/5D	-	-	-	1	0-7F
	Wheel Noise	01/5E	-	-	-	1	0-7F

* Pedal/Wheel assign: Mod., Pan., Exp., Damper, Soste., Soft, Reso., Cutoff, EFX1 Para1~10, EFX2 Para1~10

* SW Button assign: Oct.Layer, Rotary, Solo, Portament, Bend.Lock, Mod.Lock, CenterLock, Left Lock, EXP Lock, TW Control

付録

3.5 Setup Address: MIDI Section

Sys-EX Parameters		Address MSB/LSB (HEX)				Byte	Value (HEX)
Category	Parameter	MAIN	SUB1	SUB2	SUB3		
Buttons	Part Switch	04/3C	04/74	05/2C	05/64	1	00,01 (Off, On)
1. Ch/Prog.	MIDI Transmit Channel	04/3D	04/75	05/2D	05/65	1	00-0F (1~16Ch)
	PGM Change Number	04/3E	04/76	05/2E	05/66	1	00-7F (1~128)
	Bank Number MSB	04/40	04/78	05/30	05/68	1	00-7F (0~127)
	Bank Number LSB	04/3F	04/77	05/2F	05/67	1	00-7F (0~127)
2. SETUP 3. Transmit 4. MMC	*undefined	-	-	-	-	-	-
5. KeySetup	Touch Mode	00/47				1	0-2 (Normal, Off-Fast, Off-Fast2)
	Touch Curve	04/46	04/7E	05/36	05/6E	1	00-0A (Heavy+, Heavy, Normal, Light, Light+, Off, Sys.User1~5)
	Octave Shift	04/4B	05/03	05/3B	05/73	1	3D-40-43 (-3~0~+3)
	Zone Transpose	04/4C	05/04	05/3C	05/74	1	34-40-4C (-12~0~+12)
	Key Range - Zone Low	04/42	04/7A	05/32	05/6A	1	15-6C (A-1 ~ C7)
	Key Range - Zone High	04/43	04/7B	05/33	05/6B	1	15-6C (A-1 ~ C7)
	Velo SW	04/44	04/7C	05/34	05/6C	1	00-02 (Off, Loud, Soft)
	Velo SW Value	04/45	04/7D	05/35	05/6D	1	0-7F
	KS-Damping	04/4E	05/06	05/3E	05/76	1	00,01 (Off,On)
	KS-Key	04/4D	05/05	05/3D	05/75	1	15-6C (A-1 ~ C7)
	Dynamics	04/47	04/7F	05/37	05/6F	1	00,01-0A (Off, 1-10)
	Solo On/Off	04/49	05/01	05/39	05/71	1	00,01 (Off, On)
	Solo Mode	04/4A	05/02	05/3A	05/72	1	00-02 (Last, High, Low)
	Transmit *undefined	-	-	-	-	-	-
6. Control	Damper Pedal On/Off	04/50	05/08	05/40	05/78	1	00,01 (Off, On)
	Damper Pedal Assign	00/34				1	00-77,78 (CC#0-119, AfterTouch)
	Half Pedal Value	04/6B	05/23	05/5B	06/13	1	00-7F
	PitchBend Wheel On/Off	04/57	05/0F	05/47	05/7F	1	00,01 (Off, On)
	PitchBend Range	04/58	05/10	05/48	06/00	1	00-0C
	Modulation Wheel On/Off	04/55	05/0D	05/45	05/7D	1	00,01 (Off, On)
	Modulation Wheel Assign	04/56	05/0E	05/46	05/7E	1	00-77,78 (CC#0-119, AfterTouch)
	Right Pedal On/Off	04/51	05/09	05/41	05/79	1	00,01 (Off, On)
	Right Pedal Assign	00/35				1	00-77,78 (CC#0-119, AfterTouch)
	Center Pedal On/Off	04/52	05/0A	05/42	05/7A	1	00,01 (Off, On)
	Center Pedal Assign	00/36				1	00-77,78(CC#0-119, AfterTouch)
	Left Pedal On/Off	04/53	05/0B	05/43	05/7B	1	00,01 (Off, On)
	Left Pedal Assign	00/37				1	00-77,78 (CC#0-119, AfterTouch)
	EXP Pedal On/Off	04/54	05/0C	05/44	05/7C	1	00,01 (Off, On)
	EXP Pedal Assign	00/38				1	00-77,78 (CC#0-119, AfterTouch)
7. KnobAsgn	KnobA Assign (1/2)	04/5B	05/13	05/4B	06/03	2	00-77,78 (CC#0-119, AfterTouch)
	KnobB Assign (1/2)	04/5C	05/14	05/4C	06/04	2	00-77,78 (CC#0-119, AfterTouch)
	KnobC Assign (1/2)	04/5D	05/15	05/4D	06/05	2	00-77,78 (CC#0-119, AfterTouch)
	KnobD Assign (1/2)	04/5E	05/16	05/4E	06/06	2	00-77,78 (CC#0-119, AfterTouch)
	KnobA Assign (2/2)	04/5F	05/17	05/4F	06/07	2	00-77,78 (CC#0-119, AfterTouch)
	KnobB Assign (2/2)	04/60	05/18	05/50	06/08	2	00-77,78 (CC#0-119, AfterTouch)
	KnobC Assign (2/2)	04/61	05/19	05/51	06/09	2	00-77,78 (CC#0-119, AfterTouch)
	KnobD Assign (2/2)	04/62	05/1A	05/52	06/0A	2	00-77,78 (CC#0-119, AfterTouch)

3.6 Internal Section's Assignable Knob Data

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">Parameter Name</th><th>Data (HEX)</th><th colspan="4">Sound Type</th></tr>
<tr><th>1st/2nd</th><th>Piano</th><th>E.Piano</th><th>T.Wheel</th><th>Others</th></tr>
<tr><td rowspan="4">1. REVERB</td><td>[C] Rev.Type</td><td>00/01</td><td colspan="4">●</td></tr>
<tr><td>[C] RevPreDly</td><td>00/02</td><td colspan="4">●</td></tr>
<tr><td>[C] Rev.Time</td><td>00/03</td><td colspan="4">●</td></tr>
<tr><td>Rev.Depth</td><td>00/04</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td></tr>
<tr><td rowspan="30">2. EFX/AMP</td><td>EFX Categ.</td><td>00/05</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td></tr>
<tr><td>EFX Type</td><td>00/06</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td></tr>
<tr><td>EFX Para1</td><td>00/07</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td></tr>
<tr><td>EFX Para2</td><td>00/08</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td></tr>
<tr><td>EFX Para3</td><td>00/09</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td></tr>
<tr><td>EFX Para4</td><td>00/0A</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td></tr>
<tr><td>EFX Para5</td><td>00/0B</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td></tr>
<tr><td>EFX Para6</td><td>00/0C</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td></tr>
<tr><td>EFX Para7</td><td>00/0D</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td></tr>
<tr><td>EFX Para8</td><td>00/0E</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td></tr>
<tr><td>EFX Para9</td><td>00/0F</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td></tr>
<tr><td>EFX Para10</td><td>00/10</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td></tr>
<tr><td>EFX2 Categ.</td><td>00/11</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td></tr>
<tr><td>EFX2 Type</td><td>00/12</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td></tr>
<tr><td>EFX2 Para1</td><td>00/13</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td></tr>
<tr><td>EFX2 Para2</td><td>00/14</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td></tr>
<tr><td>EFX2 Para3</td><td>00/15</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td></tr>
<tr><td>EFX2 Para4</td><td>00/16</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td></tr>
<tr><td>EFX2 Para5</td><td>00/17</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td></tr>
<tr><td>EFX2 Para6</td><td>00/18</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td></tr>
<tr><td>EFX2 Para7</td><td>00/19</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td></tr>
<tr><td>EFX2 Para8</td><td>00/1A</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td></tr>
<tr><td>EFX2 Para9</td><td>00/1B</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td></tr>
<tr><td>EFX2Para10</td><td>00/1C</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td></tr>
<tr><td>Amp Type</td><td>00/1D</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td></tr>
<tr><td>Amp Level</td><td>00/1E</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td></tr>
<tr><td>Amp Drive</td><td>00/1F</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td></tr>
<tr><td>AmpEQ-Lo</td><td>00/20</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td></tr>
<tr><td>AmpEQ-Mid</td><td>00/21</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td></tr>
<tr><td>AmpEQ-High</td><td>00/22</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td></tr>
<tr><td>MidFreq.</td><td>01/1A</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td></tr>
<tr><td>AmpMicType</td><td>01/15</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td></tr>
<tr><td>AmpMicPos.</td><td>01/14</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td></tr>
<tr><td>AmpAmbien.</td><td>01/16</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td></tr>
<tr><td rowspan="25">3. Sound</td><td>Volume</td><td>00/23</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td></tr>
<tr><td>Panpot</td><td>00/24</td><td>●</td><td>●</td><td>-</td><td>●</td></tr>
<tr><td>Cutoff</td><td>00/25</td><td>●</td><td>●</td><td>-</td><td>●</td></tr>
<tr><td>Resonance</td><td>00/26</td><td>●</td><td>●</td><td>-</td><td>●</td></tr>
<tr><td>DCA Attack</td><td>00/27</td><td>●</td><td>●</td><td>-</td><td>●</td></tr>
<tr><td>DCA Decay</td><td>00/28</td><td>●</td><td>●</td><td>-</td><td>●</td></tr>
<tr><td>DCASustain</td><td>00/29</td><td>●</td><td>●</td><td>-</td><td>●</td></tr>
<tr><td>DCARelease</td><td>00/2A</td><td>●</td><td>●</td><td>-</td><td>●</td></tr>
<tr><td>DCF ATK Tm</td><td>00/2B</td><td>●</td><td>●</td><td>-</td><td>●</td></tr>
<tr><td>DCF ATK Lv</td><td>00/2C</td><td>●</td><td>●</td><td>-</td><td>●</td></tr>
<tr><td>DCF Decay</td><td>00/2D</td><td>●</td><td>●</td><td>-</td><td>●</td></tr>
<tr><td>DCFSustain</td><td>00/2F</td><td>●</td><td>●</td><td>-</td><td>●</td></tr>
<tr><td>DCFRelease</td><td>00/2E</td><td>●</td><td>●</td><td>-</td><td>●</td></tr>
<tr><td>DCF TchDpt</td><td>00/30</td><td>●</td><td>●</td><td>-</td><td>●</td></tr>
<tr><td>DCA TchDpt</td><td>00/31</td><td>●</td><td>●</td><td>-</td><td>●</td></tr>
<tr><td>Vib.Depth</td><td>00/32</td><td>●</td><td>●</td><td>-</td><td>●</td></tr>
<tr><td>Vib.Rate</td><td>00/33</td><td>●</td><td>●</td><td>-</td><td>●</td></tr>
<tr><td>Vib.Delay</td><td>00/34</td><td>●</td><td>●</td><td>-</td><td>●</td></tr>
<tr><td>Octave</td><td>00/35</td><td>●</td><td>●</td><td>-</td><td>●</td></tr>
<tr><td>Oct.Level</td><td>00/36</td><td>●</td><td>●</td><td>-</td><td>●</td></tr>
<tr><td>Oct.Range</td><td>00/37</td><td>●</td><td>●</td><td>-</td><td>●</td></tr>
<tr><td>Oct.Detune</td><td>00/38</td><td>●</td><td>●</td><td>-</td><td>●</td></tr>
<tr><td>Portament</td><td>00/39</td><td>●</td><td>●</td><td>-</td><td>●</td></tr>
<tr><td>Porta.Time</td><td>00/3A</td><td>●</td><td>●</td><td>-</td><td>●</td></tr>
<tr><td>Porta.Mode</td><td>00/3B</td><td>●</td><td>●</td><td>-</td><td>●</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">Parameter Name</th><th>Data (HEX)</th><th colspan="4">Sound Type</th></tr>
<tr><th>1st/2nd</th><th>Piano</th><th>E.Piano</th><th>T.Wheel</th><th>Others</th></tr>
<tr><td rowspan="4">4. Tuning</td><td>Fine Tune</td><td>00/4B</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td></tr>
<tr><td>Stretch</td><td>00/4C</td><td>●</td><td>●</td><td>-</td><td>●</td></tr>
<tr><td>Temperment</td><td>00/4D</td><td>●</td><td>●</td><td>-</td><td>●</td></tr>
<tr><td>Temper.Key</td><td>00/4E</td><td>●</td><td>●</td><td>-</td><td>●</td></tr>
<tr><td rowspan="13">5. Key Setup</td><td>[C] Touch Mode</td><td>00/56</td><td colspan="4">●</td></tr>
<tr><td>Touch</td><td>00/55</td><td>●</td><td>●</td><td>-</td><td>●</td></tr>
<tr><td>OctavShift</td><td>00/57</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td></tr>
<tr><td>ZoneTrans.</td><td>00/58</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td></tr>
<tr><td>Zone Lo</td><td>00/52</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td></tr>
<tr><td>Zone Hi</td><td>00/51</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td></tr>
<tr><td>VeloSW</td><td>00/53</td><td>●</td><td>●</td><td>-</td><td>●</td></tr>
<tr><td>VeloSW Val</td><td>00/54</td><td>●</td><td>●</td><td>-</td><td>●</td></tr>
<tr><td>KS-Damping</td><td>00/59</td><td>●</td><td>●</td><td>-</td><td>●</td></tr>
<tr><td>KS-Key</td><td>00/5A</td><td>●</td><td>●</td><td>-</td><td>●</td></tr>
<tr><td>Dynamics</td><td>00/5B</td><td>●</td><td>●</td><td>-</td><td>●</td></tr>
<tr><td>Solo</td><td>00/5C</td><td>●</td><td>●</td><td>-</td><td>●</td></tr>
<tr><td>SoloMode</td><td>00/5D</td><td>●</td><td>●</td><td>-</td><td>●</td></tr>
<tr><td rowspan="20">6. Control</td><td>DamperPed.</td><td>00/5E</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td></tr>
<tr><td>[C] D.Assign</td><td>00/5F</td><td colspan="4">●</td></tr>
<tr><td>SoftPdlDpt</td><td>01/03</td><td>●</td><td>●</td><td>-</td><td>●</td></tr>
<tr><td>Damp.Mode</td><td>00/60</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td></tr>
<tr><td>Pitch Bend</td><td>00/69</td><td>●</td><td>●</td><td>-</td><td>●</td></tr>
<tr><td>Bend Range</td><td>00/6A</td><td>●</td><td>●</td><td>-</td><td>●</td></tr>
<tr><td>Mod.Wheel</td><td>00/6B</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td></tr>
<tr><td>Mod.Assign</td><td>00/6C</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td></tr>
<tr><td>SW1</td><td>00/6D</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td></tr>
<tr><td>[C] SW1Assign</td><td>00/6E</td><td colspan="4">●</td></tr>
<tr><td>SW2</td><td>00/6F</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td></tr>
<tr><td>[C] SW2Assign</td><td>00/70</td><td colspan="4">●</td></tr>
<tr><td>Right Ped.</td><td>00/61</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td></tr>
<tr><td>[C] R.Assign</td><td>00/62</td><td colspan="4">●</td></tr>
<tr><td>CenterPed.</td><td>00/63</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td></tr>
<tr><td>[C] C.Assign</td><td>00/64</td><td colspan="4">●</td></tr>
<tr><td>Left Pedal</td><td>00/65</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td></tr>
<tr><td>[C] L.Assign</td><td>00/66</td><td colspan="4">●</td></tr>
<tr><td>EXP Pedal</td><td>00/67</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td></tr>
<tr><td>[C] EXPAssign</td><td>00/68</td><td colspan="4">●</td></tr>
<tr><td rowspan="13">8. Virtual Technician</td><td>Voicing</td><td>00/79</td><td>●</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr>
<tr><td>StereoWdth</td><td>00/7A</td><td>●</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr>
<tr><td>StringReso</td><td>00/7B</td><td>●</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr>
<tr><td>DamperReso</td><td>00/7C</td><td>●</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr>
<tr><td>KeyOffEff.</td><td>00/7D</td><td>●</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr>
<tr><td>DamperNois</td><td>00/7E</td><td>●</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr>
<tr><td>HammerDly</td><td>00/7F</td><td>●</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr>
<tr><td>FallbackNs</td><td>01/00</td><td>●</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr>
<tr><td>Topboard</td><td>01/01</td><td>●</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr>
<tr><td>KeyOffNois</td><td>01/05</td><td>-</td><td>●</td><td>-</td><td>-</td></tr>
<tr><td>KeyOffDly</td><td>01/06</td><td>-</td><td>●</td><td>-</td><td>-</td></tr>
<tr><td>Key Click</td><td>00/49</td><td>-</td><td>-</td><td>●</td><td>-</td></tr>
<tr><td>Wheel Noise</td><td>00/4A</td><td>-</td><td>-</td><td>●</td><td>-</td></tr>
</table>

* EFX2 and Amp Simulator parameters available for MAIN zone only.

* E.Piano 'Key Off Noise' and 'Key Off Delay' parameters also apply to Harpsichord and Bass sounds

4 SOUND/SETUP Program/Bank

MIDIパラメータの受信モード（P.106の「11. Receive Mode」参照）が"Panel"に設定されているとき、MP7はシステムチャンネルでのみMIDIデータを受信します。内部音色をMIDIで変更するには、下記のプログラムチェンジ番号リストをご確認ください。

* MP7はシステムチャンネルにて、プログラムナンバーとバンクナンバー MSBの0または1を受信すると、セットアップモードのON/OFFを切り換え、対応したセットアップを呼び出します。また、受信モードが"Section"に設定されているときは、内部音色セクションはそれぞれ独立したチャンネルでMIDI受信します。

4.1 SETUP Program Number Table

Upper	Second	Third	Prog#:MSB-LSB
1	1	A	001:000-002
1	1	B	002:000-002
1	1	C	003:000-002
1	1	D	004:000-002
1	2	A~D	005:000-002 ~ 008:000-002
1	3	A~D	009:000-002 ~ 012:000-002
1	4	A~D	013:000-002 ~ 016:000-002
1	5	A~D	017:000-002 ~ 020:000-002
1	6	A~D	021:000-002 ~ 024:000-002
1	7	A~D	025:000-002 ~ 028:000-002
1	8	A~D	029:000-002 ~ 032:000-002
2	1~8	A~D	033:000-002 ~ 064:000-002
3	1~8	A~D	065:000-002 ~ 096:000-002
4	1~8	A~D	097:000-002 ~ 128:000-002
5	1~8	A~D	001:000-003 ~ 032:000-003
6	1~8	A~D	033:000-003 ~ 064:000-003
7	1~8	A~D	065:000-003 ~ 096:000-003
8	1~8	A~D	097:000-003 ~ 128:000-003

5 Program Change Number List

Category	Name	Program Mode = Panel Prg.	Program Mode = Panel MSB	Program Mode = Panel LSB	Program Mode = GM Prg.	Program Mode = GM MSB	Program Mode = GM LSB
PIANO	Concert Grand	1	0	0	1	121	0
	Studio Grand	2	0	0	1	121	1
	Mellow Grand	3	0	0	1	121	2
	Jazz Grand	4	0	0	1	95	8
	Concert Grand2	5	0	0	1	95	16
	Studio Grand 2	6	0	0	1	95	17
	Mellow Grand 2	7	0	0	1	95	18
	Jazz Grand 2	8	0	0	1	95	19
	Pop Piano	9	0	0	2	95	10
	BrightPopPiano	10	0	0	2	95	13
	Pop Piano 2	11	0	0	2	95	11
	Pop Piano 3	12	0	0	2	95	12
	Upright Piano	13	0	0	1	95	25
	Mono Piano	14	0	0	2	121	0
	Mono Piano 2	15	0	0	1	95	3
	Mono Piano 3	16	0	0	1	95	21
	Piano Vari.	17	0	0	2	121	1
	Piano Vari. 2	18	0	0	4	121	0
	Piano Vari. 3	19	0	0	2	95	6
	Piano Vari. 4	20	0	0	2	95	7
	Piano Oct.	21	0	0	1	95	1
	Piano Oct. 2	22	0	0	1	95	2
	Piano & EP	23	0	0	2	95	1
	Piano & EP 2	24	0	0	2	95	2
	New Age Piano	25	0	0	1	95	9
	New Age Piano2	26	0	0	1	95	10
	New Age Piano3	27	0	0	1	95	11
	New Age Piano4	28	0	0	1	95	15
	Harpsichord	29	0	0	7	121	3
	Harpsichord2	30	0	0	7	121	0
	Harpsi. Octave	31	0	0	7	121	1
	Harpsi & Clavi	32	0	0	7	95	5
E.PIANO	Classic EP	33	0	0	5	121	0
	Classic EP 2	34	0	0	5	95	3
	Classic EP 3	35	0	0	5	95	5
	Classic EP 4	36	0	0	5	121	1
	Modern EP	37	0	0	6	121	0
	Modern EP 2	38	0	0	6	121	1
	Modern EP 3	39	0	0	6	121	2
	Modern EP 4	40	0	0	6	95	5
	60’s EP	41	0	0	5	121	3
	60’s EP 2	42	0	0	5	95	4
	Electric Grand	43	0	0	3	121	0
	Electric GP 2	44	0	0	3	121	1
	Dolce EP	45	0	0	5	95	2
	Legend EP	46	0	0	6	121	3
	Phase EP	47	0	0	6	121	4
	Classic EP 5	48	0	0	5	121	2
	Crystal EP	49	0	0	6	95	1
	New Age EP	50	0	0	6	95	2
	New Age EP2	51	0	0	6	95	3
	New Age EP3	52	0	0	6	95	4
	Clavinet	53	0	0	8	121	0
	Synth Clavinet	54	0	0	8	121	1
	Clavi & Marim	55	0	0	8	95	1
	Clavi Phaser	56	0	0	8	95	2
	Vibraphone	57	0	0	12	121	0
	Celesta	58	0	0	9	121	0
	Music Box	59	0	0	11	121	0
	Toy Piano	60	0	0	11	95	1
	Marimba	61	0	0	13	121	0
	Xylophone	62	0	0	14	121	0
	Steel Drums	63	0	0	115	121	0
	Bells	64	0	0	15	95	3

Category	Name	Program Mode = Panel Prg.	Program Mode = Panel MSB	Program Mode = Panel LSB	Program Mode = GM Prg.	Program Mode = GM MSB	Program Mode = GM LSB
DRAWBAR	T.Wheel A-1	65	0	0	18	95	112
	T.Wheel A-2	66	0	0	18	95	113
	T.Wheel A-3	67	0	0	18	95	114
	T.Wheel A-4	68	0	0	18	95	115
	T.Wheel B-1	69	0	0	17	95	112
	T.Wheel B-2	70	0	0	17	95	113
	T.Wheel B-3	71	0	0	17	95	114
	T.Wheel B-4	72	0	0	17	95	115
	T.Wheel C-1	73	0	0	20	95	112
	T.Wheel C-2	74	0	0	20	95	113
	T.Wheel C-3	75	0	0	20	95	114
	T.Wheel C-4	76	0	0	20	95	115
	Blues Organ	77	0	0	17	121	0
	Drawbar Organ	78	0	0	17	95	1
	Drawbar Organ2	79	0	0	17	95	2
	Gospel Organ	80	0	0	17	95	3
	Ballad Organ	81	0	0	17	95	5
	Soft Solo	82	0	0	17	95	8
	Odd Man	83	0	0	17	95	6
	Be Nice	84	0	0	17	95	7
	Jazz Organ	85	0	0	18	121	0
	Drawbar Organ3	86	0	0	18	121	2
	Perc. Organ	87	0	0	18	95	15
	Perc. Organ 2	88	0	0	18	121	1
	Drawbar Organ4	89	0	0	17	121	3
	Full Organ	90	0	0	18	95	4
	Jazzer	91	0	0	18	95	1
	Jazz Organ 2	92	0	0	18	95	12
	Rock Organ 2	93	0	0	19	121	0
	Rock Organ	94	0	0	18	95	13
	Drawbar Organ5	95	0	0	17	121	1
	Screamin’	96	0	0	17	95	4
ORGAN	Church Organ	97	0	0	20	121	0
	Full Pipes	98	0	0	20	95	9
	Full Ensemble	99	0	0	21	95	10
	Church Organ 2	100	0	0	20	121	1
	PrincipleChoir	101	0	0	20	95	23
	Small Ensemble	102	0	0	20	95	8
	Small Ens. 2	103	0	0	20	95	25
	Baroque	104	0	0	20	95	19
	Chiffy Tibia	105	0	0	20	95	17
	8’&4’Principle	106	0	0	20	95	24
	Stopped Pipe	107	0	0	20	95	21
	Principle Pipe	108	0	0	20	95	22
	8’ Celeste	109	0	0	20	95	5
	Diapason	110	0	0	20	95	6
	Voice Celeste	111	0	0	20	95	39
	Baroque Mix	112	0	0	20	95	7
	Reeds	113	0	0	20	95	10
	8’ Reed	114	0	0	21	95	1
	Reed Pipes	115	0	0	20	95	26
	Posaune	116	0	0	20	95	27
	Theater Organ	117	0	0	20	95	2
	Theater Organ2	118	0	0	20	95	3
	Theater Organ3	119	0	0	20	95	4
	Theater Tibia	120	0	0	20	95	36
	Elec. Organ	121	0	0	17	95	9
	Elec. Organ 2	122	0	0	17	95	10
	60’s Organ	123	0	0	17	121	2
	Pump Organ	124	0	0	20	95	40
	Fr. Accordion	125	0	0	22	121	0
	TangoAccordion	126	0	0	24	121	0
	Harmonica	127	0	0	23	121	0
	Kenban Harmo.	128	0	0	23	95	4

	Name	Program Mode = Panel			Program Mode = GM		
		Prg.	MSB	LSB	Prg.	MSB	LSB
STRINGS / VOCAL	String Pad	1	0	1	49	95	8
	Warm Strings	2	0	1	49	95	1
	Warm Strings 2	3	0	1	51	121	0
	Synth Strings	4	0	1	52	121	0
	Beautiful Str.	5	0	1	45	95	1
	String Ens.	6	0	1	49	121	0
	String Ens. 2	7	0	1	50	121	0
	Full Orchestra	8	0	1	49	95	12
	Small Str. Ens	9	0	1	49	95	13
	Quartet	10	0	1	49	95	11
	Str. Bass Ens.	11	0	1	44	121	0
	Str. Sustain	12	0	1	49	95	10
	Pizzicato	13	0	1	46	121	0
	TremoloStrings	14	0	1	45	121	0
	Str. Sforzando	15	0	1	49	95	9
	Orchestra Hit	16	0	1	56	121	0
	Passionate Vln	17	0	1	41	121	0
	Classic Violin	18	0	1	41	95	3
	Passionate Vc	19	0	1	43	121	0
	Classic Cello	20	0	1	43	95	4
	Choir	21	0	1	53	121	0
	Breathy Choir	22	0	1	53	95	1
	Pop Aahs	23	0	1	53	121	1
	Slow Choir	24	0	1	53	95	2
	Jazz Ensemble	25	0	1	54	95	2
	Female Scat	26	0	1	54	95	22
	Pop Ensemble	27	0	1	54	121	0
	Contemp Ens.	28	0	1	54	95	10
	Itopia	29	0	1	92	121	1
	Halo Pad	30	0	1	95	121	0
	Halo Pad 2	31	0	1	95	95	1
	Synth Vocals	32	0	1	55	121	0
BRASS / WIND	Exp Brass	33	0	1	62	95	8
	Exp Saxes	34	0	1	66	95	11
	Tp&Bone&Tenor	35	0	1	58	95	11
	Flugel & Tenor	36	0	1	57	95	18
	Brass Section	37	0	1	62	121	0
	Synth Brass	38	0	1	63	121	0
	Synth Brass 2	39	0	1	64	121	0
	Jump Brass	40	0	1	63	121	3
	Exp Trumpet	41	0	1	57	121	0
	PlungerTrumpet	42	0	1	57	95	7
	Trumpet Shake	43	0	1	57	95	6
	Harmon Mute Tp	44	0	1	60	121	0
	Exp Trombone	45	0	1	58	121	0
	Lead Trombone	46	0	1	58	95	2
	PlungerTrombon	47	0	1	58	95	4
	ClosedMuteBone	48	0	1	58	95	9
	Exp Alto	49	0	1	66	121	0
	Lead Alto	50	0	1	66	95	2
	Soft Alto	51	0	1	66	95	7
	Lead Soprano	52	0	1	65	121	0
	Exp Tenor	53	0	1	67	121	0
	Ballad Tenor	54	0	1	67	95	6
	Growl Tenor	55	0	1	67	95	4
	Baritone Sax	56	0	1	68	121	0
	Exp Flute	57	0	1	74	95	12
	Ballad Flute	58	0	1	74	121	0
	Flute Overblow	59	0	1	74	95	9
	Flute Flutter	60	0	1	74	95	10
	Oboe	61	0	1	69	121	0
	Bassoon	62	0	1	71	121	0
	Jazz Clarinet	63	0	1	72	121	0
	Pan Flute	64	0	1	76	121	0

	Name	Program Mode = Panel			Program Mode = GM		
		Prg.	MSB	LSB	Prg.	MSB	LSB
PAD / SYNTH	Pad 1	65	0	1	90	95	3
	Pad 2	66	0	1	90	95	4
	Pad 3	67	0	1	90	95	5
	Saw Pad	68	0	1	90	95	7
	Pad 4	69	0	1	90	95	6
	Bowed Pad	70	0	1	93	95	1
	NoisyPad	71	0	1	96	95	3
	Sweep Pad	72	0	1	96	95	2
	Saw Lead LP24	73	0	1	82	95	1
	Saw Lead LP12	74	0	1	82	95	2
	Saw Lead HP	75	0	1	82	95	3
	Saw Lead BP	76	0	1	82	95	4
	Square Lead LP24	77	0	1	81	95	1
	Square Lead LP12	78	0	1	81	95	2
	Square Lead HP	79	0	1	81	95	3
	Square Lead BP	80	0	1	81	95	4
	Pulse Lead LP24	81	0	1	81	95	5
	Pulse Lead LP12	82	0	1	81	95	6
	Pulse Lead HP	83	0	1	81	95	7
	Pulse Lead BP	84	0	1	81	95	8
	Polysynth	85	0	1	82	95	5
	PolysynthOct	86	0	1	82	95	6
	SqrPoly	87	0	1	81	95	9
	Warm Lead	88	0	1	81	95	10
	Oct Saw	89	0	1	82	95	7
	Oct Pulse	90	0	1	81	95	11
	Saw HPF	91	0	1	82	95	8
	Sqr QTc	92	0	1	81	95	12
	Noise UpDown	93	0	1	123	95	1
	Noise Open	94	0	1	123	95	2
	Resonance Voice	95	0	1	123	95	3
	Resonance Rise	96	0	1	123	95	4
BASS / GUITAR	Acc. Bass	97	0	1	33	121	0
	Acc. Bass&Ride	98	0	1	33	95	1
	Electric Bass	99	0	1	34	95	1
	Electric Bass2	100	0	1	34	95	4
	Finger Bass	101	0	1	34	121	0
	FingerSlapBass	102	0	1	34	121	1
	Pick Bass	103	0	1	35	121	0
	Fretless Bass	104	0	1	36	121	0
	Synth Bass	105	0	1	39	121	0
	Synth Bass 2	106	0	1	40	121	0
	Rubber Bass	107	0	1	40	121	2
	Warm SynthBass	108	0	1	39	121	1
	Exp. Nylon Gtr	109	0	1	25	121	0
	Pick Nylon Gtr	110	0	1	25	95	3
	Exp Guitar	111	0	1	26	121	0
	Exp Guitar 2	112	0	1	26	95	11
	Rhythm Guitar	113	0	1	28	121	0
	Overdrive	114	0	1	30	121	0
	Distortion	115	0	1	31	121	0
	Muted Electric	116	0	1	29	121	0
	Pedal Steel	117	0	1	27	121	1
	HawaiianGuitar	118	0	1	27	95	1
	Jazz Guitar	119	0	1	27	121	0
	Jazz Guitar 2	120	0	1	27	95	2
	Banjo	121	0	1	106	121	0
	Mandolin	122	0	1	26	121	2
	Sitar	123	0	1	105	121	0
	Harp	124	0	1	47	121	0
	Ambience Set	125	0	1	33	120	0
	Plutinum Set	126	0	1	1	120	0
	Room Set	127	0	1	9	120	0
	Analog Set	128	0	1	26	120	0

MIDI Implementation

	Name	Program Mode = GM		
		Prg.	MSB	LSB
MIDI	Wide Honky Tonk	4	121	1
	WideHarpsichord	7	121	2
	Glocken	10	121	0
	Wide Vibraphone	12	121	1
	Wide Marimba	13	121	1
	Tubular Bells	15	121	0
	Church Bells	15	121	1
	Carillon	15	121	2
	Dulcimer	16	121	0
	Church Organ 3	20	121	2
	Reed Organ	21	121	0
	Puff Organ	21	121	1
	Accordion	22	121	1
	Ukulele	25	121	1
	Nylon Acoustic2	25	121	2
	Nylon Acoustic3	25	121	3
	12 String	26	121	1
	Steel Guitar 2	26	121	3
	E. Guitar 2	28	121	1
	Rhythm Guitar	28	121	2
	Cutting Guitar2	29	121	1
	E. Guitar 3	29	121	2
	Country Lead	29	121	3
	Dynmic Ov.drive	30	121	1
	Dist Feedback	31	121	1
	Dist Rhythm	31	121	2
	E.Gtr Harmonics	32	121	0
	Guitar Feedback	32	121	1
	Slap Bass	37	121	0
	Slap Bass 2	38	121	0
	Synth Bass 3	39	121	2
	Clavi Bass	39	121	3
	Hammer Bass	39	121	4
	Synth Bass 4	40	121	1
	Attack Bass	40	121	3
	Slow Violin	41	121	1
	Viola	42	121	0
	Celtic Harp	47	121	1
	Timpani	48	121	0
	Strings & Brass	49	121	1
	60's Strings	49	121	2
	Synth Strings 3	51	121	1
	Humming	54	121	1
	Analog Voice	55	121	1
	Bass Hit Plus	56	121	1
	6th Hit	56	121	2
	Euro Hit	56	121	3
	Solo Trumpet	57	121	1
	Trombone 2	58	121	1
	Bright Trombone	58	121	2
	Tuba	59	121	0
	Muted Trumpet 2	60	121	1
	French Horns	61	121	0
	Warm FrenchHorn	61	121	1
	Brass Section 2	62	121	1
	Synth Brass 3	63	121	1

	Name	Program Mode = GM		
		Prg.	MSB	LSB
MIDI	Analog Brass	63	121	2
	Synth Brass 4	64	121	1
	Analog Brass 2	64	121	2
	English Horn	70	121	0
	Piccolo	73	121	0
	Recorder	75	121	0
	Blown Bottle	77	121	0
	Shakuhachi	78	121	0
	Whistle	79	121	0
	Ocarina	80	121	0
	Square Lead	81	121	0
	Square 2	81	121	1
	Sine	81	121	2
	Classic Synth	82	121	0
	Classic Synth2	82	121	1
	Lead	82	121	2
	Classic Synth 3	82	121	3
	SequencedAnalog	82	121	4
	Caliope	83	121	0
	Chiff	84	121	0
	Charang	85	121	0
	Wire Lead	85	121	1
	Voice	86	121	0
	Fifth	87	121	0
	Bass & Lead	88	121	0
	Soft Wire Lead	88	121	1
	New Age Pad	89	121	0
	Warm Pad	90	121	0
	Sine Pad	90	121	1
	Polysynth	91	121	0
	Itopia	92	121	0
	Bowed Pad	93	121	0
	Metallic	94	121	0
	Multi Sweep	96	121	0
	Rain Pad	97	121	0
	Soundtrack	98	121	0
	Crystal	99	121	0
	Synth Mallet	99	121	1
	Atmosphere	100	121	0
	Brightness	101	121	0
	Goblin	102	121	0
	Echoes	103	121	0
	Echo Bell	103	121	1
	Echo Pan	103	121	2
	Sci-Fi	104	121	0
	Sitar 2	105	121	1
	Shamisen	107	121	0
	Koto	108	121	0
	Taisho Koto	108	121	1
	Kalimba	109	121	0
	Bag Pipe	110	121	0
	Fiddle	111	121	0
	Shanai	112	121	0
	Tinkle Bell	113	121	0
	Agogo	114	121	0
	Woodblock	116	121	0

	Name	Program Mode = GM		
		Prg.	MSB	LSB
MIDI	Castanet	116	121	1
	Taiko Drums	117	121	0
	Concert BD	117	121	1
	Melodic Toms	118	121	0
	Melodic Toms 2	118	121	1
	Synth Drum	119	121	0
	Rhythm Box Tom	119	121	1
	Electric Drum	119	121	2
	Reverse Cymbal	120	121	0
	Gtr Fret Noise	121	121	0
	GtrCuttingNoise	121	121	1
	Ac Bass Slap	121	121	2
	Breath Noise	122	121	0
	Flute Key Click	122	121	1
	Seashore	123	121	0
	Rain	123	121	1
	Thunder	123	121	2
	Wind	123	121	3
	Stream	123	121	4
	Bubble	123	121	5
	Bird Tweet	124	121	0
	Dog Barking	124	121	1
	Horse Gallop	124	121	2
	Bird Tweet 2	124	121	3
	Telephone	125	121	0
	Telephone 2	125	121	1
	Door Creak	125	121	2
	Door Slam	125	121	3
	Scratch	125	121	4
	Wind Chime	125	121	5
	Helicopter	126	121	0
	Car Engine	126	121	1
	Car Stopping	126	121	2
	Car Passing	126	121	3
	Car Crash	126	121	4
	Siren	126	121	5
	Train	126	121	6
	Jet Plane	126	121	7
	Starship	126	121	8
	Burst Noise	126	121	9
	Applause	127	121	0
	Laughing	127	121	1
	Screaming	127	121	2
	Punch	127	121	3
	Heartbeat	127	121	4
	Foot Step	127	121	5
	Gunshot	128	121	0
	Machine Gun	128	121	1
	Laser Gun	128	121	2
	Explosion	128	121	3
	Power Set	17	120	0
	Electronic Set	25	120	0
	Brush Set	41	120	0
	Orchestra Set	49	120	0
	SFX Set	57	120	0

* MIDI sounds are not accessible from the panel.

6 Control Change Number (CC#) Table

Control Number		Control Function
Decimal	Hex	
0	0	Bank Select (MSB)
1	1	Modulation Wheel or lever
2	2	Breath Controller
3	3	(undefined)
4	4	Foot Controller
5	5	Portament Time
6	6	Data Entry (MSB)
7	7	Channel Volume
8	8	Balance
9	9	(undefined)
10	A	Panpot
11	B	Expression Controller
12	C	Effect Controller1
13	D	Effect Controller2
14	E	(undefined)
15	F	(undefined)
16-19	10-13	General Purpose Controller1~4
20-31	14-1F	(undefined)
32	20	Bank Select (LSB)
33-63	21-3F	(LSB of Control Number 1-32)
64	40	Hold1 (Damper Pedal or Sustain)
65	41	Portamento On/Off
66	42	Sostenuto
67	43	Soft Pedal
68	44	Legato Footswitch
69	45	Hold2 (freeze etc)
70	46	Sound Controller1 (Sound Variation)
71	47	Sound Controller2 (Filter Resonance/Harmonic Intensity)
72	48	Sound Controller3 (Release Time)
73	49	Sound Controller4 (Attack Time)
74	4A	Sound Controller5 (Brightness/Cutoff)
75	4B	Sound Controller6 (Decay TIme)
76	4C	Sound Controller7 (Vibrato Rate)
77	4D	Sound Controller8 (Vibrato Depth)
78	4E	Sound Controller9 (Vibrato Delay)
79	4F	Sound Controller10
80-83	50-53	General Purpose Controller5~8
84	54	Portament Control
85-90	55-5A	(undefined)
91	5B	Effect1 Depth (Reverb Send Level)
92	5C	Effect2 Depth
93	5D	Effect3 Depth (Chorus Send Level)
94	5E	Effect4 Depth
95	5F	Effect5 Depth
96	60	Data Increment
97	61	Data Decrement
98	62	Non Registered Parameter Number (LSB)
99	63	Non Registered Parameter Number (MSB)
100	64	Registered Parameter Number (LSB)
101	65	Registered Parameter Number (MSB)
102-119	66-77	(undefined/reserved)
120-127	78-7F	Channel Mode Message

[STAGE PIANO]
Kawai MP7

MIDI Implementation Chart

Date: December 2013
Version: 1.0

Function		Transmitted	Recognised		Remarks
			Panel	Section	
Basic Channel	Default	1 - 16	1 - 16	1 - 16	
	Changed	1 - 16	1 - 16	1 - 16	
Mode	Default	3	3	3	
	Messages	3,4 (m=1)	X	3,4 (m=1)	
	Altered	*****			
Note Number		0 - 127	0 - 127	0 - 127	
	True Voice	*****			
Velocity	Note ON	O 9nH, v=1 - 127	O	O	
	Note OFF	O 8nH, v=0 - 127	O	O	
After Touch	Key	X	X	X	
	Channel	O *1	X	X	
Pitch Bend		O	O	O	
Control Change	0,32	O	O	O	Bank Select
	1	O	O *2	O	Modulation
	5,6,38	O	X	O	Portament Time,Data Entry
	7,65	O	X	O	Volume,Portament On/Off
	10	O	X	O	Panpot
	11	O	O *2	O	Expression (EXP)
	64	O	O *2	O	Hold1 (Damper)
	66	O	O *2	O	Sostenuto (FootSW)
	67	O	O *2	O	Soft
	70,71	O	X	O	Sustain, Resonance
	72,73,74,75	O	X	O	RLS, ATK, CTF, DCY
	76,77,78	O	X	O	Vibrato (Rate,Depth,Delay)
	91	O	X	O	Reverb Depth
	98,99	X	X	O	NRPN LSB/MSB
	100, 101	O	O	O	RPN LSB/MSB
	0-119	O *1	X	X	
Program Change		O	O	O	
	True #	*****	0 - 127	0 - 127	
System Exclusive		O	O	O	
Common	Song Position	X	X	X	
	Song Select	X	X	X	
	Tune	X	X	X	
System Real Time	Clock	X	X	X	
	Commands	O	X	X	
Other Functions	All Sound OFF	X	O	O	
	Reset All Cntrls	O	O	O	
	Local ON/OFF	X	X	X	
	All Note OFF	O	O (123-127)	O (123-127)	
	Active Sense	X	O	O	
	Reset	X	X	X	
Notes		*1: Assigned to Modulation Wheel, EXP, FootSW or Knob A~D *2: ON/OFF settings of each section are set in EDIT menu. The function is assigned to MOD/EXP/Right/Centre/Left Pedal in EDIT menu.			

Mode 1 : OMNI ON , POLY   Mode 2 : OMNI ON , MONO
Mode 3 : OMNI OFF, POLY   Mode 4 : OMNI OFF, MONO

O : Yes
X : No

メモ

メモ

株式会社 河合楽器製作所
電 子 楽 器 事 業 部
〒430-8665 浜 松 市 中 区 寺 島 町200番 地
TEL. 053-457-1277 / FAX. 053-457-1279
http://www.kawai.co.jp/

お問合せ先について

ご不明な点などがございましたら、下記のお客様相談室をご利用下さい。

◆お客様相談室

TEL. 053-457-1311 / E-mail. customer@kawai.co.jp
電話受付時間　9：00〜12：00 / 13：00〜17：00
（土曜、日曜、祝日及び弊社規定の休日を除きます。）

◆お客様サポート・お問合せフォーム

http://www.kawai.co.jpの「お客様サポート」よりお進みください。

故障と思われる場合については、お買い求めいただいた販売店、もしくはお近くのフィールドサポート担当までご連絡ください。
詳細は同梱の「アフターサービスと音楽教室のご案内」の冊子をご参照ください。

KPSZ-0692
Printed in Indonesia
©2014（株）河合楽器製作所
本取扱説明書の一部、あるいは全部を無断で複写・転載することを禁止します。
817966-R100